

平成 17 年度

日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究

# マレーシアアンケート調査集計結果報告書

平成 17 年 12 月

独立行政法人

国立国語研究所

## 本報告書について

日本語教育の多様化が進んでいる。具体的には、学習目的、分野、母語等の学習者の特性や、各国・地域における日本語の社会的位置付け、日本語教育機関の設備・環境、教師の教育観や日本語能力等の多様化である。この多様化についての認識は定着しつつあり、それぞれの教育現場において独自の対応がなされてきている。一方、インターネットをはじめとする様々な情報流通の在り方の変化や、学習者及び教師の地球規模での移動・交流はますます加速しており、日本語教育の各領域全体の様相をとらえ、連携体制を整え、より適切な支援を行うことが日本語教育推進のために求められている。

そこで、日本語教育の振興を図るための適切な支援、連携体制整備を進めるためには、まず国内外で日本語を学習し、あるいは教えている人々がどのような環境で、さらにはどのような手段で日本語を学習し、あるいは教えているのかについて広く情報収集し、「多様化」と言われる現状を把握する必要がある。

このような必要性から、国立国語研究所日本語教育部門では、国内外の地域を対象に各地域と連携しながら平成12年度より5年計画で「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」を実施している。その一環として、平成15～16年度にマレーシアでの日本語教育の学習環境と学習手段に関する実態把握のための調査を行った。

本報告書は、その集計結果について、概略をまとめたものである。本集計結果については、本調査に併せて実施したインタビュー調査結果との関係等、様々な観点からの分析を現在進めている。その詳細な分析結果については、現在同時並行で調査実施・結果分析をしている他地域（タイ（バンコック）、韓国、オーストラリア（ヴィクトリア州）、台湾）との比較を含め、改めて報告する予定である。

本報告書は、5章から構成されている。第1章でマレーシアアンケート調査の概要、第2章で機関調査票（アンケート協力機関における学習者数等の基礎的情報）の集計結果、第3章で学習者の集計結果、第4章で教師の集計結果、第5章で今後作成予定の最終報告書に向けた課題としてまとめを行った。なお、本報告書の中心である集計結果の概略について簡単に把握できるよう、第2・3・4章の最初の部分には要約を載せてある。本報告書の作成・編集は、巻末に掲げた担当者のうち、主に小河原義朗（日本語教育部門第一領域研究員）が担当した。

本調査は、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター、マレーシア日本語協会の御協力、巻末に掲げた先生方の御尽力なくしてはなし得なかった。特に、マレーシア日本語協会のエドワード・リー氏にはアンケートの印刷から配布や回収等の作業に至るまで大変お世話になった。ここに改めて感謝申し上げます。そして何より、本調査に御協力くださった現地の多くの日本語教育関係の方々に深くお礼申し上げます。

本報告書は、「集計結果報告書」として刊行するが、今後の日本語教育方策や日本語教育の内容・方法の検討に際しての一助となれば幸いである。

平成17年12月

独立行政法人国立国語研究所  
日本語教育部門長 柳澤 好昭

# 目次

第1章 マレーシアアンケート調査実施概要	1
1-1. 「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」概要	1
1-2. 調査目的	2
1-3. 調査地域	2
1-4. 調査対象	3
1-5. 調査期間	3
1-6. 調査方法	3
1-7. 調査票 (アンケート)	3
1-8. 調査票の配布・回収	5
1-9. 分析対象	5
参考文献	6
本調査に関わる既刊報告書	6
第2章 集計結果：機関調査票	7
概要と要約	7
〔要約〕：2-1. 日本語教師数について	7
〔要約〕：2-2. 学習者数について	7
〔要約〕：2-3. 利用設備について	8
〔要約〕：2-4. 実施, または参加している日本語関係行事について	8
2-1. 日本語教師数について	9
2-1-1. 常勤教師数	9
2-1-2. 非常勤教師数	9
2-1-3. 常勤と非常勤の割合, マレーシア人と日本人の割合	9
2-2. 学習者数について	11
2-3. 利用設備について	11
2-3-1. コンピュータの利用	11
2-3-2. インターネットの利用	12
2-3-3. テレビ・ビデオ視聴	13
2-3-4. LL	13
2-3-5. OHP	13
2-3-6. テープレコーダー・CDプレーヤー	14

2-3-7. ビデオプレーヤー	14
2-3-8. VCDプレーヤー	14
2-3-9. DVDプレーヤー	15
2-3-10. 日本語関係図書	15
2-4. 実施, または参加している日本語関係行事について	16
2-4-1. ビジター・セッション	16
2-4-2. 日本旅行	17
2-4-3. 日本との交換留学制度	17
2-4-4. スピーチコンテスト	17
2-4-5. 日本にある姉妹校との交流	18
2-4-6. その他	19
<b>第3章 集計結果: 学習者</b>	<b>20</b>
概要と要約	20
〔要約〕: 3-1. 学習者について	20
〔要約〕: 3-2. 日本語を使つてのやりとりについて	21
〔要約〕: 3-3. 日本語が使われているものとの接触について	21
〔要約〕: 3-4. 授業時間外の教科書等の使用について	22
〔要約〕: 3-5. 利用経験のある機会や場所について	22
〔要約〕: 3-6. 日本語学習のために現在使っているものについて	23
〔要約〕: 3-7. 今後の充実を希望するものについて	23
3-1. 学習者について	24
3-1-1. 性別	24
3-1-2. 国籍	24
3-1-3. 年齢	24
3-1-4. 母語	25
3-1-5. 日本語学習開始時期	25
3-1-6. 日本語の学習場所	26
3-1-7. 訪日経験	26
3-1-8. 訪日目的	26
3-1-9. 日本語学習動機	27
3-1-10. 日本語力 (1)「読むこと」(2)「書くこと」(3)「聞くこと」(4)「話すこと」	28
3-2. 日本語を使つてのやりとりについて	31
3-2-1. 日本語を使つてのやりとりの有無	31
3-2-2. やりとりの相手とその方法	32

3-2-3. 最もよくやりとりをする相手	33
3-2-4. やりとりをする相手の国籍	34
3-2-5. やりとりをする相手の性別	34
3-2-6. やりとりを始めた頃の日本語力	34
3-2-7. やりとりをする頻度	35
3-2-8. やりとりをする手段	35
3-2-9. やりとりをするときの日本語の割合	36
3-2-10. やりとりの内容	36
3-2-11. 日本語でやりとりをする理由	37
3-2-12. 授業以外で日本語を使わない理由	37
3-3. 日本語が使われているものとの接触について	38
3-3-1. 身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無	38
3-3-2. 日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無	39
3-3-3. 見聞きするもの	39
3-3-4. 最もよく見聞きするもの	40
3-3-5. 見聞きする頻度	41
3-3-6. 見聞きするものの所有者	41
3-3-7. 見聞きするものの内容	41
3-3-8. 見聞きする理由	42
3-3-9. 授業以外で日本語のものを見聞きしない理由	43
3-4. 授業時間外の教科書等の使用について	44
3-4-1. 使用の有無	44
3-4-2. 授業時間外の利用方法	44
3-4-3. 授業時間外に教科書などを利用しない理由	45
3-5. 利用経験のある機会や場所について	46
3-5-1. 利用経験の有無	46
3-5-2. 利用経験のある機会や場所	47
3-5-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無	49
3-5-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所	49
3-6. 日本語学習のために現在使っているものについて	50
3-6-1. 日本語学習のために現在使っている学習参考書・問題集	51
3-7. 今後の充実を希望するものについて	51
3-7-1. 今後の充実を希望する学習参考書・問題集	52
3-7-2. 今後の充実を希望する辞書	52

第4章 集計結果：教 師…………… 54

概要と要約……………	54
〔要約〕：4-1. 教師について……………	54
〔要約〕：4-2. 授業について……………	55
〔要約〕：4-3. 日本語を使っのやりとりについて（マレーシア人教師対象）……………	57
〔要約〕：4-4. 日本語が使われているものとの接触について（マレーシア人教師対象）……………	58
〔要約〕：4-5. 利用経験のある機会や場所について（マレーシア人教師対象）……………	58
4-1. 教師について……………	59
4-1-1. 性 別……………	59
4-1-2. 年 齢……………	59
4-1-3. 母 語……………	60
4-1-4. 日本語学習歴（マレーシア人教師対象）……………	60
4-1-5. 訪日経験（マレーシア人教師対象）……………	60
4-1-6. 訪日目的（マレーシア人教師対象）……………	61
4-1-7. 日本語教育経験……………	61
4-1-8. 日本語以外の教育経験の有無……………	62
4-1-9. 日本語力（マレーシア人教師対象）	
((1)「読むこと」(2)「書くこと」(3)「聞くこと」(4)「話すこと」)……………	62
4-1-10. 日本語教育を始めた理由……………	65
4-1-11. 日本語教育に関する学会等への参加について……………	65
4-1-12. 日本語教育に関する研修の経験について……………	66
4-1-13. 日本語教育に関する研修を受けた回数……………	67
4-2. 授業について……………	68
4-2-1. 授業で使うもの……………	68
4-2-2. 生教材について……………	70
4-2-3. 生教材を使う理由……………	72
4-2-4. 自作教材について……………	73
4-2-5. 授業での使用機材について……………	75
4-2-6. 授業での日本語の使用……………	76
4-2-7. 授業準備に利用するもの……………	78
4-2-8. 日本語教師としての能力に対する意識……………	80
4-2-9. 日本語教師の資質・能力向上のためにすること……………	81
4-2-10. コンピュータ利用の有無及び方法……………	82
4-2-11. 日本語教育へのコンピュータ利用の必要性……………	84
4-2-12. 日本語教師の資質・能力向上のために充実を希望するもの……………	84

4-2-12-1. 充実を希望するもの：文法解説書	86
4-2-12-2. 充実を希望するもの：辞書	87
4-2-12-3. 充実を希望するもの：漢字字典の使用言語	87
4-2-12-4. 充実を希望するもの：教師用指導参考書	88
4-2-12-5. 充実を希望するもの：コンピュータソフト	88
4-3. 日本語を使つてのやりとりについて（マレーシア人教師対象）	89
4-3-1. 日本語を使つてのやりとりの有無	89
4-3-2. やりとりの相手とその方法	90
4-3-3. 最もよくやりとりをする相手	91
4-3-4. やりとりをする相手の国籍	92
4-3-5. やりとりをする相手の性別	92
4-3-6. やりとりを始めた頃の日本語力	93
4-3-7. やりとりをする頻度	93
4-3-8. やりとりをする手段	93
4-3-9. やりとりをするときの日本語の割合	94
4-3-10. やりとりの内容	94
4-3-11. 日本語でやりとりをする理由	95
4-3-12. 授業以外で日本語を使わない理由	95
4-4. 日本語が使われているものとの接触について（マレーシア人教師対象）	96
4-4-1. 身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無	96
4-4-2. 日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無	96
4-4-3. 見聞きするもの	97
4-4-4. 最もよく見聞きするもの	97
4-4-5. 見聞きする頻度	98
4-4-6. 見聞きするものの所有者	99
4-4-7. 見聞きするものの内容	99
4-4-8. 見聞きする理由	100
4-5. 利用経験のある機会や場所について（マレーシア人教師対象）	101
4-5-1. 利用経験の有無	101
4-5-2. 利用経験のある機会や場所	101
4-5-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無	103
4-5-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所	104
第5章 課題	105

## 資料

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究

—マレーシアアンケート調査— 調査票

- ・ 機関調査票（日本語版・マレー語版・英語版） ..... 3
- ・ 学習者用調査票（日本語版・マレー語版・英語版） ..... 7
- ・ 教師用調査票（日本語版・マレー語版・英語版） ..... 21



# 第1章 マレーシアアンケート調査実施概要

## 1-1. 「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」概要

学習目的、分野、母語等、学習者の特性や、各国・地域における日本語の社会的位置付け、日本語教育機関の設備・環境、教師の教育観や日本語能力等、日本語教育の多様性についての認識は定着しつつあり、それぞれの教育現場において独自の対応がなされてきている。一方、学習者及び教師の地球規模での移動・交流はますます加速しており、日本語教育の各領域全体の様相を捉え、連携体制を整え、必要な支援を行うことが日本語教育推進のために求められている。

そこで、本調査研究では日本語教育の振興を図るための適切な支援、連携体制整備を進めるため、国内及び海外の各地域における多様化した日本語教育の実態を学習環境と学習手段の両側面から明らかにすることを目的とする。

本調査研究の特色は以下の3点である。

### (1) 国内と海外の両方を視野においた調査研究である。

国内外の社会状況や教育制度、学習環境等の異なる地域を比較することで世界の日本語教育の状況全体を把握することができる。

具体的には、国外では学習者数・学習環境面での多様性や調査協力体制等の観点から、タイ（バンコック）、オーストラリア（ヴィクトリア州）、韓国、マレーシア、台湾の5地域において、実施または実施中である。タイ（バンコック）調査に関しては、『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 タイ（バンコック）アンケート調査集計結果報告書』を平成15年3月に、韓国調査に関しては、『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』を平成16年3月に、台湾調査に関しては、『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 台湾アンケート調査集計結果報告書』を平成17年3月に刊行した。オーストラリア調査についても順次公開予定である。

国内では、全国的なアンケート調査と、いくつかの地域においてインタビュー調査等を実施しており、同様に報告書を刊行予定である。

### (2) 微視的・巨視的視野の両面からの研究である。

各国・地域の一般的な教育観、言語教育政策、日本との経済・文化等の交流関係等、それぞれの社会環境の中で日本語教育がどのような位置付けにあるかというマクロな視野を持ちつつ、同時に学習者・教師の具体的な行動や意識、教材等、個々の日本語学習／教育の実態というマイクロレベルでの調査を行う。

### (3) 学習者と教師の両面からアプローチする研究である。

各国・地域における初・中・高等教育機関、民間日本語教育機関、ボランティア教室（国内）などにおける学習者及び教師を対象に、アンケートとインタビューの手法を用いて行う。

## 1-2. 調査目的

1-1で示した「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」の一環として、マレーシアでの日本語教育の学習環境と学習手段に関する実態について、全体的な傾向を把握し、新たな観点から日本語教育の改善・支援のための基礎資料を作成する。あわせて、今後の学習環境と学習手段に関する調査研究における調査方法のあり方、アンケートやインタビュー調査の内容・技術に関する検討のための基礎資料とする。

## 1-3. 調査地域

マレーシアは、学習者数が海外で13番目に多く(17,406人(表1-4)、詳細は国際交流基金(2005)を参照されたい)、現在も学習者が増えている。本調査では、マレーシア全土を対象に調査を行った。分析対象となった調査地域別の学習者と教師の所属内訳数は以下の表1-1、1-2のとおりである。機関の分類については、1-9を参照されたい。

〈表1-1：地域別学習者数〉( )内は%

	地域	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
マレー半島 西海岸 (西マレーシア)	Kedah	180 ( 7.9)	145 ( 6.5)	0 ( 0.0)	325 ( 6.1)
	Kuala Lumpur	88 ( 3.9)	681 ( 30.3)	355 ( 42.3)	1124 ( 21.0)
	Melaka	69 ( 3.0)	52 ( 2.3)	44 ( 5.2)	165 ( 3.1)
	Negeri Sembilan	239 ( 10.5)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	239 ( 4.5)
	Penang	61 ( 2.7)	280 ( 12.5)	135 ( 16.1)	476 ( 8.9)
	Perak	297 ( 13.0)	30 ( 1.3)	111 ( 13.2)	438 ( 8.2)
	Perlis	58 ( 2.5)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	58 ( 1.1)
	Selangor	348 ( 15.3)	470 ( 20.9)	100 ( 11.9)	918 ( 17.1)
マレー半島 東海岸 (西マレーシア)	Johor	118 ( 5.2)	252 ( 11.2)	58 ( 6.9)	428 ( 8.0)
	Kelantan	112 ( 4.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	793 ( 2.1)
	Pahang	297 ( 13.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	297 ( 5.5)
	Terengganu	119 ( 5.2)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	119 ( 2.2)
ボルネオ島北部 (東マレーシア)	Sabah	172 ( 7.6)	229 ( 10.2)	36 ( 4.3)	437 ( 8.2)
	Sarawak	118 ( 5.2)	106 ( 4.7)	0 ( 0.0)	224 ( 4.2)
	合計	2,276 (100.0)	2,245 (100.0)	839 (100.0)	5,360 (100.0)

〈表 1-2：地域別教師数〉（ ）内は%

	地域	中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
マレー半島 西海岸 (西マレーシア)	Kedah	5 ( 7.8)	2 ( 2.7)	0 ( 0.0)	7 ( 2.9)
	Kuala Lumpur	4 ( 6.3)	34 ( 46.6)	49 ( 47.6)	87 ( 36.3)
	Melaka	3 ( 4.7)	2 ( 2.7)	4 ( 3.9)	9 ( 3.8)
	Negeri Sembilan	5 ( 7.8)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	5 ( 2.1)
	Penang	1 ( 1.6)	8 ( 11.0)	11 ( 10.7)	20 ( 8.3)
	Perak	7 ( 10.9)	1 ( 1.4)	15 ( 14.6)	23 ( 9.6)
	Perlis	2 ( 3.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	2 ( 0.8)
	Selangor	11 ( 17.2)	13 ( 17.8)	16 ( 15.5)	40 ( 16.7)
マレー半島 東海岸 (西マレーシア)	Johor	3 ( 4.7)	2 ( 2.7)	4 ( 3.9)	9 ( 3.8)
	Kelantan	3 ( 4.7)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	3 ( 1.3)
	Pahang	7 ( 10.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	7 ( 2.9)
	Terengganu	3 ( 4.7)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	3 ( 1.3)
ボルネオ島北部 (東マレーシア)	Sabah	5 ( 7.8)	10 ( 13.7)	4 ( 3.9)	19 ( 7.9)
	Sarawak	5 ( 7.8)	1 ( 1.4)	0 ( 0.0)	6 ( 2.5)
	合計	64 (100.0)	73 (100.0)	103 (100.0)	240 (100.0)

なお、地域間の比較については本調査結果をもとに今後の課題とする。

#### 1-4. 調査対象

マレーシアで日本語教育を実施している機関における日本語学習者と日本語教師を対象とした。

#### 1-5. 調査期間

平成 16 年 6 月～平成 16 年 7 月 (アンケート調査期間)

#### 1-6. 調査方法

アンケート調査票を用い、中等教育機関、高等教育機関、学校教育以外の機関に属する調査対象者に対しアンケート調査を行った。それと並行してインタビュー調査も実施した。インタビュー結果については別途、報告する予定である。

#### 1-7. 調査票 (アンケート)

調査票 (アンケート) は、学習者用と教師用があり、それぞれマレー語版・英語版・日本語版を用意した。

学習者用では、学習者が日本語を学習する際には何らかの物、人、情報といった対象に接触すると考えられることから、学習者がどのような対象にどのように接触しているのかについて質問する項目が中心に

なっている。なお、これらの質問項目は比較のため、マレーシア人教師にも一部同様に尋ねている。教師用では、日本語の授業及び授業準備の際にどのような物、人、情報といった対象にどのように接触しているのかについて質問する項目が中心になっている。

また、それらの接触の対象や方法等に影響すると考えられる項目として、学習者については日本語学習歴、学習動機等、教師については日本語教育歴、日本語教育を始めた理由等の属性についてもあわせて尋ねている。

主な調査項目は以下のとおりである。詳細については、巻末資料の「学習者用調査票」「教師用調査票」を御覧いただきたい。

#### [学習者用]

##### 属性

- ・ 性別、居住地域、年齢、母語、身分、日本語学習の開始学年、日本語学習の場所、訪日経験、日本語学習動機、4技能別日本語力自己評価等

##### 質問項目

- ・ 日本語使用状況（相手、頻度、手段、内容、理由等）
- ・ 日本語接触状況（物、頻度、内容、理由等）
- ・ 授業で使用する日本語教材の授業外使用状況
- ・ 日本語接触状況（機会）
- ・ 日本語学習のためのリソース（物）
- ・ 日本語学習のために充実を希望するもの

#### [教師用]

##### 属性

- ・ 性別、居住地域、年齢、母語、日本語学習歴、その他の外国語学習歴、訪日経験、日本語教育経験、日本語以外の教育経験、4技能別日本語力自己評価、日本語教育を始めた理由、学会・研究会への参加、日本語教育に関する研修等

##### 質問項目

I：授業及び授業準備に関する質問（マレーシア人教師及び日本人教師対象）

- ・ 授業での使用教材、使用生教材の種類、使用自作教材の種類
- ・ 授業での使用機材
- ・ 授業での日本語使用状況
- ・ 授業準備のためのリソース（物、人）
- ・ 日本語教師に必要な能力に関する意識
- ・ 資質・能力向上のためにしていること、役に立つと思うこと
- ・ コンピュータ使用状況
- ・ コンピュータ使用に関する意識

- ・ 資質・能力向上のために充実を希望するもの
- II：日本語力向上のための環境に関する質問（マレーシア人教師対象）
- ・ 日本語使用状況（相手，頻度，手段，内容，理由等）
  - ・ 日本語接触状況（物，頻度，内容，理由等）
  - ・ 日本語接触状況（機会）

## 1-8. 調査票の配布・回収

マレーシア日本語協会の協力を得て，調査協力校の選定，調査票の配布及び回収を行った。

回収結果は以下の表 1-3 のとおりである。「フェイス数」とは「機関調査票」の回収部数を示す。「機関調査」は機関名，住所，日本語教師数，学習者数，使用設備等を把握するために各機関を対象に行った。調査票サンプルを巻末資料に示した。なお，以下の集計に際しては個人や機関を特定する記述についてはすべて省略する。

〈表 1-3：回収結果〉

	合 計	中等教育	高等教育	学校教育以外
機 関 数	91	40	23	28
学 習 者 数	5,457	2,296	2,310	851
教 師 数	242	63	75	104
フェイス数	89	39	23	27

国際交流基金（2005）によれば，2003 年のマレーシア全体における日本語教育機関数，学習者数，教師数は以下に示すとおりである。

〈表 1-4：マレーシア全体における日本語教育機関数・教師数・学習者数〉（ ）内は%

	合 計	初等・中等教育	高等教育	学校教育以外
機 関 数	130(100.0)	37(28.5)	22(16.9)	71(54.6)
学 習 者 数	17,406(100.0)	5,562(32.0)	6,472(37.2)	5,372(30.9)
教 師 数	412(100.0)	66(16.0)	132(32.0)	214(51.9)

## 1-9. 分析対象

本調査研究では，当該地域だけではなく，諸外国における学習手段・環境の比較検討までを視野に入れている。しかし，各国の教育制度・学校体系は国によって異なるため，第 2 章からの集計・分析には国際交流基金日本語国際センター（2000）を参考に，調査対象機関を以下の 3 つに分類して，比較・集計を進める。

- ①「中等教育機関」：前期中等教育（3 年間：日本の中等学校に相当），後期中等教育（2 年間：日本の高等学校に相当）にあたる学校教育機関。
- ②「高等教育機関」：予備教育機関（中等教育後，高等教育前の期間），大学，ポリテクニク（国立技術専門学校），カレッジ（日本の短期大学に相当）。

- ③「学校教育以外の機関」：上記①②に含まれない機関（民間の日本語学校、組織内教育、企業内研修、公務員等に対する公的教育機関、民間非営利組織等）

その結果、分析対象は、表 1-5 のようになった。なお、調査項目によって、設問の意図を理解していないと思われる回答箇所は、集計上は無回答とした。そのため、第 2 章以降の集計結果では、調査項目によって回答者数に違いがある。

〈表 1-5：分析対象〉（ ）内は%

	合 計	中等教育	高等教育	学校教育以外
学習者数	5,360 (100.0)	2,276 (42.5)	2245 (41.9)	839 (15.7)
教 師 数	240 (100.0)	64 (26.7)	73 (30.4)	103 (42.9)

## 参考文献

- 国際交流基金日本語国際センター（2000）『海外の日本語教育の現状－日本語教育機関調査・1998年－』  
 国際交流基金（2005）『海外の日本語教育の現状－日本語教育機関調査・2003年－概要』

## 本調査に関わる既刊報告書

- 国立国語研究所（2002）『平成 13 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究－タイ（バンコック）アンケート調査集計結果報告書』  
 国立国語研究所（2003）『平成 13 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究－タイ（バンコック）アンケート調査集計結果報告書<タイ語版>』  
 国立国語研究所（2004）『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究－韓国アンケート調査集計結果報告書』  
 国立国語研究所（2004）『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究－韓国アンケート調査集計結果報告書<韓国語版>』  
 国立国語研究所（2005）『平成 16 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究－台湾アンケート調査集計結果報告書』  
 国立国語研究所（2005）『平成 16 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究－台湾アンケート調査集計結果報告書<中国語版>』

## 第2章 集計結果：機関調査票

### 概要と要約

本章では、「機関調査票」の集計結果について報告する。「機関調査」とは、1-8のとおり、機関名、住所、日本語教師数、学習者数、使用設備等の情報を把握するために、アンケート調査協力機関を対象に行ったものである。本章の構成は4節からなるが、具体的な結果を報告する前に、ここでまず各節で取り上げる調査内容とその結果を要約してまとめ、本章全体の概要がわかるように示してある。各節の詳細については、2-1以降の各節を参照されたい。なお、各節の集計結果が、実際に使用した調査票（巻末資料）の中のどの項目に対応するかがわかるように、各節の最後に項目番号を入れた。例えば、「〈機関F1〉」は「機関調査票の項目番号F1」を示す。

本調査における機関調査票の機関種別有効回答数とその内訳は表2-1のとおりである。本調査対象機関は本アンケート調査協力機関のみであり、全数調査ではない。p.5の表1-4に示したように、中等教育と高等教育については、ほぼ全機関が対象となっているが、以下のデータは本調査対象機関の範囲内に限定されるものであり、データの解釈には注意を要する。また、機関調査票の回収数は本調査における実際の協力機関数よりも少ない。

〈表2-1：機関調査票の回答数・内訳〉（ ）内は%

	合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答数	89(100)	39(43.8)	23(25.8)	27(30.3)

#### 〔要約〕：2-1. 日本語教師数について

- ・常勤教師数：中等教育では「1~5人」が97.4%、高等教育では73.9%で最も多い。学校教育以外では、「0人」が48.1%、「1~5人」が44.4%で5人以下が多い。
- ・非常勤教師数：中等教育では「0人」が94.9%と最も多い。高等教育では「0人」(56.5%)か「1~5人」(43.5%)、学校教育以外では「1~5人」が51.9%で最も多い。
- ・常勤と非常勤の割合：中等教育では常勤96.4%、高等教育では常勤80.3%と常勤が多い。学校教育以外では非常勤が58.7%で非常勤の割合の方がやや多い。常勤のうち、中等教育ではマレーシア人が100%を占め、高等教育でも61.4%とマレーシア人の方が多い。学校教育以外では日本人の方が60.0%と多い。非常勤の場合、中等教育では日本人が75.0%と多く、高等教育では52.5%でマレーシア人とほぼ半々、学校教育以外ではマレーシア人の方が62.6%と多い。

#### 〔要約〕：2-2. 学習者数について

- ・学習者数：  
中等教育では、「100人以上500人未満」が84.6%と最も多い。高等教育でも同様であるが、47.8%となっている。学校教育以外では「50人未満」が55.6%と最も多い。

### 〔要約〕：2-3. 利用設備について

- ・コンピュータの利用：中等教育では82.1%，高等教育では87.0%で利用可能であるが，学校教育以外では37.0%と低い。
- ・コンピュータの利用可能台数：教師用は，所属機関に共通して「1～10台」が最も多い(62.5%・65.0%・80.0%)。学習者用は，中等教育では「すべて教師用」(37.5%)が最も多いが，高等教育と同様に「1～10台」「11～30台」「31～50台」「51台以上」に分散している。学校教育以外では「すべて教師用」(70.0%)が最も多い。
- ・インターネットの利用：中等・高等教育では「利用不可」が30.8%・17.4%で，「学習者も教師も両方利用可能」が59.0%・52.2%と最も多い。学校教育以外では63.0%の機関が学習者も教師も「利用不可」。
- ・テレビ・ビデオ視聴：中等教育では84.6%が「学習者も教師も両方利用可能」，高等教育・学校教育以外ではその割合が47.8%・37.0%と低くなり，「利用不可」が17.4%・40.7%と高くなる。
- ・L Lの利用：中等教育・学校教育以外では92.3%・85.2%で「利用不可」，高等教育では52.2%と半数が「利用可能」。
- ・OHPの利用：中等・高等教育では79.5%・91.3%が「利用可能」，学校教育以外では63.0%が「利用不可」。
- ・テープレコーダー・CDプレーヤー：全体的にどの機関でもほぼ利用可能。
- ・ビデオプレーヤー：中等教育56.4%，高等教育87.0%，学校教育以外51.9%が利用可能。
- ・VCDプレーヤー：中等教育76.9%，高等教育73.9%が「利用可」，学校教育以外では「利用不可」が55.6%。
- ・DVDプレーヤー：高等教育では「利用可能」が47.8%，中等教育・学校教育以外では「利用不可」が61.5%・74.1%。
- ・日本語関係図書：全体的にどの機関でもほぼ利用可能。しかし，学習者専用図書はどの機関にも存在しない。中等教育・学校教育以外では「学習者と教師の両方可能」が多く(60.0%・70.0%)，高等教育では「教師が利用可能」の方が43.5%と多い。蔵書数はどの機関でも「100冊未満」が最も多く，続いて「100～1000冊」。

注：括弧内に，数値が3つ並ぶ場合，「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の数値が順に示してある(以下同様)。

### 〔要約〕：2-4. 実施，または参加している日本語関係行事について

- ・ビジター・セッション：どの機関でも実施しているところは30%程度。
- ・日本旅行：ほとんど実施されていない。
- ・日本との交換留学制度：中等教育では25.6%，高等教育・学校教育以外は10%にも満たない。
- ・スピーチコンテスト：中等教育では53.8%が実施，または参加しており，高等教育・学校教育以外では39.1%・33.3%。「あり」の場合，中等教育では「他機関が主催」が76.2%，高等教育では「他機関が主催」(44.4%)「主催と他機関が主催の両方」(33.3%)，学校教育以外では「主催」(22.2%)「他機関が主催」(33.3%)「主催と他機関が主催の両方」(33.3%)と分散している。
- ・日本にある姉妹校との交流：どの機関でも「なし」が多い。



## 2-1. 日本語教師数について

ここでは、本調査に回答した機関の日本語教師数について尋ねた結果を報告する。

### 2-1-1. 常勤教師数

常勤教師数は、中等教育では「1~5人」が97.4%、高等教育では73.9%で最も多い。学校教育以外では、「0人」が48.1%、「1~5人」が44.4%で5人以下が多い（図2-1）。〈機関F1〉

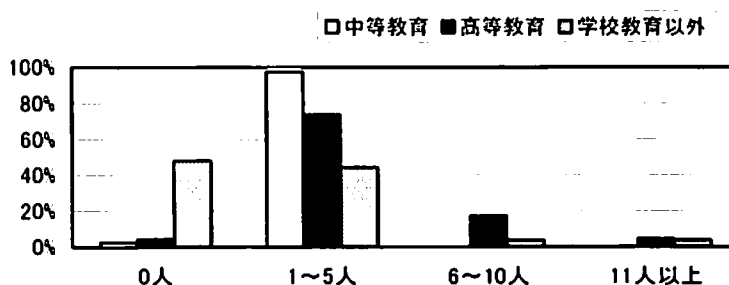


図2-1: 常勤教師数

### 2-1-2. 非常勤教師数

非常勤教師数は、中等教育では「0人」が94.9%と最も多い。高等教育では、「0人」(56.5%)か「1~5人」(43.5%)、学校教育以外では「1~5人」が51.9%で最も多い（図2-2）。〈機関F1〉

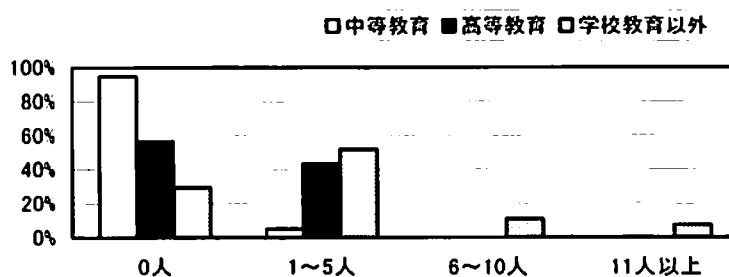


図2-2: 非常勤教師数

### 2-1-3. 常勤と非常勤の割合、マレーシア人と日本人の割合

常勤と非常勤の割合は、中等教育では96.4%、高等教育では80.3%と常勤が多い。学校教育以外では58.7%と非常勤の割合の方がやや多くなっている（図2-3）。常勤教師の中で、マレーシア人と日本人の占める割合を比べると、中等教育ではマレーシア人が100%を占め、高等教育でも61.4%とマレーシア人の方が多い。学校教育以外では日本人の方が60.0%と多くなっている（図2-4）。非常勤教師の場合、中等教

育では日本人が75.0%と多く、高等教育では52.5%でマレーシア人とほぼ半々となっている。学校教育以外ではマレーシア人の方が62.6%と多い（図2-5）。 (機関 F1)

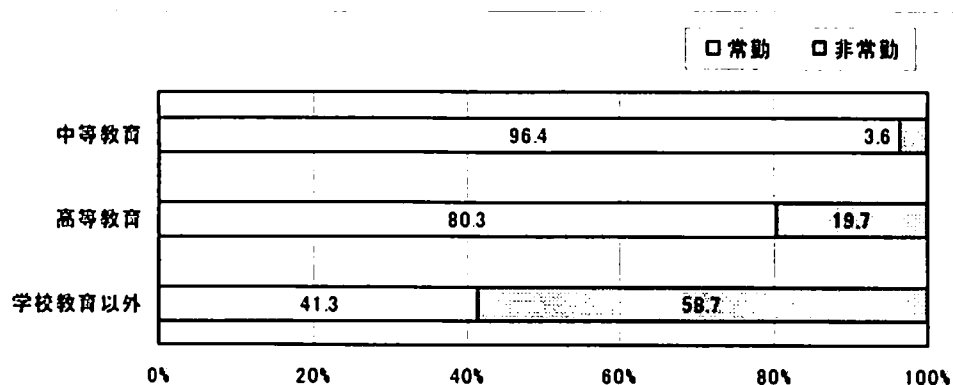


図2-3: 常勤と非常勤の割合の平均値(機関別)

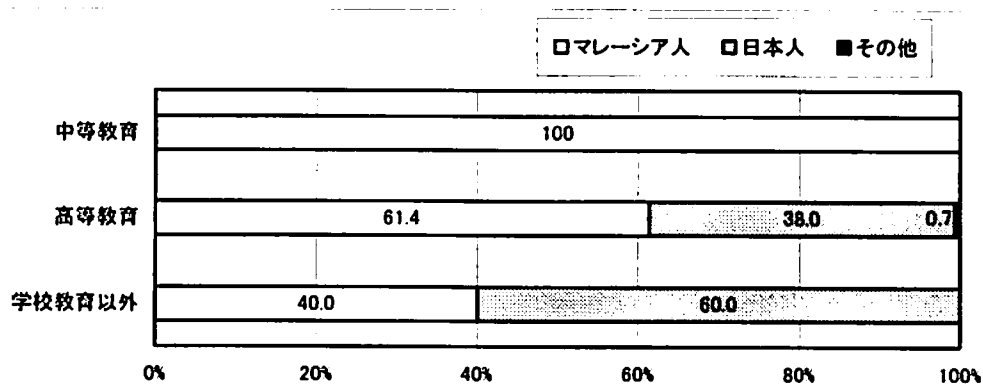


図2-4: マレーシア人と日本人、その他の割合の平均値「常勤教師」(機関別)

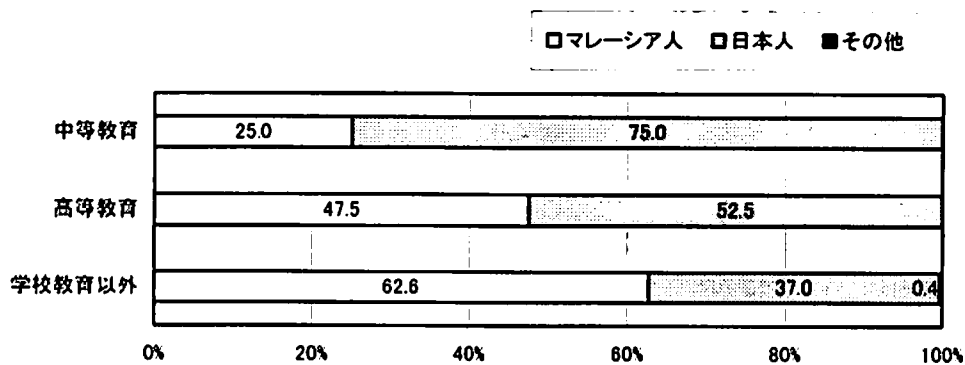
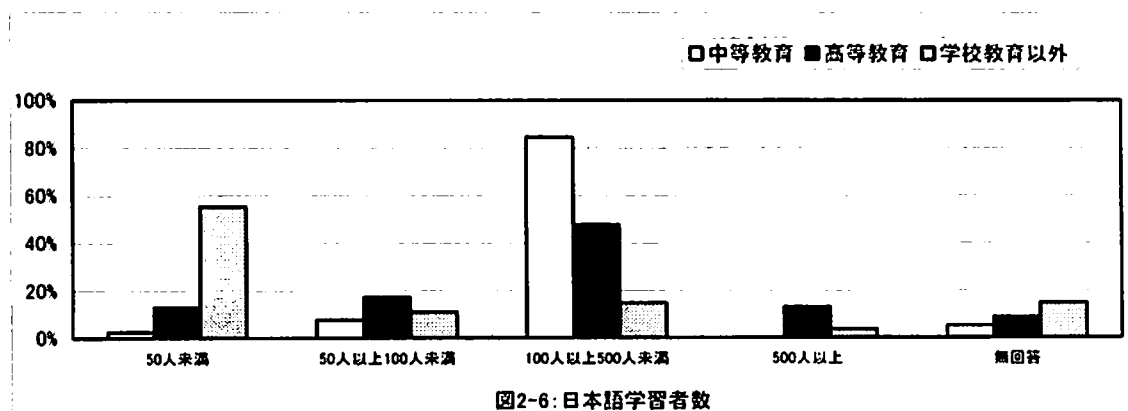


図2-5: マレーシア人と日本人、その他の割合の平均値「非常勤教師」(機関別)

## 2-2. 学習者数について

ここでは、学習者数について尋ねた結果を報告する。

中等教育では、「100人以上500人未満」が84.6%と最も多い。高等教育でも同様であるが、47.8%となっている。学校教育以外では「50人未満」が55.6%と最も多い(図2-6)。 (機関F2)

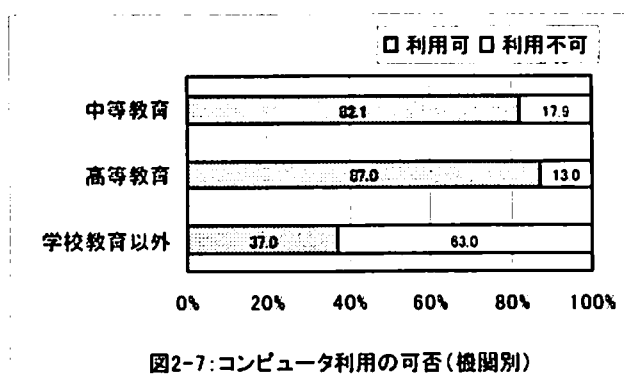


なお、学習者の所属・学年等、詳しい内訳については、第3章表3-1 (p.20) にまとめた。

## 2-3. 利用設備について

ここでは、コンピュータ等の設備の利用について尋ねた結果を報告する。

### 2-3-1. コンピュータの利用



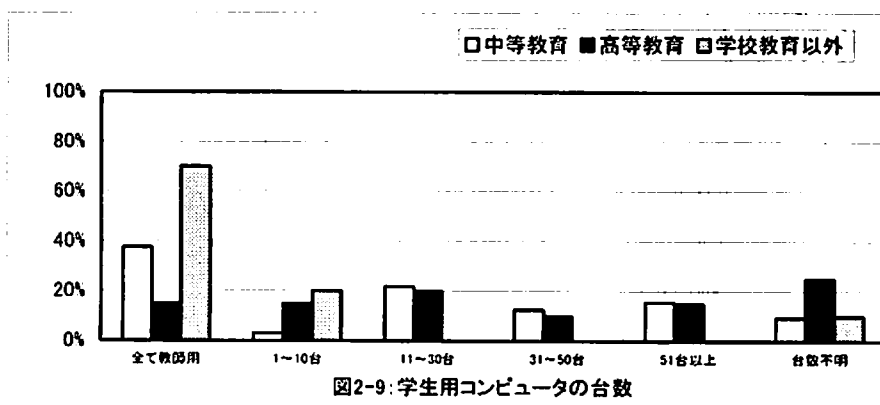
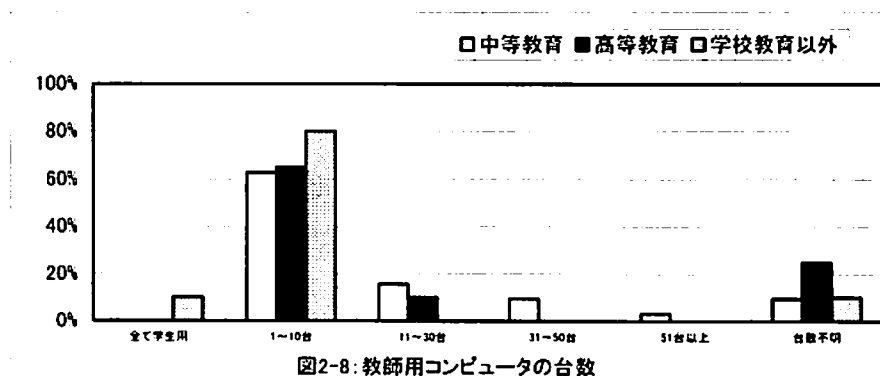
日本語関係の教師や学習者が利用できるコンピュータがあるかどうかについて尋ねた。中等教育では82.1%、高等教育では87.0%で利用可能となっているが、学校教育以外では37.0%と低い(図2-7)。

(機関F3-1)

利用可能台数について尋ねたところ、まず教師用は、所属(中等教育、高等教育、学校教育以外)に関わらず「1~10台」が最も多い(62.5%・65.0%・80.0%)。学習者用としては、中等教育では「全て教師用」が37.5%と最も多いが、高等教育と同様に「1~10台」「11~30台」「31~50台」「51台以上」に分散

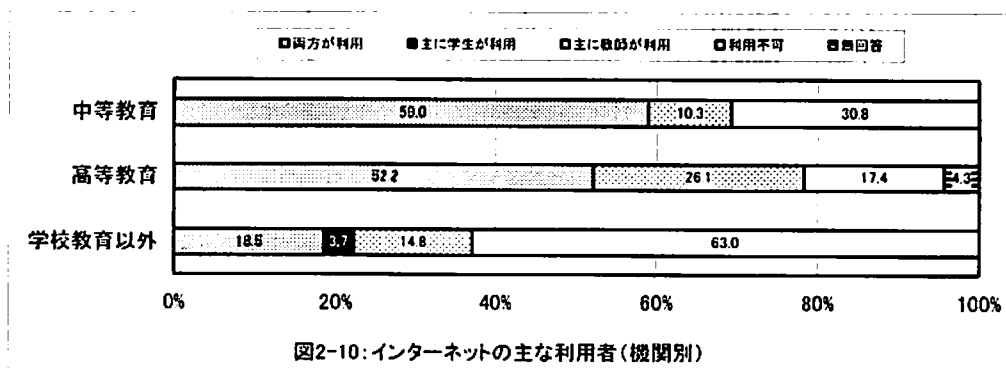
している。学校教育以外では「全て教師用」が70.0%と最も多い(図2-8・2-9)。なお、括弧内に、数値が3つ並ぶ場合、「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の数値が順に示してある(以下同様)。

(機関 F3-1)



### 2-3-2. インターネットの利用

インターネットを利用できるかどうかについて尋ねたところ、中等・高等教育では「利用不可」が30.8%・17.4%で、「学習者も教師も両方利用可能」が59.0%・52.2%と最も多い。学校教育以外では63.0%の機関が「学習者も教師も利用不可」であった(図2-10)。(機関 F3-2)



### 2-3-3. テレビ・ビデオ視聴

テレビ・ビデオ視聴について尋ねたところ、中等教育では84.6%が「学習者と教師の両方可能」となっている。高等教育・学校教育以外ではその割合が47.8%・37.0%と低くなり、「利用不可」が17.4%・40.7%となっている(図2-11)。(機関F3-3)

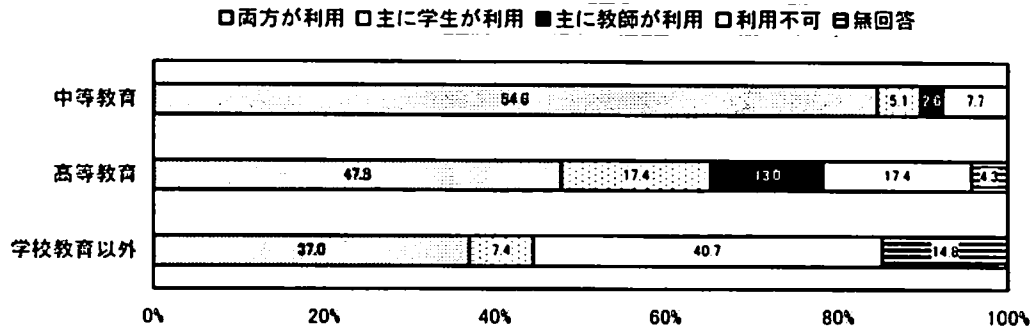


図2-11:テレビ・ビデオの主な利用者(機関別)

### 2-3-4. LL

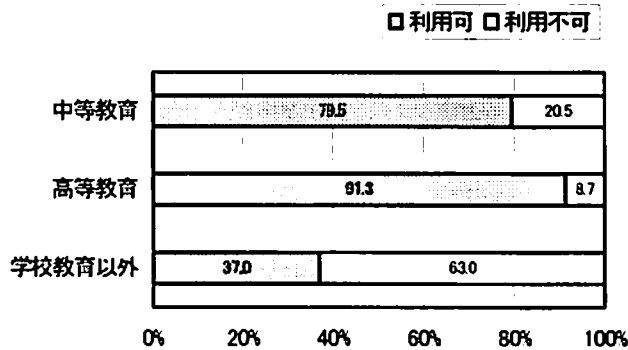


図2-13:OHPの利用の可否(機関別)

LLを利用できるかどうかについて尋ねたところ、中等教育・学校教育以外では92.3%・85.2%の割合で「利用不可」となっている。高等教育では52.2%と半数が「利用可能」となっている(図2-12)。(機関F3-4)

(機関F3-4)

### 2-3-5. OHP

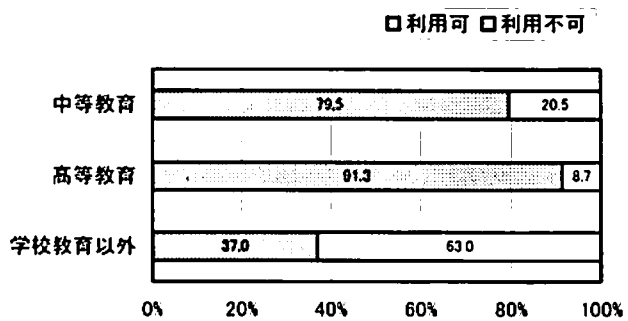
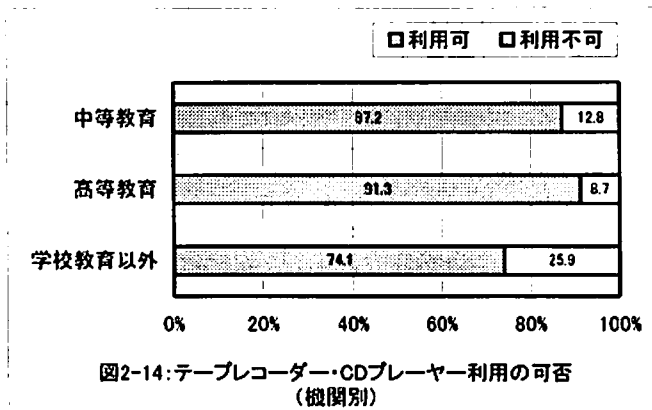


図2-13:OHPの利用の可否(機関別)

OHPを利用できるかどうかについて尋ねたところ、中等・高等教育では79.5%・91.3%の割合で「利用可能」が多い。学校教育以外では63.0%が「利用不可」となっている(図2-13)。(機関F3-5)

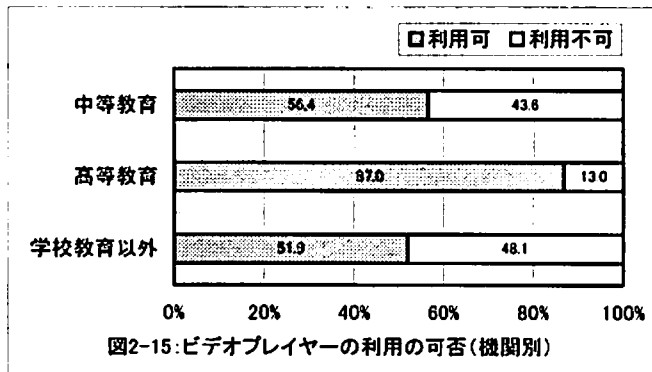
(機関F3-5)

### 2-3-6. テープレコーダー・CDプレーヤー



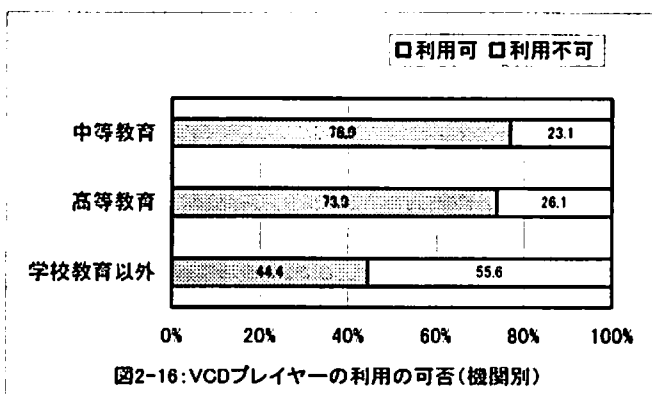
テープレコーダー・CDプレーヤーを利用できるかどうかについて尋ねたところ、どの種別の機関でも「利用可能」が多い(図2-14)。 (機関 F3-6)

### 2-3-7. ビデオプレーヤー



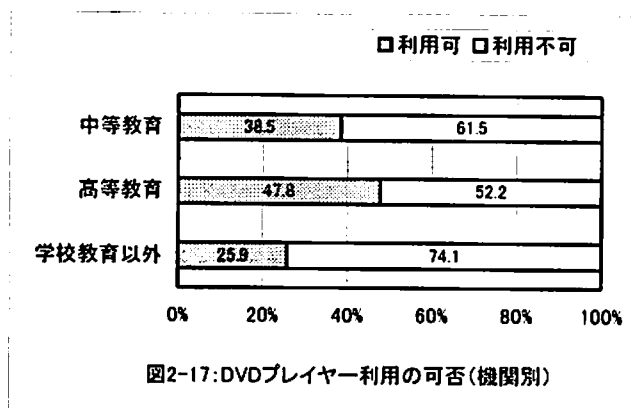
ビデオプレーヤーを利用できるかどうかについて尋ねたところ、高等教育では87.0%が「利用可能」で、中等教育・学校教育以外では、半数が「利用可能」となっている(56.4%・51.9%) (図2-15)。 (機関 F3-7)

### 2-3-8. VCDプレーヤー



VCDプレーヤーを利用できるかどうかについて尋ねたところ、中等・高等教育では76.9%・73.9%が「利用可能」となっているが、学校教育以外では55.6%の割合で「利用不可」の方が多く(図2-16)。なお、「VCD」は「ビデオCD」を示す。 (機関 F3-8)

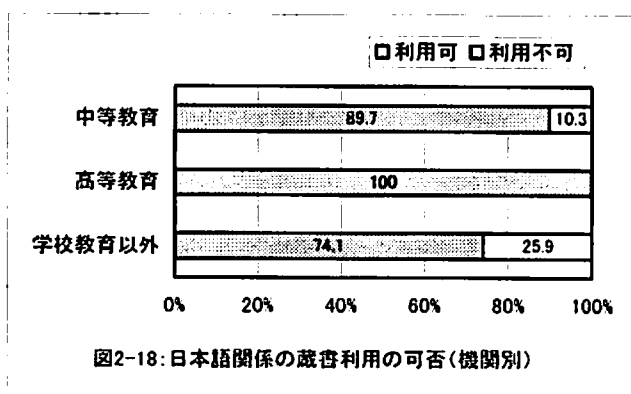
### 2-3-9. DVDプレーヤー



DVDプレーヤーを利用できるかどうかについて尋ねたところ、高等教育では「利用可能」が47.8%と半数であるが、中等教育・学校教育以外では61.5%・74.1%の割合で「利用不可」の方が多いため(図2-17)。

〈機関 F3-9〉

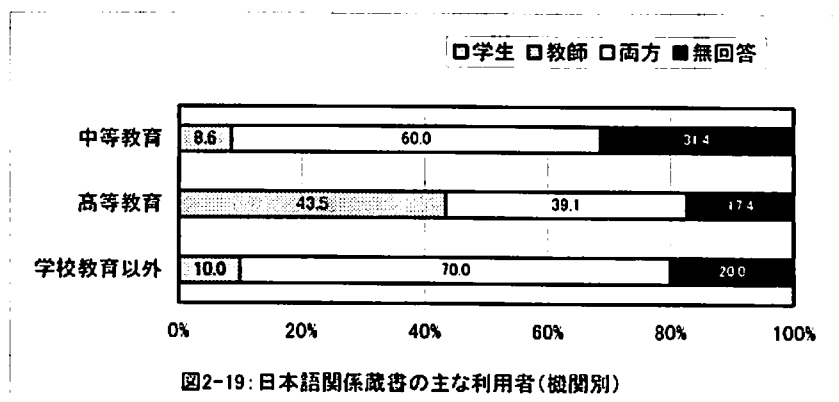
### 2-3-10. 日本語関係図書



日本語関係図書を利用できるかどうかについて尋ねたところ、どの種別の機関でもほぼ利用可能となっている(図2-18)。

主な利用者について尋ねたところ学習者専用図書はどの種別の機関にも存在しない。中等教育・学校教育以外では「学習者と教師の両方可能」が多く(60.0%・70.0%)、高等教育では「教師が利用可能」の方が43.5%と多い(図2-19)。

〈機関 F3-10〉



蔵書数についてもあわせて尋ねたところ、どの種別の機関でも「100冊未満」が最も多く、続いて「100～1000冊」となっている（図2-20）。

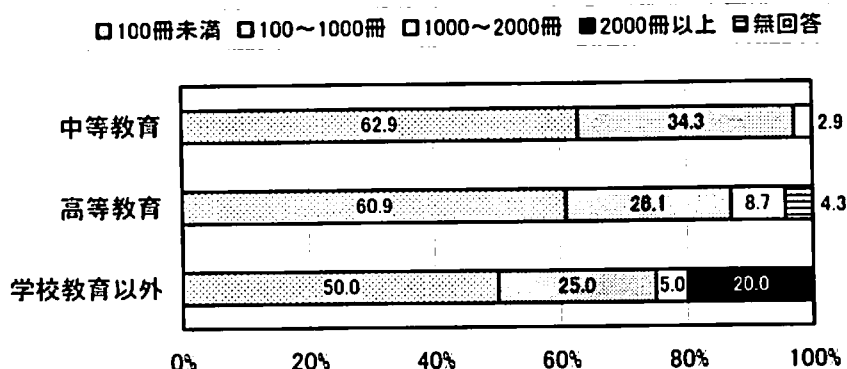


図2-20:日本語関係蔵書数(機関別)

## 2-4. 実施、または参加している日本語関係行事について

ここでは、ビジター・セッション等の実施、または参加している日本語関係行事について尋ねた結果を報告する。

### 2-4-1. ビジター・セッション

まず、ビジター・セッション（学外からゲストを招き、日本・日本語に関する話をしてもらったり、会話相手になってもらったりすること）を実施しているかどうかについて尋ねた。どの種別の機関でも実施しているところは30%程度となっており、実施していない機関の方が多くなっている（図2-21）。

〈機関 F4-1〉

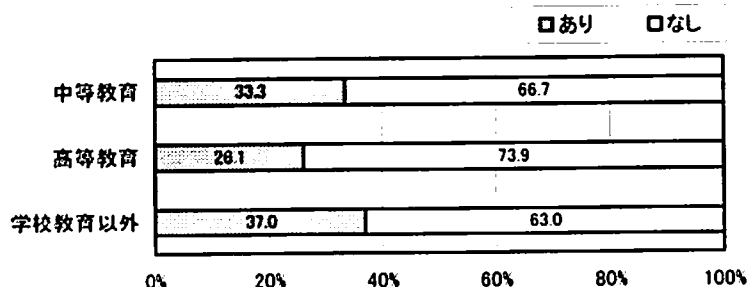


図2-21:「ビジターセッション」実施の有無(機関別)



## 2-4-2. 日本旅行

機関として日本旅行の実施・参加をしているかどうかについて尋ねたところ、中等教育・学校教育以外で実施・参加がみられるが、ほとんど実施されていない（図 2-22）。〈機関 F4-2〉

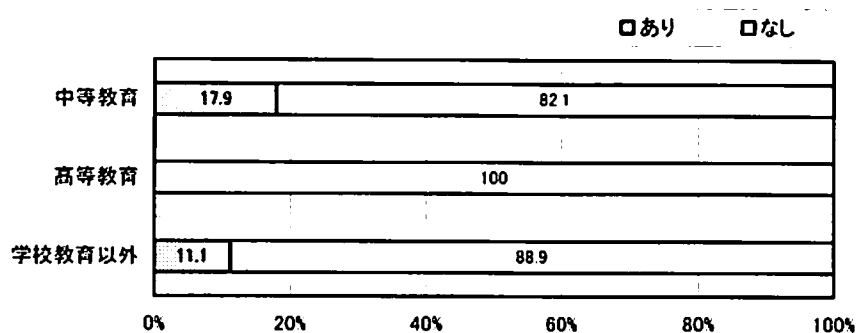


図2-22:「日本旅行」実施・参加の有無(機関別)

## 2-4-3. 日本との交換留学制度

日本との交換留学制度を機関として実施している、または参加しているかどうかについて尋ねたところ、中等教育が 25.6% で最も多く、高等教育・学校教育以外は 10% にも満たない（図 2-23）。〈機関 F4-3〉

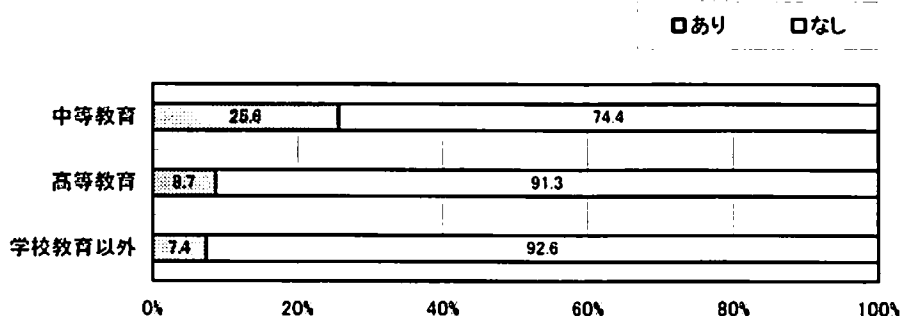


図2-23:「交換留学制度」実施・参加の有無(機関別)

## 2-4-4. スピーチコンテスト

スピーチコンテストを機関で実施している、または参加しているかどうかについて尋ねたところ、中等教育では 53.8% が実施、または参加しており、高等教育・学校教育以外では実施・参加は 39.1%・33.3% にとどまっている（図 2-24）。〈機関 F4-4〉

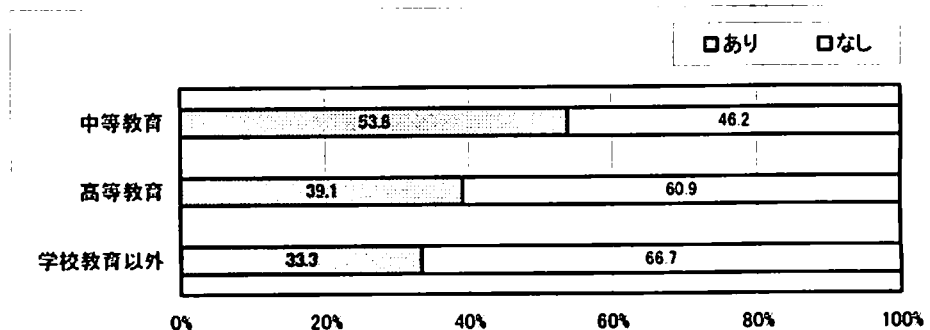


図2-24:「スピーチコンテスト」実施・参加の有無(機関別)

スピーチコンテストを自ら主催しているかどうかについて尋ねたところ、中等教育では「他機関が主催」が76.2%と多い。高等教育では「他機関が主催」(44.4%)「当機関主催と他機関主催の両方」(33.3%)、学校教育以外では「主催」(22.2%)「他機関が主催」(33.3%)「当機関主催と他機関主催の両方」(33.3%)と分散している(図2-25)。

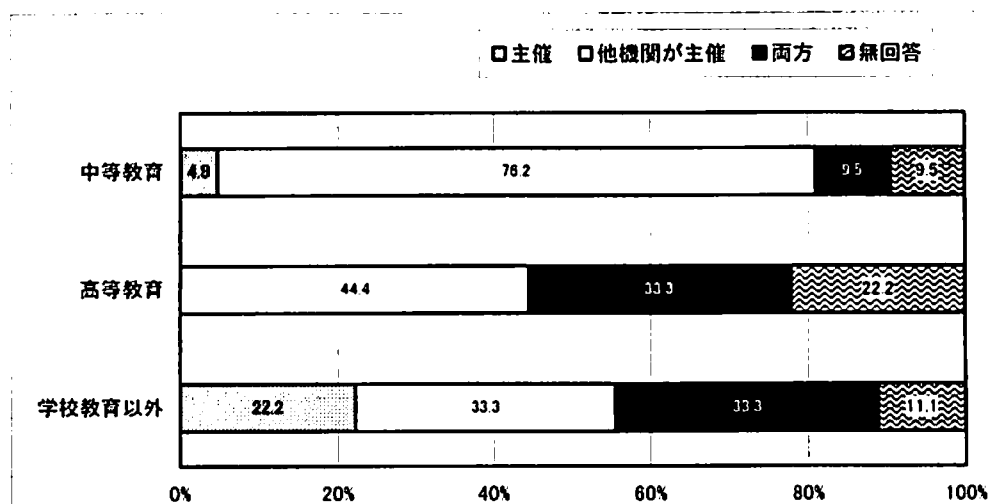
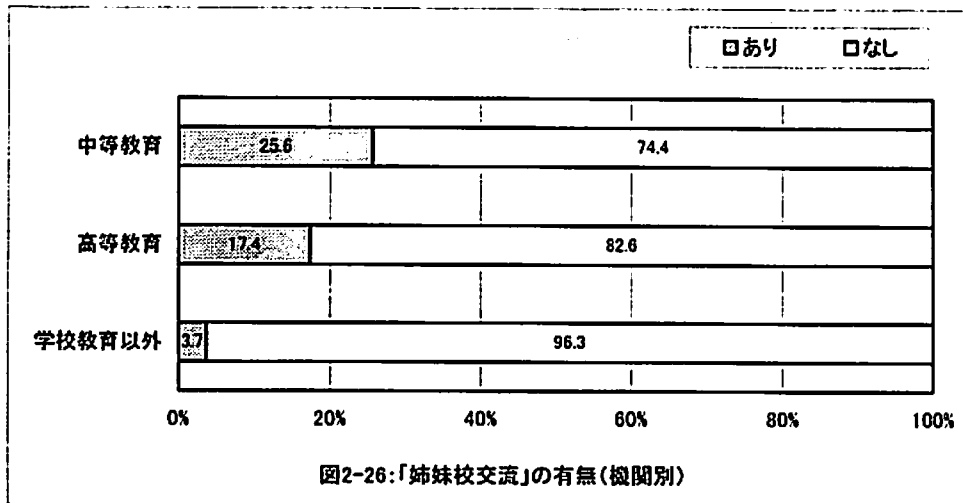


図2-25:「スピーチコンテスト」の主催者(機関別)

#### 2-4-5. 日本にある姉妹校との交流

日本の学校と姉妹校の交流をしているかどうかについて尋ねたところ、どの種別の機関でも「なし」が多く、最も多い中等教育でも「あり」は25.6%にとどまっている(図2-26)。

交流のある機関自体は少ないが、その具体的な内容として、中等教育では「学校訪問受け入れ」「相手校訪問」、高等教育では「学校訪問受け入れ」が多い。(機関F4-5)



#### 2-4-6. その他

選択肢以外に実施している活動として、「日本語週間」「盆踊り」「日本人学校・日本人家庭への訪問」「作文コンテスト」などが挙げられていた。 〈機関 F4-6〉

## 第3章 集計結果：学習者

### 概要と要約

本章では、「学習者」の集計結果について報告する。本章の構成は7節からなるが、具体的な結果を報告する前に、ここでまず各節で取り上げる調査内容とその結果を要約してまとめ、本章全体の概要がわかるように示してある。各節の詳細については、3-1以降の各節を参照されたい。なお、各節の集計結果が、実際に使用した調査票（巻末資料）の中のどの項目に対応するかがわかるように、各節の最後に項目番号を入れた。例えば、「(学F1)」は「学習者用調査票の項目番号F1」を示す。

本調査における学習者の所属別有効回答者数とその内訳（身分）は表3-1のとおりである。分析対象は1-9、表1-5（p.6）に示したとおりである。

〈表3-1：回答者数・内訳〉（ ）内は%

	合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	5,360 (100)	2,276 (100)	2,245 (100)	839 (100)
〈内訳〉				
全寮制中高等学校	2,235 (41.7)	2,231 (98.0)	0 ( 0)	4 ( 0.5)
普通中高等学校	74 ( 1.4)	0 ( 0)	0 ( 0)	74 ( 8.8)
上記2種以外の中高等学校	52 ( 1.0)	45 ( 2.0)	0 ( 0)	7 ( 0.8)
大学予備教育課程	537 (10.0)	0 ( 0)	535 (23.8)	2 ( 0.2)
大学	1,718 (32.1)	0 ( 0)	1,652 (73.6)	66 ( 7.9)
短期大学	127 ( 2.4)	0 ( 0)	58 ( 2.6)	69 ( 8.2)
勤労者	535 (10.0)	0 ( 0)	0 ( 0)	535 (63.8)
その他	72 ( 1.3)	0 ( 0)	0 ( 0)	72 ( 8.6)
無回答	10 ( 0.2)	0 ( 0)	0 ( 0)	10 ( 1.2)

#### 〔要約〕：3-1. 学習者について

- ・性別：女性 55.6% > 男性 44.0%      ・国籍：マレーシア 97.3%
- ・年齢：中等教育では10代 (94.9%)，高等教育・学校教育以外では20代 (77.1%・53.3%) が最も多い。
- ・母語：中等教育ではマレー語 (91.8%)，高等教育・学校教育以外では中国語 (51.4%・55.2%) が最も多い。
- ・学習開始時期：中等教育では「全寮制中高等学校から開始」(97.6%)，高等教育では「大学から開始」(67.4%)，学校教育以外では「就職後」(52.3%) が最も多い。
- ・日本語学習場所：中等教育では「全寮制中高等学校」が97.5%，高等教育では「大学」(69.0%) 「大学予備教育課程」(26.1%)，学校教育以外では「民間学校」(14.2%) 「会社」(14.9%) 「その他」(56.9%) で、全体的に所属先以外の場所でも学習する人は少ない。
- ・訪日経験：学習者全体の5.2%しか訪日経験がない。
- ・訪日目的：①「観光」(39.5%) が共通して多く，②「国際交流」(19.2%)，③「企業研修」(12.1%)。
- ・日本語学習動機：所属に共通して「日本語に興味がある」が多い。
- ・日本語力  
読むこと：所属に共通して、「ひらがなとカタカナが読める」(51.4%・38.2%・36.0%)，「簡単な文章

ならだいたい理解できる」(30.9%・32.5%・30.4%)の順に多い。

書くこと：所属に共通して、「ひらがなとカタカナが書ける」(50.1%・41.0%・39.0%)、「短い文を書くことができる」(25.7%・27.1%・21.5%)の順に多い。

聞くこと：所属に共通して、「日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる」(64.1%・59.9%・52.9%)が多い。

話すこと：所属に共通して、「簡単な自己紹介ができる」(52.8%・45.7%・40.3%)、「日常生活に必要な表現を状況に応じて使える」(29.2%・24.7%・25.1%)の順に多い。

注：括弧内に、数値が3つ並ぶ場合、「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の数値が順に示してある（以下同様）。

### (要約)：3-2. 日本語を使っのやりとりについて

- ・日本語を使っのやりとりの有無：全体で1,508人(28.1%)が「はい」、3,743人(69.8%)が「いいえ」と答え、所属に共通してやりとりがない学習者の方が多い。
- ・やりとりの相手：①「日本語の教師」(1,099人)、②「学校の友人」(1,031人)、③「知り合い」(535人)
- ・やりとりの方法：所属に共通して、相手が「日本語の教師」「学校の友人」の場合は、直接の「会話」が約90%と多いが、相手が「知り合い」の場合は直接の「会話」は60%程度で、「電子メール」「チャット」など、別の方法も用いている。
- ・最もよくやりとりをする相手：全体では①「日本語の教師」(38.2%)、②「学校の友人」(27.9%)、③「知り合い」(7.3%)

以下、「最もよくやりとりをする相手」について。

- ・やりとりをする相手の国籍：中等教育では「マレーシア人」(93.9%)が多く、高等教育・学校教育以外では「マレーシア人」(55.0%・45.8%)と「日本人」(41.4%・49.0%)が同程度。
- ・やりとりをする相手の性別：全体で女性が55.5%
- ・やりとりを始めた頃の日本語力：所属に共通して「少しできた」(72.1%・55.3%・50.0%)が最も多い。
- ・やりとりをする頻度：中等教育では「週2,3回」(51.1%)、高等教育・学校教育以外では「毎日」(48.0%・35.7%)が最も多い。
- ・やりとりをする手段：直接相手と「会って話す」(80.9%・79.5%・68.2%)が所属に共通して最も多い。
- ・やりとりをするときの日本語の割合：所属に共通して「日本語と他の言語が半々」(63.4%・36.4%・45.5%)、続いて「主に他の言語」(29.3%・30.7%・26.2%)の順で多い。
- ・やりとりの内容：全体では「生活について」(38.1%)「勉強について」(36.9%)「日本語について」(25.7%)の順に多い。
- ・日本語でやりとりをする理由：全体的に「日本語を使うのは楽しいから」「日本語能力向上や維持のため」「日本語の母語話者と話したいから」が高い。
- ・授業以外で日本語を使わない理由：全体では「自分の日本語力が充分ではないから」(63.0%)「日本語を使う相手がいないから」(14.6%)が多い。

### (要約)：3-3. 日本語が使われているものとの接触について

- ・身の回りで日本語が使われているものの有無：「はい」3,765人(70.2%)、「いいえ」1,503人(28.0%)
- ・日本語の授業以外での見聞きの有無：「はい」3,383人(89.9%)、「いいえ」382人(10.1%)
- ・見聞きするもの：所属に共通して、「テレビ」「ビデオ・VCD・DVD」が多い。所属別では、中等教育で「ゲームソフト」(50.0%)「マンガ・アニメ」(49.1%)が続き、高等教育・学校教育以外では、「CD」(39.9%・39.0%)が多い。

- ・最もよく見聞きするもの：全体では①「ビデオ・VCD・DVD」(29.6%)、②「テレビ」(20.7%)、③「本」(10.0%)

以下、「最もよく見聞きするもの」について。

- ・見聞きする頻度：

中等教育では「月 2,3 回」(41.8%) が最も多く、高等教育では「月 2,3 回」(29.6%) と「週 2,3 回」(27.5%) が同程度に多く、学校教育以外では「週 2,3 回」(33.9%) が最も多い。

- ・見聞きするものの所有者：「自分」(43.7%) が最も多いが、中等教育では「家族」も 33.1% と同程度に多い。

- ・見聞きするものの内容：全体では、「社会・生活」(37.9%)、「日本語・日本語学習」(19.5%)、「文化・芸術」(14.1%) の順で多く、所属別に見ても、「社会・生活」が共通して最も多い。

- ・見聞きする理由：所属に共通して「楽しいから」の評価が最も高い。

- ・授業以外で日本語のものを見聞きしない理由：

「自分の日本語力が充分でないから」が 73.0% で最も多い。

### (要約)：3-4. 授業時間外の教科書等の使用について

- ・使用の有無：

「はい」4,059 人 (75.7%)、「いいえ」1,217 人 (22.7%)。所属別に見ると、学校教育以外で「はい」と答えている人が 66.9% と比較的低い。

- ・授業時間外の使用方法：①「語句の意味を調べる」(77.4%)、②「暗記・暗唱する」(69.2%)、③「練習問題を解く」(50.3%)

- ・授業時間外に教科書などを使用しない理由：

①「授業以外の時間に日本語の勉強をしないから」(36.2%) が最も多く、続いて②「どうやって使ったらいいかわからないから」(22.8%)。

### (要約)：3-5. 利用経験のある機会や場所について

- ・利用経験の有無：

「はい」1,515 人 (28.3%)、「いいえ」3,690 人 (68.8%)。

- ・利用経験のある機会や場所（マレーシアにおいて）：

1,357 人 (89.6%) がマレーシアで、165 人 (10.9%) が日本で経験がある。マレーシアでの経験について、全体では①「日本人との交流会」(50.6%)、②「日本・日本語に関するイベント」(36.8%)、③「日本・日本語に関する資料センター・図書館」(31.2%)。

- ・利用経験のある機会や場所（日本において）：

全体では①「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(60.0%)、②「日本人との交流会」(49.1%)、③「日本人のいる場所、日本人が集まる場所」(23.6%)

- ・再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無：「ある」88.2%

- ・再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所：

①「日本人との交流会」(32.1%) が共通して高く、全体では②「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(13.7%)、③「日本・日本語に関するイベント」(11.2%)。

**(要約)：3-6. 日本語学習のために現在使っているものについて**

- ・現在使っているもの：所属に共通して①「学習参考書・問題集」(86.8%)が圧倒的に多く、②「日本語の映画」(46.8%)、③「日本語の歌」(44.1%)となっている。
- ・現在使っている学習参考書・問題集：①「語彙」(61.0%)、②「会話」(46.0%)、③「漢字」(37.5%)

**(要約)：3-7. 今後の充実を希望するものについて**

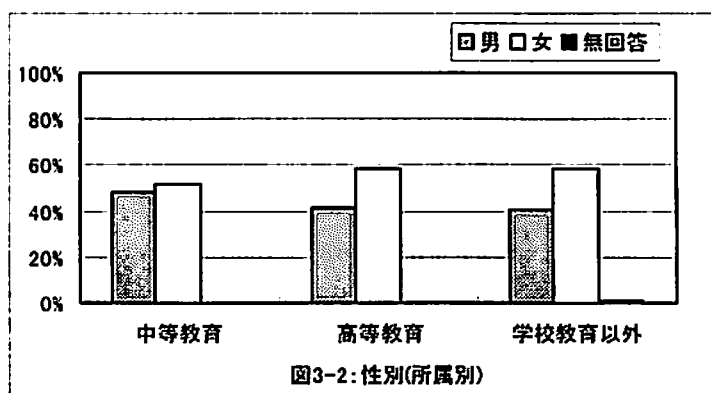
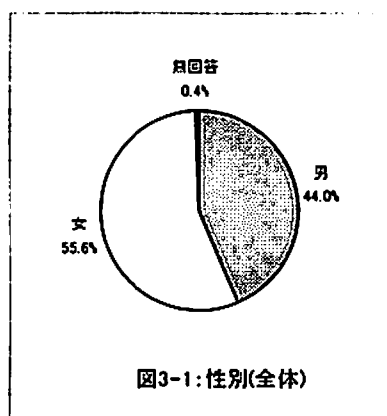
- ・充実を希望するもの：①「辞書」(79.4%)、②「学習参考書・問題集」(62.8%)、③「日本語の映画」(53.3%)、④「日本人家庭への訪問、ホームステイ」(49.1%)、⑤「留学の機会」(45.3%)
- ・充実を希望する学習参考書・問題集：全体では①「会話」(55.5%)、②「語彙」(51.6%)の順に高いが、中等教育では「語彙」の方が59.3%と高い。
- ・充実を希望する辞書：中等教育では、「日馬辞典」(74.8%)「馬日辞典」(67.6%)が高く、高等教育・学校教育以外では「和英辞典」(46.3%・49.1%)が高い。

### 3-1. 学習者について

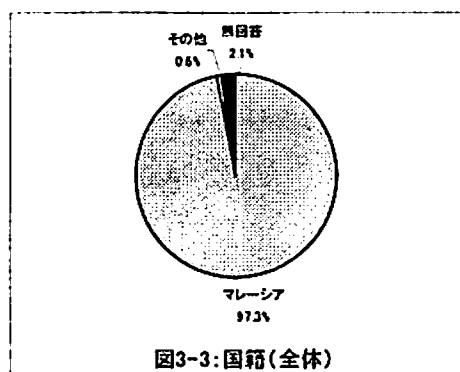
ここでは、本調査に回答した学習者の性別、年齢、訪日経験とその目的、日本語学習動機、日本語力等の基礎的情報について尋ねた結果を報告する。

#### 3-1-1. 性別

学習者全体の性別は、女性が 55.6%、男性が 44.0% で女性が多い (図 3-1)。所属別では、中等教育ではほぼ同じ割合となっている (図 3-2)。(学 F1)



#### 3-1-2. 国籍

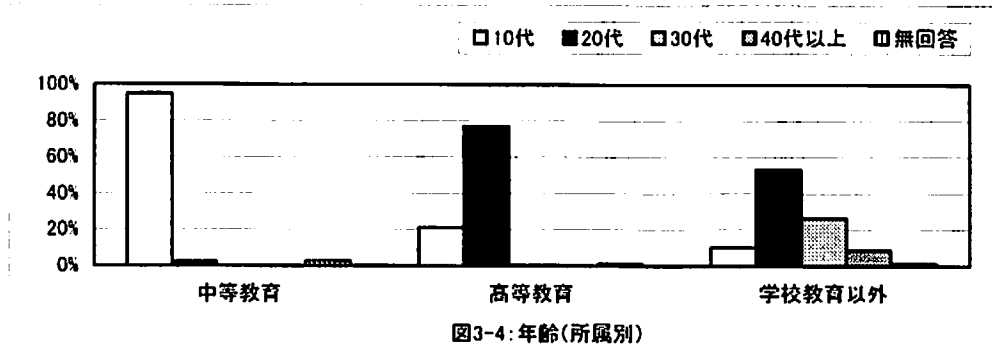


国籍は、所属に共通してほとんどマレーシア (97.3%) である。「その他」として、「マレーシア以外の東南アジア諸国」「中国」「イギリス」「日本」「二重国籍」が僅かにみられた (図 3-3)。(学 F2)

#### 3-1-3. 年齢

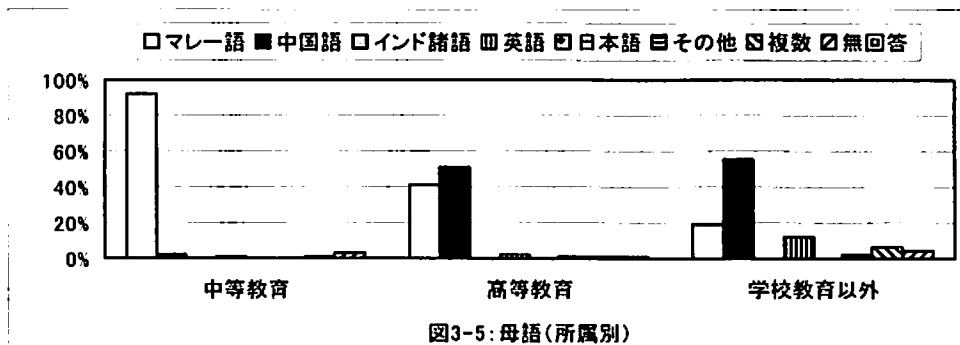
学習者の年齢は、中等教育では 10 代が 94.9%、高等教育では 20 代が 77.1% と最も多い。学校教育以外では、20 代が 53.3% と最も多い。30 代は中等・高等教育に比べると多い (図 3-4)。(学 F3)





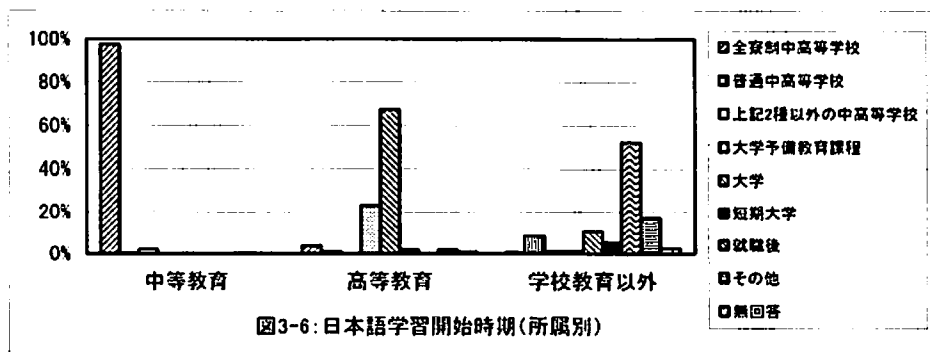
### 3-1-4. 母 語

調査対象となった学習者の母語は、中等教育ではマレー語（91.8%）が最も多く、高等教育・学校教育以外では中国語（51.4%・55.2%）が最も多い（図3-5）。 〈学 F4〉



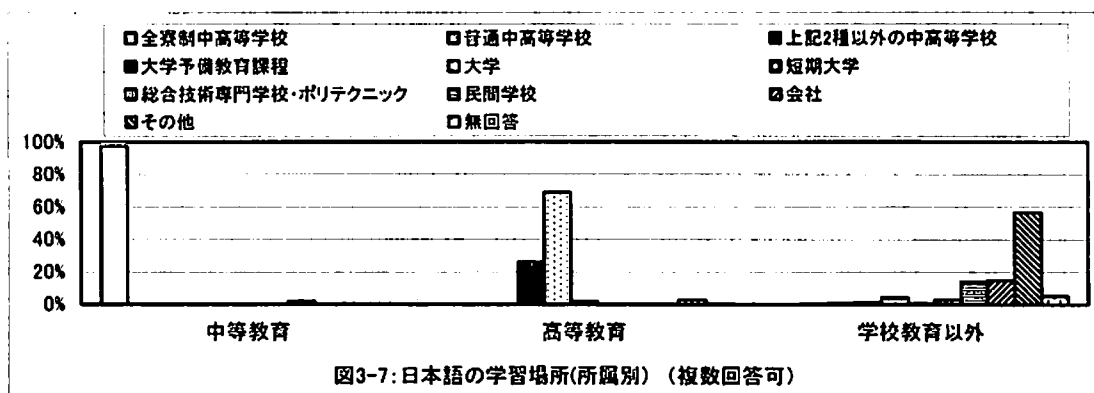
### 3-1-5. 日本語学習開始時期

中等教育では「全寮制中等学校から開始」が97.6%、高等教育では「大学から開始」が67.4%、学校教育以外では「就職後」が52.3%で最も多い（図3-6）。また学校教育以外の「その他」としては「交換プログラムなどで訪日後」「小学校から開始」が多く挙げられた。 〈学 F6〉



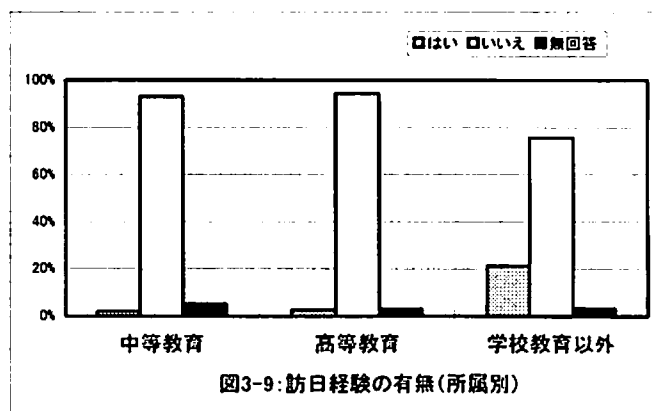
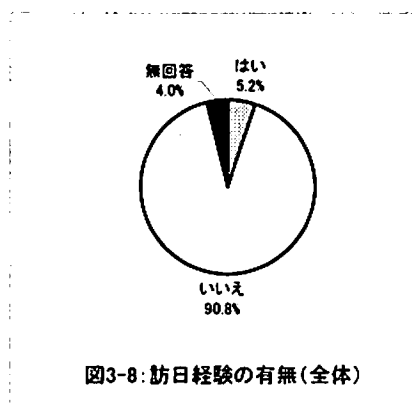
### 3-1-6. 日本語の学習場所

中等教育では「全寮制中等高等学校」が 97.5%，高等教育では「大学」(69.0%)「大学予備教育課程」(26.1%)，学校教育以外では「民間学校」(14.2%)「会社」(14.9%)「その他」(56.9%)で，全体的に所属先以外の場所でも学習する人は少ない。(図 3-7)。 (学 F7)



### 3-1-7. 訪日経験

学習者全体の 5.2%しか訪日経験がない (図 3-8)。所属別に見ると，学校教育以外では 21.2%の学習者が訪日経験がある (図 3-9)。 (学 F8)



### 3-1-8. 訪日目的

3-1-7で見た訪日経験のある 281 人の訪日目的は，表 3-2 のとおりである。全体では，「観光」(39.5%)が共通して多く，②「国際交流」(19.2%)③「企業研修」(12.1%)が続いている。所属別では，学校教育以外で「企業研修」(18.5%)が2位に入っている。「その他」では，「交換留学」が共通して挙げられた (図 3-10)。 (学 F8-2)

〈表 3-2：訪日目的〉（ ）内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	観光 (39.5%・111人)	観光 (52.4%・22人)	観光 (39.3%・24人)	観光 (36.5%・65人)
2位	国際交流 (19.2%・54人)	家族滞在 (19.0%・8人)	国際交流(31.1%・19人)	企業研修(18.5%・33人)
3位	企業研修 (12.1%・34人)	親族訪問 (16.7%・7人)	家族滞在(16.4%・10人)	国際交流(18.0%・32人)

(複数回答可)

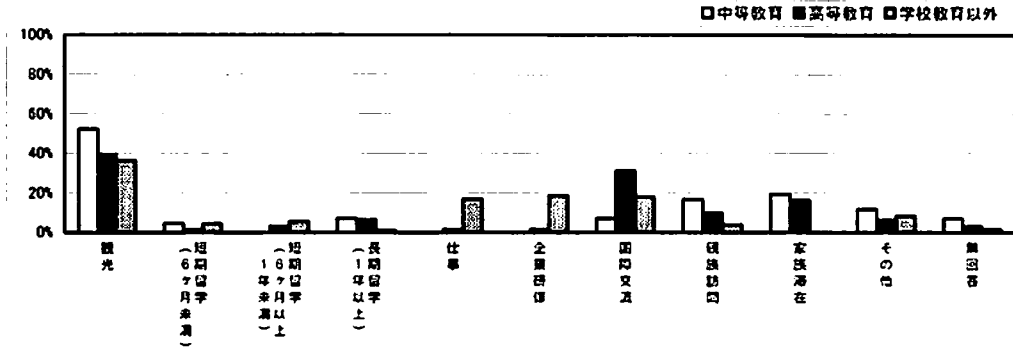


図3-10:訪日目的(項目別) (複数回答可)

### 3-1-9. 日本語学習動機

日本語学習を始めた理由や動機については、各項目について1位を3点、2位を2点、3位を1点として合計得点を順位付けしたところ、表 3-3 のようになった。所属別を見ても、全てを通じて「日本語に興味がある」が最も多かった。「日本に行きたい」「日本のものが好きだ」も共通している。所属別では、中等教育では「学校の授業にある」、学校教育以外では「現在の仕事に必要な」が多い。

「その他」としては、高等教育で「日本に留学するため」「日本留学プログラムの奨学生だから」、学校教育以外で「言葉に興味があるから」「日本で技術研修を受けるため」などが挙げられていた。(学F9)

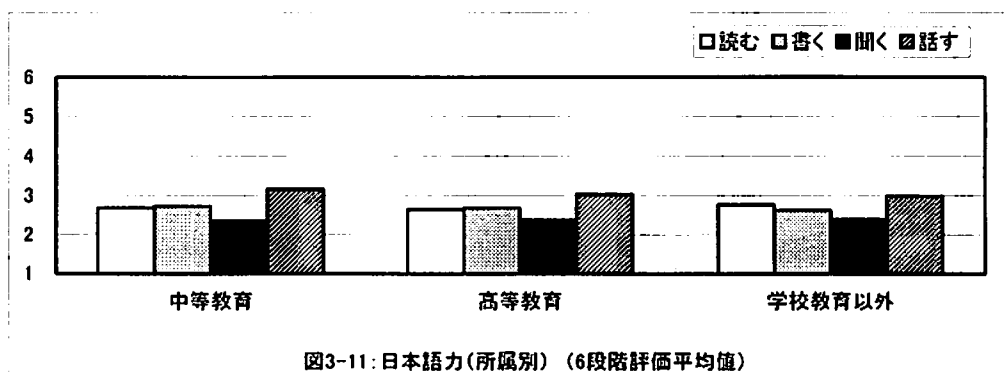
〈表 3-3：日本語学習動機〉（ ）内は合計得点

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語に興味がある (6,594)	日本語に興味がある (2,891)	日本語に興味がある (2,805)	日本語に興味がある (898)
2位	日本に行きたい (3,560)	日本に行きたい (1,623)	日本に行きたい (1,526)	現在の仕事に必要な (487)
3位	日本のものが好きだ (2,238)	学校の授業にある (1,325)	日本の科学技術に興味がある (1,104)	日本に行きたい (411)
4位	日本の科学技術に興味がある (2,203)	日本のものが好きだ (904)	日本のものが好きだ (1,033)	日本の文化や社会についての情報を得たい (376)
5位	学校の授業にある (2,144)	日本の科学技術に興味がある (902)	日本に興味がある (994)	日本のものが好きだ (301)

(複数回答可)

### 3-1-10. 日本語力

現在、どれくらい日本語力があると思うか、4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）について6段階で自己評価してもらった。全体の技能別平均値は図3-11のとおりである。所属に共通して、「聞く」が最も低く、「話す」が最も高い。数値の意味は各技能で異なるが、数値が高いほど、自己評価が高いことを示す（図3-12～3-15参照）。 〈学 F10〉



〈表 3-4：日本語力〉

4技能	合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
読 む	2.67	2.68	2.64	2.76
書 く	2.69	2.72	2.68	2.62
聞 く	2.36	2.34	2.37	2.40
話 す	3.08	3.16	3.03	2.99

(6段階評価平均値)

技能別の結果は以下のとおりである。

#### (1) 「読むこと」

所属に共通して、「ひらがなとカタカナが読める」(51.4%・38.2%・36.0%)、「簡単な文章ならだいたい理解できる」(30.9%・32.5%・30.4%)の順に多い。高等教育・学校教育以外では「全くできない」がそれぞれ16.7%、11.2%いる（図3-12）。なお、括弧内に、数値が3つ並ぶ場合、「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の数値が順に示してある（以下同様）。 〈学 F10-1〉

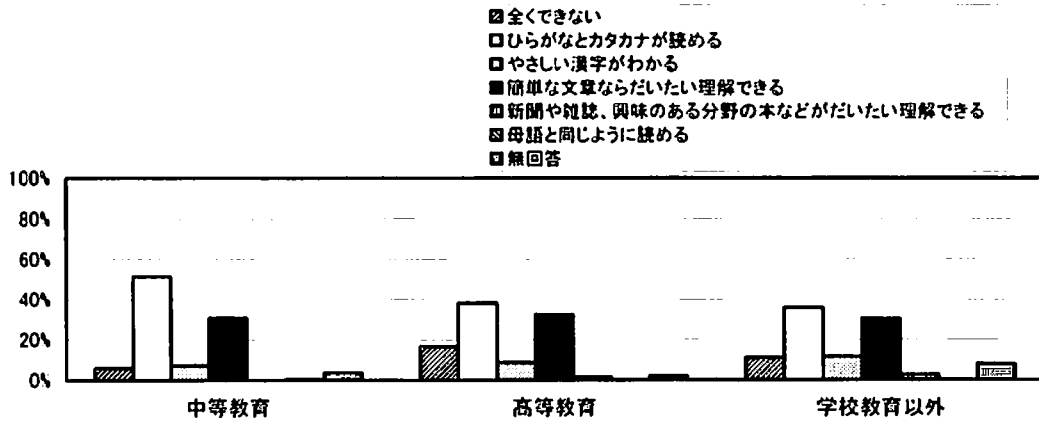


図3-12: 現在の日本語力「読むこと」(所属別)

## (2) 「書くこと」

所属に共通して、「ひらがなとカタカナが書ける」(50.1%・41.0%・39.0%)、「短い文を書くことができる」(25.7%・27.1%・21.5%)の順に多い。高等教育・学校教育以外では、「全くできない」がそれぞれ14.5%・11.0%いる。(図3-13)。 (学F10-2)

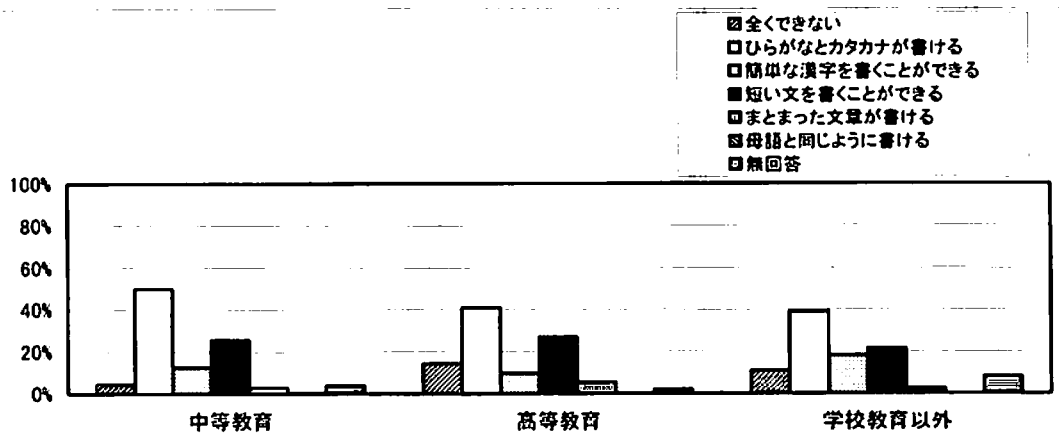
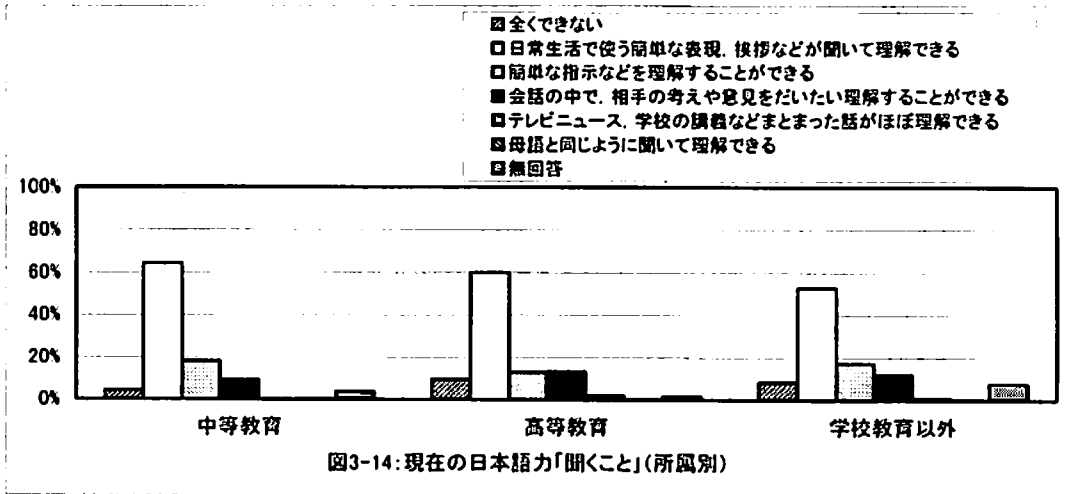


図3-13: 現在の日本語力「書くこと」(所属別)

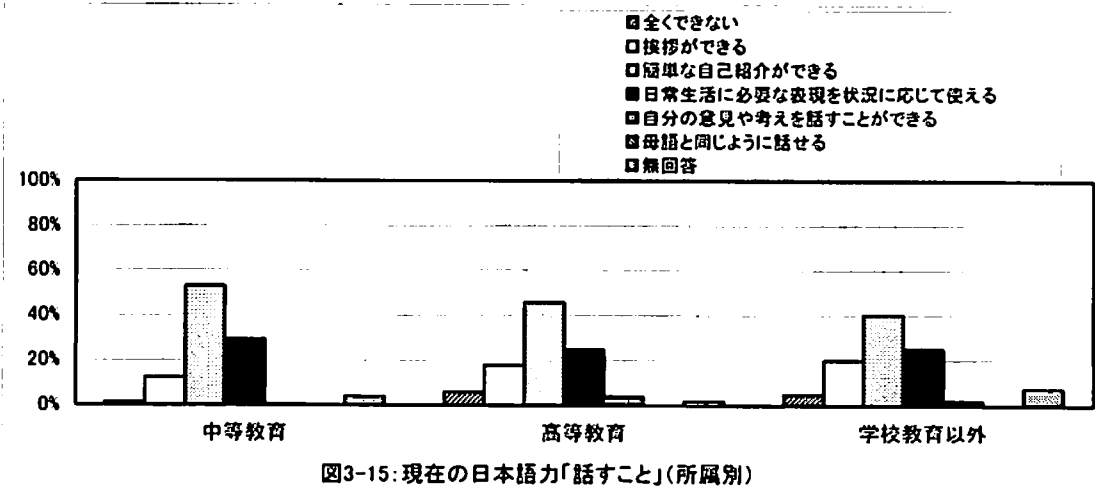
### (3) 「聞くこと」

所属に共通して、「日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる」(64.1%・59.9%・52.9%)が多い(図3-14)。(学F10-3)



### (4) 「話すこと」

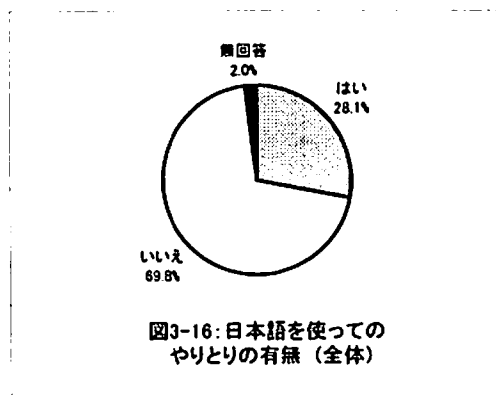
所属に共通して、「簡単な自己紹介ができる」(52.8%・45.7%・40.3%), 「日常生活に必要な表現を状況に応じて使える」(29.2%・24.7%・25.1%)の順に多い(図3-15)。(学F10-4)



### 3-2. 日本語を使っているやりとりについて

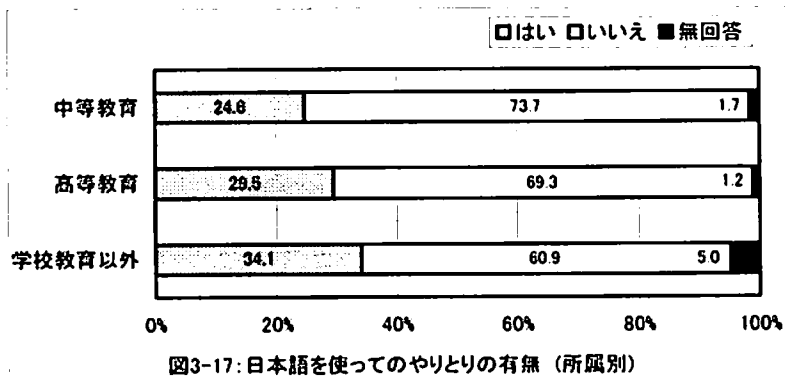
ここでは、日本語の授業以外で学習者が実際に日本語を使っているどのようなやりとりをするのか、やりとりの有無、相手、頻度、手段、内容、理由等について尋ねた結果をまとめる。

#### 3-2-1. 日本語を使っているやりとりの有無



日本語の授業以外における日本語でのやりとりの有無については、全体で1,508人(28.1%)が「はい」、3,743人(69.8%)が「いいえ」と答え、やりとりがない学習者の方が多い(図3-16)。

所属別に見ても、やりとりをしていない学習者の方が多く、最も多い学校教育以外でも「はい」は34.1%にとどまっている(図3-17)。 (学Q1)



〈表3-5: 日本語を使っているやりとりの有無〉( )内は%

		合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	はい	1,508 (28.1)	560 (24.6)	662 (29.5)	286 (34.1)
	いいえ	3,743 (69.8)	1,677 (73.7)	1,555 (69.3)	511 (60.9)
	無回答	109 (2.0)	39 (1.7)	28 (1.2)	42 (5.0)

### 3-2-2. やりとりの相手とその方法

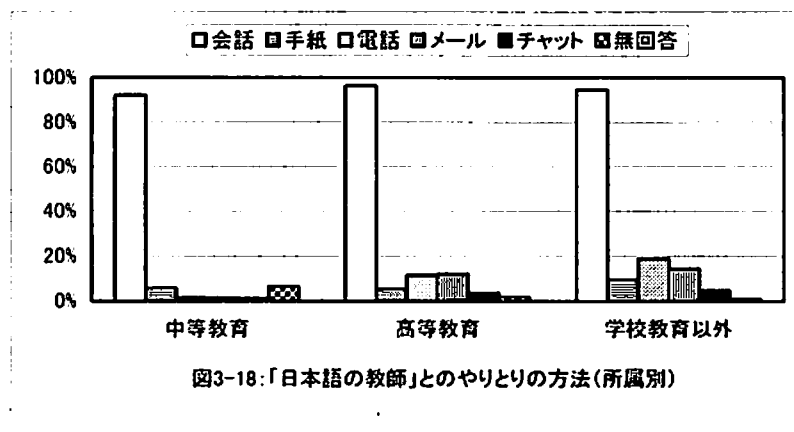
3-2-1でやりとりをしていると回答した学習者に対して、やりとりの相手について尋ねたところ、表3-6のようになった。「日本語の教師」が共通して多く、「学校の友人」「塾や語学学校等のクラスメート」など、日本語を学習する場に関係する人とのやりとりが多いことがうかがえる。 (学Q1-1)

〈表3-6：やりとりの相手〉( )内は回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師 (1,099)	学校の友人 (486)	日本語の教師 (520)	日本語の教師 (186)
2位	学校の友人 (1,031)	日本語の教師 (393)	学校の友人 (466)	塾や語学学校等の クラスメート (149)
3位	知り合い (535)	知り合い (210)	塾や語学学校等の クラスメート (231)	知り合い (112)

(複数回答可)

やりとりの方法としては、表3-6で示した、やりとりの多い相手上位3位(全体)における、やりとりの手段を図3-18、3-19、3-20にまとめる。所属に共通して、相手が「日本語の教師」「学校の友人」の場合は、直接の「会話」によるやりとりが約90%と多いが、相手が「知り合い」の場合は直接の「会話」は60%程度で、「電子メール」「チャット」など、別の方法も用いていることがわかる(図3-18~3-20)。





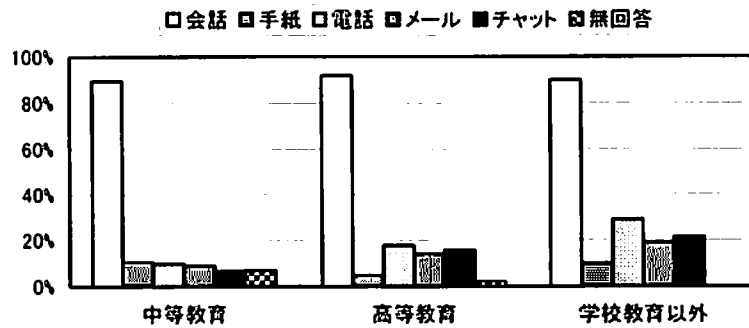


図3-19:「学校の友人」とのやりとりの方法(所属別)

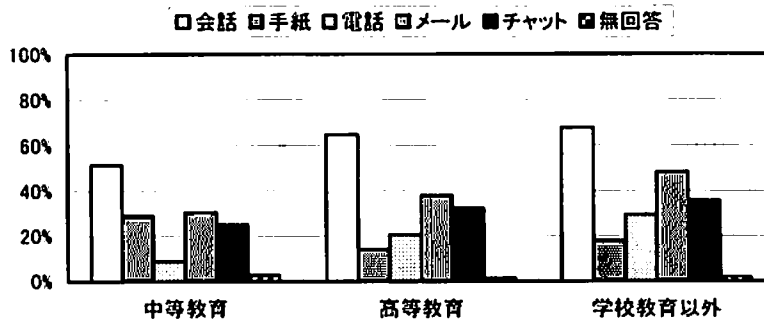


図3-20:「知り合い」とのやりとりの方法(所属別)

### 3-2-3. 最もよくやりとりをする相手

3-2-2の日本語でやりとりをする相手の中で、最もよくやりとりをする相手について尋ねたところ、表3-7のようになった。全体では①「日本語の教師」(38.2%)、②「学校の友人」(27.9%)、③「知り合い」(7.3%)の順で多い。所属別に見ると、中等教育では「学校の友人」が40.4%で「日本語の教師」よりも多い。学校教育以外では「職場の同僚」が11.2%いる。  
(学Q1-2①)

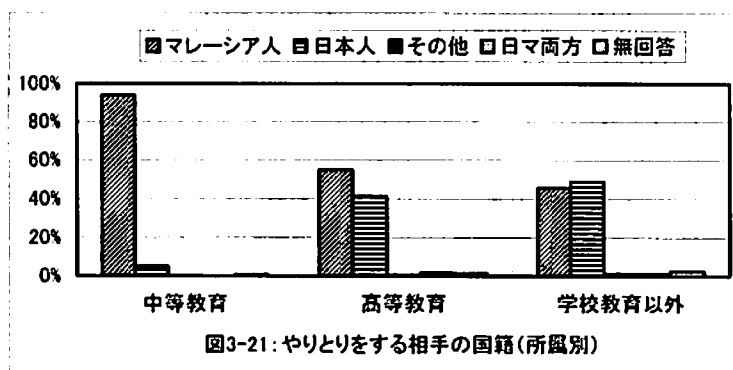
〈表3-7:最もよくやりとりをする相手〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師 (38.2%・576人)	学校の友人 (40.4%・226人)	日本語の教師 (42.7%・283人)	日本語の教師 (28.3%・81人)
2位	学校の友人 (27.9%・420人)	日本語の教師 (37.9%・212人)	学校の友人 (27.0%・179人)	知り合い (11.5%・33人)
3位	知り合い (7.3%・110人)	知り合い (5.9%・33人)	塾や語学学校等のクラスメート (10.1%・67人)	職場の同僚 (11.2%・32人)

以下、3-2-1 1まで、この最もやりとりをする相手を対象に尋ねた結果について報告する。

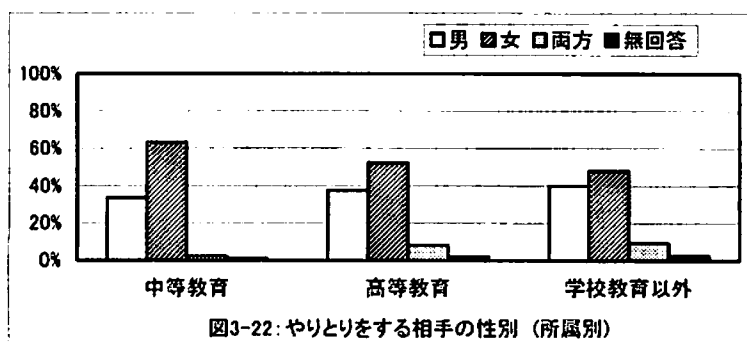
なお、最もよくやりとりをする相手ごとの集計結果については、本報告では扱わない。

### 3-2-4. やりとりをする相手の国籍



最もよくやりとりをする相手の国籍は、中等教育では「マレーシア人」(93.9%)が圧倒的に多く、高等教育・学校教育以外では「マレーシア人」(55.0%・45.8%)と「日本人」(41.4%・49.0%)が同程度に多い(図3-21)。  
(学 Q1-2②)

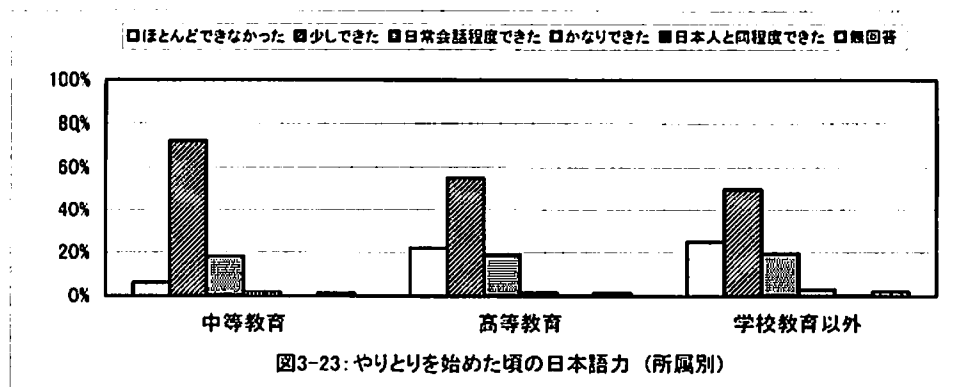
### 3-2-5. やりとりをする相手の性別



最もよくやりとりをする相手の性別は、全体的に「女性」が多い(図3-22)。  
(学 Q1-2③)

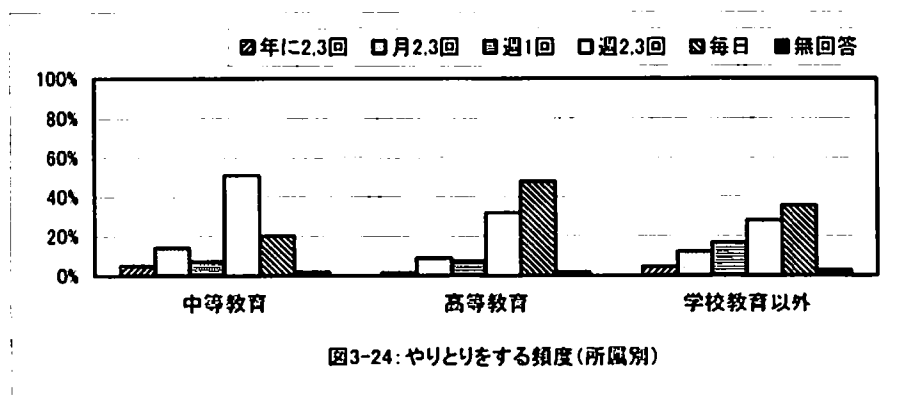
### 3-2-6. やりとりを始めた頃の日本語力

最もよくやりとりをする相手とやりとりをするようになった頃の日本語力について自己評価してもらったところ、所属に共通して「少しできた」(72.1%・55.3%・50.0%)が最も多いが、高等教育・学校教育以外では、「ほとんどできなかった」が22.1%・24.8%と続いている(図3-23)。  
(学 Q1-2④)



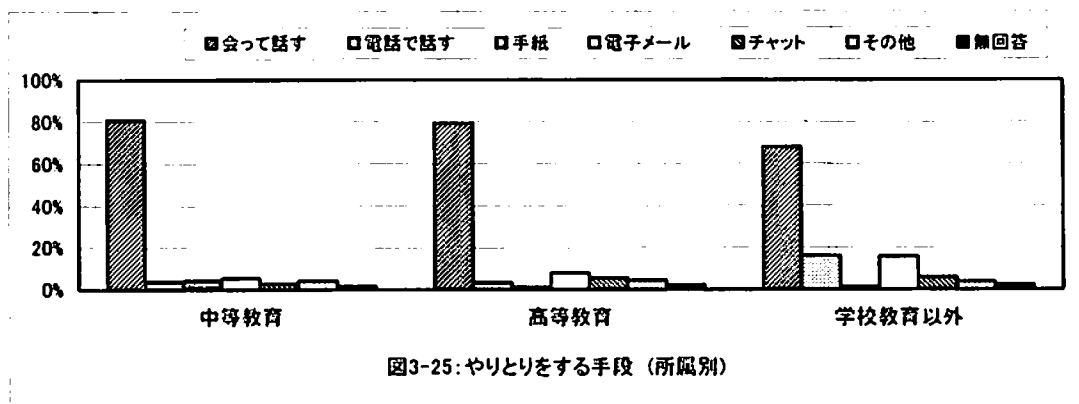
### 3-2-7. やりとりをする頻度

最もよくやりとりをする相手と日本語でやりとりをする頻度は、中等教育では「週2,3回」(51.1%)が最も多く、高等教育・学校教育以外では「毎日」(48.0%・35.7%)が最も多い(図3-24)。〈学Q1-2⑤〉



### 3-2-8. やりとりをする手段

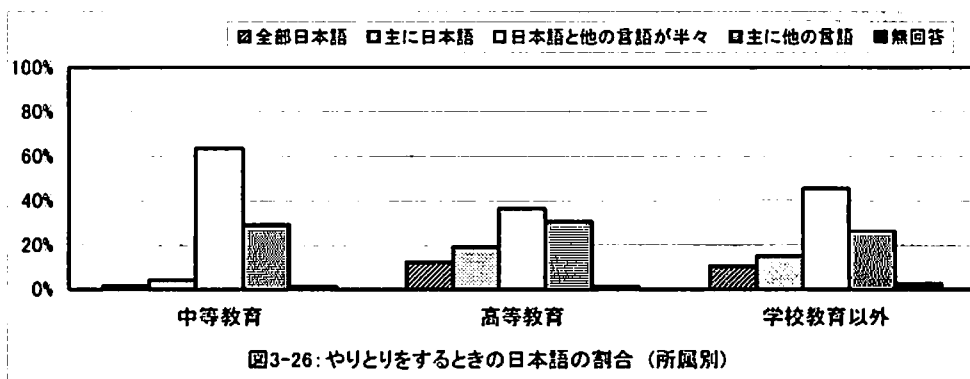
最もよくやりとりをする相手とやりとりをするときの手段は、直接相手と「会って話す」が、中等教育80.9%・高等教育79.5%・学校教育以外68.2%で、所属に共通して最も多い(図3-25)。学校教育以外では、「電話で話す」(16.1%)「電子メール」(15.7%)が、中等・高等教育に比べると多い。〈学Q1-2⑥〉



### 3-2-9. やりとりをするときの日本語の割合

最もよくやりとりをする相手とやりとりをするときに日本語を使用する割合はどのぐらいか尋ねたところ、所属に共通して「日本語と他の言語が半々」(63.4%・36.4%・45.5%), 続いて「主に他の言語」(29.3%・30.7%・26.2%) の順で多いが、高等教育では、「主に他の言語」が30.7%と同程度に高い(図3-26)。

〈学 Q1-2⑦〉



### 3-2-10. やりとりの内容

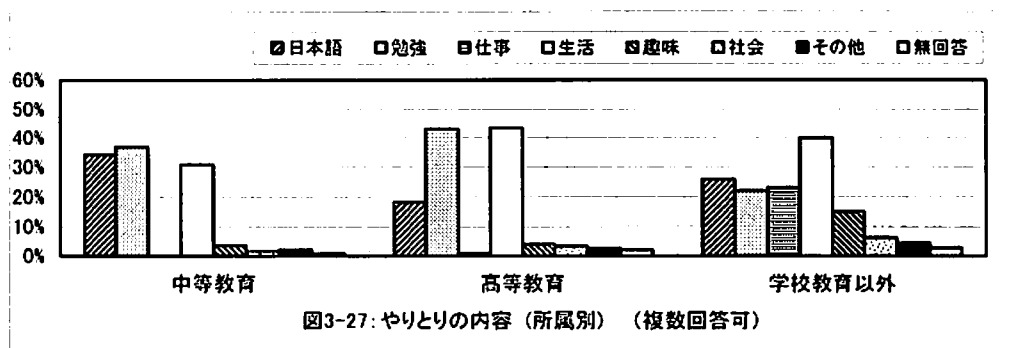
最もよくやりとりをする相手とのやりとりの内容については、全体では「生活について」(38.1%)「勉強について」(36.9%)「日本語について」(25.7%) の順に多い(表3-8)。所属別にみると、中等教育では「勉強について」(37.0%)「日本語について」(34.3%)「生活について」(30.9%) が同程度に多く、高等教育では「生活について」(43.5%)「勉強について」(43.2%) が多く、学校教育以外ではその他に「仕事について」(23.1%) も多い。

〈学 Q1-2⑧〉

〈表3-8: やりとりの内容〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	生活 (38.1%・575人)	勉強 (37.0%・207人)	生活 (43.5%・288人)	生活 (39.9%・114人)
2位	勉強 (36.9%・556人)	日本語 (34.3%・192人)	勉強 (43.2%・286人)	日本語 (25.9%・74人)
3位	日本語 (25.7%・387人)	生活 (30.9%・173人)	日本語 (18.3%・121人)	仕事 (23.1%・66人)

(複数回答可)



### 3-2-11. 日本語でやりとりをする理由

最もよくやりとりをする相手と日本語でやりとりをする理由について、各項目について5段階（「5. 全くそう思う」－「1. 全くそう思わない」、以下同様）で尋ね、その平均値を求めたところ、図 3-28・表 3-9 のように全体的に「日本語を使うのは楽しいから」「日本語能力向上や維持のため」「日本語の母語話者と話したいから」が高い。  
 〈学 Q1-2⑨〉

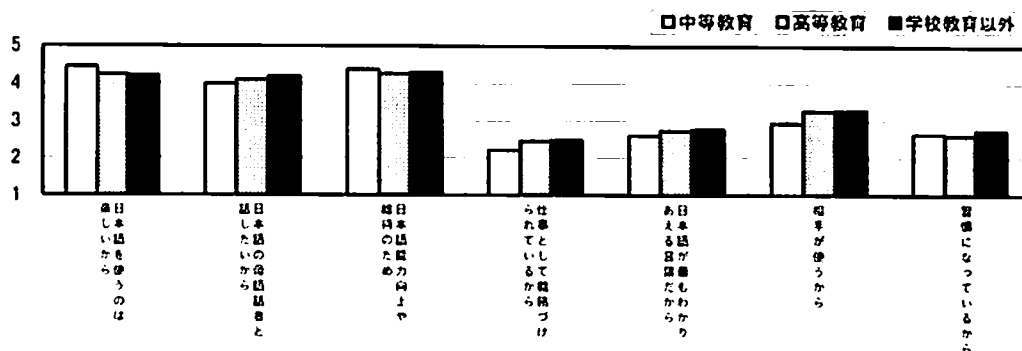


図 3-28: 日本語でやりとりする理由 (項目別) (5段階評価平均値)

〈表 3-9: 日本語でやりとりをする理由〉

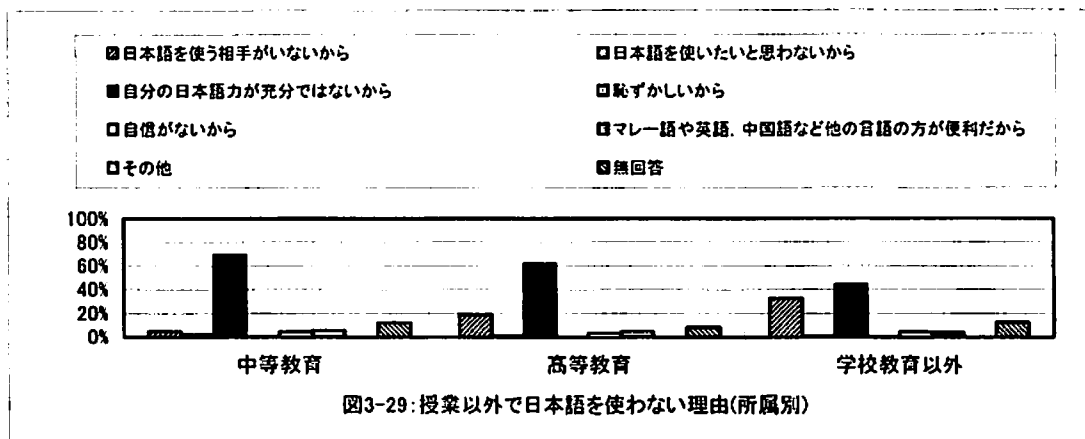
	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
日本語を使うのは楽しいから	4.31	4.45	4.24	4.21
日本語の母語話者と話したいから	4.08	3.99	4.10	4.20
日本語能力向上や維持のため	4.31	4.38	4.26	4.30
仕事として義務づけられているから	2.37	2.21	2.46	2.48
日本語が最もわかりあえる言葉だから	2.70	2.60	2.74	2.78
相手が使うから	3.15	2.92	3.28	3.29
習慣になっているから	2.65	2.65	2.62	2.74

(5段階評価平均値)

### 3-2-12. 授業以外で日本語を使わない理由

3-2-1 (p. 31 参照) で見たように、全体で見ると日本語の授業以外で日本語でのやりとりをしない学習者が 69.8% で、やりとりをする学習者 (28.1%) よりも多かった。では、なぜ授業以外で日本語を使わないのか、やりとりをしていない学習者にその理由を尋ねたところ、全体では「自分の日本語力が充分ではないから」(63.0%) が最も多く、次に「日本語を使う相手がいないから」(14.6%) が多かった。

所属別では、中等教育では「自分の日本語力が充分ではないから」が 69.4% と圧倒的に高いが、学校教育以外では「日本語を使う相手がいないから」も 32.7% で、「自分の日本語力が充分ではないから」(44.0%) と同程度に高い (図 3-29)。  
 〈学 Q1-3〉



### 3-3. 日本語が使われているものとの接触について

ここでは、日本語の授業以外で学習者が日本語で書かれたものや日本語が使われているものの中で、どのようなものをどのように見たり聞いたりしているのか等について、学習者に尋ねた結果をまとめる。

#### 3-3-1. 身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無

まず、学習者の身の回りに、日本語学習教材を除いて、日本語で書かれたものや日本語が使われているものがあるかどうかを尋ねたところ、表3-10のように3,765人(70.2%)の学習者が「はい」と答えている。一方、「いいえ」と答えている学習者は1,503人(28.0%)であった。 (学Q2)

〈表3-10:身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無〉( )内は%

		合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	はい	3,765(70.2)	1,628(71.5)	1,526(68.0)	611(72.8)
	いいえ	1,503(28.0)	616(27.1)	679(30.2)	208(24.8)
	無回答	92(1.7)	32(1.4)	40(1.8)	20(2.4)

### 3-3-2. 日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無

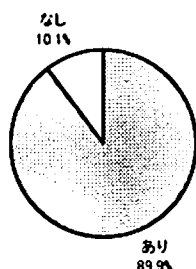


図3-30: 日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無 (全体)

3-3-1で「はい」と答えた学習者に、特に日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりすることがあるかについて尋ねたところ、3,383人(89.9%)の学習者が「はい」と答え、「いいえ」と答えた人は382人(10.1%)であった(図3-30)。所属による違いはあまり見られない(表3-11)。

(学Q2-1)

〈表3-11: 日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無〉( )内は%

		合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	はい	3,383(89.9)	1,481(91.0)	1,348(88.3)	554(90.7)
	いいえ	382(10.1)	147(9.0)	178(11.7)	57(9.3)

### 3-3-3. 見聞きするもの

どのようなものを見聞きするのか尋ねたところ、表3-12のようになった。所属に共通して、「テレビ」「ビデオ・VCD・DVD」が多い。なお、「VCD」は「ビデオCD」を示す(以下同様)。所属別では、中等教育で「ゲームソフト」(50.0%)「マンガ・アニメ」(49.1%)が続く、高等教育・学校教育以外では、「CD」(39.9%・39.0%)が多い(図3-31)。(学Q2-2)

〈表3-12: 見聞きするもの〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	ビデオ・VCD・DVD (63.8%・2,157人)	テレビ (62.7%・929人)	ビデオ・VCD・DVD (74.2%・1,000人)	ビデオ・VCD・DVD (65.9%・365人)
2位	テレビ (57.2%・1,934人)	ビデオ・VCD・DVD (53.5%・792人)	テレビ (52.5%・708人)	テレビ (53.6%・297人)
3位	マンガ・アニメ (39.0%・1,321人)	ゲームソフト (50.0%・740人)	CD (39.9%・538人)	CD (39.0%・216人)

(複数回答可)

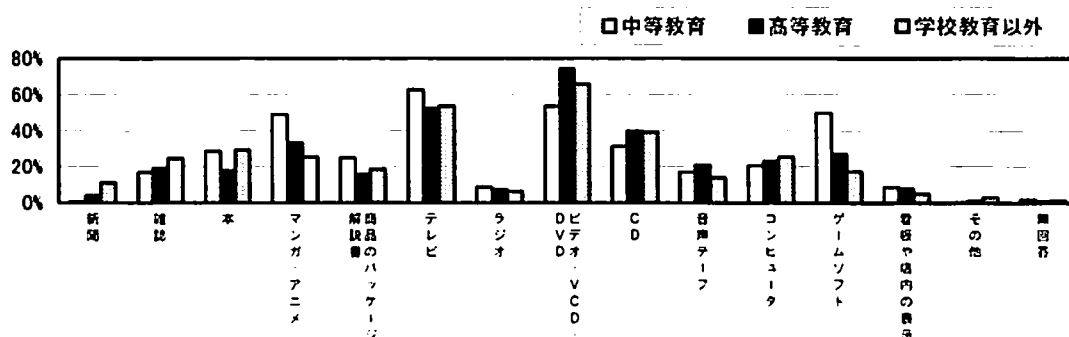


図3-31: 見聞きするもの(項目別)(複数回答可)

「その他」としては、数は少ないが、所属に共通して「日本の歌・音楽」、学校教育以外で「仕事の書類」などが挙げられた。

### 3-3-4. 最もよく見聞きするもの

3-3-3の見聞きするものの中でも、特に最もよく見聞きするものについては、表3-13のとおりである。全体では①「ビデオ・VCD・DVD」(29.6%)、②「テレビ」(20.7%)、③「本」(10.0%)の順になっている。 〈学Q2-3①〉

〈表3-13：最もよく見聞きするもの〉( )内は%

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	ビデオ・VCD・DVD (29.6)	テレビ (26.1)	ビデオ・VCD・DVD (42.2)	ビデオ・VCD・DVD (30.7)
2位	テレビ (20.7)	ビデオ・VCD・DVD (17.8)	テレビ (15.9)	テレビ (17.7)
3位	本 (10.0)	ゲームソフト (12.7)	CD ( 8.5)	本 (12.1)

所属別では、図3-32のように中等教育では「テレビ」(26.1%)、高等教育・学校教育以外では「ビデオ・VCD・DVD」(42.2%・30.7%)が最も多い。

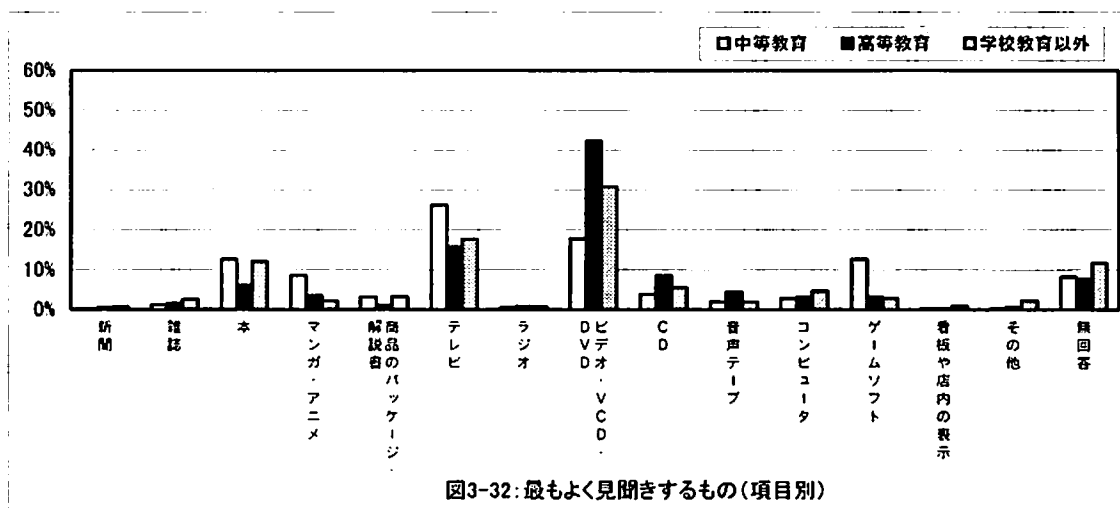


図3-32:最もよく見聞きするもの(項目別)

以下、3-3-8まで、この最もよく見聞きするものを対象に尋ねた結果について報告する。

なお、最もよく見聞きするものごとの集計結果については、本報告では扱わない。



### 3-3-5. 見聞きする頻度

最もよく見聞きするものについて、その頻度は、中等教育では「月2,3回」(41.8%)が最も多く、高等教育では「月2,3回」(29.6%)と「週2,3回」(27.5%)が同程度に多く、学校教育以外では「週2,3回」(33.9%)が最も多い(図3-33)。  
(学Q2-3②)

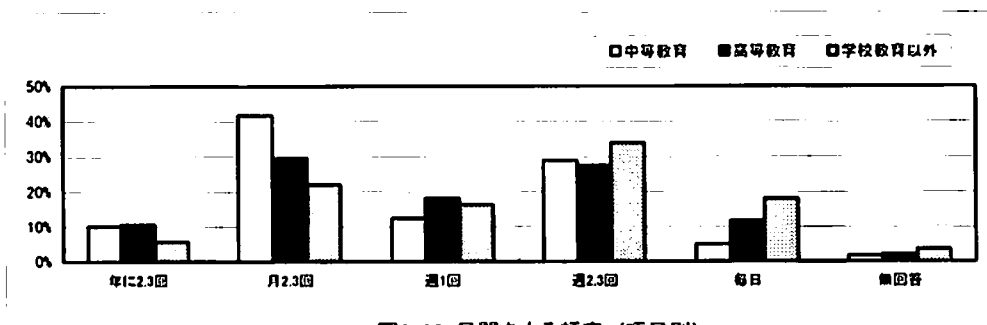


図3-33: 見聞きする頻度 (項目別)

### 3-3-6. 見聞きするものの所有者

最もよく見聞きするものの所有者は、「自分」が全体で43.7%で最も多いが(全体の割合は省略)、中等教育では「家族」も33.1%と同程度に多い。割合は少ないが、「その他」としては、「放送局」「インターネット」などが挙げられている(図3-34)。  
(学Q2-3③)

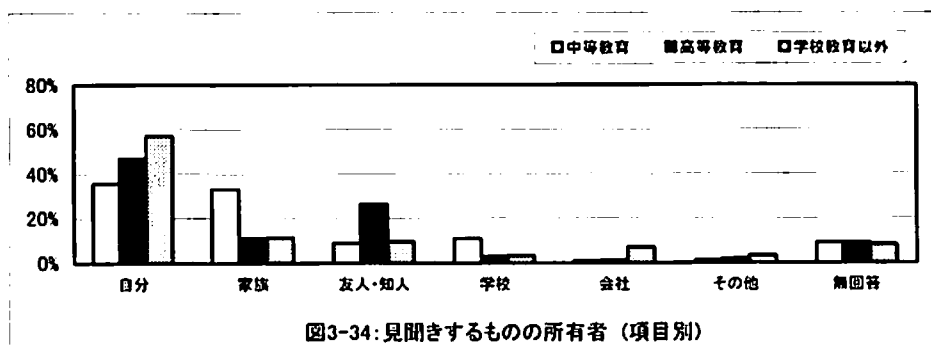


図3-34: 見聞きするものの所有者 (項目別)

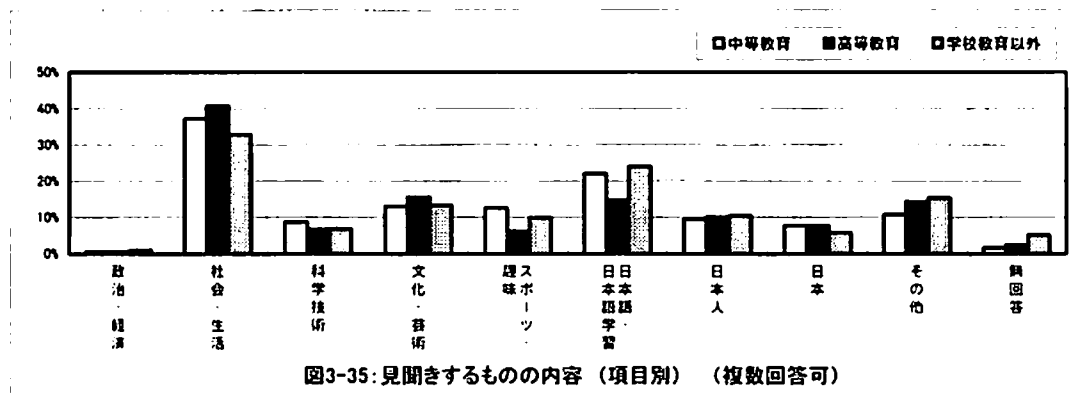
### 3-3-7. 見聞きするものの内容

最もよく見聞きするものについては、全体では、「社会・生活」(37.9%)、「日本語・日本語学習」(19.5%)、「文化・芸術」(14.1%)の順で多く、所属別に見ても、「社会・生活」が共通して最も多い。「その他」としては、「マンガ・アニメ」「音楽・歌」「ドラマ」「娯楽」「ゲーム」等、内容的に「文化・芸術」に含まれると思われるものが挙げられた(表3-14・図3-35)。  
(学Q2-3④)

〈表 3-14：見聞きするものの内容〉（ ）内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	社会・生活 (37.9%・1,283人)	社会・生活 (37.3%・552人)	社会・生活 (40.7%・549人)	社会・生活 (32.9%・182人)
2位	日本語・日本語学習 (19.5%・658人)	日本語・日本語学習 (22.0%・326人)	文化・芸術 (15.6%・210人)	日本語・日本語学習 (24.0%・133人)
3位	文化・芸術 (14.1%・477人)	文化・芸術 (13.0%・193人)	日本語・日本語学習 (14.8%・199人)	その他 (15.3%・85人)

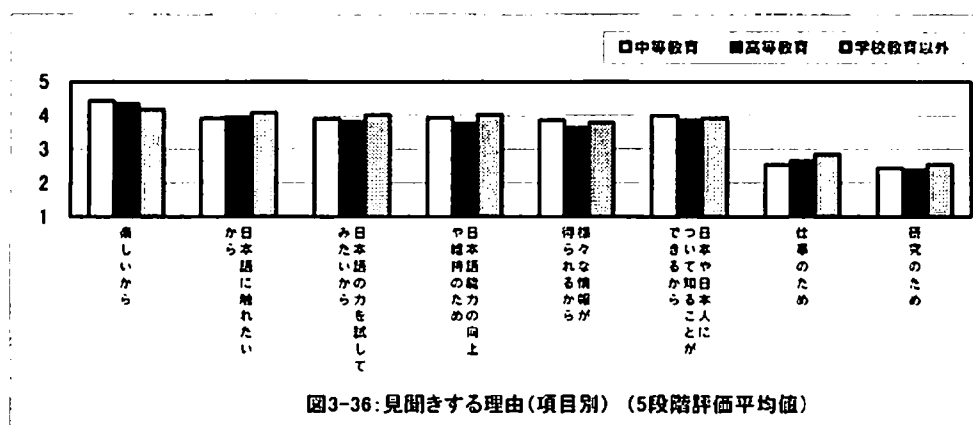
(複数回答可)



### 3-3-8. 見聞きする理由

最もよく見聞きするものについて、見たり聞いたりする理由をいくつか挙げ、それぞれについて5段階で尋ねてその平均値を求めたところ、図 3-36・表 3-15 のように所属に共通して「楽しいから」の評価が最も高い。ついで、「日本語に触れたいから」「日本語の力を試してみたいから」「日本語能力の向上や維持のため」「様々な情報が得られるから」「日本や日本人について知ることができるから」が同程度に高い。「その他」としては、共通して「娯楽・趣味として」が挙げられ、中等・高等教育では、「暇つぶし」「興味があるから」などが挙げられた。

〈学 Q2-3⑤〉



〈表 3-15：見聞きする理由〉

	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
楽しいから	4.36	4.44	4.35	4.17
日本語に触れたいから	3.95	3.91	3.95	4.08
日本語の力を試してみたいから	3.89	3.90	3.82	4.02
日本語能力の向上や維持のため	3.87	3.92	3.75	4.02
様々な情報が得られるから	3.76	3.87	3.63	3.78
日本や日本人について知ることができるから	3.93	3.99	3.88	3.91
仕事のため	2.63	2.53	2.65	2.85
研究のため	2.43	2.43	2.39	2.54

(5段階評価平均値)

### 3-3-9. 授業以外で日本語のものを見聞きしない理由

3-3-2 (p. 39 参照) で見たように、全体で見ると日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりしない学習者は 382 人 (10.1%) であった。なぜ授業以外で日本語のものを見聞きしないのかその理由を尋ねたところ、「自分の日本語力が充分でないから」が全体では 73.0% と所属を通じて圧倒的に多く選ばれている (図 3-37)。(学 Q2-4)

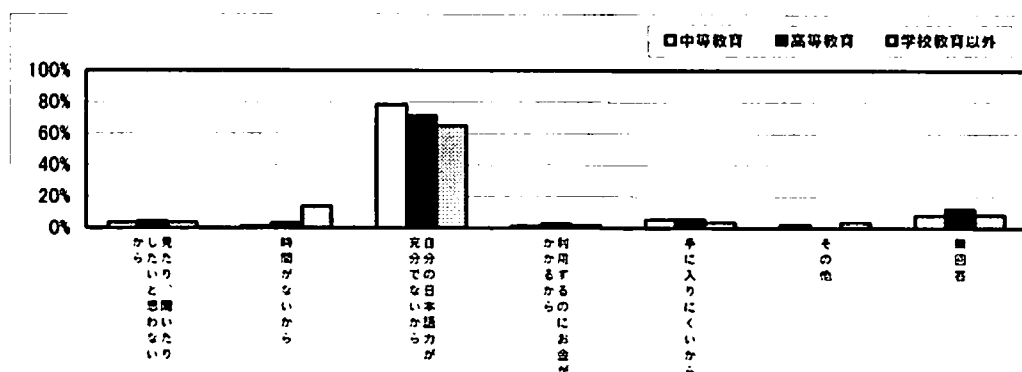
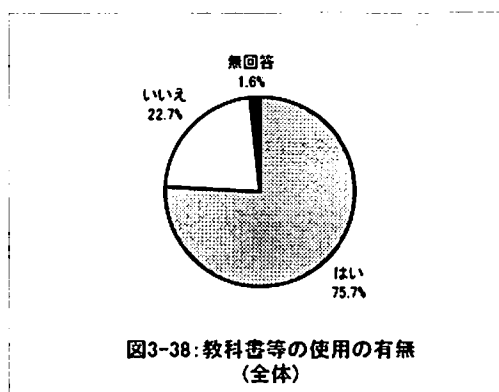


図3-37: 日本語のものを見聞きしない理由 (項目別)

### 3-4. 授業時間外の教科書等の使用について

ここでは、学習者が現在使っている日本語の教科書や授業で教師から渡されるものを授業以外の時間にもどのように利用しているのか等について、学習者に尋ねた結果をまとめる。

#### 3-4-1. 使用の有無



まず、学習者が現在使っている日本語の教科書や授業で教師から渡されるものを授業以外の時間にも何らかの形で利用しているかどうかについて尋ねたところ、図 3-38・表 3-16 のように全体では 4,059 人 (75.7%) の学習者が「はい」と答え、「いいえ」と答えた学習者は 1,217 人 (22.7%) であった。所属別に見ると、学校教育以外で「はい」と答えている人が 66.9%と中等・高等教育に比べて低い。 (学 Q3)

〈表 3-16: 教科書等の使用の有無〉( ) 内は%

		合 計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	はい	4,059(75.7)	1,757(77.2)	1,741(77.6)	561(66.9)
	いいえ	1,217(22.7)	498(21.9)	466(20.8)	253(30.2)
	無回答	84(1.6)	21(0.9)	38(1.7)	25(3.0)

#### 3-4-2. 授業時間外の利用方法

3-4-1 で利用していると答えた 4,059 人に対して、具体的にどのように利用しているのか、その方法について尋ねたところ、表 3-17 のようになった。共通して①「語句の意味を調べる」(77.4%)、②「暗記・暗唱する」(69.2%)、③「練習問題を解く」(50.3%) の順となっている。所属別では、「付属のカセットテープを聞く」が高等教育・学校教育以外では 2 割程度の利用があるが、中等教育では 4.3%とほとんどない (図 3-39)。 (学 Q3-1)

〈表 3-17: 授業時間外の利用方法〉( ) 内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	語句の意味を調べる (77.4%・3,140人)	語句の意味を調べる (83.2%・1,462人)	語句の意味を調べる (73.9%・1,286人)	語句の意味を調べる (69.9%・392人)
2位	暗記・暗唱する (69.2%・2,807人)	暗記・暗唱する (76.3%・1,340人)	暗記・暗唱する (67.3%・1,171人)	暗記・暗唱する (52.8%・296人)
3位	練習問題を解く (50.3%・2,043人)	練習問題を解く (51.2%・899人)	練習問題を解く (50.7%・883人)	練習問題を解く (46.5%・261人)

(複数回答可)

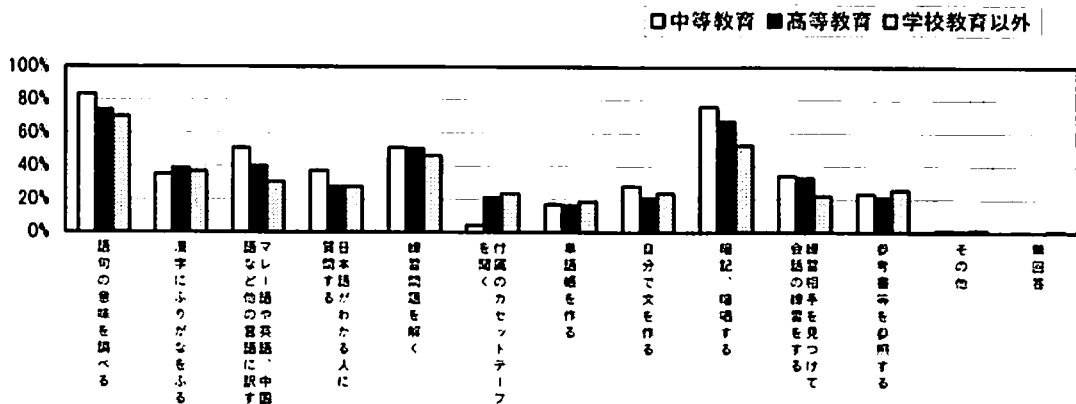


図3-39:教科書等の利用方法(項目別)

### 3-4-3. 授業時間外に教科書などを利用しない理由

3-4-1で利用しないと答えた1,217人の学習者に対して、その理由を尋ねたところ、全体で①「授業以外の時間に日本語の勉強をしないから」(36.2%)が最も多く、続いて②「どうやって使ったらいいかわからないから」(22.8%)となっている(全体の割合は省略)。所属別に見ても同じ傾向であるが、中等教育で「わかりにくいから」が21.9%と比較的多い(図3-40)。

「その他」としては、「時間がない」「持ち出せない、与えられていない」が所属に共通して多く見られ、学校教育以外では「自分の教材があり、そちらの方がいい」なども挙げられた。(学Q3-2)

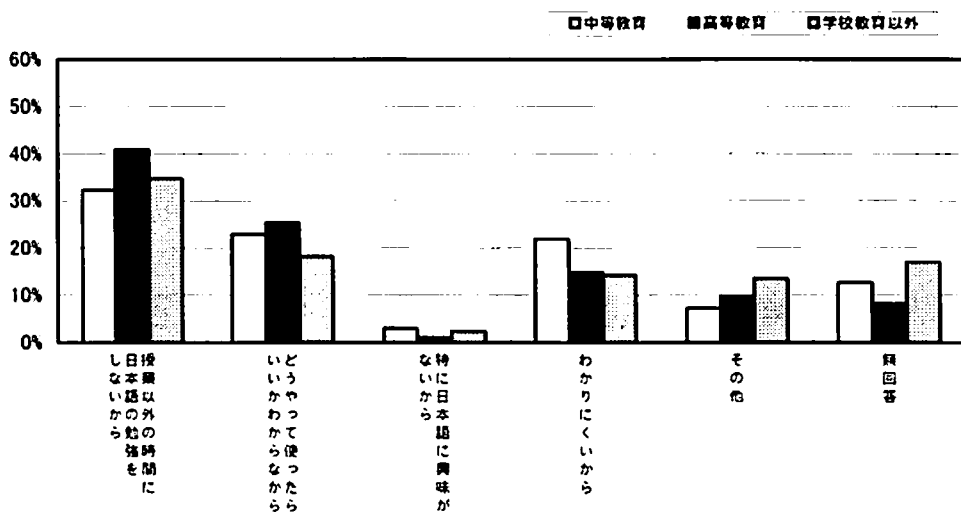
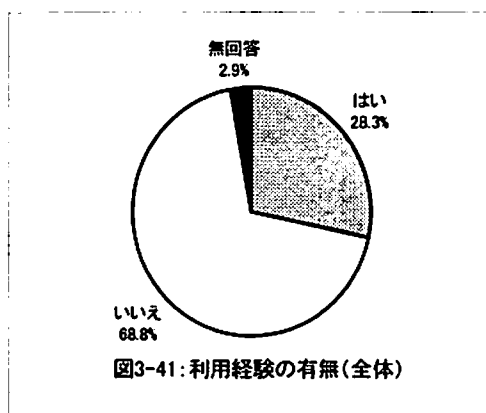


図3-40:授業時間外に教科書などを利用しない理由(項目別)

### 3-5. 利用経験のある機会や場所について

ここでは、学習者が授業以外の様々な日本語学習の機会や場所をどれくらい利用しているのか等について、学習者に尋ねた結果をまとめる。

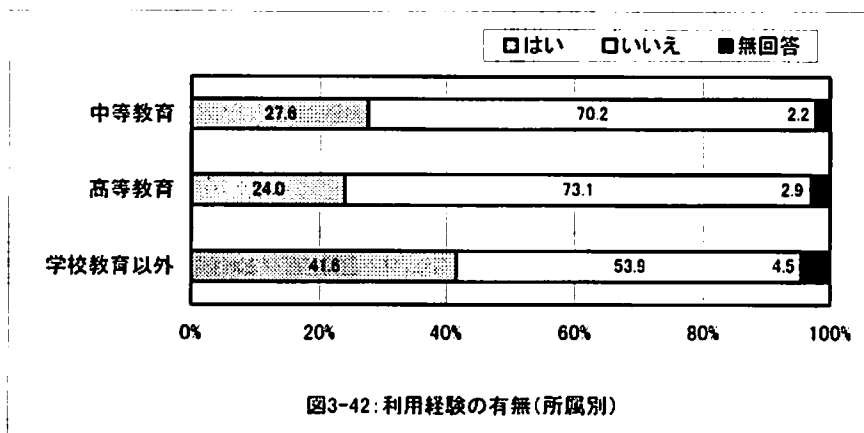
#### 3-5-1. 利用経験の有無



まず、これまでに何らかの日本語学習に関する機会や場所を利用した経験があるかどうかについて尋ねたところ、図3-41・表3-18のように全体では1,515人(28.3%)の学習者に経験があり、経験したことがないと答えた学習者は3,690人(68.8%)となっている。所属別に見ると、表3-18・図3-42のように、学校教育以外では経験のある学習者が41.6%と比較的多い。  
(学Q4)

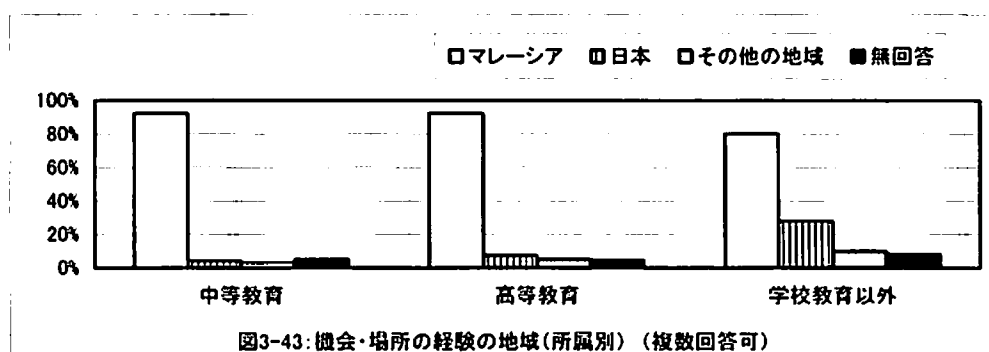
〈表 3-18: 利用経験の有無〉( )内は%

		合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	経験あり	1,515(28.3)	628(27.6)	538(24.0)	349(41.6)
	経験なし	3,690(68.8)	1,597(70.2)	1,641(73.1)	452(53.9)
	無回答	155(2.9)	51(2.2)	66(2.9)	38(4.5)



### 3-5-2. 利用経験のある機会や場所

利用経験のある学習者 1,515 人に対して、これまでに利用した経験のある機会や場所がマレーシアか日本か尋ねたところ、図 3-43 のように 1,357 人 (89.6%) がマレーシアで、165 人 (10.9%) が日本で経験があるという回答が得られた。 (Q4-1)



#### マレーシア

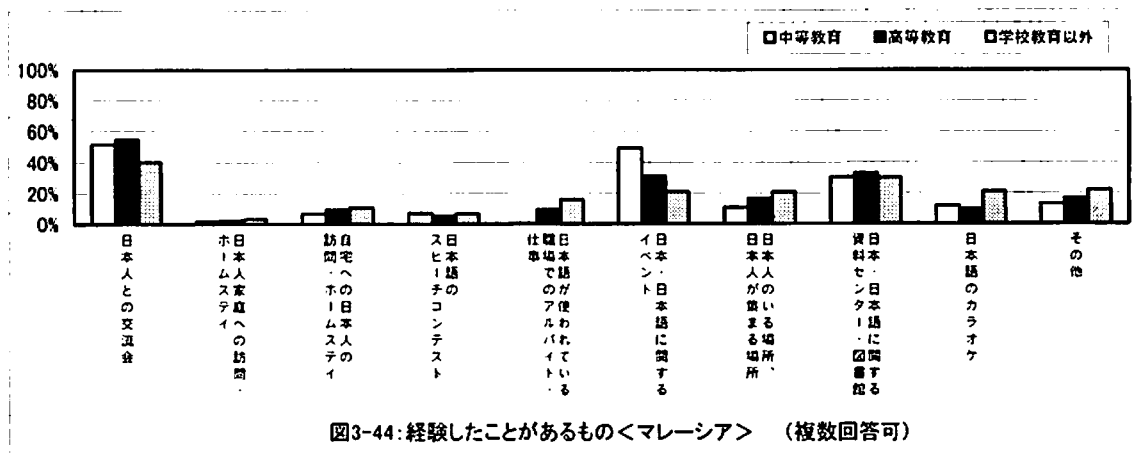
マレーシアで経験したことがある学習者 1,357 人にその機会や場所について聞いたところ、表 3-19 のように全体では①「日本人との交流会」(50.6%)、②「日本・日本語に関するイベント」(36.8%)、③「日本・日本語に関する資料センター・図書館」(31.2%)の順となっている。「日本人との交流会」は所属を通じて、最も多い(51.7%・54.9%・40.4%)。高等教育・学校教育以外では「日本・日本語に関する資料センター・図書館」(32.8%・30.0%)が2番目に多いが、中等教育では「日本・日本語に関するイベント」(49.1%)の方が多い(図 3-44)。

「その他」としては、中等教育では「日本語のできる家族・親戚等と話す」「日本からの観光客と会う」「日本人の学校への訪問」等、高等教育では「日本語の先生と話す」「日本からの観光客と会う」「観光地等でのアルバイト」等、学校教育以外では「職場・会社で」「日本人と一緒に仕事をする」「日本への出張のとき」「日本人の顧客と話す」等が挙げられた。 (学 Q4-1)

〈表 3-19: 利用経験のある機会や場所—マレーシア—〉( )内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本人との交流会 (50.6%・686人)	日本人との交流会 (51.7%・300人)	日本人との交流会 (54.9%・273人)	日本人との交流会 (40.4%・113人)
2位	日本・日本語に関するイベント (36.8%・499人)	日本・日本語に関するイベント (49.1%・285人)	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (32.8%・163人)	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (30.0%・84人)
3位	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (31.2%・423人)	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (30.3%・176人)	日本・日本語に関するイベント (31.2%・155人)	その他 (22.1%・62人)

(複数回答可)



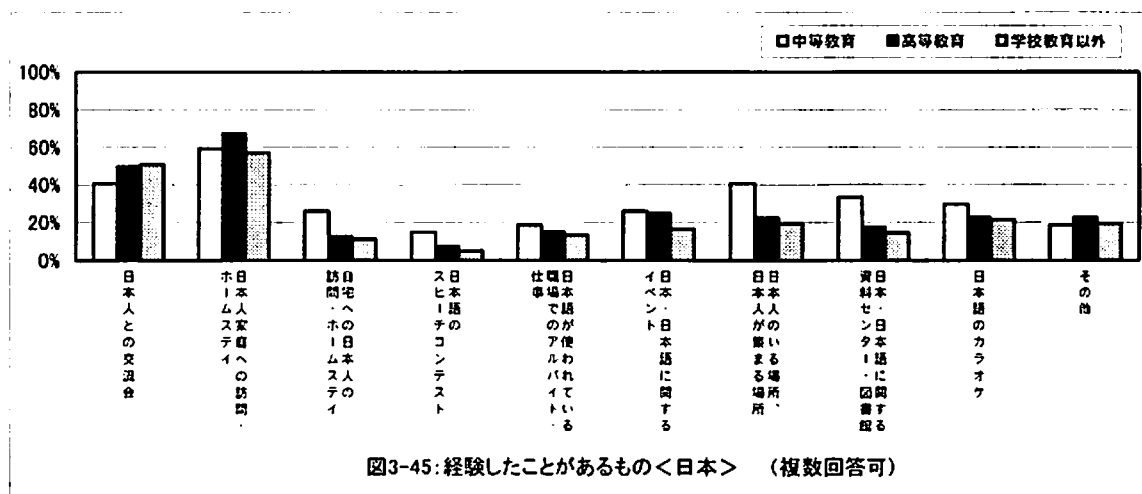
**日本**

利用経験のある学習者 1,515 人の中で、日本での経験があった回答者は、165 人であった。表 3-20 のように全体では①「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(60.0%)、②「日本人との交流会」(49.1%)、③「日本人のいる場所、日本人が集まる場所」(23.6%) の順となっている。所属別でも 2 位までは同じ傾向である。 (学 Q4-1)

〈表 3-20 : 利用経験のある機会や場所-日本-〉 ( ) 内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本人家庭への訪問・ホームステイ (60.0%・99人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (59.3%・16人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (67.5%・27人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (57.1%・56人)
2位	日本人との交流会 (49.1%・81人)	日本人との交流会／日本人のいる場所、	日本人との交流会 (50.0%・20人)	日本人との交流会 (51.0%・50人)
3位	日本人のいる場所、日本人が集まる場所 (23.6%・39人)	日本人が集まる場所 (40.7%・11人)	日本・日本語に関するイベント (25.0%・10人)	日本語のカラオケ (21.4%・21人)

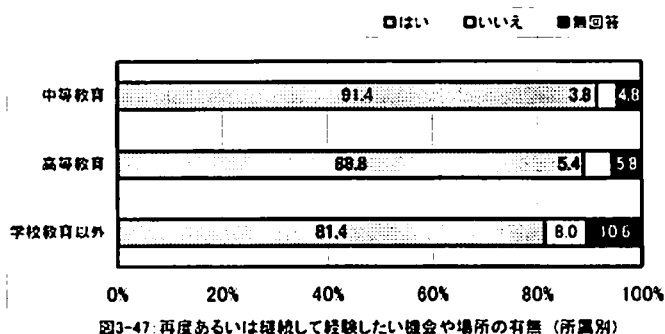
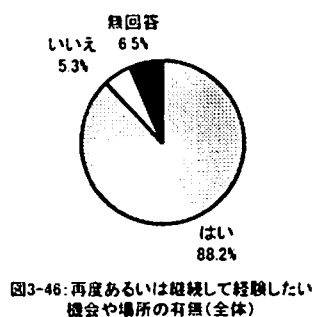
(複数回答可)





### 3-5-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無

利用した経験のあるものの中で、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したい機会や場所があるかどうかについて尋ねたところ、全体で88.2%が「ある」と答えている(図3-46・表3-21)。所属別で見ると、学校教育以外(81.4%)に比べ、中等・高等教育の方が「ある」の割合が高い(91.4%・88.8%) (図3-47)。(学Q4-2)



〈表3-21: 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無〉( )内は%

		全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	はい	1,336(88.2)	574(91.4)	478(88.8)	284(81.4)
	いいえ	81(5.3)	24(3.8)	29(5.4)	28(8.0)
	無回答	98(6.5)	30(4.8)	31(5.8)	37(10.6)

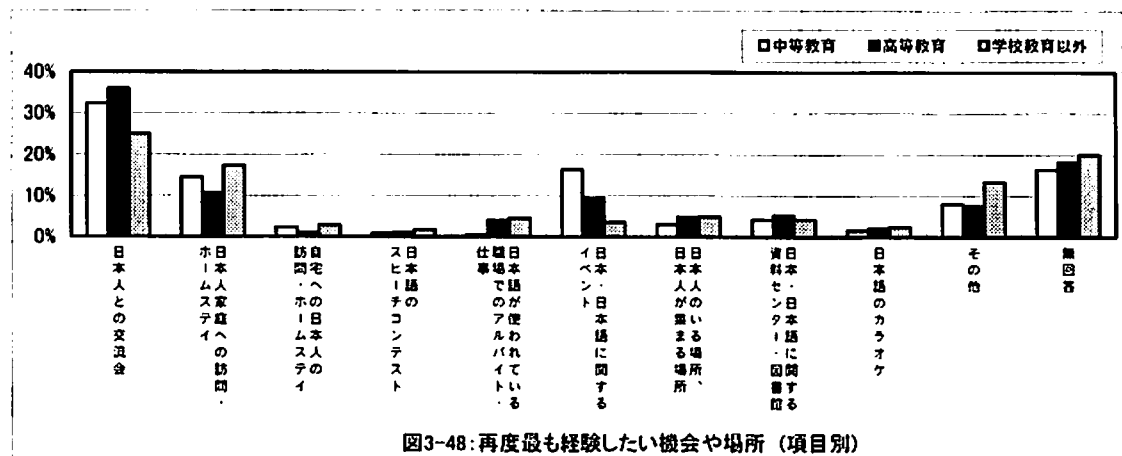
### 3-5-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所

もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思う機会や場所の中で、最も経験したいものについて尋ねたところ、表3-22・図3-48のように、①「日本人との交流会」(32.1%)が共通して高く、全体では②「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(13.7%)、③「日本・日本語に関するイベント」(11.2%)と続いている。(学Q4-2)

〈表3-22: 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本人との交流会 (32.1%・429人)	日本人との交流会 (32.4%・186人)	日本人との交流会 (36.0%・172人)	日本人との交流会 (25.0%・71人)
2位	日本人家庭への訪問・ホームステイ (13.7%・183人)	日本・日本語に関するイベント (16.4%・94人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (10.7%・51人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (17.3%・49人)
3位	日本・日本語に関するイベント (11.2%・149人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (14.5%・83人)	日本・日本語に関するイベント (9.4%・45人)	その他 (13.4%・38人)

(複数回答可)

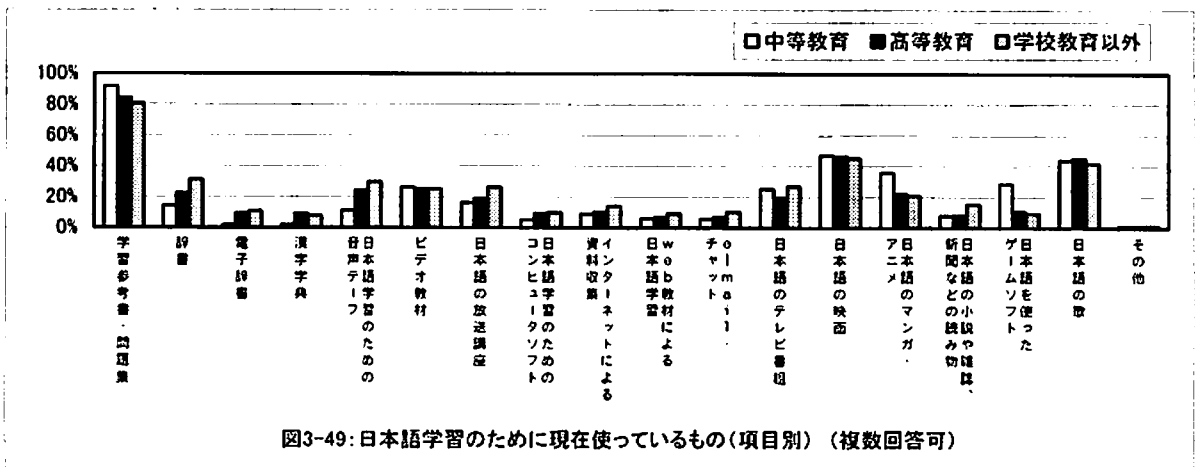


### 3-6. 日本語学習のために現在使っているものについて

ここでは、日本語学習のために現在どのようなものを使っているのかについて、学習者に尋ねた結果をまとめる。

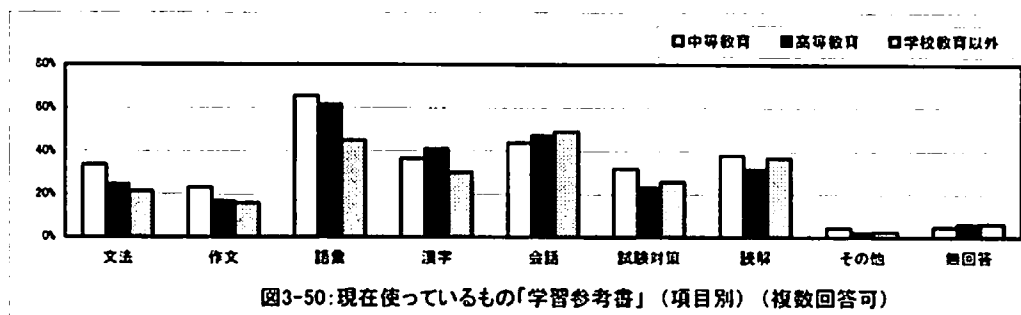
現在使っているものとしては、所属に共通して①「学習参考書・問題集」(86.8%)が圧倒的に多く、②「日本語の映画」(46.8%)、③「日本語の歌」(44.1%)の順になっている(全体の割合は省略)。所属別にみると、図3-49のように中等教育では、「日本語のマンガ・アニメ」(35.9%)、「日本語を使ったゲームソフト」(28.6%)が比較的良好に使われている。「その他」の割合は低い、「ラジオ」が共通して挙げられた。

(学Q5)



### 3-6-1. 日本語学習のために現在使っている学習参考書・問題集

3-6で、「学習参考書・問題集」と答えた4,498人に、その種類を答えてもらったところ、全体では①「語彙」(61.0%)、②「会話」(46.0%)、③「漢字」(37.5%)の順になっている(全体の割合は省略)。図3-50に見られるように、学校教育以外では「会話」(49.1%)の方が「語彙」(45.1%)よりもやや多く使われている。(学Q5)



### 3-7. 今後の充実を希望するものについて

ここでは、日本語学習や日本理解のために、今後さらに充実を希望するものとしてどのようなものがあるのかについて、学習者に尋ねた結果をまとめる。

今後の充実を希望するものについて、全体としては①「辞書」(79.4%)、②「学習参考書・問題集」(62.8%)、③「日本語の映画」(53.3%)、④「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(49.1%)、⑤「留学の機会」(45.3%)の順に高い(表3-23)。所属別にみても、図3-51・表3-23のようにほぼ同様の傾向となっているが、中等教育では「日本語を使ったゲームソフト」(36.3%)「日本や日本語に関するイベント」(41.7%)が高等教育・学校教育以外に比べて高く、逆に「日本語を使うアルバイト」(8.4%)が低くなっている。(学Q6)

〈表3-23: 今後の充実を希望するもの〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	辞書 (79.4%・4,181人)	辞書 (83.4%・1,886人)	辞書 (76.8%・1,682人)	辞書 (75.5%・613人)
2位	学習参考書・問題集 (62.8%・3,304人)	学習参考書・問題集 (68.9%・1,557人)	学習参考書・問題集 (57.4%・1,257人)	学習参考書・問題集 (60.3%・490人)
3位	日本語の映画 (53.3%・2,804人)	日本語の映画 (53.7%・1,214人)	日本語の映画 (55.4%・1,213人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (48.3%・392人)
4位	日本人家庭への訪問・ホームステイ (49.1%・2,583人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (51.4%・1,163人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (46.9%・1,028人)	日本語の映画 (46.4%・377人)
5位	留学の機会 (45.3%・2,384人)	留学の機会 (49.1%・1,110人)	留学の機会 (45.0%・987人)	日本語のテレビ番組 (43.2%・351人)

(複数回答可)

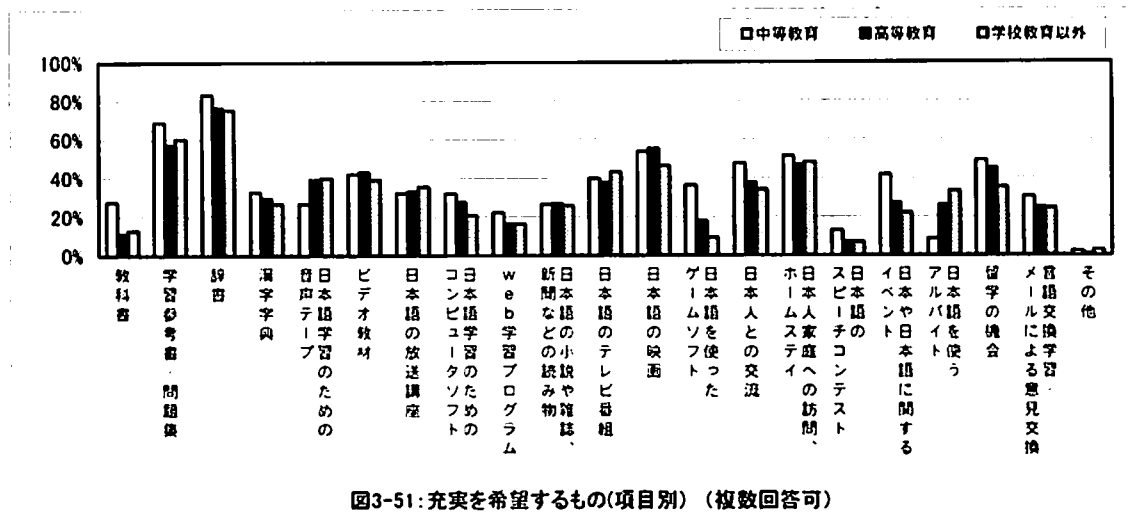


図3-51: 充実を希望するもの(項目別) (複数回答可)

### 3-7-1. 今後の充実を希望する学習参考書・問題集

3-7で、「学習参考書・問題集」と答えた3,304人に、その種類を答えてもらったところ、全体では「会話」(55.5%)、「語彙」(51.6%)の順に高いが(全体の割合は省略)、中等教育では「語彙」が59.3%と「会話」より高くなっている。(学Q6)

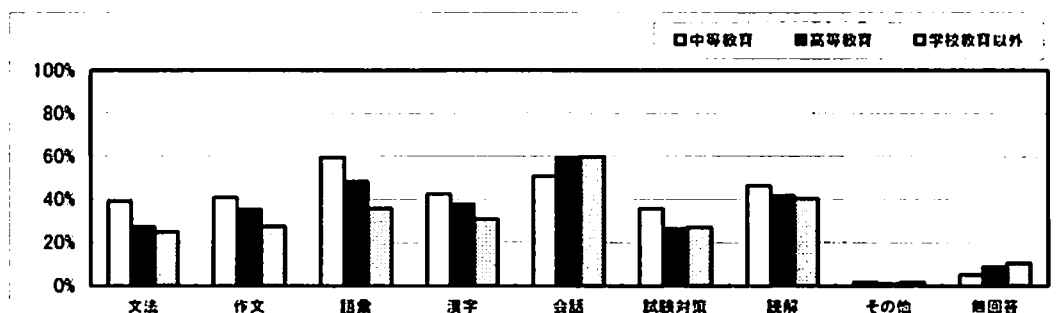
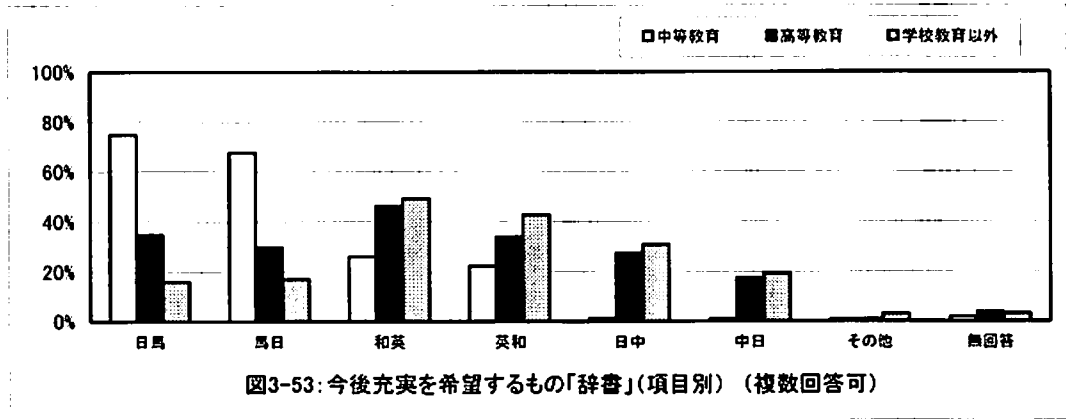


図3-52: 今後充実を希望するもの「学習参考書・問題集」(項目別) (複数回答可)

### 3-7-2. 今後の充実を希望する辞書

3-7で、「辞書」と答えた4,181人に、その種類を答えてもらったところ、中等教育では、「日本語マレー語辞典(日馬辞典)」(74.8%)「マレー語日本語辞典(馬日辞典)」(67.6%)が高く、高等教育・学校教育以外では「和英辞典」(46.3%・49.1%)の希望者が多かった(図3-53)。「その他」の割合は低い、「日本語(1言語)辞典」, 日本語からマレー語と英語の2言語に対応した辞書の希望が挙げられた。

(学Q6)



## 第4章 集計結果：教師

### 概要と要約

本章では、「教師」の集計結果について報告する。本章の構成は5節からなるが、第3章と同様に具体的な結果を報告する前に、ここでまず各節で取り上げる調査内容とその結果を要約してまとめ、本章全体の概要がわかるように示してある。詳細については、4-1以降の各節を参照されたい。なお、各節の集計結果が、実際に使用した調査票（巻末資料）の中のどの項目に対応するかがわかるように、各節の最後に項目番号を入れた。例えば、「(教F1)」は「教師用調査票の項目番号F1」を示す。

集計結果は以下の2つの観点でまとめている。

- (1) 国籍別：「マレーシア人教師」と「日本人教師」の2つに区分して比較・集計した。
- (2) 所属別：1-9（p.5参照）で述べたように、本報告書では「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の3つに区分して比較・集計した。

本調査における教師の所属別有効回答者数とその内訳は表4-1のとおりである。中等教育の日本人教師が0人となっているが、中等教育では2000年度派遣を最後にJICAによる教師派遣（専任）がなくなっから日本人教師はいない状況にあるためである。そのため、4-1以降のデータの解釈には注意を要する。

〈表4-1：回答者数・内訳〉（ ）内は%

	合計	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	240(100.0)	64( 26.7)	73( 30.4)	103( 42.9)
〈内訳〉				
マレーシア人教師	139( 57.9)	64(100.0)	30( 41.1)	45( 43.7)
日本人教師	101( 42.1)	0( 0)	43( 58.9)	58( 56.3)

#### 〔要約〕：4-1. 教師について

- ・性別：女性 65.0% > 男性 35.0%
- ・年齢：マレーシア人教師も日本人教師も30代（63.3%・40.6%）が多い。
- ・母語：マレーシア人教師「マレー語」48.2%「中国語」41.7%
- ・日本語学習歴（マレーシア人教師対象）：所属に共通して「4年以上7年未満」（54.0%）が多い。
- ・訪日経験の有無（マレーシア人教師対象）：全体で「はい」と答えた人が94.2%と所属に共通して多い。
- ・訪日目的（マレーシア人教師対象）：所属に共通して「長期留学（1年以上）」が最も多い。
- ・日本語教育経験：
  - マレーシア人教師は所属に共通して「中堅（3年以上～20年未満）」（70.3%・83.3%・60.0%）が多い。
  - 日本人教師は高等教育では「中堅」（72.1%）が多く、学校教育以外では「初任（3年未満）」（46.6%）と「中堅」（44.8%）でほぼ同程度である。
- ・日本語以外の教育経験の有無：
  - マレーシア人教師は中等教育で「はい」（90.6%）、高等教育でも「はい」（56.7%）が多いが、学校教育以外では「いいえ」（75.6%）が多い。日本人教師は所属に共通して「いいえ」（76.2%）が多い。

・日本語力（マレーシア人教師対象）

読むこと：所属に共通して「辞書を使って新聞や雑誌、興味のある分野の本などがだいたい理解できる」（76.6%・66.7%・75.6%）が多い。

書くこと：所属に共通して、「友人や身近な人への手紙を書くことができる」（45.3%・53.3%・46.7%）が最も多い。

聞くこと：所属に共通して、「テレビニュース、学校の講義などまとまった話がほぼ理解できる」（67.2%・53.3%・51.1%）が最も多い。

話すこと：所属に共通して、「自分の意見や考えをまとめて話すことができる」（64.1%・60.0%・66.7%）が最も多い。

・日本語教育を始めた理由：

マレーシア人教師は全体で「日本語・日本文化に興味があったから」が多く、日本人教師は全体で「日本語・異文化交流に興味があったから」「海外で働きたかったから」が多い。

・日本語教育に関する学会等への参加の有無：

マレーシア人教師の67.6%，日本人教師の57.4%が「はい」。

・日本語教育に関する研修経験の有無：

マレーシア人教師「はい」55.4%，日本人教師「いいえ」54.5%。

・研修を受けた回数：マレーシア人教師は「1～2回」（77.9%），日本人教師は「1～2回」（32.3%）と「5～10回未満」（20.6%）が多い。

注：括弧内に、数値が3つ並ぶ場合、「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の数値が順に示してある（以下同様）。

## 〔要約〕：4-2. 授業について

・授業で使うもの：

全体では「市販の教科書」「プリント教材（自作）」「絵」「文字カード・フラッシュカード」が比較的多く使われている。国籍別では、マレーシア人教師は「市販の教科書」「問題集」「文字カード・フラッシュカード」を多く使い、日本人教師は「市販の教科書」「絵」「プリント教材（自作）」を多く使う。所属別では、マレーシア人教師は中等教育で「市販の教科書」よりも「問題集」を多く使っている。中等教育では、高等教育・学校教育以外に比べて「音声テープ（市販）」をあまり使っておらず、学校教育以外では中等・高等教育に比べて「文字カード・フラッシュカード」を使っていない。日本人教師は、高等教育で「実物」を多く使っているのに対して、学校教育以外ではあまり使っていない。

・生教材：

全体では「写真」が最も多く、「テープ・CD」「ビデオ・DVD・VCD」「雑誌」が使われている。「テレビ番組」「インターネット」「マンガ」はあまり使われていない。国籍・所属別では、マレーシア人教師は高等教育・学校教育以外に比べて中等教育で「ビデオ・DVD・VCD」「雑誌」の使用が多い。

・生教材を使う理由：

全体では「学習者の興味・関心をひくため」「日本の事物や文化に触れさせるため」「学習者に本物の日本語に触れさせるため」の順に多い。

・自作教材：

全体では①「練習問題などのプリント」、②「フラッシュカード」、③「活動用補助シート」が多く使われている。

・授業での使用機材：

全体の79.6%が何らかの機材を使用している。マレーシア人教師は「ビデオ・VCD・DVD」（76.9%）、日本人教師は「テーブルコーダー」（96.6%）を最も多く使用している。

・授業での日本語の使用（マレーシア人教師対象）

初級レベル：

所属を通じて、日本語の使用が「一部」である場合が最も多い。具体的には「あいさつ」「例文や本文を読む」が多い。

中級レベル：

中級レベルの日本語教育があまり行われていないからか、「無回答」が多いが、所属に共通して「一部日本語を使う」が最も多い。具体的には「あいさつ」「例文や本文を読む」「指示を出す」が多い。

・授業準備に利用するもの：

**国籍別**

〈マレーシア人教師〉

①「教科書」（82.7%）②「参考書」（77.7%）③「文法解説書」（71.2%）

〈日本人教師〉

①「文法解説書」（80.2%）②「教科書に付随した指導書」（76.2%）③「教科書」（75.2%）

**所属別**

〈マレーシア人教師〉

中等教育では「日本語の歌（テープ・CD）」（68.8%）、高等教育では「漢字字典」（40.0%）「インターネット」（46.7%）「他の日本語教師（日本人）」（60.0%）の利用率が他の所属に比べて高い。

〈日本人教師〉

「参考書」（79.1%）「漢字字典」（48.8%）「インターネット」（62.8%）「他の日本語教師（日本人）」（79.1%）などの利用率については、学校教育以外に比べると高等教育の方が高い。

・日本語教師として重視する能力：

マレーシア人教師は、①「言語教育能力」、②「日本語の知識」、③「クラスマネージメント」、日本人教師は、①「日本語運用能力」、②「言語教育能力」、③「日本語の知識」。

・日本語教師の資質・能力向上のためにすること

マレーシア人教師・日本人教師とも所属に共通して「参考書や専門書で勉強する」「他の教師と話す」が高く、「他の教師の授業を見学する」「自分の授業を見てもらう」が低い。

・コンピュータの利用の有無及び方法：

マレーシア人教師の82.0%、日本人教師の85.1%が利用している。方法としては、国籍に関わらず「インターネットで情報収集」「電子メールの送受信」「ワープロで教材作成」「表計算（統計）ソフトを使つての成績管理や分析、予定表の作成」の割合が高い。

・日本語教育へのコンピュータ利用の必要性：国籍に共通して、中等教育・高等教育では必要だという意識が見られるが、学校教育以外では比較的低い。

・日本語教師の資質・能力の向上のために充実を希望するもの：

国籍に共通して①「辞書」（マレーシア人教師 90.6%・日本人教師 65.3%）、②「文法解説書」（マレーシア人教師 89.9%・日本人教師 61.4%）の希望が高い。「Web日本語学習プログラム」「日本語を使ったゲームソフト」の希望は共通して低い。

所属別では、マレーシア人教師は他の所属に比べて、中等教育では「漢字字典」、高等教育では「日本語教師養成・研修コース」の希望が高い。学校教育以外では「漢字字典」「日本人との言語交換学習」「教師間のネットワーク」の希望が、中等・高等教育に比べて低い。

・充実を希望する「文法解説書」のレベル：

日本人教師もマレーシア人教師も初級・上級に比べて中級の希望が比較的高い。

・充実を希望する「辞書」の種類：

「日馬」「馬日」を希望する割合が6割程度で、国籍による違いはあまりないが、マレーシア人教師は「和



英」「英和」の希望が多い。

・充実を希望する「漢字字典」の使用言語：

マレーシア人教師は全体では「マレー語で説明」。中等教育・高等教育では「マレー語で説明」、学校教育以外では「日本語で説明」を希望する割合が高い。日本人教師は、「マレー語で説明」を希望する割合が高い。

・充実を希望する「コンピュータソフト」：

国籍・所属に共通して「文法」「漢字」の希望が高い。

(要約)：4-3. 日本語を使っのやりとりについて (マレーシア人教師対象)

・日本語を使っのやりとりの有無：

所属に共通して「はい」116人(83.5%)、「いいえ」18人(12.9%)。

・やりとりの相手：

全体として、①「日本語の教師」(101名)、②「知り合い」(87名)、③「日本の関係機関の人」(69名)が多い。

・やりとりの方法：

「日本語の教師」が相手の場合は、共通して直接会っの「会話」(95.0%)が最も多い。「知り合い」が相手の場合は、全体では「日本語の教師」と同様であるが、「会話」の割合が下がり、「電子メール」「手紙」が高くなっている。また、中等教育では「会話」よりも「電話」の方が多く使われている。

・最もよくやりとりをする相手：

全体的に①「日本語の教師」(44.0%)、②「知り合い」(25.0%)が多い。

以下、「最もよくやりとりをする相手」について。

・やりとりをする相手の国籍：「日本人」が57.8%で最も多い。

・やりとりをする相手の性別：全体では53.4%で女性が多い。

・やりとりを始めた頃の日本語力：

高等教育では「かなりできた」(63.0%)が最も多く、中等教育・学校教育以外では「日常会話程度できた」(46.2%・45.9%)が多い。

・やりとりをする頻度：

中等教育では「月2,3回」(34.6%)、高等教育では「毎日」(40.7%)、学校教育以外では「週2,3回」(29.7%)が最も多い。

・やりとりをする手段：

高等教育・学校教育以外では直接相手と「会って話す」(85.2%・75.7%)「電話で話す」(66.7%・59.5%)の順に多く、中等教育では「電話で話す」(57.7%)「会って話す」(46.2%)の順になっている。

・やりとりをするときの日本語の割合：

所属に関わらず「全部日本語」が高く、高等教育はその割合が特に高い。

・やりとりの内容：

所属に共通して、①「生活について」(60.3%)、②「日本語について」(50.9%)、③「仕事について」(46.6%)が多い。

・日本語でやりとりをする理由：

所属に共通して、「日本語能力向上や維持のため」「日本語の母語話者と話したいから」「相手が使うから」が高い。

#### (要約)：4-4. 日本語が使われているものとの接触について (マレーシア人教師対象)

- ・身の回りでの日本語が使われているものの有無：所属に共通して「はい」(127人・91.4%)が多い。
  - ・日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無：「はい」と答えた人が96.9%と多い。
  - ・見聞きするもの：  
中等教育・学校教育以外では「ビデオ・VCD・DVD」(81.0%・78.9%)、高等教育では「コンピュータ」(81.5%)が最も多い。「テレビ」「雑誌」「本」などは所属に共通して見聞きしている。
  - ・最もよく見聞きするもの：高等教育では「コンピュータ」、中等教育・学校教育以外では「ビデオ・VCD・DVD」が最も高い。
- 以下、「最もよく見聞きするもの」について。
- ・見聞きする頻度：  
所属に共通して「週2,3回」が最も多く、高等教育でその割合が高い。中等教育・学校教育以外では「月2,3回」と同程度となっている。
  - ・見聞きするものの所有者：「自分」(56.1%)が最も多く、所属に共通して多い。
  - ・見聞きするものの内容：  
所属に共通して①「社会・生活」(76.4%)、②「日本語・日本語学習」(63.4%)、③「文化・芸術」(52.8%)
  - ・見聞きする理由：  
所属に共通して、「日本語能力の向上や維持のため」(4.57)が最も高い。

#### (要約)：4-5. 利用経験のある機会や場所について (マレーシア人教師対象)

- ・利用経験の有無：授業以外の日本語学習の機会や場所を利用したことのある人は129人(92.8%)、ない人は6人(4.3%)。
- ・利用経験のある機会や場所 (マレーシアにおいて)：  
全体で①「日本・日本語に関する資料センター・図書館」(71.6%)、②「日本・日本語に関するイベント」(66.4%)、③「日本人との交流会」(49.1%)の順に高い。
- ・利用経験のある機会や場所 (日本において)：  
全体として①「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(70.2%)、②「日本人との交流会」(69.0%)、③「日本語のカラオケ」(57.1%)の順に高い。
- ・再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無：「ある」が87.6%で所属に共通して多い。
- ・再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所：  
全体として①「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(21.2%)、②「日本・日本語に関するイベント」(17.7%)、③「日本人との交流会」(16.8%)の順に高い。

## 4-1. 教師について

ここでは、本調査に回答した教師の性別、年齢、母語、日本語学習歴、訪日経験とその目的、日本語教育経験、専門領域、日本語力、日本語教育動機、研修歴等の基礎的情報について尋ねた結果を報告する。

### 4-1-1. 性別

図 4-1・4-2 のように、全体で見ると女性教師が 65.0%で、所属に共通して多い。図には示さないが、国籍別でも同様である。 〈教F1〉

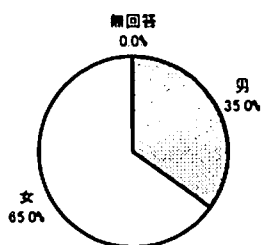


図4-1: 性別(全体)

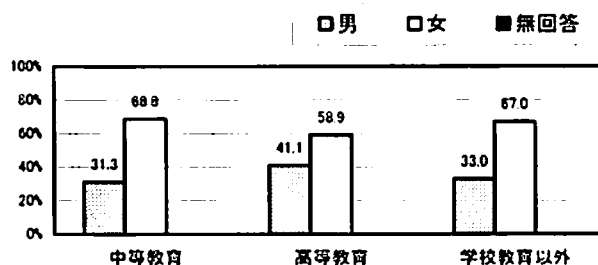


図4-2: 性別(所属別)

### 4-1-2. 年齢

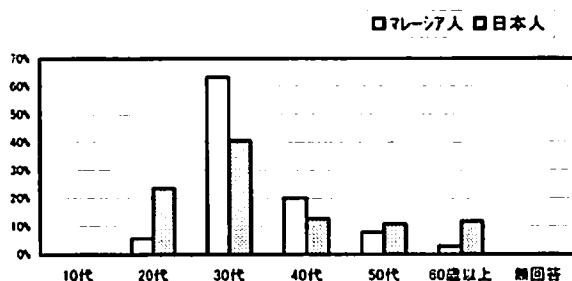


図4-3: 年齢(国籍別)

図 4-3 のようにマレーシア人教師も日本人教師も 30 代 (63.3%・40.6%) が最も多い。続いて、マレーシア人教師は 40 代 (20.1%)、日本人教師は 20 代 (23.8%) が多い。

〈教F3〉

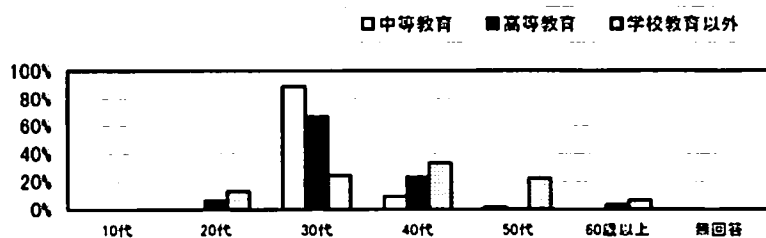


図4-4: 年齢(マレーシア人)

マレーシア人教師は所属別で見ると、図 4-4 のように中等・高等教育では 30 代 (89.1%・66.7%) が最も多いが、学校教育以外では、40 代が 33.3%で最も多い。

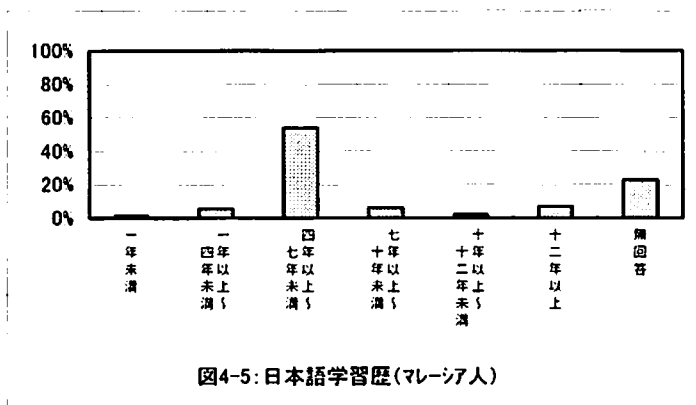
### 4-1-3. 母 語

教師の母語は、表 4-2 のようにマレーシア人教師は「マレー語」(48.2%)と「中国語」(41.7%)がほとんどで、日本人教師はほとんど「日本語」(95.0%)となっている。なお、「その他」とは、例えば「複数言語」を示す。 (教 F4)

〈表 4-2：母語〉( )内は%

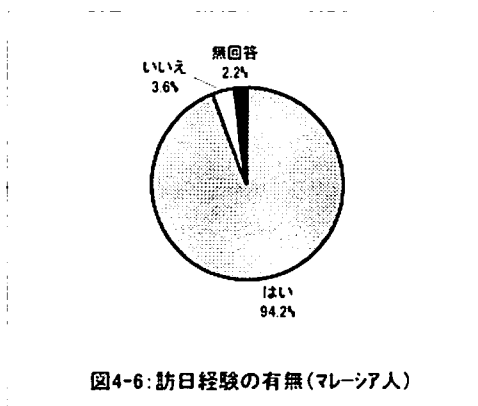
回答者数	合計			
	マレー語	中国語	英語	日本語
	68 (28.3)	58 (24.2)	5 (2.1)	97 (40.4)
	67 (48.2)	58 (41.7)	5 (3.6)	1 (0.7)
	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	96 (95.0)
	7 (2.9)	6 (4.3)	1 (1.0)	
	5 (2.1)	2 (1.4)	3 (3.0)	

### 4-1-4. 日本語学習歴 (マレーシア人教師対象)



日本語学習歴についてマレーシア人教師に尋ねたところ、所属に共通して「4年以上7年未満」(54.0%)が多い(図 4-5)。 (教 F5)

### 4-1-5. 訪日経験 (マレーシア人教師対象)



訪日経験の有無についてマレーシア人教師に尋ねたところ、図 4-6 のように全体で「はい」と答えた人が 94.2%であり、所属に共通して経験者が多い。 (教 F6)

#### 4-1-6. 訪日目的 (マレーシア人教師対象)

訪日目的は、図4-7のように所属に共通して「長期留学(1年以上)」が最も多い。特に、中等教育では93.3%、高等教育では80.0%と割合が高い。学校教育以外では41.5%で、「観光」(31.7%)が続いている。

〈教F6-2〉

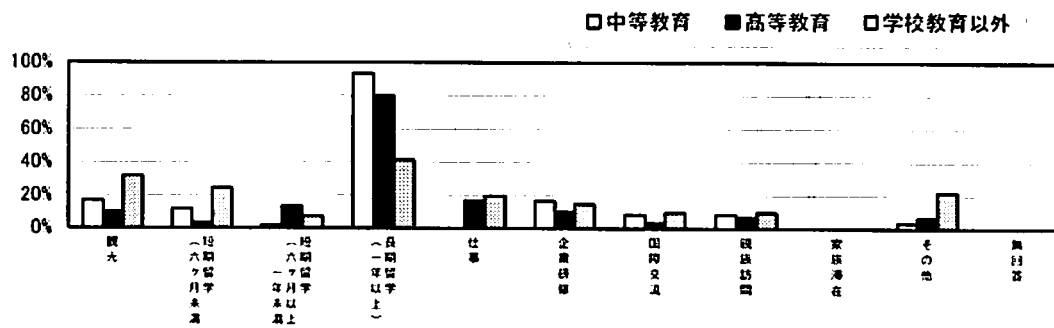


図4-7: 訪日目的(項目別) (複数回答可)

#### 4-1-7. 日本語教育経験

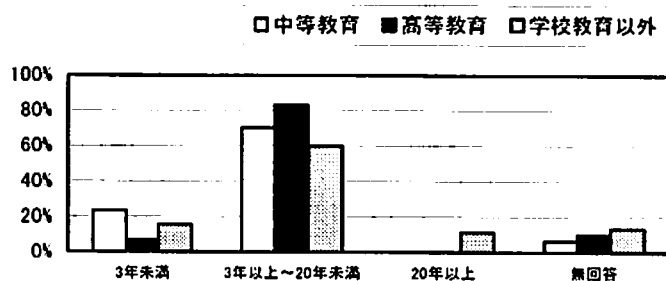


図4-8: 日本語教育経験(マレーシア人)

日本語教育経験について尋ねたところ、図4-8のようにマレーシア人教師は所属に共通して「中堅(3年以上~20年未満)」(70.3%・83.3%・60.0%)が多い。高等教育では「初任(3年未満)」は6.7%と低い。学校教育以外でのみ「ベテラン(20年以上)」が11.1%いる。なお、括弧内に、

数値が3つ並ぶ場合、「中等教育」「高等教育」「学校教育以外」の数値が順に示してある(以下同様)。

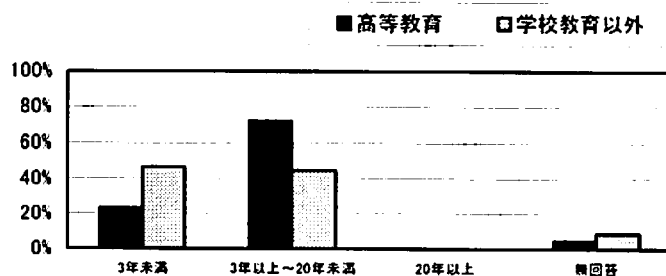
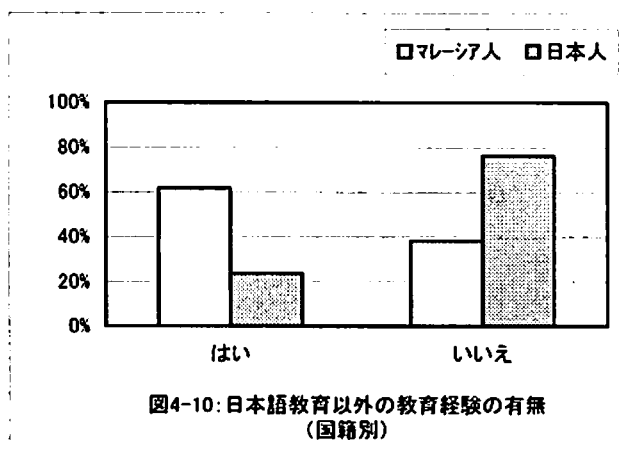


図4-9: 日本語教育経験(日本人)

日本人教師は、図4-9のように高等教育では「中堅」(72.1%)が多く、学校教育以外では「初任」(46.6%)と「中堅」(44.8%)ではほぼ同程度である。「ベテラン」は見られない。

〈教F7〉

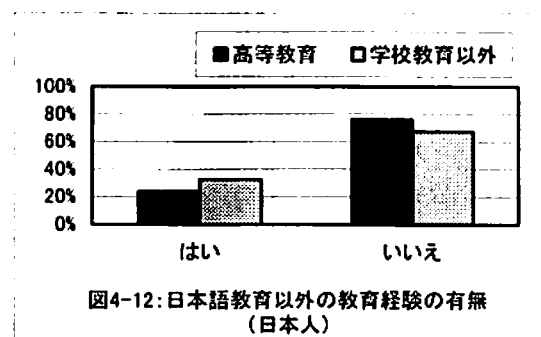
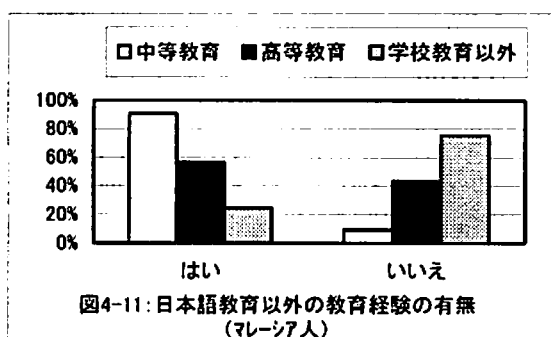
#### 4-1-8. 日本語以外の教育経験の有無



日本語以外の教育経験があるかどうかについて尋ねたところ、図 4-10 のようにマレーシア人教師は「はい」(61.9%)、日本人教師は「いいえ」(76.2%) の方が多い。  
(教 F8)

所属別で見ると、図 4-11 のように、マレーシア人教師は中等教育で「はい」(90.6%) が圧倒的に多く、高等教育でも「はい」(56.7%) が多いが、学校教育以外では「いいえ」(75.6%) が多くなっている。日本語以外に教育経験のある言語としては「英語」「マレー語」が所属に共通して多い。

日本人教師は、図 4-12 のように、所属に共通して「いいえ」(76.2%・67.4%) が多い。



#### 4-1-9. 日本語力 (マレーシア人教師対象)

現在、どれぐらい日本語力があると思うか、マレーシア人教師に 4 技能について 5 段階で自己評価してもらった。数値の意味は各技能で異なるが、数値が高いほど、自己評価が高いことを示す。まず、図 4-13 のように所属別に 4 技能の平均値を比較したところ、中等教育では 3.4~4.0、高等教育では 3.5~4.1、学校教育以外では 3.5~3.9 となっている。「書く」が全体的に低い傾向がある。  
(教 F9)

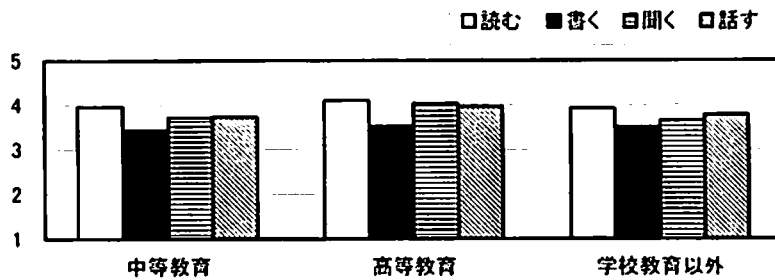


図4-13: 4技能の比較(所属別・マレーシア人)  
(5段階評価平均値)

技能別に平均値を比較すると、図4-14のように大きな違いは見られない。

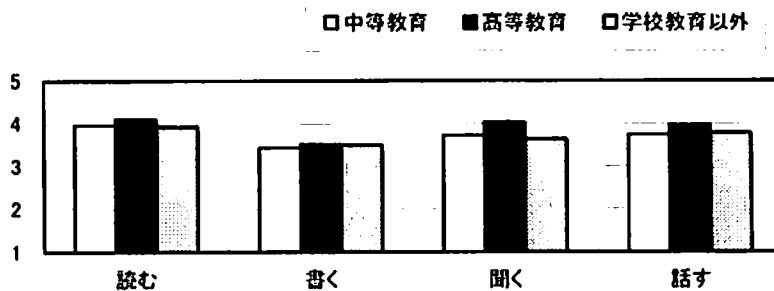


図4-14: 4技能の比較(項目別・マレーシア人)  
(5段階評価平均値)

各技能の結果は次のとおりである。

## (1) 「読むこと」

- わからない、考えたことがない。
- 学習者用に書かれたものなら、だいたい理解できる。
- 簡単な文章なら理解できる。
- 辞書を使って新聞や雑誌、興味のある分野の本などがだいたい理解できる。
- 母語と同じように読める。
- 無回答

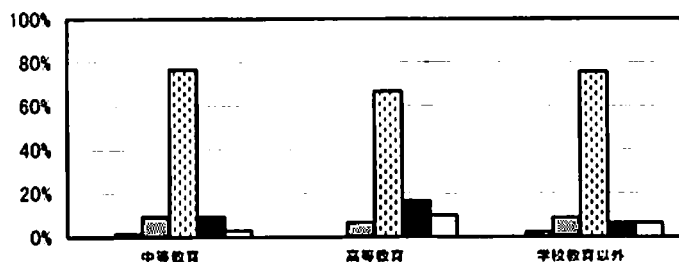


図4-15: 現在の日本語力「読むこと」(所属別・マレーシア人)

所属に共通して「辞書を使って新聞や雑誌、興味のある分野の本などがだいたい理解できる」(76.6%・66.7%・75.6%)が多い(図4-15)。 〈F9-1〉

## (2) 「書くこと」

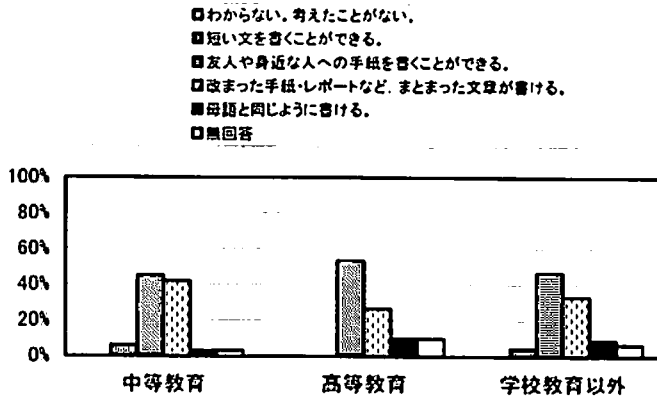


図4-16: 現在の日本語力「書くこと」(所属別・マレーシア人)

所属に共通して、「友人や身近な人への手紙を書くことができる」(45.3%・53.3%・46.7%)が最も多く、「改まった手紙・レポートなど、まとまった文章が書ける」(42.2%・26.7%・33.3%)が続いている。中等教育では2つの割合が同程度になっている(図4-16)。 (F9-2)

## (3) 「聞くこと」

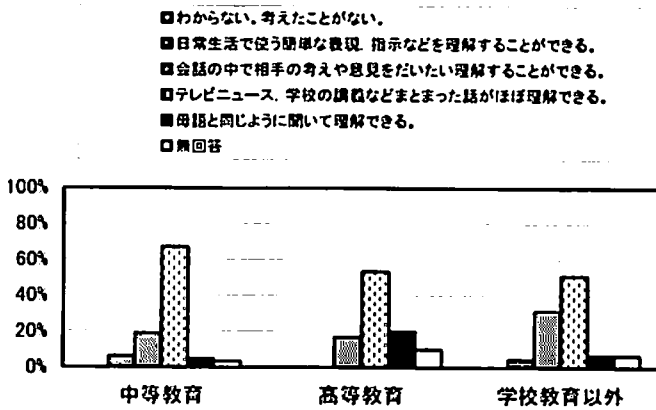


図4-17: 現在の日本語力「聞くこと」(所属別・マレーシア人)

所属に共通して、「テレビニュース、学校の講義などまとまった話がほぼ理解できる」(67.2%・53.3%・51.1%)が最も多い。中等教育・学校教育以外では、「会話の中で相手の考えや意見をだいたい理解することができる」(18.8%・31.1%)が続くが、高等教育では「母語と同じように聞いて理解できる」(20.0%)が2番目に多い(図4-17)。 (F9-3)

## (4) 「話すこと」

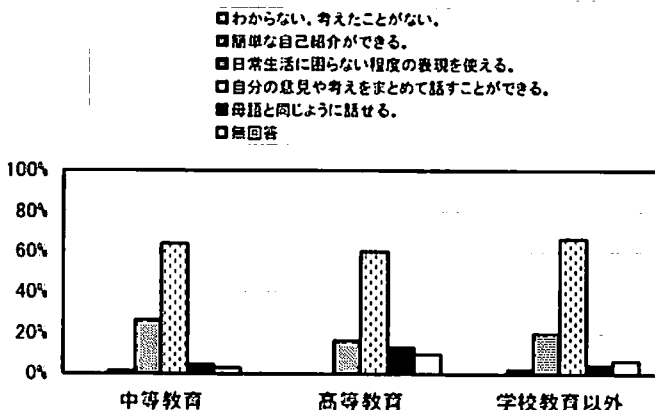


図4-18: 現在の日本語力「話すこと」(所属別・マレーシア人)

所属に共通して、「自分の意見や考えをまとめて話すことができる」(61.1%・60.0%・66.7%)が最も多く、「日常生活に困らない程度の表現を使える」(26.6%・16.7%・20.0%)が続いている。高等教育では「母語と同じように話せる」が13.3%いる(図4-18)。 (F9-4)



#### 4-1-10. 日本語教育を始めた理由

日本語教育を始めた理由や動機について自由記述形式で尋ねた。比較的多かった回答について表 4-3 にまとめる。マレーシア人教師は全体で「日本語・日本文化に興味があったから」が多く、学校教育以外で「日本語能力の向上」が見られた。日本人教師は全体で「日本語・異文化交流に興味があったから」「海外で働きたかったから」が多く、学校教育以外で「日本（文化）を伝えたいから」「マレーシア社会に貢献するため」が見られた。

(教 F10)

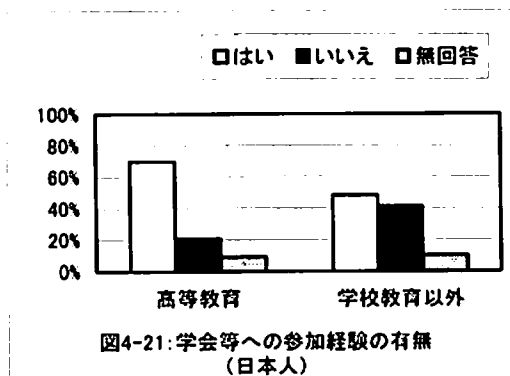
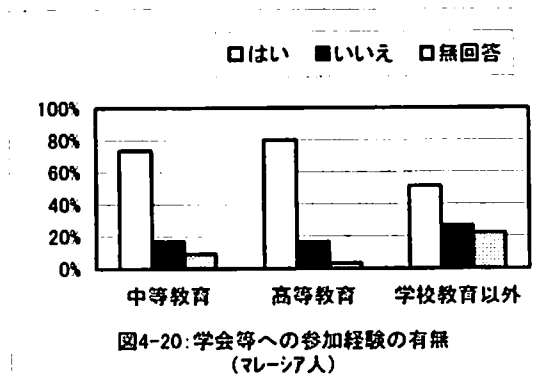
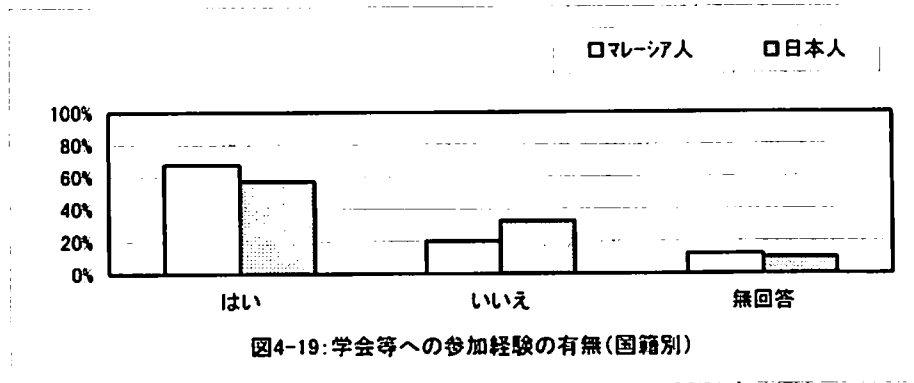
〈表 4-3：日本語教育を始めた理由（国籍別）〉 ( ) 内は回答者数

マレーシア人教師	日本人教師
<b>中等教育</b>	
外国語を学習・習得したかったから(9) 日本語・日本文化・学ぶことに興味があったから(8)	
<b>高等教育</b>	
日本語・日本文化に興味があったから(6) 日本留学経験があるから(3)	日本語に興味があったから(4) 異文化交流に興味があったから(4) 海外で働きたかったから(4) 言語学習・習得に興味があったから(3) 日本語教育・教師に興味があったから(3) 教えることが好きだから(3) 日本語学習(希望)者に会ったから(3)
<b>学校教育以外</b>	
日本語能力を向上させたかったから(8) 日本語を忘れないようにするため(4) 日本語に興味があったから(3) 教えると同時に学べるから(3)	異文化交流に興味があったから(6) 日本(文化)を伝えたいから(6) 海外で働きたかったから(5) マレーシア社会に貢献するため(5) 人の紹介や勧めで(5) 日本語教育・教師に興味があったから(4)

#### 4-1-11. 日本語教育に関する学会等への参加について

過去に、日本語教育に関する学会、研究会、教師会などに参加したことがあるかどうかについて尋ねたところ、マレーシア人教師の 67.6%、日本人教師の 57.4%が「はい」と答えている(図 4-19)。所属別でも同様の傾向であるが、図 4-20・4-21 のようにマレーシア人教師も日本人教師も学校教育以外で、「いいえ」(マレーシア人 26.7%・日本人 41.4%)の割合が高い。参加経験のある学会・研究会等としては、全体として「国際交流基金クアラルンプール日本文化センターのセミナー・ワークショップ・キャラバン」が多い。

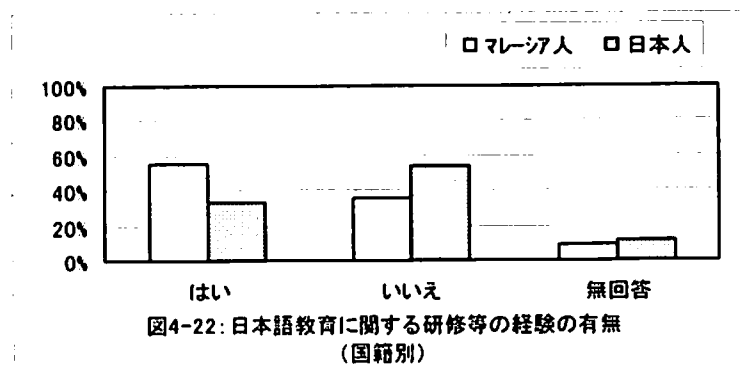
(教 F11)



#### 4-1-12. 日本語教育に関する研修の経験について

過去に、日本語教育に関する研修等を受けたことがあるかどうかについて尋ねたところ、マレーシア人教師の55.4%が「はい」と答えているのに対し、日本人教師は「いいえ」の方が54.5%と多い(図4-22)。

(教F12)



〈表 4-4：日本語教育に関する研修等の経験の有無〉 ( )内は%

		中等教育	高等教育	学校教育以外	合計
マレーシア人	はい	32 (50.0)	16 (53.3)	29 (64.4)	77 (55.4)
	いいえ	26 (40.6)	11 (36.7)	12 (26.7)	49 (35.3)
	無回答	6 (9.4)	3 (10.0)	4 (8.9)	13 (9.4)
日本人	はい		17 (39.5)	17 (29.3)	34 (33.7)
	いいえ		25 (58.1)	30 (51.7)	55 (54.5)
	無回答		1 (2.3)	11 (19.0)	12 (11.9)

所属別に見ても、図 4-23・4-24 のように、マレーシア人教師は「はい」が多く、日本人教師は「いいえ」の方が多い。マレーシア人教師の場合、中等教育で「はい」(50.0%)と「いいえ」(40.6%)の割合が近い。

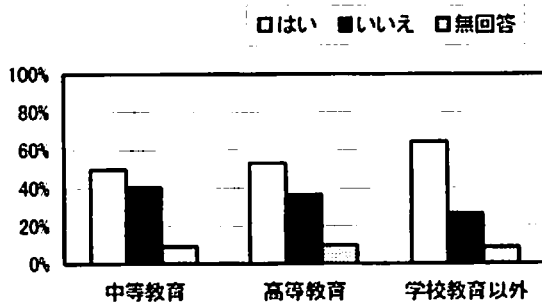


図4-23: 日本語教育に関する研修等の経験の有無(マレーシア人)

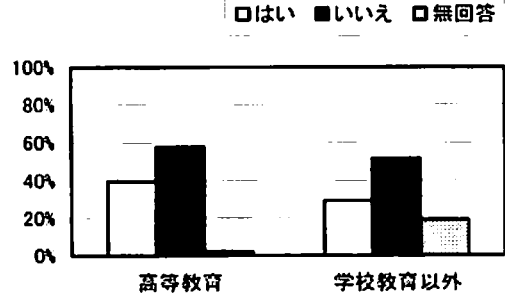


図4-24: 日本語教育に関する研修等の経験の有無(日本人)

#### 4-1-13. 日本語教育に関する研修を受けた回数

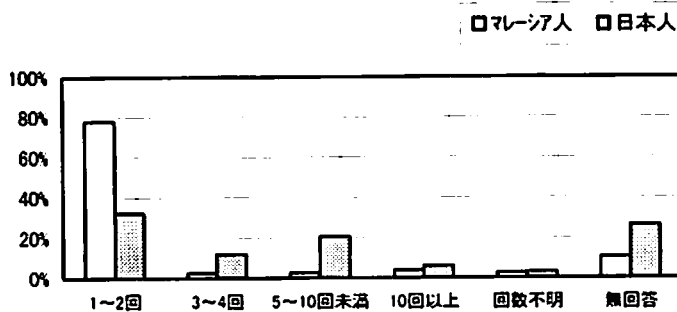


図4-25: 研修を受けた回数(国籍別)

4-1-12で過去に研修を受けたことのあるマレーシア人教師 77人・日本人教師 34人に対して、回数を尋ねたところ、マレーシア人教師は「1~2回」(77.9%)が圧倒的に多いが、日本人教師は「1~2回」(32.3%)と「5~10回未満」(20.6%)が多い(図 4-25)。

(教 F12-1)

## 4-2. 授業について

ここでは、教師が普段の授業や授業の準備のために使っているものや、教師としての資質・能力向上のために必要なもの等について、教師に尋ねた結果をまとめる。

### 4-2-1. 授業で使うもの

授業で使うものについて「いつも使う (5)」～「使わない (1)」の5段階のスケールで尋ねたところ、図4-26のように全体では「市販の教科書」(4.38)「プリント教材 (自作)」(3.83)「絵」・「文字カード・フラッシュカード」(3.73)が比較的多く使われている。

国籍別に、上位3位までを表4-5に示した。「市販の教科書」が共通して最も多く使われている。その他、マレーシア人教師は日本人教師に比べて「問題集」を多く使い、「ビデオ (自作)」はあまり使わない。日本人教師はマレーシア人教師と比べて「自作の教科書」をほとんど使わない傾向がある(図4-26)。

(教1Q1)

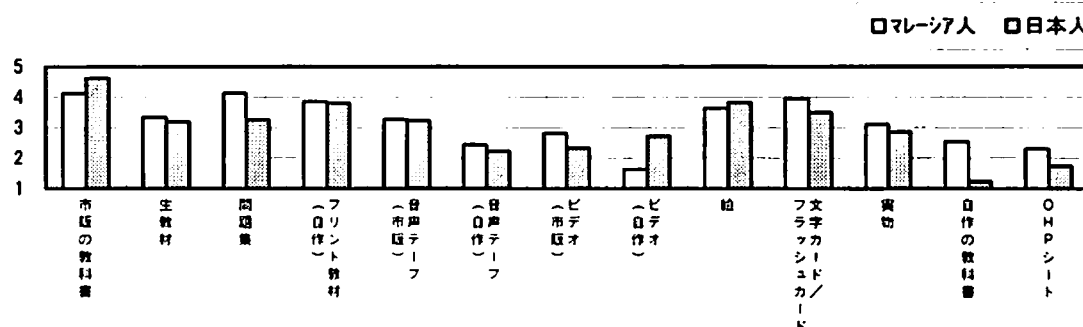


図4-26: 授業で使うもの(国籍別) (5段階評価平均値)

〈表4-5: 授業で使うもの(国籍別)〉

順位	マレーシア人	日本人
1位	市販の教科書/問題集 (4.13)	市販の教科書 (4.63)
2位		絵 (3.83)
3位	文字カード・フラッシュカード (3.95)	プリント教材<自作> (3.81)

(5段階評価平均値)

所属別の結果は、図4-27・4-28に示した。各上位3位までは表4-6に示した。マレーシア人教師は中等教育で「市販の教科書」よりも、「問題集」を多く使っている。また、中等教育では高等教育・学校教育以外に比べて「音声テープ (市販)」をあまり使っておらず、学校教育以外では中等・高等教育に比べて「文字カード・フラッシュカード」をあまり使っていない。

日本人教師は、高等教育で「実物」を多く使っているのに対して、学校教育以外ではあまり使っていない。

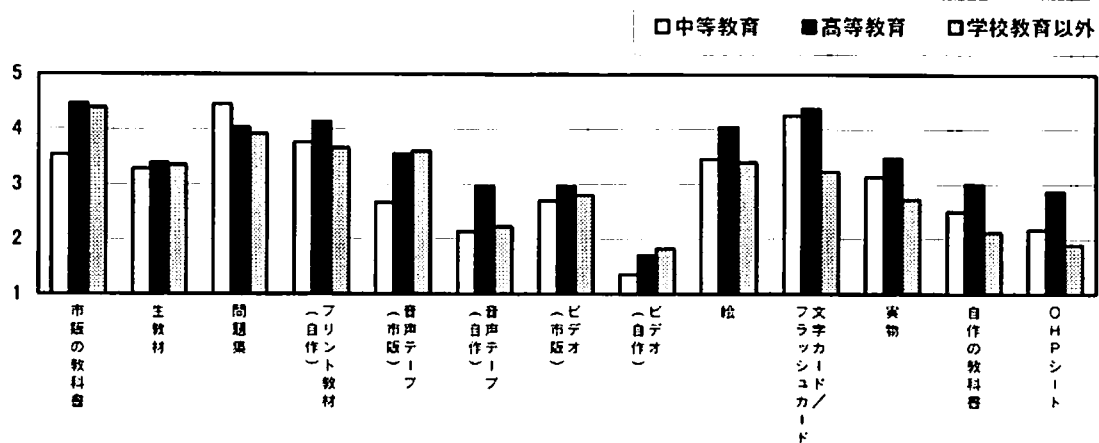


図4-27: 授業で使うもの(マレーシア人) (5段階評価平均値)

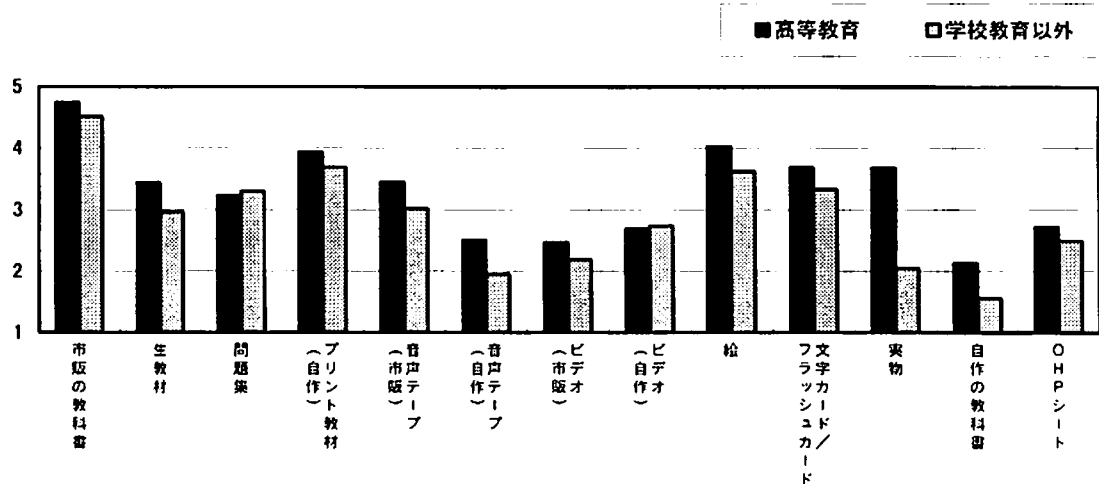


図4-28: 授業で使うもの(日本人) (5段階評価平均値)

〈表 4-6: 授業で使うもの(所属別)〉

順位	中等教育	高等教育		学校教育以外	
	マレーシア人	マレーシア人	日本人	マレーシア人	日本人
1位	問題集 (4.45)	市販の教科書 (4.46)	市販の教科書 (4.74)	市販の教科書 (4.39)	市販の教科書 (4.51)
2位	文字カード/ フラッシュカード (4.25)	文字カード/ フラッシュカード (4.38)	絵 (4.03)	問題集 (3.92)	プリント教材 <自作> (3.69)
3位	プリント教材 <自作> (3.76)	プリント教材 <自作> (4.13)	プリント教材 <自作> (3.93)	プリント教材 <自作> (3.66)	絵 (3.62)

(5段階評価平均値)

## 4-2-2. 生教材について

4-2-1でこれまでの授業で生教材を使ったことがあると答えた教師 208 人に対して、どのようなものを具体的に使ったのかについて尋ねたところ、全体では「写真」(72.1%)が最も多い。国籍別に上位3位までを表 4-7 に示した。「新聞」はマレーシア人教師に比べて日本人教師の方が多く使っている。「テレビ番組」「インターネット」「マンガ」は共通してあまり使われていない(図 4-29)。 (教1Q2)

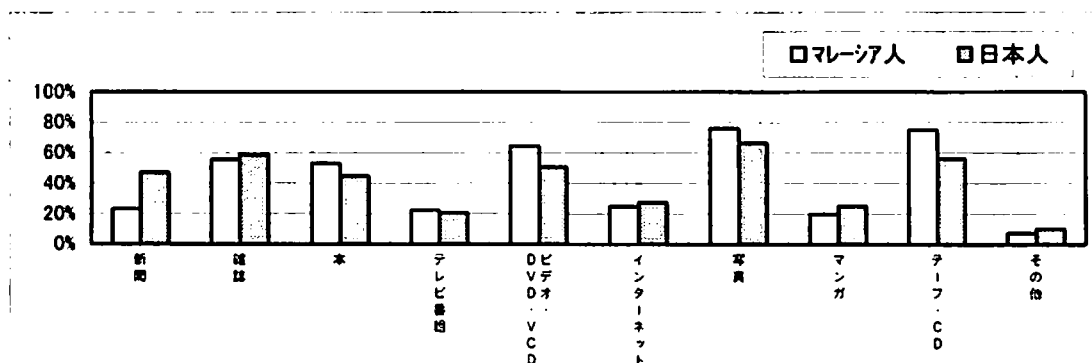


図4-29: 授業で使った生教材(国籍別) (複数回答可)

〈表 4-7: 授業で使った生教材(国籍別)〉( )内は割合・回答者数

順位	マレーシア人	日本人
1位	写真 (76.0%・92人)	写真 (66.7%・58人)
2位	テープ・CD (75.2%・91人)	雑誌 (58.6%・51人)
3位	ビデオ・DVD・VCD (64.5%・78人)	テープ・CD (56.3%・49人)

(複数回答可)

所属別の結果は、図 4-30・4-31 に示した。各上位 3 位までは表 4-8 に示した。マレーシア人教師は図 4-30 のように中等教育で高等教育・学校教育以外に比べて「ビデオ・DVD・VCD」(82.8%)「雑誌」(63.8%)の使用が多い。高等教育では中等教育・学校教育以外に比べて「インターネット」が使われており、学校教育以外では中等・高等教育に比べて「新聞」が使われている。

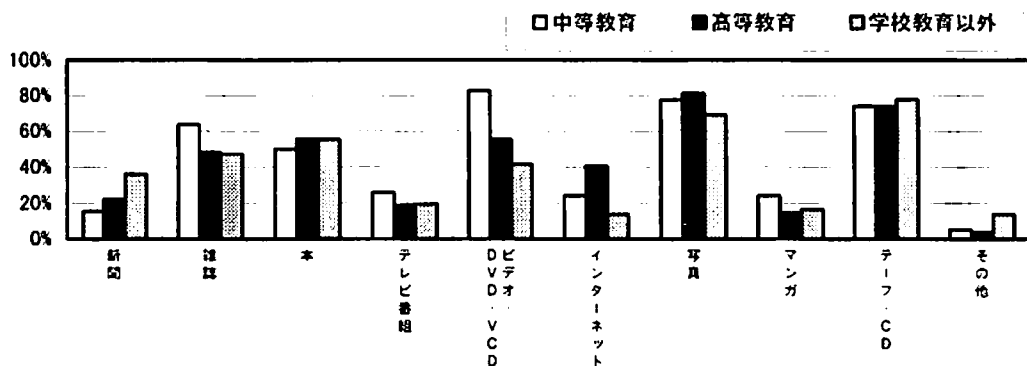


図4-30: 授業で使った生教材(マレーシア人)  
(複数回答可)

日本人教師は、高等教育で学校教育以外に比べて「写真」(77.5%)が多く使われている(図4-31)。

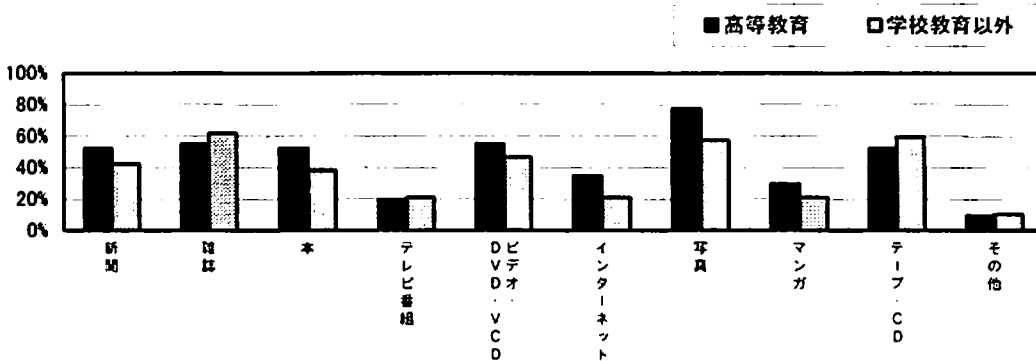


図4-31: 授業で使った生教材(日本人)  
(複数回答可)

〈表4-8: 授業で使った生教材(所属別)〉( )内は割合・回答者数

順位	中等教育	高等教育		学校教育以外	
	マレーシア人	マレーシア人	日本人	マレーシア人	日本人
1位	ビデオ・DVD・VCD (82.8%・48人)	写真 (81.5%・22人)	写真 (77.5%・31人)	テープ・CD (77.8%・28人)	雑誌 (61.7%・29人)
2位	写真 (77.6%・45人)	テープ・CD (74.1%・20人)	雑誌/ ビデオ・DVD・VCD (55.0%・22人)	写真 (69.4%・25人)	テープ・CD (59.6%・28人)
3位	テープ・CD (74.1%・43人)	本/ ビデオ・DVD・VCD (55.6%・15人)		本 (55.6%・20人)	写真 (57.4%・27人)

(複数回答可)

「その他」では、ごく少数であるが、「広告・チラシ」(3名)、「テレホンカード」(2名)などが挙げられていた。

### 4-2-3. 生教材を使う理由

生教材を授業で使う理由について尋ねたところ、全体では「学習者の興味・関心をひくため」「日本の事物や文化に触れさせるため」「学習者に本物の日本語に触れさせるため」の順に回答者が多い（図4-32）。

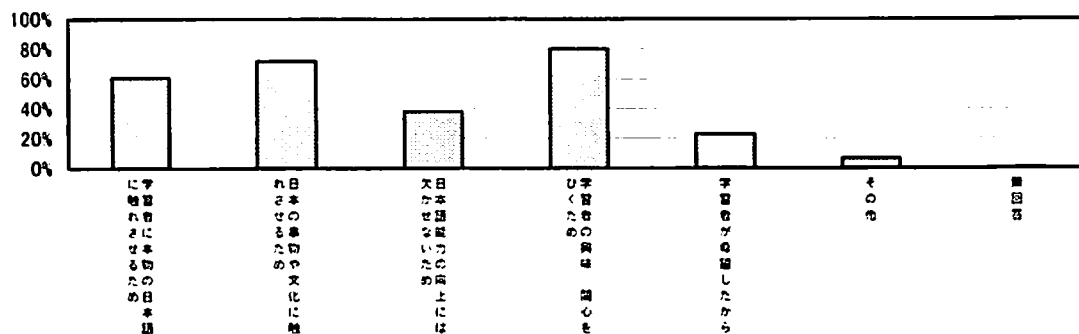


図4-32: 生教材を使う理由(全体)  
(複数回答可)

国籍・所属別では、マレーシア人教師の場合、「学習者の興味・関心をひくため」が最も高く、中等教育では100%となっている（図4-33）。日本人教師の場合、高等教育で「学習者の興味・関心をひくため」（87.5%）が、学校教育以外で「日本の事物や文化に触れさせるため」（70.2%）が最も多い（図4-34）。

「その他」には少数であるが、「より適切な情報を得るため」「教室をより現実のコミュニケーションの場に近づけるため」「最近の日本事情に触れさせたいから」「自分自身の外国語による説明よりも、学習者が生教材を見聞きすればすぐ内容がわかるから」「日本語学習の理論と実際の間には違いがあるということを理解させるため」（各1名）などが挙げられた。（教1Q2-1）

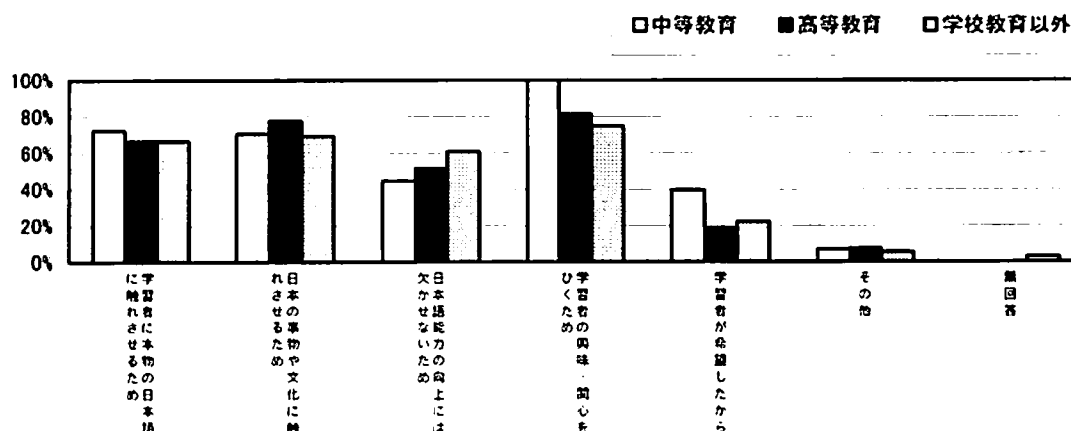


図4-33: 生教材を使う理由(マレーシア人) (複数回答可)



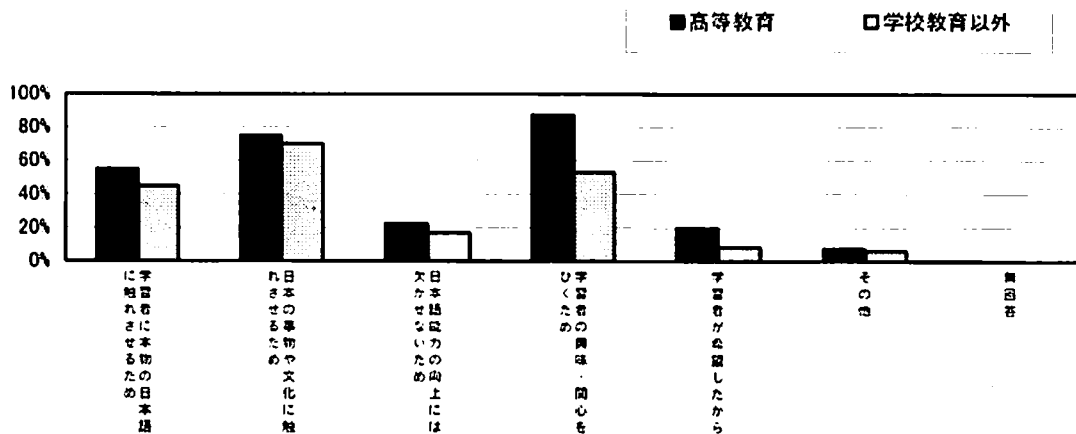


図4-34: 生教材を使う理由(日本人) (複数回答可)

#### 4-2-4. 自作教材について

授業で何らかの自作教材を使ったことがあると答えた教師 206 人に、どのような自作教材を使ったかについて尋ねたところ、全体では①「練習問題などのプリント」(83.5%)、②「フラッシュカード」(77.7%)、③「活動用補助シート」(69.9%)を多く使っている。国籍別に見ると、マレーシア人教師は日本人教師に比べて「読解用のプリント」(61.8%)を多く使っている。日本人教師は「コンピュータを使って教える教材」(2.4%)をほとんど使っていない(図4-35)。 (教1Q3)

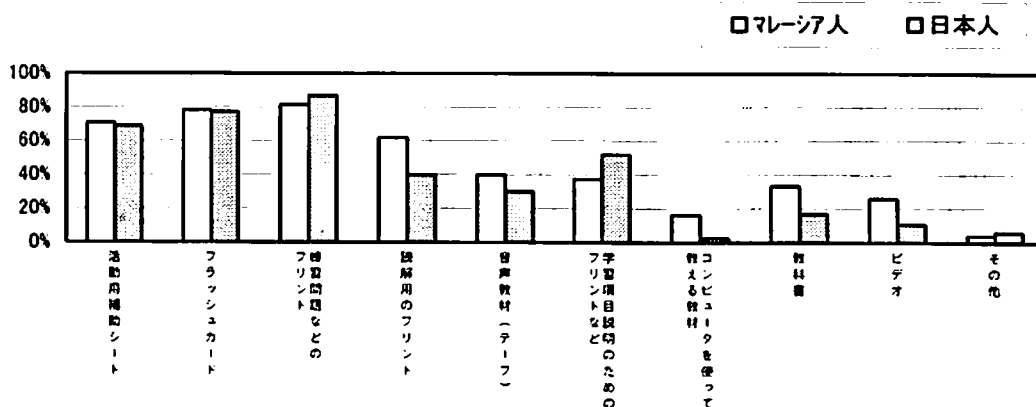
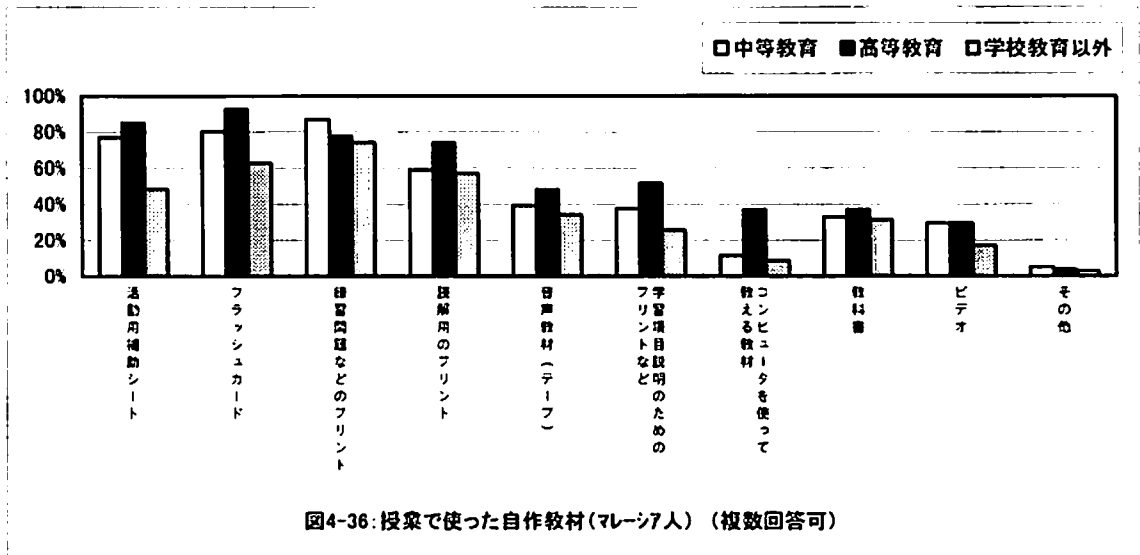
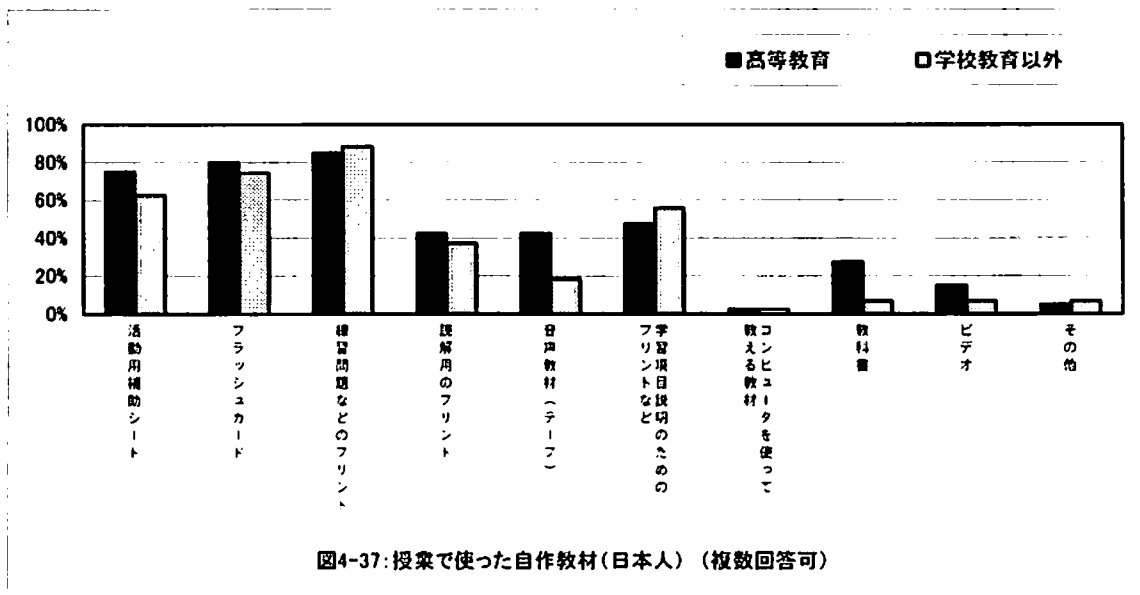


図4-35: 授業で使った自作教材(国籍別) (複数回答可)

所属別に見ると、図 4-36 のように、マレーシア人教師は学校教育以外で中等・高等教育に比べて「活動用補助シート」(48.6%)「フラッシュカード」(62.9%)の使用率が低い。高等教育では中等教育・学校教育以外に比べて「コンピュータを使って教える教材」(37.0%)を使っている。



日本人教師は「コンピュータを使って教える教材」(2.5%・2.3%)「ビデオ」(15.0%・7.0%)はほとんど使っていない(図 4-37)。



## 4-2-5. 授業での使用機材について

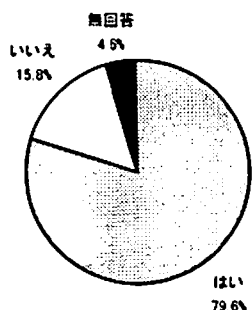


図4-38: 授業での使用機材の有無 (全体)

授業で何らかの機材を使うかどうか尋ねたところ、図4-38のように「はい」が79.6%となっており、所属・国籍に共通して「はい」が多い。(教1Q4)

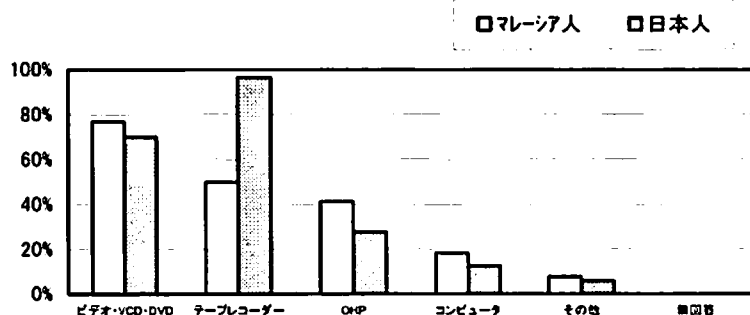


図4-39: 授業での使用機材(国籍別) (複数回答可)

授業で使う機材の種類について尋ねたところ、図4-39のように、マレーシア人教師は「ビデオ・VCD・DVD」(76.9%)を、日本人教師は「テープレコーダー」(96.6%)を最も多く使用している。(教1Q4-1)

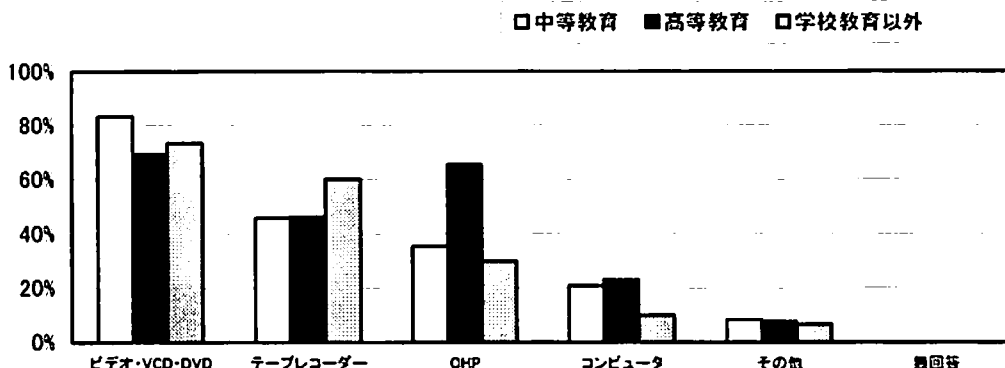


図4-40: 授業での使用機材(マレーシア人) (複数回答可)

所属別でみると、図4-40のようにマレーシア人教師は所属に共通して、「ビデオ・VCD・DVD」が多いが、高等教育では「OHP」(65.4%)の使用率が中等教育・学校教育以外に比べて高い。また、学校教育以外では、中等・高等教育に比べ、「テープレコーダー」(60.0%)の使用率が高い。

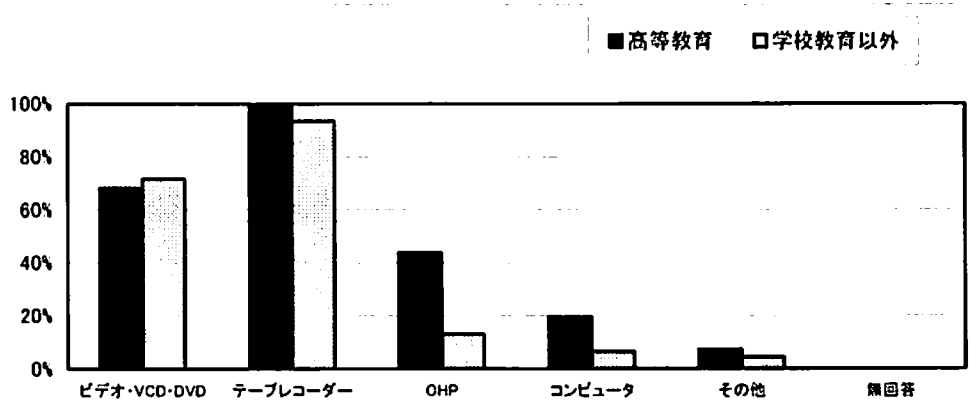


図4-41: 授業での使用機材(日本人)  
(複数回答可)

図 4-41 に示したように、日本人教師は所属に共通して「テープレコーダー」の使用率が最も高い。また、学校教育以外では、高等教育に比べて「OHP」(13.0%)の使用率が低い。

#### 4-2-6. 授業での日本語の使用

授業でどの程度日本語を使うかについて対象学習者のレベル別(初・中・上級)に尋ねた。以下、そのうちの、マレーシア人教師の回答について述べる。 (教I Q5)

まず、初級レベルでは図 4-42 のように、所属を通じて、日本語の使用が「一部」である場合が最も多い。授業で使う日本語として、具体的には図 4-43 のように「あいさつ」(95.7%・100%・97.0%)「例文や本文を読む」(89.4%・95.2%・84.8%)は多いが、「指示を出す」(78.7%・81.0%・57.6%)「言葉の意味や文法の説明」(63.8%・52.4%・33.3%)「アクティビティの説明」(53.2%・52.4%・27.3%)の順に使用の割合が下がる。特に学校教育以外では中等・高等教育に比べてその傾向が強い。

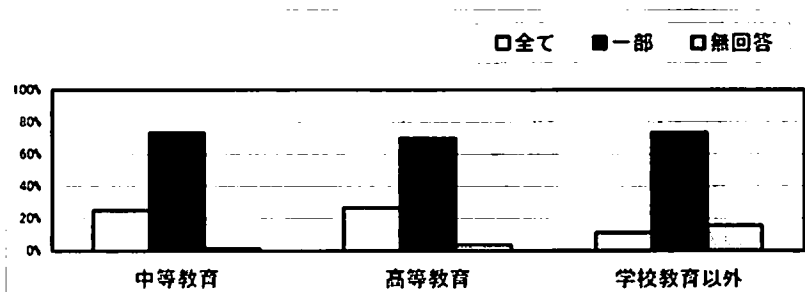


図4-42: 授業での日本語の使用(所属別) <初級>

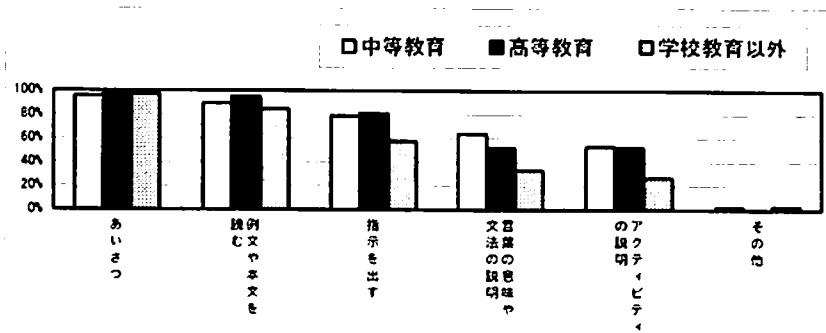


図4-43:「一部日本語を使う」場合の内訳(項目別)  
 <初級> (複数回答可)

マレーシアでは中級レベルの日本語教育があまり行われていないからか、中級レベルでは「無回答」が多いが、図 4-44 のように、所属に共通して「一部日本語を使う」(20.3%・30.0%・35.6%) が最も多い。具体的な使用については図 4-45 のように、所属に共通して「あいさつ」(84.6%・100%・75.0%) 「例文や本文を読む」(92.3%・100%・87.5%) 「指示を出す」(92.3%・100%・87.5%) が多く、「言葉の意味や文法の説明」(61.5%・66.7%・62.5%) 「アクティビティの説明」(53.8%・55.6%・56.3%) は割合が低い。

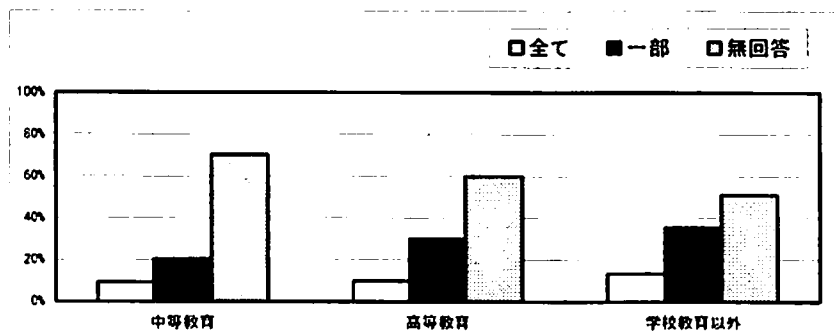


図4-44:授業での日本語の使用(所属別) <中級>

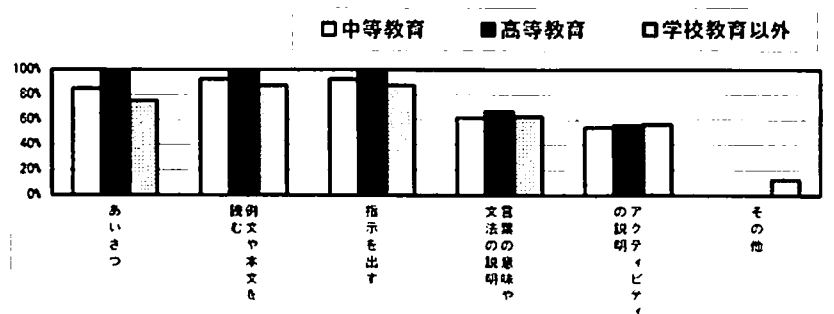
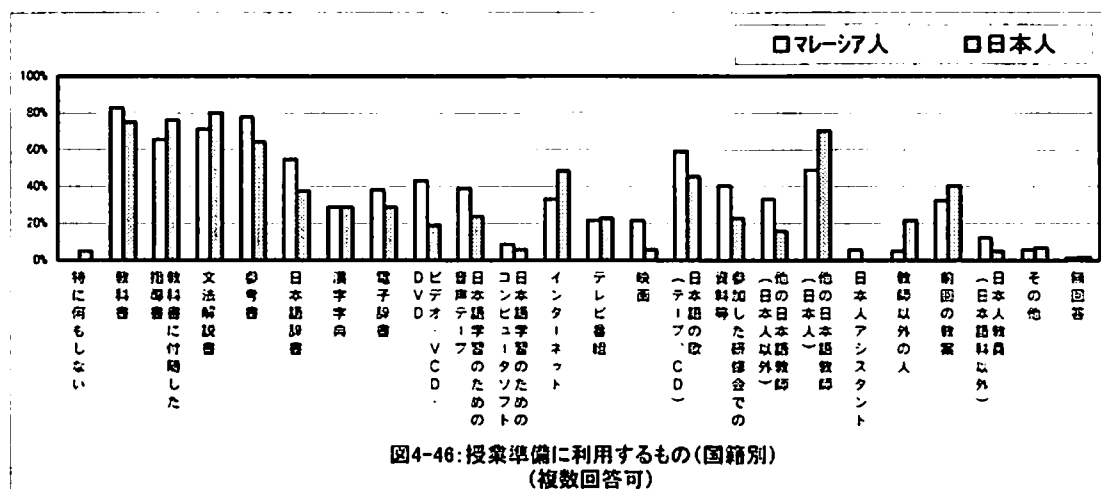


図4-45:「一部日本語を使う」場合の内訳(項目別)  
 <中級> (複数回答可)

#### 4-2-7. 授業準備に利用するもの

授業を準備するときに利用したり、相談したりする相手について尋ねたところ、図4-46、表4-9のようにマレーシア人教師は①「教科書」(82.7%) ②「参考書」(77.7%) ③「文法解説書」(71.2%) ④「教科書に付随した指導書」(65.5%)、日本人教師は①「文法解説書」(80.2%) ②「教科書に付随した指導書」(76.2%) ③「教科書」(75.2%) ④「他の日本語教師(日本人)」(70.3%)の順に多い。国籍で比較すると、マレーシア人教師の方が日本人教師よりも「日本語辞書」(マレーシア人教師54.7%・日本人教師37.6%、以下同様)、「ビデオ・VCD・DVD」(43.2%・18.8%)、「日本語学習のための音声テープ」(38.8%・23.8%)、「日本語の歌」(59.0%・45.5%)、「参加した研修会での資料等」(40.3%・22.8%)、「他の日本語教師(日本人以外)」(33.1%・15.8%)において、利用率が高い。逆に、「インターネット」(33.1%・48.5%)、「教師以外の人」(5.0%・21.8%)では、日本人教師の方がマレーシア人教師よりも利用率が高い。

(教I Q6)



〈表4-9: 授業準備に利用するもの(国籍別)〉( )内は割合・回答者数

順位	マレーシア人	日本人
1位	教科書 (82.7%・115人)	文法解説書 (80.2%・81人)
2位	参考書 (77.7%・108人)	教科書に付随した指導書 (76.2%・77人)
3位	文法解説書 (71.2%・99人)	教科書 (75.2%・76人)

(複数回答可)

所属別の結果は、図4-47・4-48に示した。各上位3位までは表4-10に示した。

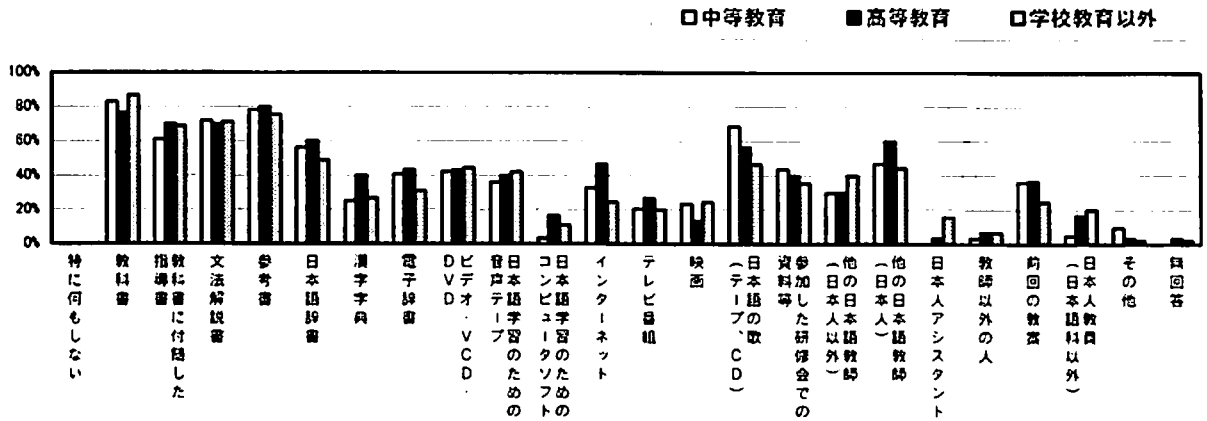


図4-47: 授業準備のために利用するもの(マレーシア人) (複数回答可)

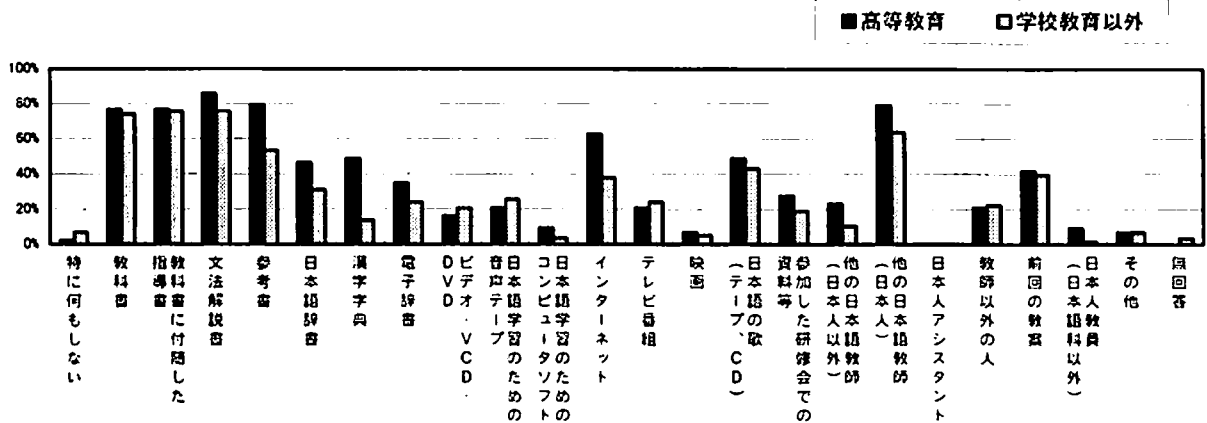


図4-48: 授業準備のために利用するもの(日本人) (複数回答可)

〈表 4-10: 授業準備に利用するもの(所属別)〉( )内は割合・回答者数

順位	中等教育	高等教育		学校教育以外	
	マレーシア人	マレーシア人	日本人	マレーシア人	日本人
1位	教科書 (82.8%・53人)	参考書 (80.0%・24人)	文法解説書 (86.0%・37人)	教科書 (86.7%・39人)	教科書に付随した指導書／ 文法解説書 (75.9%・44人)
2位	参考書 (78.1%・50人)	教科書 (76.7%・23人)	参考書／ 他の日本語教師 (日本人) (79.1%・34人)	参考書 (75.6%・34人)	
3位	文法解説書 (71.9%・46人)	教科書に付随した指導書／ 文法解説書 (70.0%・21人)		文法解説書 (71.1%・32人)	教科書 (74.1%・41人)

(複数回答可)

図4-47のように、マレーシア人教師は所属に共通して「教科書」「参考書」「文法解説書」が高いが、中等教育では「日本語の歌（テープ・CD）」（68.8%）が他の所属に比べ利用されている。高等教育では、「漢字字典」（40.0%）「インターネット」（46.7%）「他の日本語教師（日本人）」（60.0%）の利用率が他の所属に比べて高い。

日本人教師も、図4-48のように、所属に共通して、「文法解説書」「教科書に付随した指導書」「教科書」「他の日本語教師（日本人）」が高い。高等教育の方が学校教育以外より利用率が高いものとして、「参考書」（79.1%）「漢字字典」（48.8%）「インターネット」（62.8%）「他の日本語教師（日本人）」（79.1%）などがある。

#### 4-2-8. 日本語教師としての能力に対する意識

日本語教師としてどのような能力が重要であるかについて「非常に重要（5）」～「重要ではない（1）」の5段階のスケールで尋ねたところ、各項目の平均値は図4-49のようになる。国籍別に上位3位までを表4-11に示した。マレーシア人教師の場合、①「言語教育能力」、②「日本語の知識」、③「クラスマネージメント」、日本人教師の場合、①「日本語運用能力」、②「言語教育能力」、③「日本語の知識」の順に高いが、項目間による差は小さく、いずれも大差なく重視されている。

「その他」に記入していた教師は41人いた。マレーシア人教師から「自信」（1名）「学習者に対する理解」（2名）「学習者と双方向の授業を行う能力」（1名）「試験問題作成における評価の知識」（1名）「日本で勉強、または働いた経験」（1名）などが挙げられていた。日本人教師からは「コミュニケーション能力」（4名）「情意的側面（性格・熱意・ボランティア精神と忍耐力・知的探究心・表現力・協調性・雑学・努力・積極性・寛容性・エンタテイメント）」（12名）「コンピュータに関する能力」（2名）「語学力（学習者の母語・共通言語）」「教材作成力」「一般社会人としての常識」（各1名）などが挙げられた。（教1Q7）

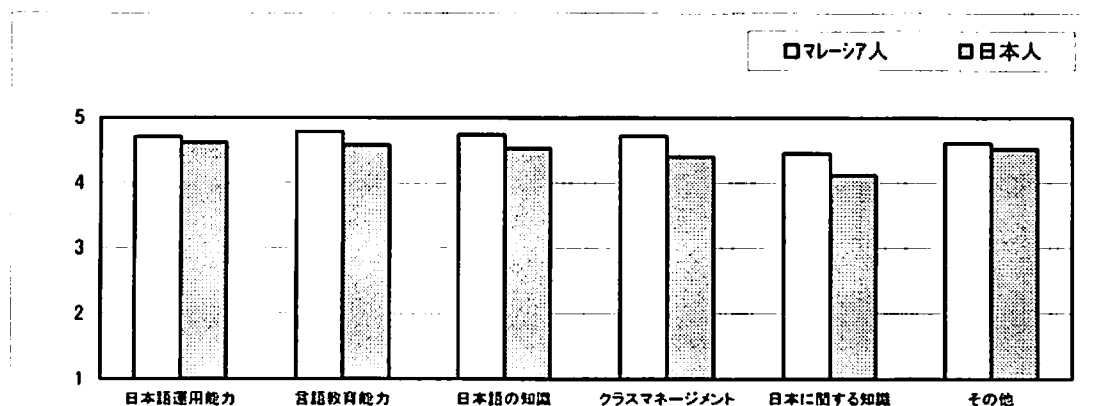


図4-49: 日本語教師として重要だと考える能力(国籍別) (5段階評価平均値)



〈表 4-11：日本語教師として重要だと考える能力〉

順位	マレーシア人		日本人	
1位	言語教育能力	(4.78)	日本語運用力	(4.62)
2位	日本語の知識	(4.74)	言語教育能力	(4.59)
3位	クラスマネージメント	(4.72)	日本語の知識	(4.53)

(5段階評価平均値)

#### 4-2-9. 日本語教師の資質・能力向上のためにすること

日本語教師の資質・能力向上のために、何をどの程度しているか、7つの項目について尋ねた。「よくする」「時々する」「ほとんどしない」の選択肢のうち、「よくする」「時々する」を選んだ割合は図4-50に示したとおりである。マレーシア人教師・日本人教師とも「参考書や専門書で勉強する」「他の教師と話す」が高く、「他の教師の授業を見学する」「自分の授業を見てもらう」が低い。「異なる指導法・教材を検討し、経験する」は双方とも高いが、マレーシア人教師84.9%に比べると日本人教師は70.3%と低い。マレーシア人教師は「研修会や勉強会に出席する」が77.0%と高いが、日本人教師は51.5%と低い。 〈教1Q8〉

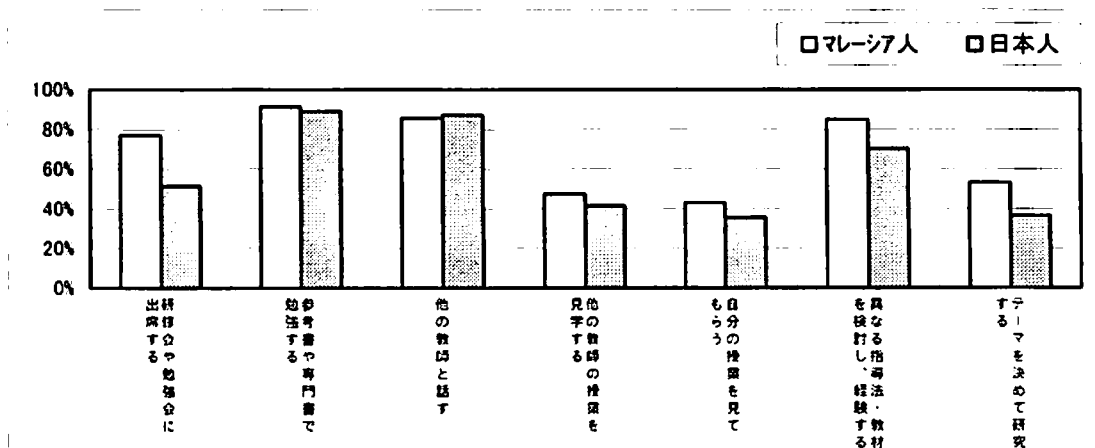


図4-50: 日本語教師の資質能力向上のためにすること(国籍別)  
(複数回答可)

「ほとんどしない」と答えた教師にその理由を選択肢の中から選んでもらったところ、研修会や勉強会に出席しない、他の教師の授業を見学しない、自分の授業を見てもらわない、テーマを決めて研究しない理由としては、国籍・所属に共通して「忙しい」が多かった。研修会や勉強会に出席しない日本人教師からは「研修会等の機会がないから」も挙げられた。授業見学をしない、自分の授業を見てもらうことをしない理由として、「日本語教師が1人しかいない」「機会がない」「同じ時間帯に授業がある」「他の教師の迷惑になる」「他の人のクラスを面倒見る文化がない」「歓迎されない」「恥ずかしい」等があった。

日本語教師の資質・能力向上のため、他に役立つものについて自由記述で聞いたところ、マレーシア人教師から「研修・セミナー・勉強会等への参加」「教授活動の改善等に対する取り組み(参考文献を読む、教材研究等)」「日本語力の維持・向上」「制度・システムの充実(教師の加配、経済的支援、交換プログラム等)」「交流やネットワークの形成(他機関、他教師、日本人との交流等)」、日本人教師からは「知識を

増やす（コンピュータ等）」「外国語の学習」「教授活動の改善や教授技術の向上（授業記録をとる，チームティーチング等）」「様々な経験（異文化交流等）」等が多く挙げられた。 (教I Q8-1)

#### 4-2-10. コンピュータ利用の有無及び方法

コンピュータを利用しているかどうか尋ねたところ，マレーシア人教師の82.0%，日本人教師の85.1%が利用していると答えている。 (教I Q9・Q9-1)

利用者に対し，その利用方法について尋ねた結果を図4-51に，上位3項目の利用率を表4-12に示す。

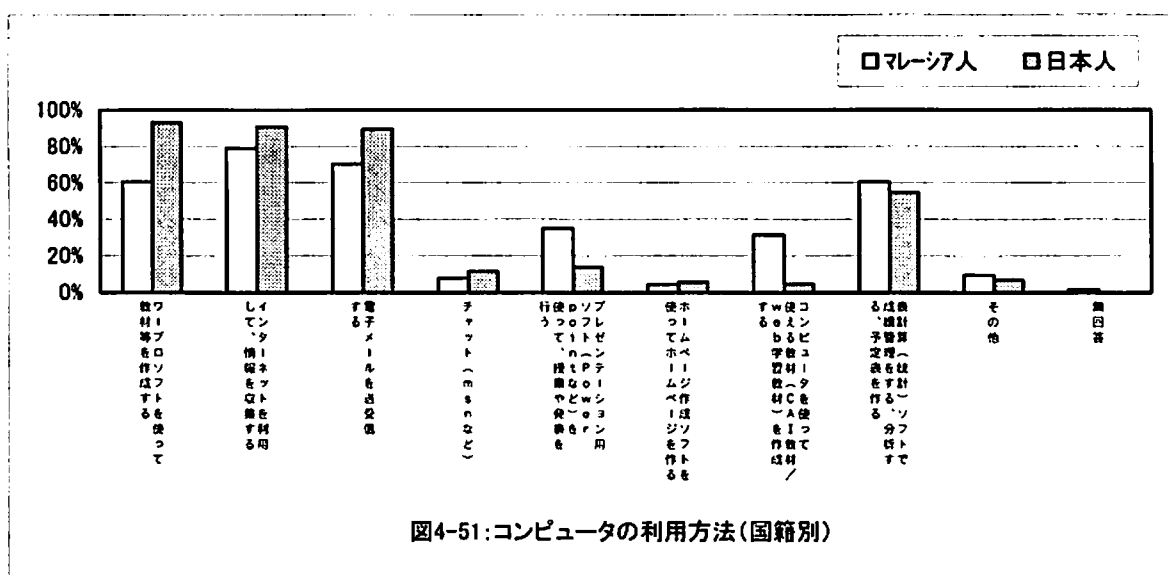


図4-51:コンピュータの利用方法(国籍別)

〈表4-12:コンピュータの利用方法(国籍別)〉( )内は割合・回答者数

順位	マレーシア人	日本人
1位	インターネットを利用して，情報を収集する (78.9%・90人)	ワープロソフトを使って教材等を作成する (93.0%・80人)
2位	電子メールを送受信する (70.2%・80人)	インターネットを利用して，情報を収集する (90.7%・78人)
3位	ワープロソフトを使って教材等を作成する／表計算(統計)ソフトで成績管理をする，分析する，予定表を作る (60.5%・69人)	電子メールを送受信する (89.5%・77人)

(複数回答可)

国籍に関わらず「インターネットを利用して，情報を収集する」「電子メールを送受信する」「ワープロソフトを使って教材等を作成する」「表計算(統計)ソフトで成績管理をする，分析する，予定表を作る」の割合が高いが，「ワープロソフトを使って教材作成をする」については，日本人教師に比べてマレーシア人教師の実施は低い。また，「プレゼンテーション用ソフト(Power Pointなど)を使って授業や発表を行う」

「コンピュータを使って使える教材（CAI 教材/Web 学習教材）を作成する」については、マレーシア人教師に比べて日本人教師は 14.0%・4.7%とほとんど行っていない。

所属別では、図 4-52 で示したように、マレーシア人教師は「ワープロソフトを使って教材等を作成する」「プレゼンテーション用ソフト（Power Point など）を使って授業や発表を行う」について高等教育での実施が中等教育・学校教育以外に比べて高い。また「コンピュータを使って使える教材（CAI 教材/Web 学習教材）を作成する」「表計算（統計）ソフトで成績管理をする、分析する、予定表を作る」については学校教育以外での実施の割合が他の所属に比べて低い。日本人教師は「表計算（統計）ソフトで成績管理をする、分析する、予定表を作る」について、高等教育に比べると学校教育以外では低い（図 4-53）。

「その他」では、「試験問題作成」（8 名）「日本の歌詞をダウンロードする」（2 名）などが挙げられた。

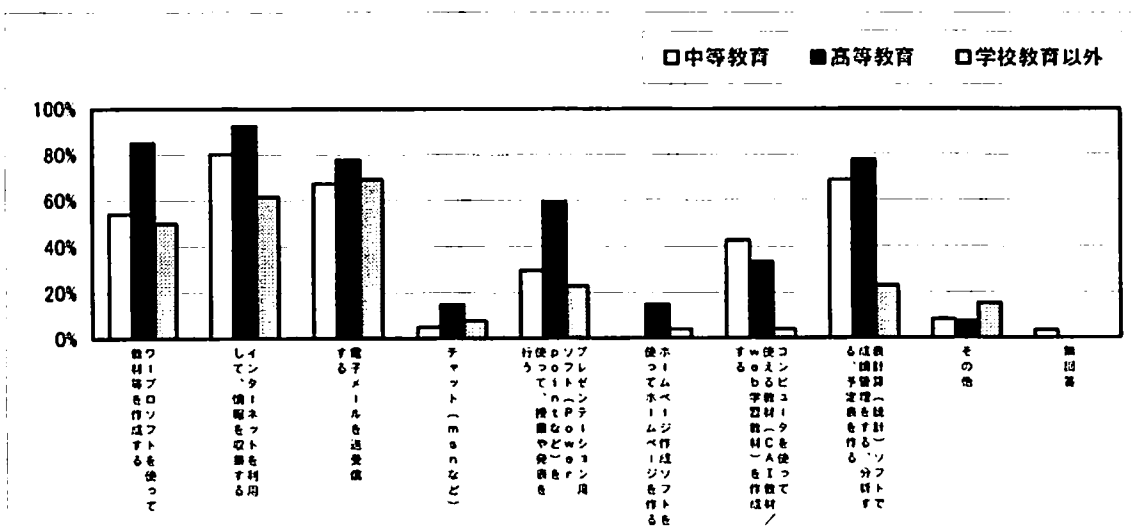


図4-52: コンピュータの利用方法 (マレーシア人) (複数回答可)

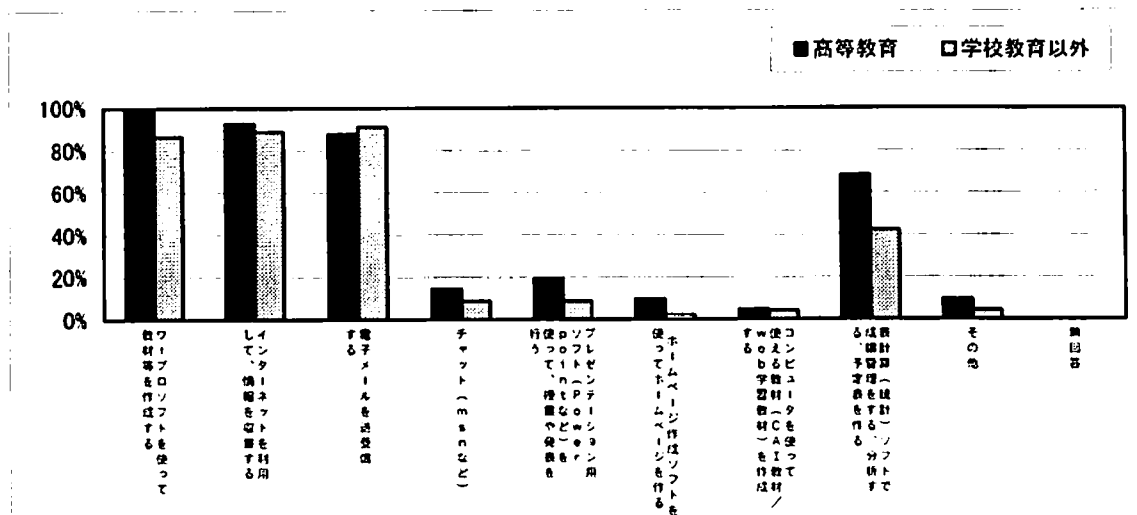
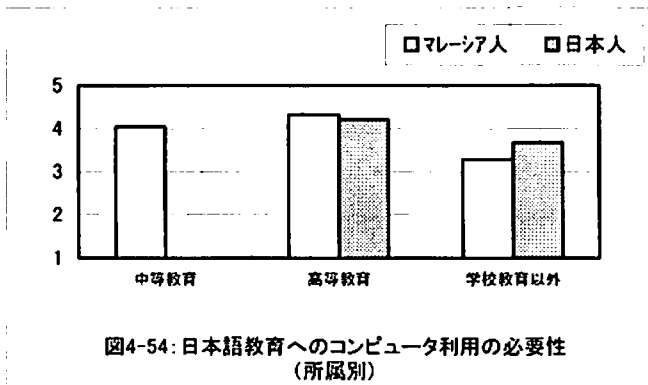


図4-53: コンピュータの利用方法 (日本人) (複数回答可)

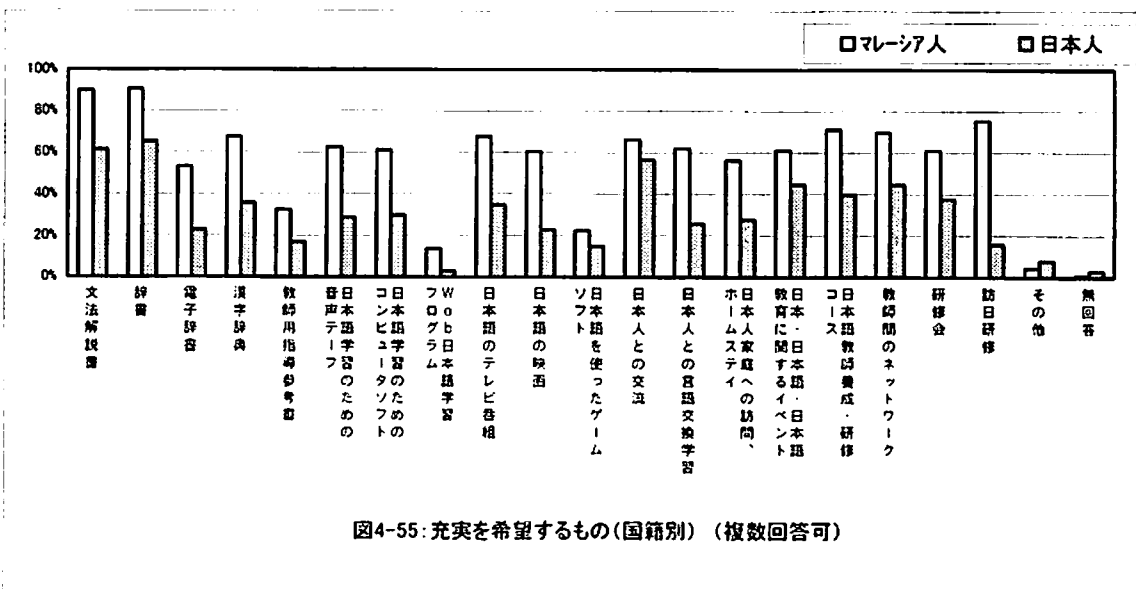
#### 4-2-11. 日本語教育へのコンピュータ利用の必要性



日本語教育のためにコンピュータを利用することは必要かどうかについて5段階（「とても必要(5)」～「全く必要ない(1)」）で尋ねた。図4-54のように中等・高等教育では必要だという意識が見られるが、学校教育以外では比較的低い。なお、中等教育の日本人教師数は0人のため、グラフには現れていない。 〈教I Q10〉

#### 4-2-12. 日本語教師の資質・能力向上のために充実を希望するもの

今後日本語教師の資質・能力の向上のために充実を希望するものについて尋ねたところ、図4-55のような結果になり、国籍別の上位3項目は表4-13のようになった。共通して①「辞書」（マレーシア人教師90.6%・日本人教師65.3%）②「文法解説書」（マレーシア人教師89.9%・日本人教師61.4%）の希望が高く、「日本人との交流」も高い。国籍別に見ると、「その他」以外全ての項目において、マレーシア人教師の方が日本人教師よりも希望する割合が高い。「電子辞書」「漢字辞典」「日本語学習のための音声テープ」「日本語学習のためのコンピュータソフト」「日本語のテレビ番組」「日本語の映画」「日本人との言語交換学習」「日本語教師養成・研修コース」「訪日研修」等の項目において、その傾向が特に強い。「Web日本語学習プログラム」「日本語を使ったゲームソフト」の希望は共通して低い。 〈教I Q11〉



〈表 4-13：充実を希望するもの（国籍別）〉（ ）内は割合・回答者数

順位	マレーシア人	日本人
1位	辞書 (90.6%・126人)	辞書 (65.3%・66人)
2位	文法解説書 (89.9%・125人)	文法解説書 (61.4%・62人)
3位	訪日研修 (75.5%・105人)	日本人との交流 (56.4%・57人)

(複数回答可)

「その他」としては少数であるが、マレーシア人教師からは、「日本人教師」「日本人ビジター」「コンピュータによる能力測定」(各1名)など、日本人教師からは、「最近の日本の動向を書いた本」「視聴覚教材の貸与機関」「他の日本語教育機関での授業参観プログラム」「外部機関による査察と評価」(各1名)などが挙げられている。マレーシア人・日本人教師の所属別に見ると、以下のようになる。

### マレーシア人教師

所属別の上位3項目については表4-14に示した。「文法解説書」「辞書」は共通して高い。中等教育では「漢字辞典」、高等教育では「日本語教師養成・研修コース」の希望が高い。学校教育以外では「漢字辞典」「日本人との言語交換学習」「教師間のネットワーク」などの希望が、中等・高等教育に比べると低い。

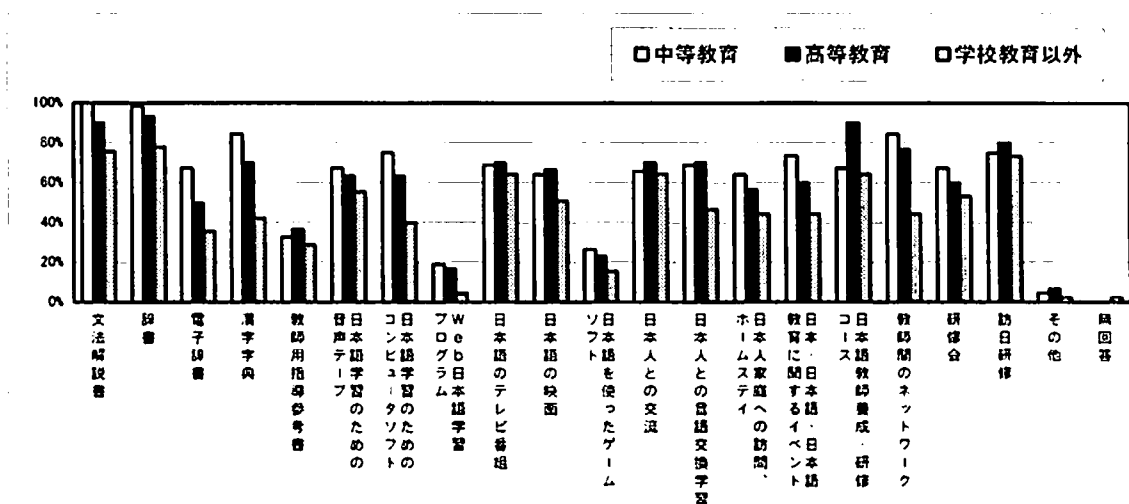


図4-56: 充実を希望するもの(所属別・マレーシア人) (複数回答可)

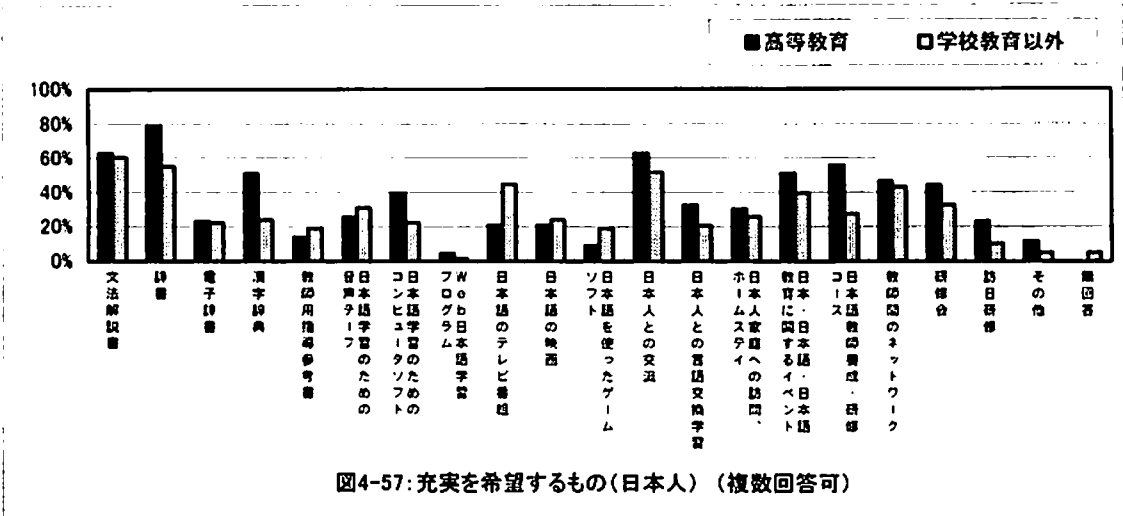
〈表 4-14：充実を希望するもの（マレーシア人）〉（ ）内は割合・回答者数

順位	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	文法解説書 (100%・64人)	辞書 (93.3%・28人)	辞書 (77.8%・35人)
2位	辞書 (98.4%・63人)	文法解説書／ 日本語教師養成・研修コース (90.0%・27人)	文法解説書 (75.6%・34人)
3位	漢字辞典／ 教師間のネットワーク (84.4%・54人)		訪日研修 (73.3%・33人)

(複数回答可)

## 日本人教師

図4-57のように、マレーシア人教師とは順位は異なるが「辞書」「文法解説書」「日本人との交流」は共通して希望が高い。高等教育では学校教育以外に比べて「辞書」「漢字辞典」「日本語学習のためのコンピュータソフト」「日本語教師養成・研修コース」が、学校教育以外では高等教育に比べて「日本語のテレビ番組」の希望が高い。

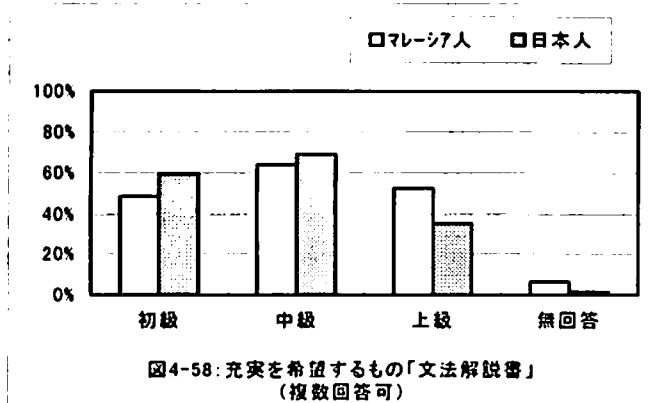


〈表4-15: 充実を希望するもの(日本人)〉 ( )内は割合・回答者数

順位	高等教育	学校教育以外
1位	辞書 (79.1%・34人)	文法解説書 (60.3%・35人)
2位	文法解説書/日本人との交流 (62.8%・27人)	辞書 (55.2%・32人)
3位		日本人との交流 (51.7%・30人)

(複数回答可)

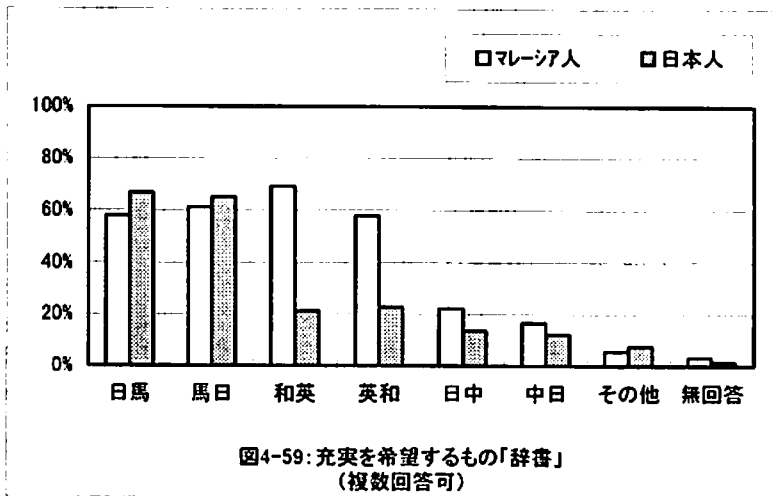
### 4-2-12-1. 充実を希望するもの: 文法解説書



今後充実を希望するものとして「文法解説書」を挙げた教師に対し、そのレベルについても選んでもらったところ、図4-58のように日本人教師もマレーシア人教師も初級・上級に比べて中級の希望が高い。

〈教1Q11〉

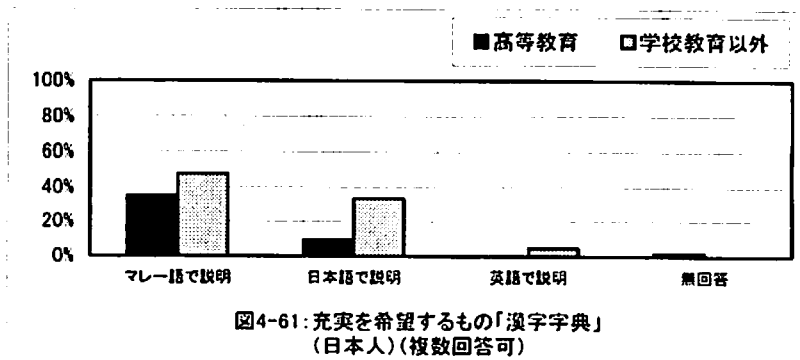
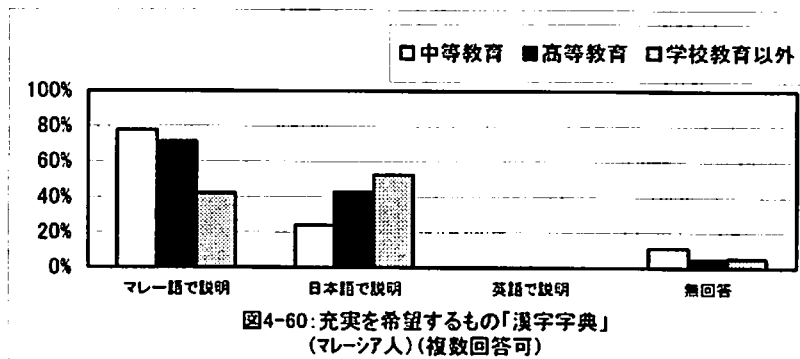
#### 4-2-12-2. 充実を希望するもの：辞書



今後充実を希望するものとして「辞書」を挙げた教師に対し、その種類についても選んでもらったところ、図4-59のように「日馬」「馬日」については希望する割合が6割程度で、国籍による違いはあまりないが、マレーシア人教師は「和英」「英和」の希望が多い。(教IQ11)

#### 4-2-12-3. 充実を希望するもの：漢字字典の使用言語

今後充実を希望するものとして「漢字字典」を挙げた教師に対し、その使用言語についても選んでもらったところ、図4-60のようにマレーシア人教師は全体では「マレー語で説明」であるが、中等・高等教育では「マレー語で説明」、学校教育以外では「日本語で説明」を希望する割合が高い。日本人教師は図4-61のように、「マレー語で説明」を希望する割合が高い。(教IQ11)



#### 4-2-12-4. 充実を希望するもの：教師用指導参考書

全体的には、充実希望項目の優先順位は低いが、希望する教師から具体的にどのようなものを希望するのか自由記述で尋ねたところ、中等教育のマレーシア人教師から、「文法」に関するものが多く挙げられ、日本人教師からは「教科書の教え方の手引書」などが多く挙げられた。 (教1Q11)

#### 4-2-12-5. 充実を希望するもの：コンピュータソフト

今後充実を希望するものとして「日本語学習のためのコンピュータソフト」を選んだ教師に対し、その内容についても選んでもらったところ、図4-62のように、国籍・所属に共通して「文法」「漢字」の希望が高い。「その他」としては、「会話」などが挙げられた。 (教1Q11)

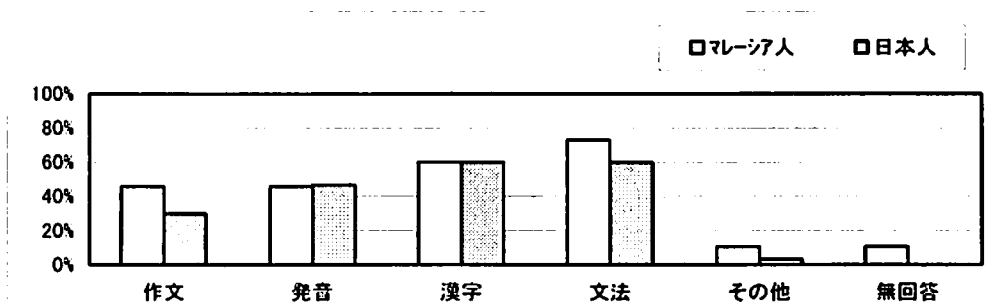


図4-62: 充実を希望するもの「コンピュータソフト」(複数回答可)

〈表4-16: 充実を希望するもの「コンピュータソフト」(国籍別)〉( )内は回答者数

項目	マレーシア人				日本人		
	合計 (85人)	中等教育 (48人)	高等教育 (19人)	学校教育以外 (18人)	合計 (30人)	高等教育 (17人)	学校教育以外 (13人)
作文	39	24	8	7	9	4	5
発音	39	25	10	4	14	10	4
漢字	51	35	10	6	18	11	7
文法	62	35	15	12	18	11	7
その他	9	4	3	2	1	1	0

(複数回答可)



### 4-3. 日本語を使っているやりとりについて（マレーシア人教師対象）

ここでは、マレーシア人教師（139名）のみを対象として、日本語の授業以外で教師が実際に日本語を使っているどのようなやりとりをしているのか、やりとりの有無、相手、頻度、手段、内容、理由等について尋ねた結果をまとめる。なお、本節で扱う項目は「学習者」と「教師」の比較のため3-2で学習者に尋ねた項目と一致させているが、その比較・分析結果については本報告では扱わない。具体的な項目等は巻末資料の調査票を参照されたい。

#### 4-3-1. 日本語を使っているやりとりの有無

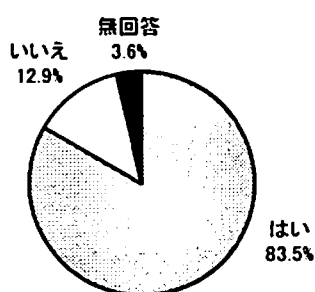


図4-63: 日本語を使っているやりとりの有無 (マレーシア人教師全体)

日本語の授業以外での日本語でのやりとりについては、116名（83.5%）が「はい」、18名（12.9%）が「いいえ」と答え、多くの教師が何らかのやりとりをしている（図4-63・4-64、表4-17）。

（教ⅡQ13）

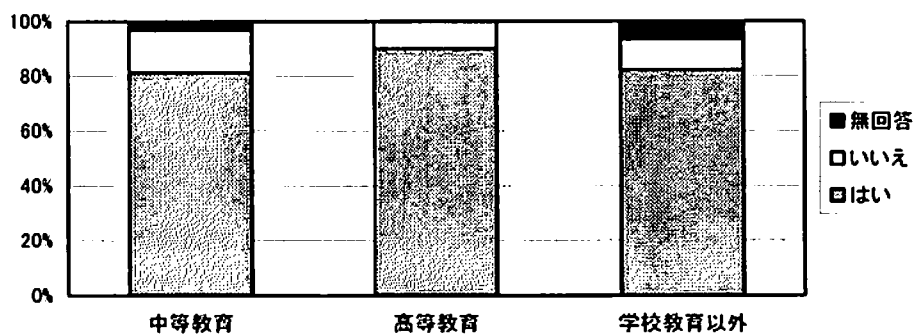


図4-64: 日本語を使っているやりとりの有無 (所属別)

〈表4-17: 日本語を使っているやりとりの有無〉 ( )内は%

		全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	はい	116 (83.5)	52 (81.3)	27 (90.0)	37 (82.2)
	いいえ	18 (12.9)	10 (15.6)	3 (10.0)	5 (11.1)
	無回答	5 (3.6)	2 (3.1)	0 (0.0)	3 (6.7)

### 4-3-2. やりとりの相手とその方法

やりとりの相手は、表 4-18・図 4-65・表 4-19 のとおりである。全体的に、①「日本語の教師」(101 名)、②「知り合い」(87 名)、③「日本の関係機関の人」(69 名)が多い。中等・高等教育では「店やレストランの店員」のようにほとんどやりとりをしない相手がある一方で、学校教育以外ではどの項目の相手ともやりとりをしている。数は少ないが、「その他」としては、「日本人の友人」(2 名)「日本人の同僚」(2 名)などが挙げられた。

(教ⅡQ13-1)

〈表 4-18：やりとりの相手〉( ) 内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1 位	日本語の教師 (87.1%・101 人)	日本語の教師 (90.4%・47 人)	日本語の教師 (88.9%・24 人)	知り合い (83.8%・31 人)
2 位	知り合い (75.0%・87 人)	知り合い (71.2%・37 人)	知り合い (70.4%・19 人)	日本語の教師 (81.1%・30 人)
3 位	日本の関係機関の人 (59.5%・69 人)	日本の関係機関の人 (55.8%・29 人)	日本の関係機関の人 (48.1%・13 人)	日本の関係機関の人 (73.0%・27 人)

(複数回答可)

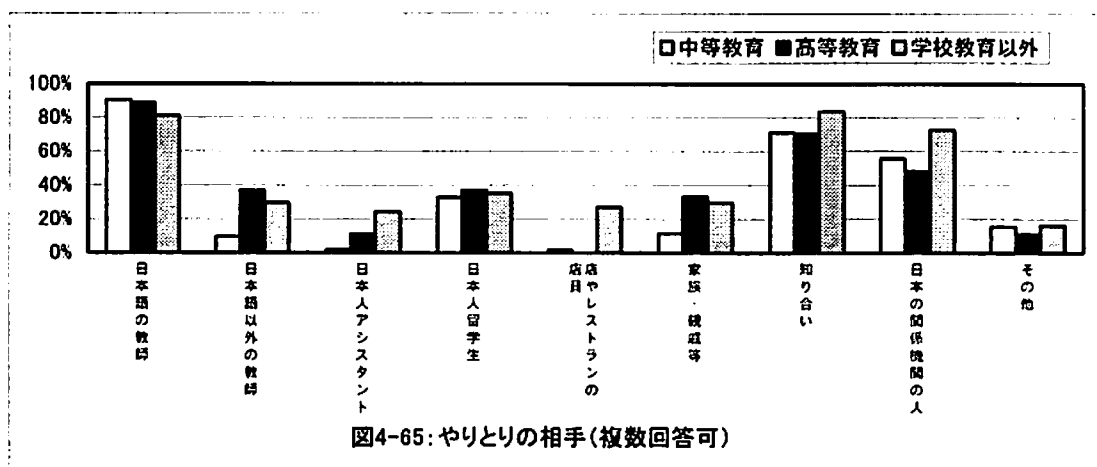


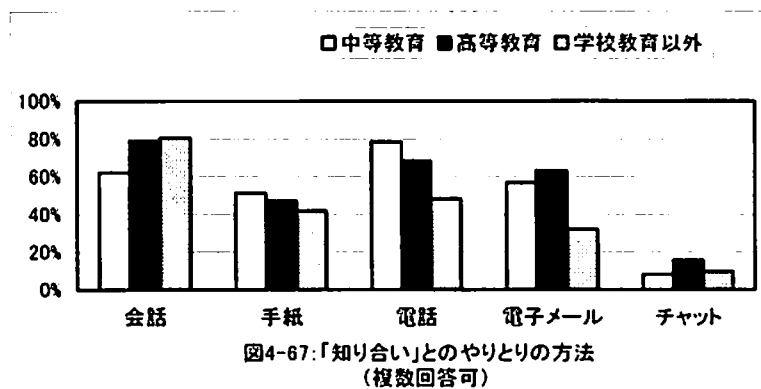
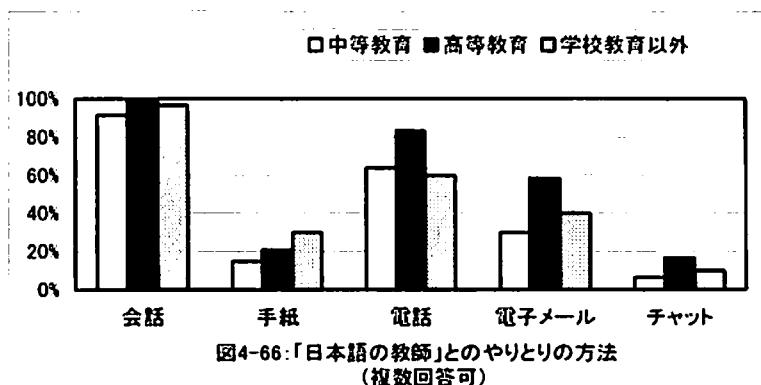
図4-65: やりとりの相手(複数回答可)

〈表 4-19：やりとりの相手 (項目別回答者数)〉( ) 内は回答者数

相 手	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
日本語の教師	101	47	24	30
日本語以外の教師	26	5	10	11
日本人アシスタント	13	1	3	9
日本人留学生	40	17	10	13
店やレストランの店員	11	1	0	10
家族・親戚等	26	6	9	11
知り合い	87	37	19	31
日本の関係機関の人	69	29	13	27
その他	17	8	3	6

(複数回答可)

やりとりの方法は、所属に共通してやりとりの多い上位2位までについて所属別にみる。「日本語の教師」が相手の場合は、図4-66のように共通して直接会って話す①「会話」(95.0%)が最も多く、②「電話」(67.3%)、③「電子メール」(39.6%)が続く。「知り合い」が相手の場合は、図4-67のように、全体的に「日本語の教師」と同様であるが、「会話」の割合が下がり、「電子メール」「手紙」が高くなっている。また、中等教育では「会話」よりも「電話」の方が多くなっている。



### 4-3-3. 最もよくやりとりをする相手

4-3-2の日本語でやりとりをする相手の中でも、最もよくやりとりをする相手を選んでもらった結果は、表4-20・図4-68のとおりである。全体的に①「日本語の教師」(44.0%)、②「知り合い」(25.0%)が多く、4-3-2とほぼ同様の結果になっている。 (教IIQ13-2①)

〈表4-20:最もよくやりとりをする相手〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本語の教師 (44.0%・51人)	日本語の教師 (40.4%・21人)	日本語の教師 (63.0%・17人)	日本語の教師 (35.1%・13人)
2位	知り合い (25.0%・29人)	知り合い (28.8%・15人)	知り合い (18.5%・5人)	知り合い (24.3%・9人)
3位	家族・親戚等 (7.8%・9人)	その他 (11.5%・6人)	家族・親戚等 (11.1%・3人)	家族・親戚等 (10.8%・4人)

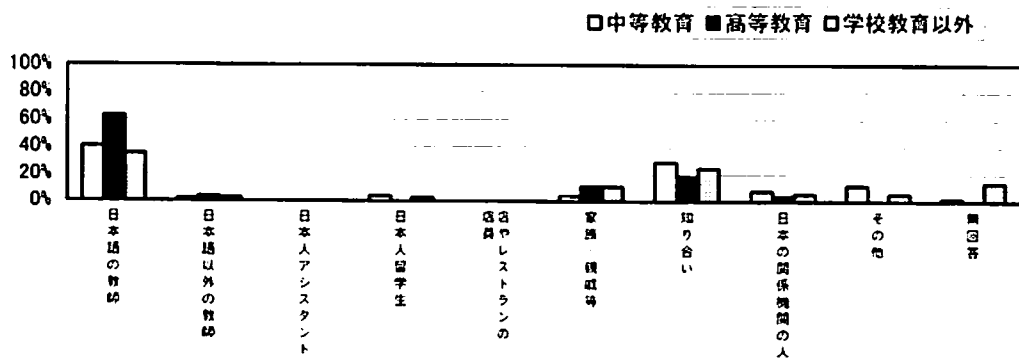


図4-68: 最もよくやりとりする相手(項目別)

以下、4-3-1 1まで、この最もやりとりをする相手を対象に尋ねた結果について報告する。  
 なお、最もよくやりとりする相手ごとの集計結果については、本報告では扱わない。

#### 4-3-4. やりとりをする相手の国籍

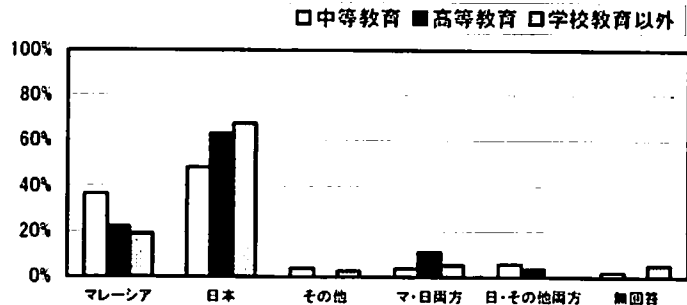


図4-69: やりとりする相手の国籍

最もよくやりとりをする相手の国籍は、マレーシア人教師全体では「日本」が57.8%と多いが、中等教育では図4-69のように「マレーシア」も36.5%となっている。

(教ⅡQ13-2②)

#### 4-3-5. やりとりをする相手の性別

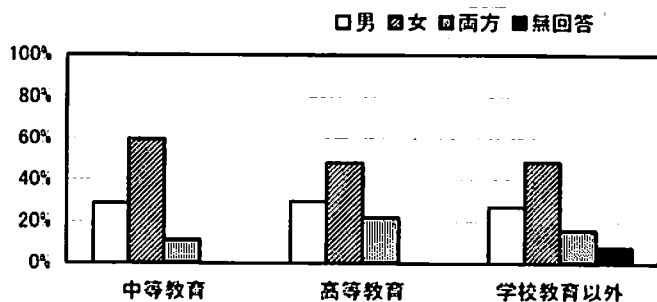


図4-70: やりとりをする相手の性別(所属別)

最もよくやりとりをする相手の性別は、全体で53.4%と「女性」が多く、中等教育において、その傾向が最も強い。

(教ⅡQ13-2③)

### 4-3-6. やりとりを始めた頃の日本語力

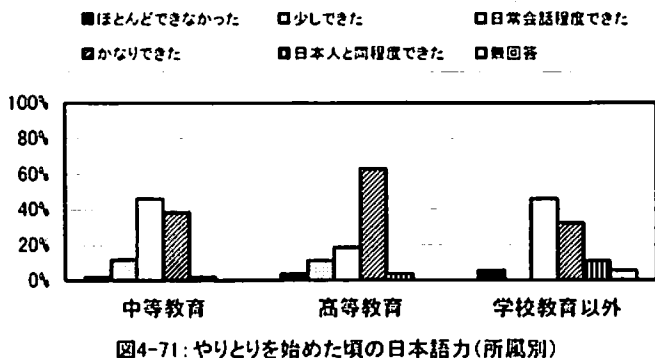


図4-71: やりとりを始めた頃の日本語力(所属別)

最もよくやりとりをする相手とやりとりをするようになった頃の日本語力について5段階で自己評価してもらったところ、図4-71のように高等教育では「かなりできた」(63.0%)が最も多く、中等教育・学校教育以外では「日常会話程度できた」(46.2%・45.9%)が最も多い。(教ⅡQ13-2④)

### 4-3-7. やりとりをする頻度

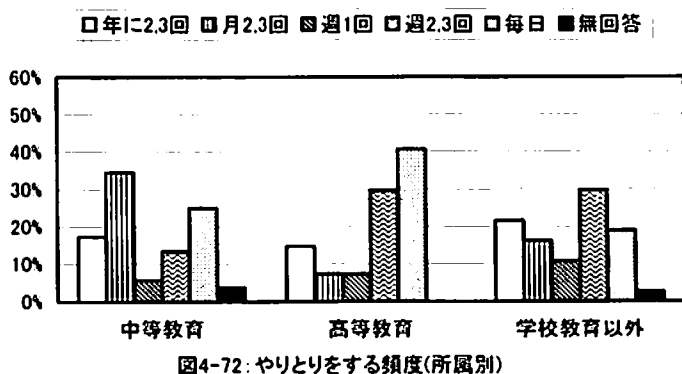


図4-72: やりとりをする頻度(所属別)

最もよくやりとりをする相手とのやりとりの頻度は、中等教育では「月に2,3回」(34.6%)、高等教育では「毎日」(40.7%)、学校教育以外では「週2,3回」(29.7%)が最も多い(図4-72)。全体的に頻度が少ない教師と多い教師に分かれる傾向がある。

(教ⅡQ13-2⑤)

### 4-3-8. やりとりをする手段

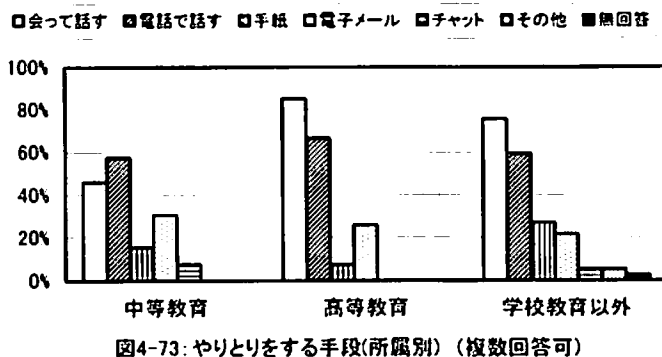
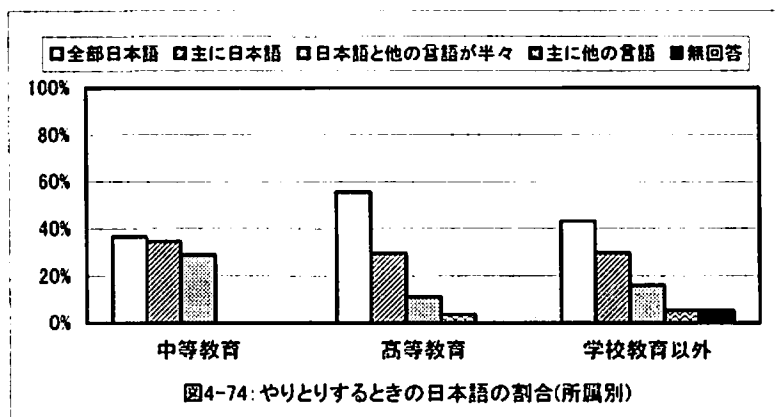


図4-73: やりとりをする手段(所属別) (複数回答可)

最もよくやりとりをする相手とやりとりをするときの手段は、高等教育・学校教育以外では直接相手と「会って話す」(85.2%・75.7%)「電話で話す」(66.7%・59.5%)の順に多く、中等教育では「電話で話す」(57.7%)「会って話す」(46.2%)の順序になっている(図4-73)。

(教ⅡQ13-2⑥)

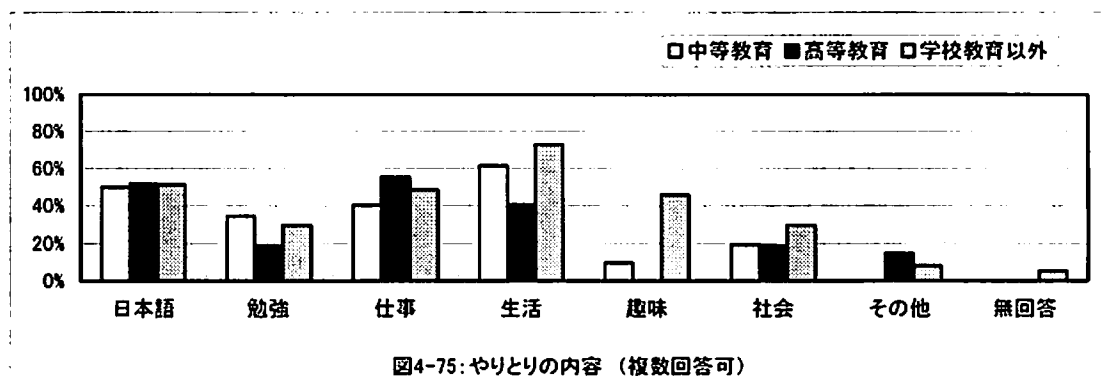
### 4-3-9. やりとりをするときの日本語の割合



最もよくやりとりをする相手とやりとりをするときに日本語を使用する割合はどのぐらいかについて尋ねたところ、共通して「全部日本語」が最も多い(図4-74)。特に、高等教育(55.6%)はその割合が高い。  
(教ⅡQ13-2⑦)

### 4-3-10. やりとりの内容

最もよくやりとりをする相手とやりとりをして話す内容については、所属による違いはあまりなく、図4-75、表4-21のように全体では①「生活について」(60.3%)、②「日本語について」(50.9%)、③「仕事について」(46.6%)となっているが、高等教育では①「仕事について」(55.6%)、②「日本語について」(51.9%)、③「生活について」(40.7%)の順になっている。割合は低い「その他」としては「家族」(3名)などが挙げられている。  
(教ⅡQ13-2⑧)



〈表4-21: やりとりの内容〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	生活 (60.3%・70人)	生活 (61.5%・32人)	仕事 (55.6%・15人)	生活 (73.0%・27人)
2位	日本語 (50.9%・59人)	日本語 (50.0%・26人)	日本語 (51.9%・14人)	日本語 (51.4%・19人)
3位	仕事 (46.6%・54人)	仕事 (40.4%・21人)	生活 (40.7%・11人)	仕事 (48.6%・18人)

(複数回答可)

### 4-3-11. 日本語でやりとりをする理由

最もよくやりとりをする相手と日本語でやりとりをする理由を尋ねたところ、図 4-76 のようになった。表 4-22 は各理由についての 5 段階評価の平均値を示す。全体では「日本語能力向上や維持のため」(4.59)「日本語の母語話者と話したいから」(4.25)「相手が使うから」(4.24)が高く、「仕事として義務づけられているから」(2.89)が最も低い。 (教ⅡQ13-2④)

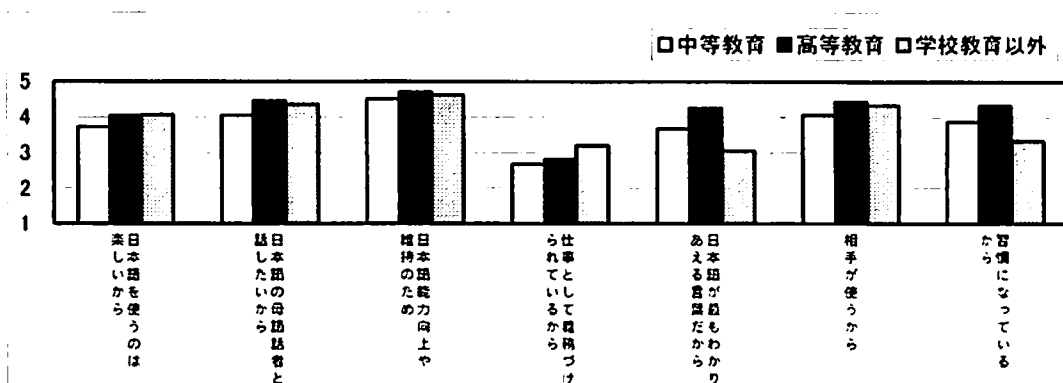


図4-76: 日本語でやりとりをする理由 (5段階評価平均値)

〈表 4-22 : 日本語でやりとりをする理由〉

理由	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
日本語を使うのは楽しいから	3.91	3.73	4.05	4.07
日本語の母語話者と話したいから	4.25	4.05	4.46	4.36
日本語能力向上や維持のため	4.59	4.51	4.71	4.63
仕事として義務づけられているから	2.89	2.68	2.82	3.21
日本語が最もわかりあえる言葉だから	3.65	3.68	4.26	3.07
相手が使うから	4.24	4.07	4.44	4.34
習慣になっているから	3.87	3.88	4.33	3.35

(5段階評価平均値)

### 4-3-12. 授業以外で日本語を使わない理由

4-3-1 で示したように、マレーシア人教師全体のうち、83.5%の教師が授業以外で日本語を使っているが、使っていない12.9%の教師18名に使わない理由を尋ねたところ、3名が「マレー語や英語、中国語など他の言語の方が便利だから」、2名が「日本語を使う相手がないから」と答えた。 (教ⅡQ13-3)

#### 4-4. 日本語が使われているものとの接触について（マレーシア人教師対象）

ここでは、日本語の授業以外で教師が日本語で書かれたものや日本語が使われているものの中でどのようなものをどのように見たり聞いたりしているのか等について、マレーシア人教師に尋ねた結果をまとめる。

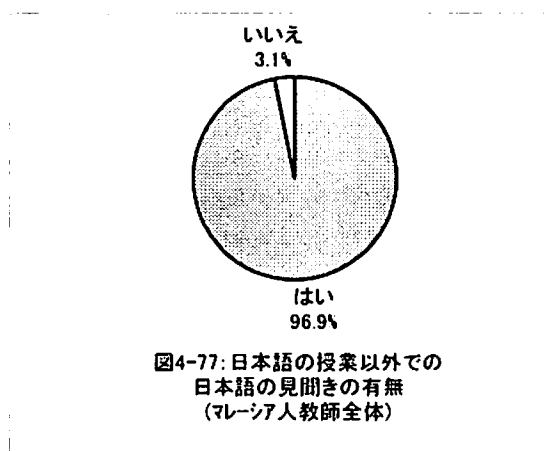
##### 4-4-1. 身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無

まず、教師の身の回りに、日本語学習教材を除いて、日本語で書かれたものや日本語が使われているものがあるかどうかを尋ねたところ、表 4-23 のように 127 名（91.4%）の教師が「はい」と答え、所属に共通して「はい」と答えた教師が多い。 〈教ⅡQ14〉

〈表 4-23：身の回りで日本語で書かれたものや日本語が使われているものの有無〉（ ）内は%

		全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	は い	127 (91.4)	59 (92.2)	28 (93.3)	40 (88.9)
	いいえ	9 ( 6.5)	4 ( 6.3)	1 ( 3.3)	4 ( 8.9)
	無回答	3 ( 2.2)	1 ( 1.6)	1 ( 3.3)	1 ( 2.2)

##### 4-4-2. 日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無



次に、4-4-1で「はい」と答えた 127 名の教師に、特に日本語の授業以外の時間に、日本語で書かれたものや日本語が使われているものを見たり聞いたりすることがあるかについて尋ねたところ、96.9%の教師が「はい」と答え、日本語の授業以外でも何らかの日本語を見聞きしていることがわかる（図 4-77）。 〈教ⅡQ14-1〉

〈表 4-24：日本語の授業以外での日本語の見聞きの有無〉（ ）内は%

		全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	は い	123 (96.9)	58 (98.3)	27 (96.4)	38 (95.0)
	いいえ	4 ( 3.1)	1 ( 1.7)	1 ( 3.6)	2 ( 5.0)



### 4-4-3. 見聞きするもの

どのようなものを見聞きするのか、4-4-2で「はい」と答えた123名に尋ねたところ、図4-78のようになった。このうち、上位3位までを表4-25に示した。中等教育・学校教育以外では「ビデオ・VCD・DVD」(81.0%・78.9%)が、高等教育では「コンピュータ」(81.5%)が最も多い。「テレビ」「雑誌」「本」などは共通して見聞きしている。学校教育以外で「新聞」「マンガ・アニメ」の割合が高く、中等教育では「新聞」の割合が特に低い。

(教ⅡQ14-2)

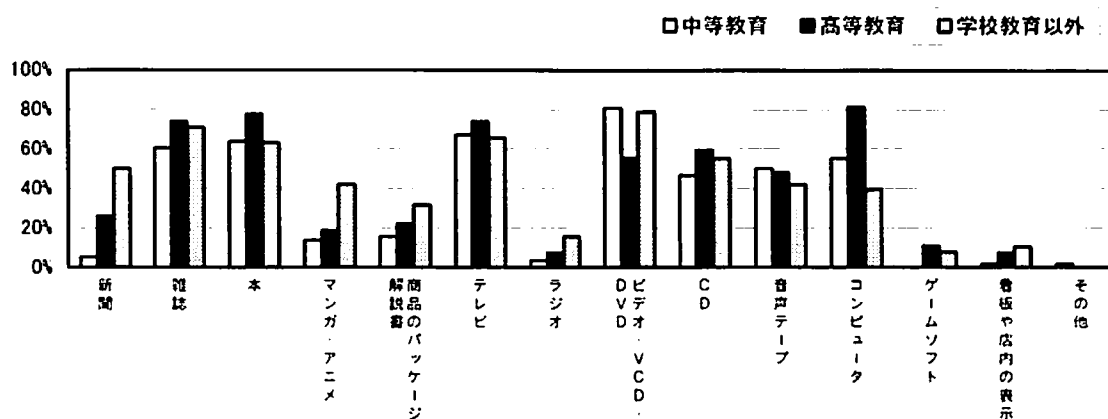


図4-78: 授業以外で見聞きするもの (複数回答可)

(表4-25: 見聞きするもの) ( )内は割合・回答者数

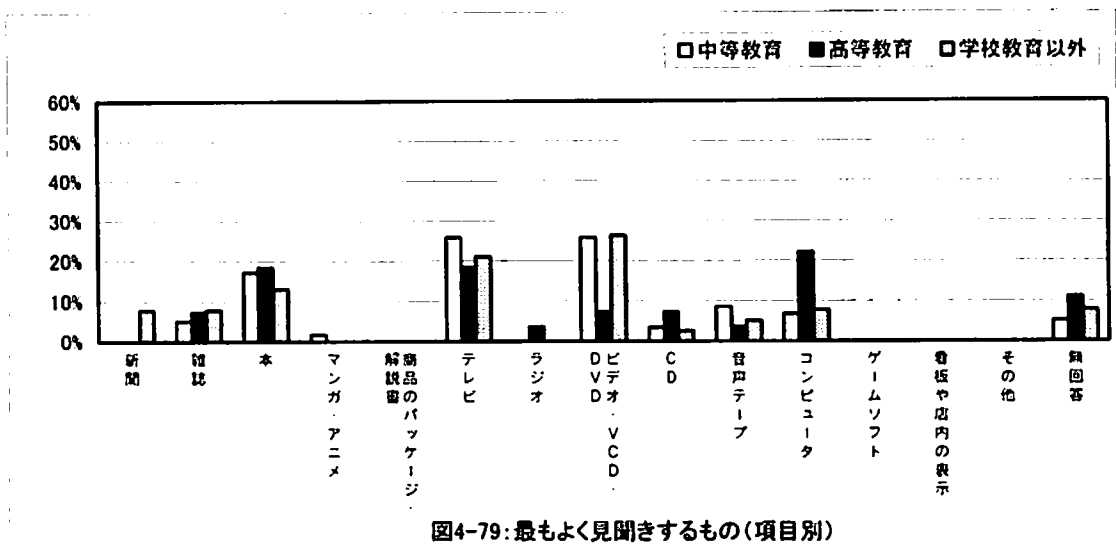
順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	ビデオ・VCD・DVD (74.8%・92人)	ビデオ・VCD・DVD (81.0%・47人)	コンピュータ (81.5%・22人)	ビデオ・VCD・DVD (78.9%・30人)
2位	テレビ (68.3%・84人)	テレビ (67.2%・39人)	本 (77.8%・21人)	雑誌 (71.1%・27人)
3位	雑誌/本 (66.7%・82人)	本 (63.8%・37人)	雑誌/テレビ (74.1%・20人)	テレビ (65.8%・25人)

(複数回答可)

### 4-4-4. 最もよく見聞きするもの

4-4-3の見聞きするものの中でも、特に最も見聞きするものについて、4-4-2で「はい」と答えた123名に尋ねたところ、図4-79のようになった。このうち、上位3位までを表4-26に示した。4-4-3と同様に、全体として「テレビ」(22.8%)が高い。所属別では、高等教育では「コンピュータ」(22.2%)が最も高いが、中等教育・学校教育以外では6.9%・7.9%と低い。中等教育・学校教育以外では「ビデオ・VCD・DVD」(25.9%・26.3%)が高く、高等教育では7.4%と低い。

(教ⅡQ14-3①)



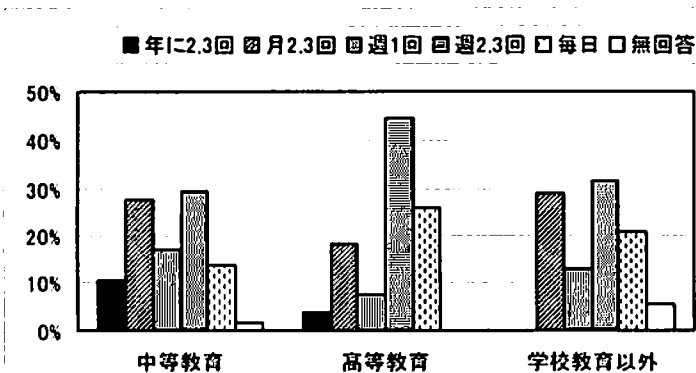
〈表 4-26: 最もよく見聞きするもの〉( ) 内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	テレビ (22.8%・28人)	テレビ/ ビデオ・VCD・DVD (25.9%・15人)	コンピュータ (22.2%・6人)	ビデオ・VCD・DVD (26.3%・10人)
2位	ビデオ・VCD・DVD (22.0%・27人)		本/テレビ (18.5%・5人)	テレビ (21.1%・8人)
3位	本 (16.3%・20人)	本 (17.2%・10人)		本 (13.2%・5人)

以下、4-4-8まで、この最もよく見聞きするものを対象に尋ねた結果について報告する。

なお、最もよく見聞きするものごとの集計結果については、本報告では扱わない。

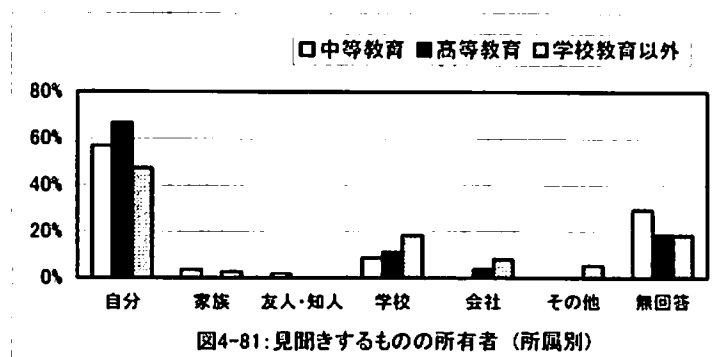
#### 4-4-5. 見聞きする頻度



最もよく見聞きするものの利用頻度は、全体で「週 2.3 回」が最も多く、高等教育でその割合が高い。中等教育・学校教育以外では「月 2, 3 回」と同程度となっている(図 4-80)。

〈教ⅡQ14-3②〉

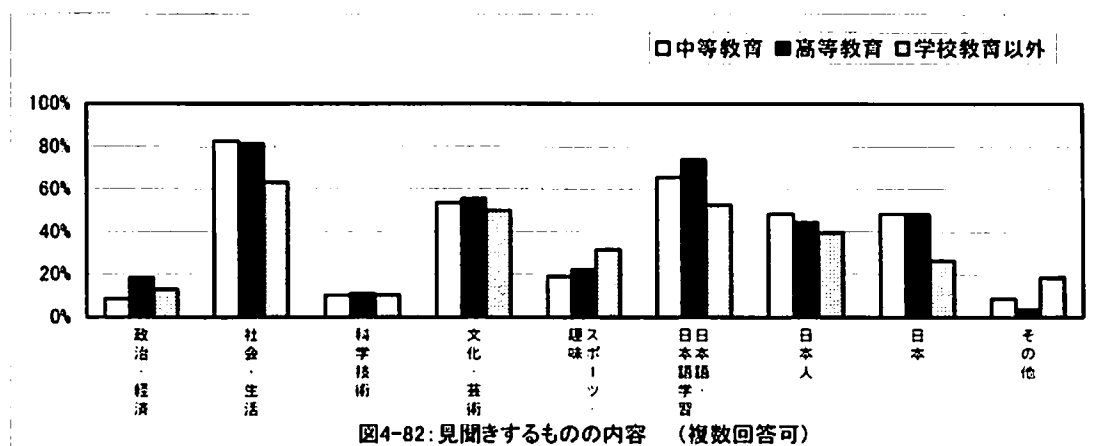
#### 4-4-6. 見聞きするものの所有者



最もよく見聞きするものの所有者は、全体としても「自分」が56.1%と最も多く、所属に共通しても最も多い(図4-81)。 (教ⅡQ14-3③)

#### 4-4-7. 見聞きするものの内容

最もよく見聞きするものの内容については、所属に共通して①「社会・生活」(76.4%)、②「日本語・日本語学習」(63.4%)、③「文化・芸術」(52.8%)となっている。 (教ⅡQ14-3④)



〈表4-27: 見聞きするものの内容〉( )内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	社会・生活 (76.4%・94人)	社会・生活 (82.8%・48人)	社会・生活 (81.5%・22人)	社会・生活 (63.2%・24人)
2位	日本語・日本語学習 (63.4%・78人)	日本語・日本語学習 (65.5%・38人)	日本語・日本語学習 (74.1%・20人)	日本語・日本語学習 (52.6%・20人)
3位	文化・芸術 (52.8%・65人)	文化・芸術 (53.4%・31人)	文化・芸術 (55.6%・15人)	文化・芸術 (50.0%・19人)

(複数回答可)

#### 4-4-8. 見聞きする理由

日本語のものを見たり聞いたりする理由を尋ね、各理由についての5段階評価の平均値を図4-83と表4-28に示した。所属に共通して、「日本語能力の向上や維持のため」(4.57)が最も高いが、「様々な情報が得られるから」(4.34)、「楽しいから」(4.33)、「日本語に触れたいから」(4.30)、「日本語の力を試してみたいから」(4.22)、「日本や日本人について知ることができるから」(4.12)も同程度に高い。高等教育では、中等教育・学校教育以外に比べて、「仕事のため」(3.91)、「研究のため」(3.82)も高い。(教ⅡQ14-3⑤)

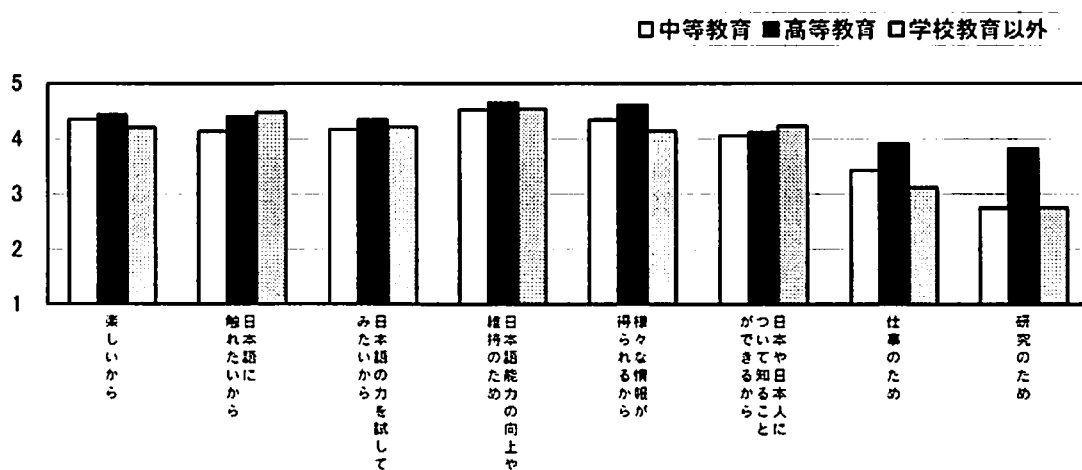


図4-83: 日本語のものを見聞きする理由 (5段階評価平均値)

(表 4-28: 見聞きする理由)

理由	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
楽しいから	4.33	4.35	4.44	4.21
日本語に触れたいから	4.30	4.13	4.40	4.48
日本語の力を試してみたいから	4.22	4.17	4.35	4.22
日本語能力の向上や維持のため	4.57	4.54	4.65	4.55
様々な情報が得られるから	4.34	4.35	4.62	4.14
日本や日本人について知ることができるから	4.12	4.06	4.11	4.23
仕事のため	3.43	3.43	3.91	3.12
研究のため	2.99	2.74	3.82	2.75

(5段階評価平均値)

## 4-5. 利用経験のある機会や場所について（マレーシア人教師対象）

ここでは、授業以外の様々な日本語学習の機会や場所をどれくらい利用しているのか等について、マレーシア人教師に尋ねた結果をまとめる。

### 4-5-1. 利用経験の有無

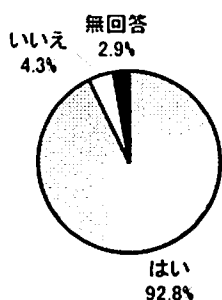


図4-84: 利用経験の有無  
(マレーシア人教師全体)

まず、これまでに何らかの日本語学習に関する機会や場所を利用した経験があるかどうかについて尋ねたところ、マレーシア人教師全体で129名(92.8%)が経験があり、6名(4.3%)の教師が経験がない(図4-84)。経験した場所の国の内訳は図4-85のようにマレーシアが多く、全体の割合はマレーシア89.9%、日本65.1%となっている。 (教ⅡQ15)

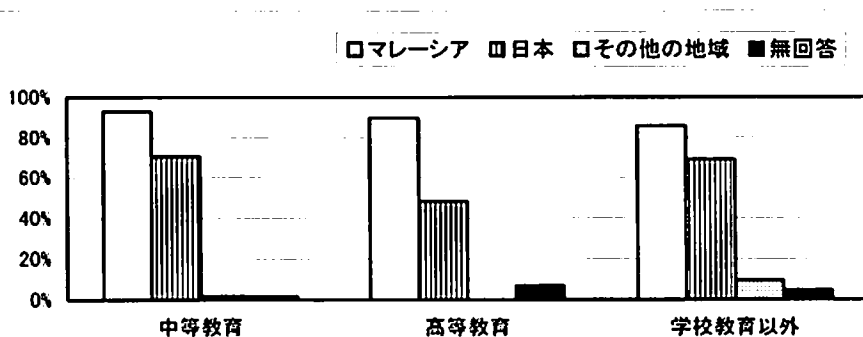


図4-85: 機会・場所の経験の地域(所属別)

### 4-5-2. 利用経験のある機会や場所

利用経験のある教師129名に対して、これまでにマレーシアで利用した経験のある機会や場所について尋ねたところ、マレーシア人教師全体では①「日本・日本語に関する資料センター・図書館」(71.6%)、②「日本・日本語に関するイベント」(66.4%)、③「日本人との交流会」(49.1%)の順に多い。中等教育では「日本・日本語に関するイベント」(79.6%)が最も高い(図4-86・表4-29)。 (教ⅡQ15-1)

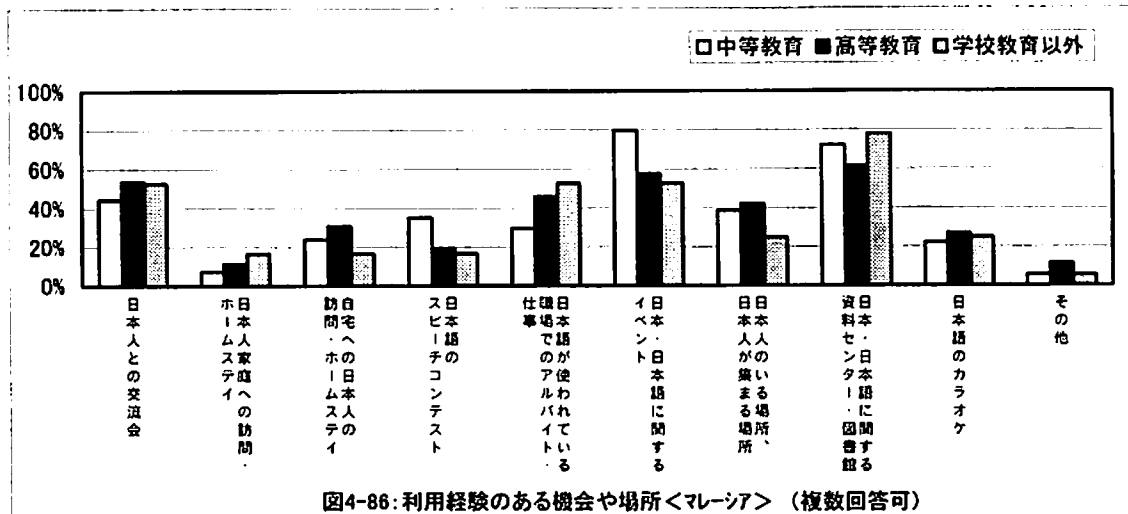


表 4-29: 利用経験のある機会や場所—マレーシア— ( ) 内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (71.6%・83人)	日本・日本語に関するイベント (79.6%・43人)	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (61.5%・16人)	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (77.8%・28人)
2位	日本・日本語に関するイベント (66.4%・77人)	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (72.2%・39人)	日本・日本語に関するイベント (57.7%・15人)	日本人との交流会／日本語が使われている職場でのアルバイト・仕事 (52.8%・19人)
3位	日本人との交流会 (49.1%・57人)	日本人との交流会 (44.4%・24人)	日本人との交流会 (53.8%・14人)	日本人との交流会 (52.8%・19人)

(複数回答可)

続いて、利用経験のある教師 129 名に対して、日本においてこれまでに利用した経験のある機会や場所について尋ねたところ、表 4-30 のように全体では①「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(70.2%)、②「日本人との交流会」(69.0%)、③「日本語のカラオケ」(57.1%)の順となっている。所属別では図 4-87 に示したように、高等教育では「日本語が使われている職場でのアルバイト・仕事」(78.6%)、「日本・日本語に関するイベント」(85.7%)が他の機関に比べて高い。学校教育以外では「日本人との交流会」(48.3%)、「日本人のいる場所、日本人が集まる場所」(24.1%)が中等・高等教育に比べて低い。

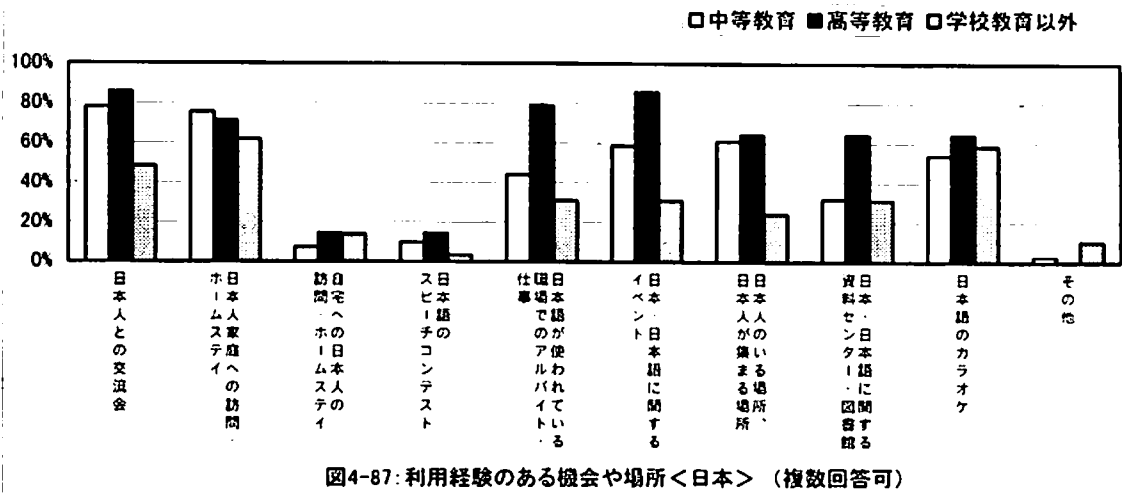


図4-87: 利用経験のある機会や場所<日本> (複数回答可)

〈表 4-30: 利用経験のある機会や場所-日本-〉 ( ) 内は割合・回答者数

順位	全体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本人家庭への訪問・ホームステイ (70.2%・59人)	日本人との交流会 (78.0%・32人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ / 日本・日本語に関するイベント (85.7%・12人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (62.1%・18人)
2位	日本人との交流会 (69.0%・58人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (75.6%・31人)	日本語が使われている職場でのアルバイト・仕事 (78.6%・11人)	日本語のカラオケ (58.6%・17人)
3位	日本語のカラオケ (57.1%・48人)	日本人のいる場所・日本人が集まる場所 (61.0%・25人)	日本人との交流会 (48.3%・14人)	

(複数回答可)

### 4-5-3. 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無

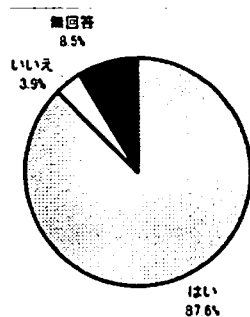


図4-88: 再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無 (マレーシア人教師全体)

利用した経験のあるものの中で、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したい機会や場所があるかどうかについて尋ねたところ、図4-88のように全体で113名(87.6%)が「はい」と答え、所属に共通して多い。 (教II Q15-2)

〈表 4-31：再度あるいは継続して経験したい機会や場所の有無〉（ ）内は%

		全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
回答者数	は い	113 (87.6)	56 (96.6)	23 (79.3)	34 (81.0)
	いいえ	5 ( 3.9)	1 ( 1.7)	2 ( 6.9)	2 ( 4.8)
	無回答	11 ( 8.5)	1 ( 1.7)	4 (13.8)	6 (14.3)

#### 4-5-4. 再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所

もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思う機会や場所の中で、最も経験したいものについて尋ねたところ、表 4-32 のように全体では①「日本人家庭への訪問・ホームステイ」(21.2%)、②「日本・日本語に関するイベント」(17.7%)、③「日本人との交流会」(16.8%) の順に選ばれた割合が高い。

(教ⅡQ15-2)

〈表 4-32：再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所〉（ ）内は割合・回答者数

順位	全 体	中等教育	高等教育	学校教育以外
1位	日本人家庭への訪問・ホームステイ (21.2%・24人)	日本・日本語に関するイベント (17.9%・10人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ/ 日本・日本語に関するイベント (26.1%・6人)	日本人家庭への訪問・ホームステイ (26.5%・9人)
2位	日本・日本語に関するイベント (17.7%・20人)	日本人との交流会/ 日本人家庭への訪問・ホームステイ (16.1%・9人)	日本語が使われている職場でのアルバイト・仕事 (13.0%・3人)	日本人との交流会 (23.5%・8人)
3位	日本人との交流会 (16.8%・19人)			日本・日本語に関するイベント (11.8%・4人)

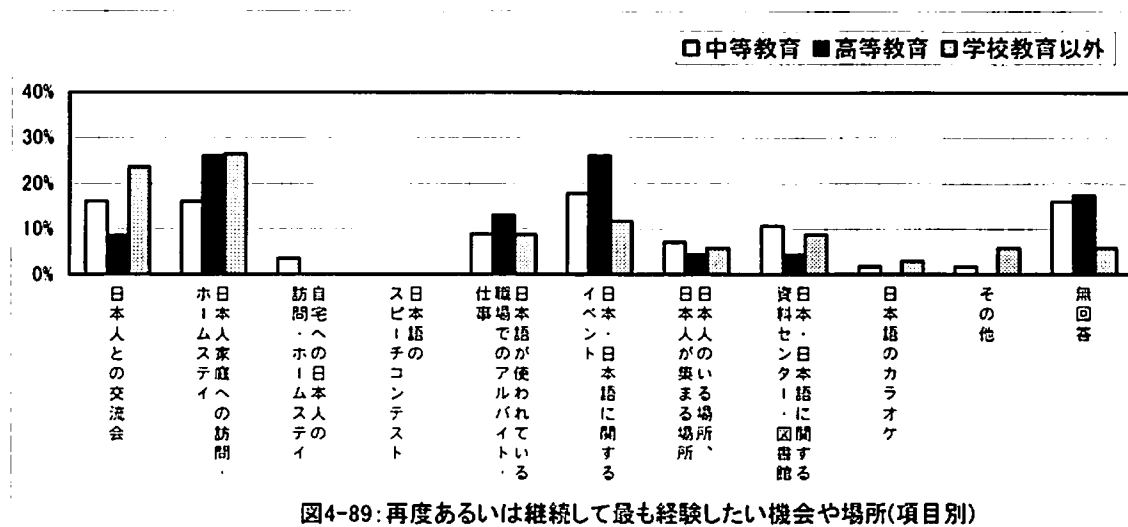


図4-89:再度あるいは継続して最も経験したい機会や場所(項目別)



## 第5章 課 題

本調査の目的は、本報告書第1章に述べたように、マイクロ（個々の日本語学習や教育）・マクロ（日本語教育が置かれている社会環境）の視点から、学習者・教師の両面からアプローチし、アンケート・インタビューの手法を用いてマレーシアの学習環境と学習手段についての多様性の現状を把握することにある。そのうち、本報告書では特にアンケート調査の集計結果についてその概要を報告し、マレーシアの学習手段と学習環境の全体的な傾向について、所属別（中等教育・高等教育・学校教育以外）、教師については国籍別（マレーシア人教師・日本人教師）にその現状を示した。

しかし、本報告書は巻頭の「本報告書について」で述べたように、その内容を記述統計的な集計結果にとどめ、項目間の関係等の分析には敢えて踏み込まなかった。集計・分析の観点についても、上記の所属別・国籍別以外に地域別、学年別等、様々な可能性が考えられる。また、アンケートは全体的な把握はできても、学習者・教師がなぜ、どのように個別のリソース（物、人、機会、場所等）を使っているのかについての個別的・具体的な実態について把握するには限界がある。そのため、同時並行で行った学習者・教師に対する個別インタビューの調査結果とあわせた分析が今後重要になってくる。

また、本調査研究は、日本語教育における学習環境と学習手段の実態把握を目的とした初めての海外調査の試みであり、今後の関連する調査研究に向けたパイロット的な役割も担っていた。そのため、調査方法のあり方、アンケートやインタビュー調査の内容・技術に関する検討自体も重要な課題の一つである。その意味において、全体のデータ数はある程度確保することはできたが、対象によっては不十分であり、本調査だけで現状を十分に把握しているとは言い切れない。

さらに、本調査結果はこれまで「多様である」としてその実態に踏み込んで来なかった現状に対して、リソースという新たな観点からこれからの日本語教育のあり方を議論・改善していくための契機、基礎的な資料としての役割も担っている。そのため、このような調査は一度で終らせるのではなく、調査結果を踏まえ、現地協力機関・協力者とのネットワークを広げながら、継続して調査・分析し、その成果を教育現場に還元していくことが重要である。

そこで、本調査結果を最大限に活用するべく、今後の分析の観点について、「今後の検討課題」として以下に挙げ、まとめとする。

- 本調査結果とインタビュー結果との関係
- 本調査結果と学習環境（社会状況や教育制度等）との関係
- 日本語学習に関する教師と学習者の比較
- 地域差
- 学校種別による比較（例；予備教育、レジデンシャルスクール、大学）
- 各項目間の関係（リソース、及びリソース利用の現状に影響を与えている要因の検討）
  - ・リソースとリソースの関係
  - ・あるリソースの利用と、他のリソース及び他のリソースの利用との関係

- ・学習者の背景的情報（年齢，学年，性別，訪日経験の有無，動機の種類，日本語力自己評価，日本語学習歴，外国語学習歴等）・教師の背景的情報（年齢，性別，日本語学習歴，訪日経験の有無，日本語教育経験，日本語以外の教育経験，日本語以外の専門領域の有無，日本語力自己評価，日本語教育に関する研修経験，教師として重視する能力，教師の資質・能力を向上させるために役に立つと思うもの，コンピューター・リテラシー等）とリソース及びリソース利用の関係（どのような学習者・教師が何をリソースとして捉え，どのようなリソースをどのように利用しているのか）
- 日本語教師や友人等，日本語で最もよくやりとりをする相手（3-2-3・4-3-3）ごとの集計結果と比較，他の項目との関係
- 新聞，テレビ放送，ビデオ等，日本語を最もよく見聞きするもの（3-3-4・4-4-4）ごとの集計結果と比較，他の項目との関係
- その他，他調査地域との比較検討等

# 資 料

日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究

マレーシアアンケート調査

調査票

機関調査票（日本語版・マレー語版・英語版）

学校名：\_\_\_\_\_

住所：\_\_\_\_\_

担当者名：\_\_\_\_\_ 年月日：\_\_\_\_\_

役職名：\_\_\_\_\_

## F1 日本語教員数

常勤 \_\_\_\_\_名

マレーシア人 \_\_\_\_\_名

&lt;内訳：マレー系 \_\_\_\_\_名 中国系 \_\_\_\_\_名 インド系 \_\_\_\_\_名 その他 \_\_\_\_\_名&gt;

日本人 \_\_\_\_\_名

非常勤 \_\_\_\_\_名

マレーシア人 \_\_\_\_\_名

&lt;内訳：マレー系 \_\_\_\_\_名 中国系 \_\_\_\_\_名 インド系 \_\_\_\_\_名 その他 \_\_\_\_\_名&gt;

日本人 \_\_\_\_\_名

アシスタント \_\_\_\_\_名

マレーシア人 \_\_\_\_\_名

&lt;内訳：マレー系 \_\_\_\_\_名 中国系 \_\_\_\_\_名 インド系 \_\_\_\_\_名 その他 \_\_\_\_\_名&gt;

日本人 \_\_\_\_\_名

## F2 日本語の受講生数 \_\_\_\_\_人

1. 中・高校生 Form1 \_\_\_\_\_人 Form2 \_\_\_\_\_人 Form3 \_\_\_\_\_人 Form4 \_\_\_\_\_人  
Form5 \_\_\_\_\_人 Form lower6 \_\_\_\_\_人 Form upper6 \_\_\_\_\_人

2. 予備教育生 1年生 \_\_\_\_\_人 2年生 \_\_\_\_\_人

3. 大学生 1年生 \_\_\_\_\_人 2年生 \_\_\_\_\_人 3年生 \_\_\_\_\_人 4年生 \_\_\_\_\_人

4. 短期大学生 1年生 \_\_\_\_\_人 2年生 \_\_\_\_\_人

5. 社会人 \_\_\_\_\_人

6. その他 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_人

## F3 学校で使用できる設備や利用できるものに○をつけてください。

1. コンピューター (教師用 \_\_\_\_\_台 学生用 \_\_\_\_\_台)
2. インターネットの利用 (主な利用者：1.学生 2.教師 3.両方)
3. テレビやビデオの視聴 (主な利用者：1.学生 2.教師 3.両方)
4. LL
5. OHP
6. テープレコーダー、CD プレイヤー
7. ビデオプレーヤー
8. VCD プレーヤー
9. DVD プレーヤー
10. 日本語関係の蔵書 (蔵書数：1.100 冊未満 2.100 冊～1,000 冊未満  
3.1,000 冊～2,000 冊未満 4.2,000 冊以上)  
(主な利用者：1.学生 2.教師 3.両方)

## F4 貴校が行なっている、または参加している日本語関係の行事に○をつけてください。

該当するものすべてに○をつけてください。

1. 学校外からゲストを招いて、日本や日本語に関する話をしてもらったり、学生の会話相手になってもらう
2. 日本旅行
3. 日本との交換留学制度 (1.主催 2.他機関が主催 3.両方)
4. スピーチコンテスト (1.主催 2.他機関が主催 3.両方)
5. 日本にある姉妹校との交流
  1. 文通 (手紙) 2. 文通 (電子メール) 3. 学校訪問の受け入れ
  4. 相手学校への訪問 5. 教材の交換 6. その他 \_\_\_\_\_
6. その他： \_\_\_\_\_  
(1.主催 2.他機関が主催 3.両方)

御協力ありがとうございました。貴校の日本語コース/日本語クラスのカリキュラム、シラバスなどが分かる資料を同封していただけましたら幸いです。

Nama sekolah: \_\_\_\_\_

Alamat: \_\_\_\_\_

Kakitangan yang bertanggungjawab: \_\_\_\_\_ Tarikh: \_\_\_\_\_

Jawatan: \_\_\_\_\_

**F1 Bilangan guru Bahasa Jepun**

☺Guru/pensyarah tetap: \_\_\_\_\_ orang

Rakyat Malaysia: \_\_\_\_\_ orang

[Bangsa Melayu \_\_\_\_\_ orang, Cina \_\_\_\_\_ orang, India \_\_\_\_\_ orang, Lain-lain \_\_\_\_\_ orang]

Rakyat Jepun: \_\_\_\_\_ orang

☺Guru/pensyarah sambilan \_\_\_\_\_ orang

Rakyat Malaysia: \_\_\_\_\_ orang

[Bangsa Melayu \_\_\_\_\_ orang, Cina \_\_\_\_\_ orang, India \_\_\_\_\_ orang, Lain-lain \_\_\_\_\_ orang]

Rakyat Jepun: \_\_\_\_\_ orang

**☺Pembantu**

Rakyat Malaysia \_\_\_\_\_ orang

[Bangsa Melayu \_\_\_\_\_ orang, Cina \_\_\_\_\_ orang, India \_\_\_\_\_ orang, Lain-lain \_\_\_\_\_ orang]

Rakyat Jepun \_\_\_\_\_ orang

**F2 Bilangan pelajar yang mengikuti kelas Bahasa Jepun \_\_\_\_\_ orang**

1. Pelajar sekolah menengah: Tingkatan 1 \_\_\_\_\_ Tingkatan 2 \_\_\_\_\_ Tingkatan 3 \_\_\_\_\_  
Tingkatan 4 \_\_\_\_\_ Tingkatan 5 \_\_\_\_\_ Tingkatan 6 (bawah) \_\_\_\_\_  
Tingkatan 6 (atas) \_\_\_\_\_

2. Pelajar kursus persediaan khas: Tahun 1 \_\_\_\_\_ Tahun 2 \_\_\_\_\_

3. Pelajar universiti: Tahun 1 \_\_\_\_\_ Tahun 2 \_\_\_\_\_ Tahun 3 \_\_\_\_\_ Tahun 4 \_\_\_\_\_

4. Kolej: Tahun 1 \_\_\_\_\_ Tahun 2 \_\_\_\_\_

5. Sudah bekerja: \_\_\_\_\_ orang

6. Lain-lain: \_\_\_\_\_

**F3 Tandakan  untuk peralatan/kemudahan yang ada dan boleh digunakan di sekolah anda**

1. Komputer (Kegunaan guru: \_\_\_\_\_ buah, Kegunaan pelajar: \_\_\_\_\_ buah)

2. Internet (Pengguna: 1. Pelajar 2. Guru 3. Kedua-duanya)

3. Televisyen dan video (Pengguna: 1. Pelajar 2. Guru 3. Kedua-duanya)

4. I.L.

5. OHIP

6. Radio kaset, CD

7. Pemain video

8. Pemain VCD

9. Pemain DVD

10. Bahan bertulis yang berkaitan dengan Bahasa Jepun

1. Tidak lebih dari 100 buah 2. 100 hingga bawah 1000 buah

3. 1000 hingga bawah 2000 buah 4. 2000 buah ke atas

(Pengguna: 1. Pelajar 2. Guru 3. Kedua-duanya)

**F4 Apakah aktiviti/acara yang berkaitan dengan Bahasa Jepun yang sekolah anda adakan ataupun sertai Tandakan  pada yang berkenaan**

1. Menjemput tetamu dari luar untuk memberi ceramah mengenai Bahasa Jepun, berbual dengan pelajar anda

2. Lawatan ke Jepun

3. Program pertukaran pelajar dengan Jepun

(Sekolah anda sebagai 1. Penaja 2. Ditaja oleh pihak lain 3. Kedua-duanya)

4. Pertandingan syarahan

(Sekolah anda sebagai 1. Penaja 2. Ditaja oleh pihak lain 3. Kedua-duanya)

5. Program sekolah berkembar dengan Jepun

1. Surat 2. E-mail 3. Menerima lawatan dari sekolah kembar

4. Membuat lawatan ke sekolah kembar 5. Pertukaran bahan

6. Lain-lain: \_\_\_\_\_

6. Lain-lain: \_\_\_\_\_

(Sekolah anda sebagai 1. Penaja 2. Ditaja oleh pihak lain 3. Kedua-duanya)

Terima kasih di atas kerjasama pihak anda. Kami juga amat menghargai sekiranya pihak tuan/puan dapat menyertakan sebarang bahan bercetak yang menunjukkan sukatan pelajaran dan kurikulum sekolah bersama-sama dengan borang ini.

Name of Institution: \_\_\_\_\_

Address: \_\_\_\_\_

Your Name : \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_/\_\_\_\_/\_\_\_\_

Your Position: \_\_\_\_\_

**F1 Number of teachers**

Full-time: \_\_\_\_  
 (Malaysian: \_\_\_\_ Background: Malay \_\_\_\_ Chinese \_\_\_\_ Indian \_\_\_\_ Others \_\_\_\_)  
 (Japanese: \_\_\_\_ )  
 Part-time: \_\_\_\_  
 (Malaysian: \_\_\_\_ Background: Malay \_\_\_\_ Chinese \_\_\_\_ Indian \_\_\_\_ Others \_\_\_\_)  
 (Japanese: \_\_\_\_ )  
 Teaching Assistants: \_\_\_\_  
 (Malaysian: \_\_\_\_ Background: Malay \_\_\_\_ Chinese \_\_\_\_ Indian \_\_\_\_ Others \_\_\_\_)  
 (Japanese: \_\_\_\_ )

**F2 Number of the students who are taking Japanese: \_\_\_\_\_**

1. Junior high/high school  
 Form1 \_\_\_\_ Form2 \_\_\_\_ Form3 \_\_\_\_ Form4 \_\_\_\_  
 Form5 \_\_\_\_ Form lower6 \_\_\_\_ Form upper6 \_\_\_\_
2. University Preparation Course First year \_\_\_\_ Second year \_\_\_\_
3. University First year \_\_\_\_ Second year \_\_\_\_  
 Third year \_\_\_\_ Fourth year \_\_\_\_
4. Junior College First year \_\_\_\_ Second year \_\_\_\_
5. Company or Corporate employee \_\_\_\_\_
6. Others (Please Specify: \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

**F3 What kind of equipment or teaching aids are available at your institution for use in teaching Japanese? Please circle as many as applicable.**

1. Computers: for teacher's use \_\_\_\_ (put the number of machines)  
 for students' use \_\_\_\_ (put the number of machines)
2. Internet → For use of?: 1. students 2. teachers 3. both
3. TV or Video viewing → For use of?: 1. students 2. teachers 3. both
4. Language Laboratory (LL)
5. Overhead projector
6. Audio tape player / CD player
7. Video Cassette Recorder (VCR)
8. VCD Player
9. DVD-Player
10. Books related to Japan or Japanese  
 → How many? 1. less than 100 2. 100-1000  
 3. 1000-2000 4. 2000-more  
 → Who uses them mainly?: 1. students 2. teachers 3. both

**F4 What kinds of events/programs does your institution organize or participate in? Please circle as many as applicable.**

1. Invite guests to give lectures related to Japan/Japanese and/or practice conversations
2. School trips to Japan
3. Student exchange programs  
 → Who is the organizer?: 1. your institution 2. other institutions 3. both
4. Speech contests  
 → Who is the organizer?: 1. your institution 2. other institutions 3. both
5. Sister school relationship with (a) Japanese school(s)  
 → What kinds of activities?:  
 1. pen-pal (letter) 2. pen-pal (e-mail) 3. school trip (in-coming)  
 4. school trip (out-going) 5. exchange materials  
 6. other: \_\_\_\_\_
6. Other: \_\_\_\_\_  
 → Who is the organizer?: 1. your institution 2. other institutions 3. both

*Thank you very much for your cooperation. We would be grateful if you could send a course/guide or syllabus of your Japanese programs.*

学習者用調査票（日本語版・マレー語版・英語版）



マレーシア学習者用

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」への

御協力をお願い

私共の国立国語研究所は、日本語教育に関する科学的な調査・研究により、日本語教育の振興を図ることを目的の一つとした日本の公的な機関です。その中の日本語教育部門では、日本語教育関係情報や教材用素材の提供など、日本語教育支援のための総合的ネットワークの構築・運営を実施し、その充実を目指しております。

近年、インターネットを始めとする様々な情報流通のあり方の変化に伴い、日本語を学習する環境や手段も多様化し、支援のあり方も柔軟に対応する必要があります。そのためには、まず国内外で日本語を学習している方々がどのような環境で、どのような手段で日本語を学習しているのかについて広く情報収集し、現状を把握する必要があります。

その一環として、本年度はマレーシアの日本語学習者が日本語学習に何を利用しそれらをどう評価しているのか等を把握する実態調査を行っております。

本調査研究により、次のような支援が可能になります。

①人、物、情報等のより効果的な日本語教育・学習支援が可能になる

②日本へ留学するマレーシア人学習者の日本語学習を効果的に支援できる

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解くださり、御回答くださるようお願い致します。

〒115-8620 東京都北区西が丘3-9-14

独立行政法人国立国語研究所日本語教育部門

部門長 杉戸清樹

金田智子

小河原義朗

TEL:+81-3-5993-7660 (小河原)

FAX:+81-3-3906-3530

<http://www.kokken.go.jp/jel/>

御記入にあたってのお願い

(1)御回答は、研究目的のためにのみ使わせていただきます。また、回答は統計処理を施して総括的に公表しますので、個別の回答を公表することはありません。

(2)御回答の方法は、各質問項目について異なりますので、各質問項目の指示にご注意ください。

(3)自由記述の項目及び「その他」を選択された場合は、その具体的な内容についてお書きください。

(4)2004年 月 日(水)までに担当の先生に御返却ください。

(5)もし何か御不明の点がありましたら、下記まで御連絡ください。

小河原 義朗 ogawara@kokken.go.jp

Edward Lee(マレーシア日本語協会) edward@jkl.org.my

<学習者用アンケート>

•選択肢のあるものは番号に○をしてください。

F1 性別 1. 男 2. 女

F2 国籍 \_\_\_\_\_

F3 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上

F4 母語 (最もよく話せる言葉) \_\_\_\_\_語

F5 身分

1. 全寮制中学校 (Residential School) Form \_\_\_\_\_

2. 普通中等学校 (Day School) Form \_\_\_\_\_

3. 1,2以外の中等学校 Form \_\_\_\_\_

4. 大学予備教育課程 \_\_\_\_\_年

5. 大学 \_\_\_\_\_年

6. 短期大学 \_\_\_\_\_年

7. 勤労者

8. その他 \_\_\_\_\_

F6 日本語学習を開始した時期

1. 全寮制中学校 (Residential School) Form \_\_\_\_\_

2. 普通中等学校 (Day School) Form \_\_\_\_\_

3. 1,2以外の中等学校 Form \_\_\_\_\_

4. 大学予備教育課程 \_\_\_\_\_年

5. 大学 \_\_\_\_\_年

6. 短期大学 \_\_\_\_\_年

7. 就職後

8. その他 \_\_\_\_\_

F7 あなたは今どこで日本語を勉強していますか。(複数回答可)

1. 全寮制中学校 (Residential School) 2. 普通中等学校 (Day School)

3. 1,2以外の中等学校 4. 大学予備教育課程 5. 大学 6. 短期大学

7. 総合技術専門学校・ポリテクニク 8. 民間学校 9. 会社

10. その他 \_\_\_\_\_

F8 日本に行った経験がありますか。

1. ある (→F8-1へ) 2. ない (→F9へ)

F8-1 「1. ある」と答えた方におたずねします。日本に行った回数と期間をお書きください。

回数 \_\_\_\_\_回 期間 (延べ) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_か月 \_\_\_\_\_日

F8-2 日本に行った目的は何ですか。(複数回答可)

1. 観光 2. 短期留学 (6ヶ月未満) 3. 短期留学 (6ヶ月以上～1年未満)

4. 長期留学 (1年以上) 5. 仕事 6. 企業研修 7. 国際交流

8. 親族訪問 9. 家族滞在 10. その他 \_\_\_\_\_

F9 日本語の学習を始めた理由や動機は何ですか。理由や動機として強い順に3つ選んで表に記入してください。

1. 日本語を学ぶのが流行しているから
2. 学校の授業にあるから
3. 就職に有利だから
4. 現在の仕事に必要だから
5. 日本人の知り合いがいるから
6. 親や知人などに勧められたから
7. 日本語を学ぶのは知的なこととしてまわりから評価されるから
8. 日本語は難しそうで、やりがいがあるから
9. 学びやすそうだから
10. 日本語に興味があるから
11. 国際的に重要な言語だから
12. 日本の文化や社会についての情報を得たいから
13. 日本の文学や歴史に興味があるから
14. 日本に興味があるから
15. 日本に行きたいから
16. 日本のもの（テレビ番組、ゲーム、歌、漫画など）が好きだから
17. 日本の科学技術に興味があるから
18. その他

↑ 18. を選んだ場合は記入してください。

1	2	3

F10 あなたは現在、日本語がどのくらいできますか (①)。そして、将来どのくらいできるようになりたいと思っていますか (②)。「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」それぞれについて、最も適当なものを選んで、表の中に記入してください。

F10-1 【読むこと】

1. 全くできない。
2. ひらがなとカタカナが読める。
3. やさしい漢字がわかる。
4. 簡単な文章ならだいたい理解できる。
5. 新聞や雑誌、興味のある分野の本などがだいたい理解できる。
6. 母語と同じように読める。

①現在	②将来

F10-2 【書くこと】

1. 全くできない。
2. ひらがなとかたかなが書ける。
3. 簡単な漢字を書くことができる。
4. 短い文を書くことができる。
5. まとまった文章が書ける。
6. 母語と同じように書ける。

①現在	②将来

F10-3 【聞くこと】

1. 全くできない。
2. 日常生活で使う簡単な表現、挨拶などが聞いて理解できる。
3. 簡単な指示などを理解することができる。
4. 会話の中で、相手の考えや意見をだいたい理解することができる。
5. テレビニュース、学校の講義などまとまった話がほぼ理解できる。
6. 母語と同じように聞いて理解できる。

①現在	②将来

F10-4 【話すこと】

1. 全くできない。
2. 挨拶ができる。
3. 簡単な自己紹介ができる。
4. 日常生活に必要な表現を状況に応じて使える。
5. 自分の意見や考えを話すことができる。
6. 母語と同じように話せる。

①現在	②将来

Q1 日本語の授業以外で日本語を使ってやりとり（会話、電話、手紙、電子メールなど）をすることはありますか。

1. はい (→01-1,01-2へ)
2. いいえ (→01-3へ)

Q1-1 日本語の授業以外でどんな人と日本語でやりとりしますか。やりとりする人全員の番号に○をし、その方法を選んで○をつけてください。(複数回答可)

○	相手	方法					
		会話	手紙	電話	電子メール	チャット	
1	日本語の教師						
2	学校の友人						
3	塾や語学学校等のクラスメート						
4	職場の同僚						
5	職場の上司						
6	仕事上の取引相手						
7	勤務先（レストラン等）の客						
8	家族・親戚等						
9	知り合い						
10	日本人留学生、研修生、アシスタント						
11	その他						

Q1-2 Q1-1で○をした中で、もっともよく日本語でやりとりをする人あるいは人達について、答えてください。

①その人は Q1-1 の 1～10 のどれですか。*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。										
1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	
②どこの国の人ですか。										
1. マレーシア人			2. 日本人			3. その他				
③性別										
1. 男					2. 女					
④やりとりをするようになった頃、あなたの日本語はどうでしたか。○を付けてください										
1. ほとんどできなかった			2. 少しできた			3. 日常会話程度できた				
4. かなりできた			5. 日本人と同程度できた							

⑤やりとりをする頻度はどのぐらいですか。1つ選んでください。			
1. 年に2,3回	2. 月2,3回	3. 週1回	4. 週2,3回
⑥やりとりの主な手段は何ですか。(複数回答可)			
1. 会って話す	2. 電話で話す	3. 手紙	4. 電子メール
5. チャット	6. その他		
⑦その人とやりとりをする時、日本語をどのぐらい使いますか。			
1. 全部日本語	2. 主に日本語	3. 日本語と他の言語が半々	4. 主に他の言語
⑧主にどんなことについて話しますか。(複数回答可)			
1. 日本語について	2. 勉強について	3. 仕事について	4. 生活について
5. 趣味について	6. 社会について		
⑨やりとりをその人とするとき、なぜ日本語を使うのですか。下の項目それぞれについて、5~1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。			
	全く使わない	どちらともいえない	全く使いたい
1. 日本語を使うのは楽しいから	5	4	3
2. 日本語の母語話者と話したいから	5	4	3
3. 日本語能力向上や維持のため	5	4	3
4. 仕事として義務づけられているから	5	4	3
5. 日本語が最もわかりあえる言葉だから	5	4	3
6. 相手が使うから	5	4	3
7. 習慣になっているから	5	4	3
8. その他	5	4	3

Q1-3 (01で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外で日本語を使わない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

- 日本語を使う相手がいないから
- 日本語を使いたいと思わないから
- 自分の日本語力が充分ではないから
- 恥ずかしいから
- 自信がないから
- マレー語や英語、中国語など他の言語の方が便利だから
- その他 \_\_\_\_\_

Q2 身の回りに、日本語が使われているものはありますか。(日本語学習教材は除きます。)

- はい (→Q2-1へ)
- いいえ (→Q3へ)

Q2-1 日本語の授業以外の時間に、日本語が使われているものを見たり聞いたりすることはありますか。

- はい (→Q2-2, Q2-3へ)
- いいえ (→Q2-4へ)

Q2-2 授業以外でどんなもの(日本語が使われているもの)を見たり聞いたりしますか。あてはまるもの全てに○をしてください。(複数回答可)

- 新聞
- 雑誌
- 本
- マンガ・アニメ
- 商品のパッケージ・解説書
- テレビ(ニュース、ドラマなど)
- ラジオ
- ビデオ・VCD・DVD
- CD
- 音声テープ
- コンピュータ(インターネット等)
- ゲームソフト
- 看板や店内の表示
- その他 \_\_\_\_\_

Q2-3 Q2-2で○をした中で、もっともよく見たり聞いたりするもの一つについて、答えてください。

①それはQ2-2の1~14のどれですか。*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
②頻度はどのぐらいですか。○を付けてください。													
1. 年に2,3回	2. 月2,3回	3. 週1回	4. 週2,3回	5. 毎日									
③それは誰のものですか。													
1. 自分のもの	2. 家族のもの	3. 友人や知り合いのもの	4. 学校のもの										
5. 会社のもの	6. その他												
④主にどんな内容ですか。(複数回答可)													
1. 政治・経済	2. 社会・生活	3. 科学技術	4. 文化・芸術	5. スポーツ・趣味									
6. 日本語・日本語学習	7. 日本人	8. 日本	9. その他										
⑤見たり聞いたりする理由は何ですか。下の項目それぞれについて、5~1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。													
	全く使わない	どちらともいえない	全く使いたい										
1. 楽しいから	5	4	3	2	1								
2. 日本語に触れたいから	5	4	3	2	1								
3. 日本語の力を試してみたいから	5	4	3	2	1								
4. 日本語能力の向上や維持のため	5	4	3	2	1								
5. 様々な情報が得られるから	5	4	3	2	1								
6. 日本や日本人について知ることができるから	5	4	3	2	1								
7. 仕事のため	5	4	3	2	1								
8. 研究のため	5	4	3	2	1								
9. その他	5	4	3	2	1								

Q2-4 (02-1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外の時間に、日本語が使われているものを見たり聞いたりしない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

- 見たり、聞いたりしたいと思わないから
- 時間がないから
- 自分の日本語力が充分でないから
- 利用するのにお金がかかるから
- 手に入りにくいから
- その他 \_\_\_\_\_

Q3 現在使っている日本語の教科書や授業で先生から渡される学習資料を授業以外の時間にも使いますか。 1. はい (→Q3-1へ) 2. いいえ (→Q3-2へ)

Q3-1 授業以外の時間に教科書や授業で先生から渡される学習資料を使って勉強するときに、どんなことをしていますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

- 語句の意味を調べる
- 漢字にふりがなをふる
- マレー語や英語、中国語など他の言語に訳す
- 日本語がわかる人に質問する
- 練習問題を解く
- 付属のカセットテープを聞く
- 単語帳を作る
- 自分で文を作る
- 筆記、暗唱する
- 練習相手を見つけて会話の練習をする

11. 参考書等参照する

12. その他 \_\_\_\_\_

Q3-2 (Q3で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

日本語の教科書や授業で先生から渡される学習資料を授業以外の時間に使わない理由は何ですか。

1. 授業以外の時間に日本語の勉強をしないから
2. どうやって使ったらいいかわからないから
3. 特に日本語に興味がないから
4. わかりにくいから
5. その他 \_\_\_\_\_

Q4 過去3年の間に、次の表(Q4-1)のような日本人や日本語に接する機会や場所を経験したことがありますか。

1. はい (→04-1, 04-2へ)      2. いいえ (→05へ)

Q4-1 経験したことがあるものの番号に○をし、マレーシア、日本のどちらで経験したか○をつけてください。マレーシア・日本のいずれでもない場合は、「その他」の欄に記入してください。

	機会・場所	マレーシア	日本	その他
1	日本人との交流会			
2	日本人家庭への訪問・ホームステイ			
3	自宅への日本人の訪問・ホームステイ			
4	日本語のスピーチコンテスト			
5	日本語が使われている職場でのアルバイト・仕事			
6	日本・日本語に関するイベント			
7	日本人のいる場所、日本人が集まる場所			
8	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (例：国際交流協会クアラルンプール日本語センター)			
9	日本語のカラオケ			
10	その他			

Q4-2 経験したことがある場合、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思うものはありますか。最も経験したいと思うものをQ4-1の選択肢の中から一つだけ選んで記入してください。

1. ある       →04-1の選択肢の番号を一つ記入してください
2. ない

Q5 次の中で、日本語学習や日本理解のために、現在使っているものはどれですか。(複数回答可)

1. 学習参考書・問題集 一次のどれですか  
[1. 文法 2. 作文 3. 語彙 4. 漢字 5. 会話 6. 試験対策 7. 読解 8. その他 \_\_\_\_\_]
2. 辞書 (書名: \_\_\_\_\_)
3. 電子辞書
4. 漢字字典 (書名: \_\_\_\_\_)
5. 日本語学習のための音声テープ
6. ビデオ教材
7. 日本語の放送講座
8. 日本語学習のためのコンピューターソフト
9. インターネットによる資料収集
10. web教材による日本語学習
11. e-mail・チャット
12. 日本語のテレビ番組
13. 日本語の映画
14. 日本語のマンガ・アニメ
15. 日本語の小説や雑誌、新聞などの読み物
16. 日本語を使ったゲームソフト
17. 日本語の歌(CD・テープ)
18. その他 \_\_\_\_\_

Q6 次の中で、日本語学習や日本理解のために、今後、もっと充実したらいいと思うものはどれですか。(複数回答可)

1. 教科書—どんなものですか。 \_\_\_\_\_
2. 学習参考書・問題集一次のどれですか。  
[1. 文法 2. 作文 3. 語彙 4. 漢字 5. 会話 6. 試験対策 7. 読解 8. その他 \_\_\_\_\_]
3. 辞書一次のどれですか。  
[ 1. 日本語-マレー語 2. マレー語-日本語 3. 和英 4. 英和  
5. 日中 6. 中日 7. その他 \_\_\_\_\_]
4. 漢字字典
5. 日本語学習のための音声テープ
6. ビデオ教材
7. 日本語の放送講座
8. 日本語学習のためのコンピューターソフト
9. web学習プログラム
10. 日本語の小説や雑誌、新聞などの読み物
11. 日本語のテレビ番組
12. 日本語の映画
13. 日本語を使ったゲームソフト
14. 日本人との交流 (パーティー、ハイキング、料理教室など)
15. 日本人家庭への訪問、ホームステイ
16. 日本語のスピーチコンテスト
17. 日本や日本語に関するイベント
18. 日本語を使うアルバイト
19. 留学の機会
20. 言語交換学習・メールによる意見交換
21. その他 \_\_\_\_\_

御協力ありがとうございます

### Permohonan Kerjasama Untuk Kajiselidik Mengenai Situasi dan Kaedah Pembelajaran Bahasa Jepun

Kami dari Pusat Penyelidikan Bahasa Negara (The National Institute for Japanese Language) merupakan badan yang menjalankan kajian berkaitan dengan pendidikan Bahasa Jepun. Sebagai sebahagian dari badan ini, kami juga berusaha untuk meningkatkan mutu pendidikan Bahasa Jepun dari segi penyebaran maklumat dan bahan pengajaran melalui peningkatan rangkaian sokongan pendidikan Bahasa Jepun.

Selaras dengan perkembangan dunia IT, kaedah pengajaran dan pembelajaran juga telah bertambah dan berkembang dengan pesat yang memerlukan bantuan dan sokongan yang lebih fleksibel. Oleh itu, kami berpendapat adalah penting untuk mengumpulkan maklumat tentang situasi dan kaedah pembelajaran dan pengajaran Bahasa Jepun di dalam dan luar negara. Kajiselidik ini juga bertujuan untuk membuat penilaian mengenai bagaimanakah caranya guru-guru Bahasa Jepun di Malaysia menyediakan dan mengendalikan kelas serta teknik yang digunakan oleh pelajar untuk mendapatkan maklumat dalam pembelajaran Bahasa Jepun.

Hasil kajiselidik ini bakal memberi sumbangan dalam bidang pendidikan Bahasa Jepun dari segi:

- ① Bantuan tenaga manusia, material, dan informasi bagi membolehkan pendidikan Bahasa Jepun yang lebih efektif.
- ② Dapat membantu memberikan persediaan yang lebih efektif kepada pelajar Malaysia yang bakal melanjutkan pelajaran ke Jepun

Pengarah : SUGITO, Seiju  
 Ketua kajiselidik: KANEDA, Tomoko  
 Pengkaji: OGAWARA, Yoshiro  
 Department of Teaching Japanese as a Second Language  
 The National Institute for Japanese Language (NIJLA)  
 3-9-14 Nishigaoka, Kitaku, Tokyo 115-8620  
 TEL: +81-3-5993-7660 (Ogawara)  
 FAX: +81-3-3906-3530  
<http://www.kokken.go.jp/jsl>

#### Permintaan berhubung dengan pengisian maklumat

- (1) Semua jawapan adalah untuk tujuan kajiselidik. Jawapan secara keseluruhan akan digunakan hanya untuk laporan dan tidak akan digunakan secara peribadi.
- (2) Sila berhati-hati ketika membaca arahan kerana cara menjawab soalan berbeza mengikut jenis soalan.
- (3) Pada soalan yang bersifat bebas, atau sekiranya anda memilih [Lain-lain: \_\_\_\_\_] diharap dapat memberikan komen setepat mungkin.
- (4) Sila kembalikan kepada kakitangan yang bertanggungjawab pada \_\_\_\_\_
- (5) Sekiranya ada sebarang maklumat yang kurang jelas, sila hubungi  
 Ogawara Yoshiro [ogawara@kokken.go.jp](mailto:ogawara@kokken.go.jp)  
 Edward Lee (Persatuan Bahasa Jepun) [Edward@jflkl.org.my](mailto:Edward@jflkl.org.my)

※ Sila tandakan  pada jawapan yang ada pilihan.

F1 Jantina 1. Lelaki 2. Perempuan

F2 Kewarganegaraan \_\_\_\_\_

F3 Umur 1. 10-an 2. 20-an 3. 30-an 4. 40-an 5. 50-an  
 6. 60-an 7. 70 ke atas

F4 Bahasa ibunda (bahasa yang paling kerap digunakan) \_\_\_\_\_

F5 Status

1. Sekolah berasrama penuh Tingkatan: \_\_\_\_\_
2. Sekolah menengah (kebangsaan, wawasan, dll) Tingkatan: \_\_\_\_\_
3. Sekolah selain dari 1 dan 2 Tingkatan: \_\_\_\_\_
4. Program persediaan khas di universiti Tahun: \_\_\_\_\_
5. Universiti Tahun \_\_\_\_\_
6. Kolej Tahun \_\_\_\_\_
7. Bekerja
8. Lain-lain: \_\_\_\_\_

F6 Bilakah anda mula belajar Bahasa Jepun

1. Sekolah berasrama penuh Tingkatan: \_\_\_\_\_
2. Sekolah menengah (kebangsaan, wawasan, dll) Tingkatan: \_\_\_\_\_
3. Sekolah selain dari 1 dan 2 Tingkatan: \_\_\_\_\_
4. Program persediaan khas di universiti Tahun: \_\_\_\_\_
5. Universiti Tahun \_\_\_\_\_
6. Kolej Tahun \_\_\_\_\_
7. Setelah mendapat pekerjaan
8. Lain-lain: \_\_\_\_\_

F7 Di manakah anda belajar Bahasa Jepun sekarang. (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Sekolah berasrama penuh
2. Sekolah menengah (kebangsaan, wawasan, dll)
3. Sekolah selain dari 1 dan 2
4. Program persediaan khas di universiti
5. Universiti
6. Kolej
7. Institut Latihan Kemahiran Negara/Negeri, MARA, dll
8. Sekolah persendirian
9. Syarikat
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_

F8 Adakah anda pernah ke Jepun.

1. Pernah (sila jawab F8-1)
2. Tidak pernah (terus ke F9)

F8-1 Berapa lamakan dan berapa kalikah anda pernah melawat Jepun?

Bilangan: \_\_\_\_\_ Tempoh: \_\_\_\_\_ Tahun \_\_\_\_\_ Bulan \_\_\_\_\_ Hari \_\_\_\_\_

F8-2 Apakah tujuan anda ke Jepun? (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Melancong
2. Belajar (kurang dari 6 bulan)
3. Belajar (lebih 6 bulan kurang 1 tahun)
4. Belajar (lebih dari 1 tahun)
5. Bekerja
6. Kursus dari jabatan/syarikat
7. Pertukaran budaya
8. Melawat keluarga
9. Menetap dengan keluarga
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_

F9 Apakah sebab anda mula belajar Bahasa Jepun? Sila pilih 3 alasan yang paling tepat mengikut tahap kepentingan masing-masing dari senarai pilihan di bawah dan isikan ke dalam kotak yang disediakan.

1. Kerana belajar Bahasa Jepun popular di negara anda
2. Kerana terdapat mata pelajaran Bahasa Jepun di sekolah anda
3. Perlu untuk mendapatkan pekerjaan
4. Berguna untuk pekerjaan sekarang
5. Mempunyai kenalan orang Jepun
6. Galakan keluarga dan rakan-rakan
7. Mempelajari Bahasa Jepun dianggap intelek dari pandangan luar
8. Bahasa Jepun susah dan wajar dipelajari
9. Bahasa Jepun mudah dipelajari
10. Berminat dengan Bahasa Jepun
11. Bahasa Jepun agak penting di peringkat antarabangsa
12. Ingin mengetahui budaya dan sosial rakyat Jepun dengan lebih mendalam lagi
13. Berminat dengan sastera dan sejarah negara Jepun
14. Berminat dengan negara Jepun
15. Ingin pergi ke Jepun
16. Menyukai pelbagai produk Jepun (program TV, permainan, lagu, komik)
17. Berminat dengan teknologi Jepun
18. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Sila isikan alasan sekiranya memilih 18

1	2	3

F10 Apakah kemampuan Bahasa Jepun anda sekarang (①). Apakah matlamat pencapaian Bahasa Jepun anda di masa hadapan (②). Sila pilih jawapan yang bersesuaian mengikut kebolehan [MEMBACA][MENULIS][MENDENGAR] dan [BERTUTUR].

F10-1 [MEMBACA]

1. Tidak boleh
2. Boleh membaca hiragana dan katakana
3. Boleh membaca huruf kanji mudah
4. Boleh memahami ayat/karangan mudah
5. Boleh memahami surat khabar, majalah dan buku-buku yang berkaitan dengan bidang yang diminati
6. Boleh membaca sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F10-2 [MENULIS]

1. Tidak boleh
2. Boleh menulis hiragana dan katakana
3. Boleh menulis huruf kanji mudah
4. Boleh menulis karangan mudah
5. Boleh menulis ayat/karangan lengkap
6. Boleh menulis sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F10-3 [MENDENGAR]

1. Tidak boleh (tidak faham)
2. Boleh memahami perbualan ringkas harian dan ucap selamat
3. Boleh memahami papan tanda dan arahan mudah
4. Boleh memahami pendapat dan apa yang dituturkan oleh pasangan dalam perbualan
5. Boleh memahami berita TV, kuliah di universiti dan lain-lain
6. Boleh memahami sama seperti memahami bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F10-4 [BERTUTUR]

1. Tidak boleh
2. Boleh mengucap selamat
3. Boleh memperkenalkan diri
4. Boleh bertutur untuk keperluan hidup seharian.
5. Boleh meluahkan pendapat dan fikiran sendiri
6. Boleh bertutur sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

Q1 Adakah anda menggunakan Bahasa Jepun untuk perbualan, telefon, surat menyurat, e-mail dan lain-lain di luar kelas anda.

1. Ya (sila jawab Q1-1, Q1-2)
2. Tidak (sila jawab Q1-3)

Q1-1 Dengan siapakah anda menggunakan Bahasa Jepun di luar kelas anda. Tandakan  pada semua jawapan anda. (Boleh jawab lebih dari satu)

<input type="radio"/>	Cara	Perbualan	Surat menyurat	Telefon	E-mail	Chat
<input type="checkbox"/>	Pasangan					
1	Guru Bahasa Jepun					
2	Kawan di sekolah					
3	Rakan sekelas di pusat tuisyen atau Institut bahasa					
4	Rakan sekerja					
5	Ketua di tempat kerja					
6	Rakan urus niaga dalam pekerjaan					
7	Pelanggan di tempat anda bekerja					
8	Keluarga, saudara mara					
9	Kenalan					
10	Pelajar asing dari Jepun, peserta kursus, Pembantu					
11	Lain-lain: _____					

Q1-2 Soalan ini untuk jawapan anda di Q 1-1, tentang pasangan yang sering anda gunakan Bahasa Jepun.

①Siapakah pasangan yang paling sering anda gunakan Bahasa Jepun mengikut 1-11 di atas. Tandakan Opada satu nombor sahaja.										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
②Apakah kewarganegaraan pasangan anda?										
1. Malaysia			2. Jepun			3. Lain-lain _____				
③Jantina										
1. Lelaki					2. Perempuan					
④ Apakah kemampuan Bahasa Jepun anda sewaktu mula menggunakan Bahasa Jepun dengan pasangan anda.										
1. Hampir tidak boleh			2. Boleh sedikit			3. Boleh bertutur perbualan harian				
4. Sudah boleh berbual dengan agak lancar				5. Boleh berbual seperti orang Jepun						
⑤ Berapa kerapkah anda berhubung dengan pasangan anda?										
1. 2, 3 kali setahun		2. 2,3 kali sebulan		3. 1 kali seminggu		4. 2,3 kali seminggu		5. Setiap hari		
⑥ Apakah cara yang paling kerap anda gunakan untuk menghubungi pasangan anda?										
1. Berjumpa dan berbual		2. Berbual melalui telefon		3. Surat		4. E-mail		5. Chat		
6. Lain-lain: _____										
⑦ Sejauh manakah anda menggunakan Bahasa Jepun sewaktu berhubung dengan pasangan anda?										
1. Keseluruhannya dalam Bahasa Jepun			2. Lebih banyak menggunakan Bahasa Jepun							
3. Separuh dalam Bahasa Jepun dan separuh dalam bahasa lain			4. Kebanyakannya dalam bahasa lain							
⑧ Apakah perkara yang sering menjadi topik perbualan?										
1. Berkaitan Bahasa Jepun			2. Berkaitan pelajaran			3. Berkaitan pekerjaan				
4. Berkaitan kehidupan			5. Berkaitan dengan hobi			6. Berkaitan masyarakat				
7. Lain-lain: _____										
⑨Mengapakah anda gunakan Bahasa Jepun dalam komunikasi dengan rakan anda? Sila pilih jawapan dari 1-5 di bawah. Sekiranya anda mempunyai pilihan lain, sila pilih 8. Lain-lain dan nyatakan alas an anda										
					Setuju	Biasa	Tidak setuju			
1. Seronok menggunakan Bahasa Jepun					5	4	3	2	1	
2. Mahu bercakap dengan pematur Bahasa Jepun					5	4	3	2	1	
3. Mengekalkan prestasi kemampuan Bahasa Jepun					5	4	3	2	1	
4. Diwajibkan atas keperluan pekerjaan					5	4	3	2	1	
5. Bahasa Jepun paling mudah difahami oleh kedua pihak					5	4	3	2	1	
6. Kerana pasangan menggunakan Bahasa Jepun					5	4	3	2	1	
7. Sudah menjadi kebiasaan					5	4	3	2	1	
8. Lain-lain: _____					5	4	3	2	1	

Q1-3 (Pada yang menjawab (1) dalam Q1 tidak perlu menjawab soalan ini)

Apakah sebab anda tidak menggunakan Bahasa Jepun di luar kelas Bahasa Jepun. Sila pilih jawapan yang paling tepat dengan pilihan anda dari senarai di bawah.

1. Tidak mempunyai pasangan menggunakan Bahasa Jepun
2. Tidak terfikir untuk menggunakan Bahasa Jepun
3. Penguasaan Bahasa Jepun anda masih belum mencukupi
4. Malu
5. Tidak yakin
6. Bahasa Malaysia, Bahasa Cina atau lain-lain bahasa lebih mudah digunakan
7. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q2 Adakah anda memiliki bahan yang menggunakan Bahasa Jepun selain dari bahan mengajar di sekeliling anda.

1. Ya (sila jawab Q2-1)
2. Tidak (terus ke Q3)

Q2-1 Selain dari kelas Bahasa Jepun, adakah anda melihat atau mendengar Bahasa Jepun?

1. Ya (sila jawab Q2-2, Q2-3)
2. Tidak (sila jawab Q2-4)

Q2-2 Apakah jenis bahan Bahasa Jepun yang sering anda gunakan. Bulatkan pada jawapan yang berkenaan. (Anda boleh pilih lebih dari satu)

1. Surat khabar
2. Majalah
3. Buku
4. Komik
5. Kertas keterangan pada barangan yang dibeli
6. Televisyen (berita, drama)
7. Radio
8. Video, VCD, DVD
9. CD
10. Kaset
11. Komputer (internet)
12. Game
13. Papan tanda, kenyataan
14. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q2-3 Apakah bahan yang paling sering anda gunakan dari jawapan 1-14 di atas? Sila jawab soalan yang berkaitan dengannya.

① Apakah pilihan anda dalam Q2-2. Pilih satu yang paling selalu anda gunakan.													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
② Berapakah kekerapan anda menggunakannya?													
1. 2, 3 kali setahun		2. 2,3 kali sebulan		3. 1 kali seminggu		4. 2,3 kali seminggu		5. Setiap hari					
③ Siapakah pemilik bahan yang anda pilih?													
1. Kepunyaan sendiri				2. Kepunyaan keluarga				3. Kepunyaan rakan ataupun kenalan					
4. Kepunyaan sekolah				5. Kepunyaan syarikat				6. Lain-lain: _____					
④ Apakah isi kandungan utama bahan yang anda gunakan?													
1. Politik/ekonomi			2. Masyarakat/kehidupan			3. Teknologi sains			4. Budaya/seni				
5. Sukan/hobi			6. Bahasa Jepun/ Pendidikan Bahasa Jepun			7. Orang-orang Jepun					8. Jepun		
9. Lain-lain: _____													

ⓈApakah alasan anda menggunakan bahan yang anda pilih. Jawab soalan dibawah mengikut tahap pendapat anda dari 1- 5.

	Setuju	Biasa	Tidak setuju
1 Seronok	5	4	3 2 1
2 Ingin menggunakan Bahasa Jepun	5	4	3 2 1
3 Ingin mencuba kemampuan Bahasa Jepun	5	4	3 2 1
4 Ingin mengekalkan kemampuan Bahasa Jepun	5	4	3 2 1
5 Ingin mendapatkan pelbagai informasi	5	4	3 2 1
6 Boleh mengetahui Jepun dan orang Jepun	5	4	3 2 1
7 Untuk kerja	5	4	3 2 1
8 Untuk kajian	5	4	3 2 1
9 Lain-lain	5	4	3 2 1

Q2-1 (Anda tidak perlu menjawab soalan ini sekiranya memilih (1) pada Q2-1)  
Apakah sebab anda tidak menggunakan Bahasa Jepun di luar kelas Bahasa Jepun. Sila pilih jawapan yang paling tepat dari senarai di bawah.

1. Tidak terfikir untuk dengar dan lihat Bahasa Jepun
2. Tidak ada masa
3. Kemampuan Bahasa Jepun anda tidak mencukupi
4. Perlukan wang untuk menggunakannya
5. Kesukaran untuk mendapatkan bahan
6. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q3 Adakah anda menggunakan bahan pelajaran Bahasa Jepun yang diperolehi dari guru Bahasa Jepun anda diluar masa belajar?

1. Ya (sila jawab Q3-1)
2. Tidak (sila jawab Q3-2)

Q3-1 Sekiranya anda menggunakan bahan yang diberi guru anda di luar kelas Bahasa Jepun untuk belajar, bagaimanakah cara anda menggunakannya? (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Menyemak makna perkataan
2. Menyemak bacaan untuk kanji
3. Terjemahkan ke Bahasa Malaysia, Bahasa Inggeris, Bahasa Cina atau lain-lain bahasa
4. Bertanyakan kepada orang yang tahu Bahasa Jepun
5. Menjawab soalan latihan
6. Mendengar kaset yang disediakan bersama buku teks
7. Membuat kamus ringkas sendiri
8. Membuat ayat sendiri
9. Menghafal
10. Cari pasangan dan berlatih berbual bersama
11. Membuat rujukan dengan bahan-bahan rujukan
12. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q3-2 (Anda tidak perlu menjawab soalan ini sekiranya memilih (1) pada Q3)  
Mengapakah anda tidak menggunakan bahan yang diberi guru di luar kelas Bahasa Jepun?

1. Anda tidak belajar Bahasa Jepun di luar kelas Bahasa Jepun
2. Anda tidak tahu cara untuk menggunakannya
3. Anda tidak berminat dengan Bahasa Jepun
4. Susah difahami
5. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q4 Adakah anda pernah mengalami pengalaman berkomunikasi dengan orang atau pun Bahasa Jepun dalam tempoh 3 tahun kebelakangan ini?

1. Ya (sila jawab Q4-1, Q4-2)
2. Tidak (terus ke Q5)

Q4-1 Sila tandakan bulat pada tempat anda mengalami pengalaman tersebut. Sekiranya ia tidak mengambil tempat di Malaysia atau pun di Jepun, sila tandakan pada lain-lain  
Tandakan kesemua pengalaman yang pernah anda lalui.

Pengalaman/Tempat	Malaysia	Jepun	Lain-lain
1 Program suai kenal dengan orang Jepun			
2 Lawatan/ home stay di rumah keluarga Jepun			
3 Lawatan/home stay orang Jepun ke rumah anda			
4 Pertandingan syarahan Bahasa Jepun			
5 Bekerja secara sambilan di tempat yang memerlukan Bahasa Jepun			
6 Menyertai program/acara yang menggunakan Bahasa Jepun			
7 Menyertai kumpulan orang-orang Jepun, tempat perkumpulan orang Jepun			
8 Pernah ke pusat bahan-bahan bacaan mengenai Jepun			
9 Karaoke Bahasa Jepun			
10 Lain-lain: _____			

Q4-2 Adakah anda pernah terfikir untuk mengalaminya buat kali kedua atau pun meneruskannya Sila pilih jawapan dari Q4-1 dan tandakan pilihan jawapan anda

1. Pernah
2. Tidak pernah

	Masukkan no pilihan dari Q4-1
--	-------------------------------

Q5 Apakah yang anda gunakan untuk membantu pembelajaran Bahasa Jepun sekarang. (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Buku rujukan Bahasa Jepun, buku latihan (sila pilih daripada di bawah)  
[ 1 Nahu 2 Karangan 3 Perkataan 4 Kanji 5 Perbualan 6 Rujukan peperiksaan  
7 Bacaan 8 Lain-lain \_\_\_\_\_ ]
2. Kamus [Tajuk \_\_\_\_\_]
3. Kamus elektronik
4. Kamus kanji [Tajuk \_\_\_\_\_]
5. Kaset untuk pembelajaran Bahasa Jepun

Bersambung...



**Kegunaan Pelajar Bahasa Jepun (Malaysia)**

6. Bahan video
7. Pelajaran melalui televisyen
8. Perisian komputer untuk pembelajaran Bahasa Jepun
9. Bahan rujukan melalui internet
10. Bahan dari laman web pembelajaran Bahasa Jepun
11. E-mail, Chat
12. Program televisyen Bahasa Jepun
13. Filem Bahasa Jepun
14. Komik Bahasa Jepun
15. Novel, majalah, suratkhobar Bahasa Jepun
16. Perisian game komputer Bahasa Jepun
17. Lagu Bahasa Jepun (kaset, CD)
18. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q6 Apakah yang anda fikir dapat membantu perkembangan pembelajaran Bahasa Jepun di masa hadapan. (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Buku teks (Namakan jenis: \_\_\_\_\_)
2. Buku rujukan Bahasa Jepun, buku latihan (→sila pilih daripada di bawah)  
[ 1. Nahu 2. Karangan 3. Perkataan 4. Kanji 5. Perbualan 6. Rujukan peperiksaan  
7. Bacaan 8. Lain-lain: \_\_\_\_\_ ]
3. Kamus → Manakah di antara berikut  
[ 1. Bahasa Jepun → Bahasa Malaysia 2. Bahasa Malaysia → Bahasa Jepun  
3. Bahasa Jepun → Bahasa Inggeris 4. Bahasa Inggeris → Bahasa Jepun  
5. Bahasa Jepun → Bahasa Cina 6. Bahasa Cina → Bahasa Jepun  
7. Lain-lain: \_\_\_\_\_ ]
4. Kamus Kanji
5. Kaset untuk pembelajaran Bahasa Jepun
6. Bahan video
7. Pelajaran melalui televisyen
8. Perisian komputer untuk pembelajaran Bahasa Jepun
9. Pembelajaran melalui laman web
10. Novel, majalah, suratkhobar Bahasa Jepun (bahan bacaan)
11. Program TV Bahasa Jepun
12. Filem Bahasa Jepun
13. Perisian game komputer Bahasa Jepun
14. Program suai kenal dengan orang-orang Jepun (jamuan, aktiviti seperti mendaki, kelas masakan dsb)
15. Lawatan ke rumah keluarga Jepun/ homestay
16. Pertandingan syarahan Bahasa Jepun
17. Acara yang berkaitan dengan Bahasa Jepun
18. Kerja sambilan yang menggunakan Bahasa Jepun
19. Peluang menyambung pelajaran
20. Program pertukaran pelajaran bahasa (pertukaran e-mail)
21. Lain-lain: \_\_\_\_\_

**Terima kasih di atas kerjasama anda.**

**Request for participation in an  
International Survey of Learning Environments and Resources in Japanese Language Education**

To whom it may concern:

The National Institute for Japanese Language is Japan's official organization, with one of its goals being to further promote Japanese language education through scientific surveys and researches on Japanese language education. Within the institute, the Department of Teaching Japanese as a Second Language aims to develop and maintain a general network to assist with Japanese language education by providing information about Japanese language education and resources for teaching materials.

Recent changes in the way that information is disseminated, most notably the spreading of the Internet, have resulted in more diverse environments and means of learning Japanese; and it is necessary to take a flexible and responsive approach to develop better ways of providing assistance with Japanese language education. In order for us to do so, it is essential to have a more comprehensive understanding of Japanese language learning environments and means, both domestically and overseas.

As part of this international project, this year we are undertaking research that looks at what kind of materials the Japanese language learners in Malaysia are using for learning and how they evaluate the materials.

The following positive outcomes will be expected as a consequence of the present research. We can:

1. Provide a more effective way of assistance with the Japanese language teaching and learning by supplying necessary personnel, materials and information
2. Provide a more effective way of assistance with the Japanese language learning of the students from Malaysia interested in studying (or already studying) in Japan

We would greatly appreciate it if you could kindly take a moment to participate in our research. Thank you very much for your cooperation, in advance.

SUGITO Seiju, Director  
KANEDA Tomoko, Chief Researcher  
OGAWARA Yoshiro, Researcher  
Department of Teaching Japanese as a Second Language  
The National Institute for Japanese Language  
3-9-14 Nishigaoka  
Kita-ku Tokyo 115-8620  
TEL: +81-3-5993-7660 (Ogawara)  
FAX: +81-3-3906-3530  
<http://www.kokken.go.jp/jsl>

#### Information & Directions

1. Your answers will be used only for the purposes of the research. The statistically analyzed general results only will be released, and no information will be made identifiable with that of any particular individual.
2. Please read the instructions for each question carefully as they vary depending on the question.
3. When you are asked to write your answer in words or you choose "other" as your response, please explain your answer in as much detail as possible in the space provided.
4. Please return this survey to the teacher who gave it to you by \_\_\_\_\_, 2004.
5. If you have further questions about this survey, please do not hesitate to contact:

Yoshiro OGAWARA      ogawara@kokken.go.jp  
Edward Lee (The Japanese Language society of Malaysia)

Edward@jfl.org.my

#### Student Questionnaire

Please circle the responses where required.

F1 Gender 1) male 2) female

F2 Nationality \_\_\_\_\_

F3 Age (1) 10-19 (2) 20-29 (3) 30-39 (4) 40-49 (5) 50-59 (6) 60-69 (7) 70+

F4 Native language. Language(s) which you speak most fluently. \_\_\_\_\_

F5 Your status

1. Student at Boarding School (Junior High/Middle) Form \_\_\_\_\_
2. Student at Day School (Junior High/Middle and/or High School) Form \_\_\_\_\_
3. Student at Secondary Educational Institution other than 1, 2 Form \_\_\_\_\_
4. Student at University preparation course \_\_\_\_\_ year
5. Student at University \_\_\_\_\_ year
6. Student at Junior College \_\_\_\_\_ year
7. Company or Corporate employee
8. Other (please specify) \_\_\_\_\_

F6 When did you first start your study of Japanese?

1. Boarding School (Junior High/Middle) Form \_\_\_\_\_
2. Day School (Junior High/Middle and/or High School) Form \_\_\_\_\_
3. Secondary Educational Institution other than 1, 2 Form \_\_\_\_\_
4. University preparation course \_\_\_\_\_ year
5. University \_\_\_\_\_ year
6. Junior College \_\_\_\_\_ year
7. After starting to work
8. Other (please specify) \_\_\_\_\_

F7 Where are you studying Japanese now? (Select all that apply.)

1. Boarding School (Junior High/Middle) 2. Day School (Junior High/Middle and/or High School)
3. Secondary Educational Institution other than 1, 2 4. University preparation course
5. University 6. Junior College 7. Comprehensive technical school, polytechnic
8. Private school 9. Office/Work
10. Other (please specify) \_\_\_\_\_

F8 Have you ever been to Japan?

1. Yes (→go to F8-1)
2. No (→go to F9)

F8-1 If you answered YES to F8, how many times have you been to Japan and what is the total amount of time you have spent there?

Number of visits \_\_\_\_\_ time(s)  
Total length of stay \_\_\_\_\_ year(s), \_\_\_\_\_ month(s), \_\_\_\_\_ day(s)

F8-2 What was the purpose of your visit(s) to Japan? (Select all that apply.)

- (1) travel (2) study (<6 months) (3) study (6 months - 1 year) (4) study (1 year +)
- (5) employment (6) company seminar (7) cultural exchange (8) visiting family (9) accompanying family (10) Other (please specify) \_\_\_\_\_

F9 What was your motivation for beginning to study the Japanese language? Choose a maximum of three reasons from the list below and write the corresponding numbers in the space provided.

Write your answers in the box beginning with your greatest motivation.

1. It's trendy to learn Japanese
2. It was offered at school
3. It may be useful when looking for work
4. It is important to my work now
5. I have some Japanese friends
6. My parents or friends thought it would be good
7. To impress people because it is difficult to learn

8. Japanese looks difficult and I wanted to give it a try
9. It looks easy to learn
10. I'm interested in the language
11. It is important on the global stage
12. I want to learn more about the culture and society
13. I'm interested in the history and literature
14. I'm interested in Japan
15. I want to go to Japan
16. I like Japanese things (TV, games, movies, songs etc.)
17. I am interested in sciences and technologies in Japan
18. Other \_\_\_\_\_ (Please describe)

1	2	3

**F10** How good do you think your Japanese language skills are NOW, and how good would you like to become in the FUTURE? For each of the four skills (reading, writing, listening, speaking), choose the sentence which best describes your current level, and write that number in the NOW box. Then choose the sentence which best describes the level you would like to achieve, and write that number in the FUTURE box.

**F10-1 Reading**

1. I can't read anything
2. I can read *hiragana* and *katakana*
3. I understand simple *kanjis*
4. I can read simple sentences in my textbook
5. I can read newspapers, magazines and articles I am interested in with the help of a dictionary
6. I read as well as in my native language

NOW	FUTURE

**F10-2 Writing**

1. I can't write anything
2. I can write *hiragana* and *katakana*
3. I write simple *kanjis*
4. I can write a short sentence
5. I can write a cohesive paragraph
6. I write as well as in my native language

NOW	FUTURE

**F10-3 Listening**

1. I don't understand anything
2. I can understand simple expressions and greetings related to daily life
3. I can understand simple instructions
4. In a conversation I can usually understand the other person's opinion and what they are thinking
5. I can understand almost all of the news on TV or a lecture at school or university
6. I understand as much as in my native language

NOW	FUTURE

**F10-4 Speaking**

1. I can't say anything
2. I can greet people
3. I can give a simple self introduction
4. Depending on the situation, I can say enough to get by on a daily basis
5. I can give my own opinion and say what I am thinking
6. I can speak as well as in my native language

NOW	FUTURE

**Q1** Do you have any opportunities to use your Japanese language outside the classroom? (E.g. conversations, telephone, letters, e-mail)

(1) Yes (→go to Q1-1, Q1-2) (2) No (→go to Q1-3)

**Q1-1** What kind of people do you communicate with outside of the classroom & how do you communicate in Japanese with them? (Tick all the columns that apply.)

		Means of communication					
		Person	face to face conversation	letter	telephone	e-mail	internet chatting
1	Japanese language teachers						
2	Friends at school						
3	Language school friends						
4	Fellow company employees						
5	More senior company employees						
6	Work related people						
7	Customers at place of work (e.g. restaurant)						
8	Family, relatives etc.						
9	Acquaintances						
10	Students, interns and assistants from Japan						
11	Other (please specify) _____						

**Q1-2** Choose the person or group from the list in the previous question (Q1-1) with whom you speak the MOST Japanese.

<b>1. With whom do you use your Japanese MOST?</b>
* Circle ONLY ONE number. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.
<b>2. What nationality are they?</b>
1. Malaysian 2. Japanese 3. Other (please specify) _____
<b>3. Gender</b>
1. Male 2. Female
<b>4. How was your Japanese when you first started communicating with this person?</b>
1. I couldn't speak much 2. I could speak a little 3. I could communicate about daily activities 4. I was quite good 5. I was as fluent as a native speaker
<b>5. How frequently do you communicate with this person?</b>
(1) 2 or 3 times a year (2) 2 or 3 times a month (3) once a week (4) 2 or 3 times a week (5) everyday
<b>6. How do you communicate with this person? (Select all that apply.)</b>
1. talk face-to-face 2. talk on the telephone 3. letters 4. e-mail 5. internet chatting 6. Other (please specify) _____
<b>7. How much Japanese do you use when communicating with this person?</b>
1. Use only Japanese 2. Use mainly Japanese 3. Use half Japanese and half another language 4. Use mostly another language
<b>8. What do you mostly talk about? (Select all that apply.)</b>
1. Japanese language 2. Study 3. Work 4. Life 5. Interests/hobbies 6. Society 7. Other (please specify) _____

9. Why do you use Japanese when you communicate with this person? Rate each of the following reasons on a scale of 1-5. If you have any additional reasons for using Japanese add them to the list and rate them also.

	Strongly agree	agree	Neither agree nor disagree	disagree	Strongly disagree
1. I enjoy using Japanese	5	4	3	2	1
2. I want to speak Japanese with a native	5	4	3	2	1
3. To improve and maintain my own Japanese language skills	5	4	3	2	1
4. It is a necessary part of my work	5	4	3	2	1
5. Japanese is the easiest language for us to use to communicate	5	4	3	2	1
6. The person I communicate with uses it	5	4	3	2	1
7. That's just what we do (habit)	5	4	3	2	1
8. Other (please specify) _____	5	4	3	2	1

→ go to Q2

Q1-3 If you answered YES in Q1, you do not have to answer this question.

Why do you NOT use Japanese outside the classroom? Choose ONE answer, which most closely reflects your reason.

- No one to speak to
- I don't want to use Japanese
- My Japanese is not good enough
- It's embarrassing to speak Japanese
- I'm not confident using the language
- It's more convenient to use other languages such as Malay, English, Chinese, etc.
- Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q2 Are there any examples of Japanese in your local community? (Not including learning materials.)

- Yes (→ go to Q2-1)
- No (→ go to Q3)

Q2-1 Do you have any opportunities to see, read or hear Japanese outside the classroom?

- Yes (→ go to Q2-2, Q2-3)
- No (→ go to Q2-4)

Q2-2 What kinds of things do you see, read or hear in Japanese outside the classroom? (Circle all that apply.)

- Newspaper(s)
- Magazine(s)
- Book(s)
- Manga, Anime
- Product packaging
- TV programs (news, drama shows, etc.)
- Radio
- Video/VCD/DVD
- CD
- Cassette tapes
- Computer (including Internet)
- Game software
- Street ads and/or signs in stores
- Other \_\_\_\_\_

Q2-3 Choose the ONE thing that you see, read or hear the most from Q2-2.

1. What do you see, read or hear the MOST? * Circle ONLY ONE number. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.																																																												
2. How frequently do you see, read or hear this? (1) 2 or 3 times a year (2) 2 or 3 times a month (3) once a week (4) 2 or 3 times a week (5) everyday																																																												
3. Whose item is it? 1. Your own 2. Family members' 3. Friend or acquaintance's 4. School's 5. Company's 6. Other (please specify) _____																																																												
4. What is the main content? (Select all that apply.) 1. Politics & Economics 2. Life & Society 3. Science & Engineering 4. Culture & the Arts 5. Sports & Hobbies 6. Japanese and language study 7. Japanese people 8. Japan 9. Other (please specify) _____																																																												
5. What are your reason(s) for reading and listening to Japanese? Rate each of the following reasons on a scale of 1-5. If you have any additional reasons for using Japanese add them to the list and rate them also.																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Strongly agree</th> <th>agree</th> <th>Neither agree nor disagree</th> <th>disagree</th> <th>Strongly disagree</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. I enjoy it</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2. I want to be close to Japanese language</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3. I want to try out my Japanese</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4. I want to improve and maintain my Japanese</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5. I can get a lot of different information</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6. I can learn more about Japan and its people</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7. For work</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8. For research</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9. Other (please specify) _____</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		Strongly agree	agree	Neither agree nor disagree	disagree	Strongly disagree	1. I enjoy it	5	4	3	2	1	2. I want to be close to Japanese language	5	4	3	2	1	3. I want to try out my Japanese	5	4	3	2	1	4. I want to improve and maintain my Japanese	5	4	3	2	1	5. I can get a lot of different information	5	4	3	2	1	6. I can learn more about Japan and its people	5	4	3	2	1	7. For work	5	4	3	2	1	8. For research	5	4	3	2	1	9. Other (please specify) _____	5	4	3	2	1
	Strongly agree	agree	Neither agree nor disagree	disagree	Strongly disagree																																																							
1. I enjoy it	5	4	3	2	1																																																							
2. I want to be close to Japanese language	5	4	3	2	1																																																							
3. I want to try out my Japanese	5	4	3	2	1																																																							
4. I want to improve and maintain my Japanese	5	4	3	2	1																																																							
5. I can get a lot of different information	5	4	3	2	1																																																							
6. I can learn more about Japan and its people	5	4	3	2	1																																																							
7. For work	5	4	3	2	1																																																							
8. For research	5	4	3	2	1																																																							
9. Other (please specify) _____	5	4	3	2	1																																																							

→ go to Q3

Q2-4 If you answered YES to Q2-1, you do not have to answer this question.

Why do you NOT have any opportunities to read or listen to Japanese outside the classroom? Choose the ONE option below which best reflects your reason.

- I don't want to read and listen to Japanese
- Not enough time
- My Japanese language is not good enough
- It costs money
- It is difficult to come into contact with \_\_\_\_\_
- Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q3 Do you use the textbook, or anything else provided by the teacher, to study Japanese outside the classroom?

- Yes (→ go to Q3-1)
- No (→ go to Q3-2)

Q3-1 What kinds of things do you do with the text and materials provided by your teacher when you study Japanese outside the classroom? (Select all that apply.)

- Look up the meanings of words
- Write the *hiragana*, *katakana* readings, over the *kanji*
- Translate into other languages such as Malay, English, Chinese etc.
- Ask someone who knows Japanese
- Answer practice questions
- Listen to the accompanying cassette tape
- Make a vocabulary list or vocabulary cards
- Make up own sentences
- Memorize and recite
- Find someone with whom to practice conversations
- Refer to the study aids
- Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q3-2 If you answered YES to Q3, you do not have to answer this question.

What is your reason for not using the text and materials provided by your teacher, outside the classroom? (Select all that apply.)

- I don't do any study outside class
- I don't know how to use the materials to study
- I'm not really interested in Japanese
- The textbook is too difficult to understand
- Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q4. In the last three years, have you had any of the following opportunities involving the Japanese language and people, indicated below (in Q4-1)?

- Yes (→ go to Q4-1, Q4-2)
- No (→ go to Q5)

Q4-1 Mark ○ in the column of all the activities that you experienced, and also indicate all of the locations where you participated in the activity (Malaysia and/or Japan). If neither, specify the location in the Others column)

	Opportunity/Location	Malaysia	Japan	Others
1	Interaction with Japanese native(s)			
2	Your visit or home stay with a Japanese family			
3	Visit or home stay of (a) Japanese person(s)			
4	Japanese speech contest (e.g., audience, participants, judge)			
5	Part-time or full-time work where Japanese was used			
6	Participation in a language or Japan related event			
7	Place where Japanese people are or gather (e.g., churches, sightseeing spots)			
8	Japan or Japanese language related document center or library (e.g. The Japan Foundation Kuala Lumpur Japanese Language Centre)			
9	Karaoke in Japanese			
10	Other (please specify) _____			

Q4-2 If you have experienced something from the previous question, is there anything you would like to do again, or continue to do? Choose the event/activity that you would MOST like to participate in again and write its number in the space provided.

1. Yes  —Write the number of the event or activity from Q4-1 which you would like to participate in again.
2. I don't want to do anything again

Q5 Which of the following are you using to study Japanese? (Select all that apply.)

1. Study aids and drill books  
Which one?  
⊚ 1. Grammar 2. Writing 3. Vocabulary 4. Kanji 5. Speaking 6. Test prep 7. Reading 8. Other \_\_\_\_\_
2. Dictionary (Title: \_\_\_\_\_)
3. Electronic dictionary
4. Kanji Dictionary (Title: \_\_\_\_\_)
5. Japanese language tapes
6. Audio-Visual materials
7. Japanese courses on radio/TV
8. Japanese language computer software
9. Materials gathered from the Internet
10. Web based study
11. Email/chat rooms
12. Japanese TV programs
13. Japanese movies
14. Japanese cartoons, Manga, Anime
15. Japanese novels, newspapers and magazines
16. Game software which uses Japanese
17. CDs and tapes of Japanese songs
18. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q6 Which of the following would you like to see further developed, in order to improve your language study and increase understanding about Japan? (Select all that apply.)

1. Textbooks —What kinds? \_\_\_\_\_
2. Study aids and drill books  
Which one?  
⊚ 1. Grammar 2. Writing 3. Vocabulary 4. Kanji 5. Speaking 6. Test prep 7. Reading 8. Other \_\_\_\_\_
3. Dictionaries —Which ones? {1. Japanese-Malay 2. Malay-Japanese 3. Japanese-English  
4. English-Japanese 5. Japanese-English 6. Japanese-Chinese  
7. Chinese-Japanese 8. others \_\_\_\_\_}
4. Kanji dictionaries
5. Language cassette tapes/ CDs
6. Audio-Visual materials
7. Japanese courses on radio/TV
8. Language learning computer software
9. Web-based learning materials
10. Reading materials written in Japanese, such as novels, newspaper and magazines
11. Japanese TV programs
12. Japanese movies
13. Game software which uses Japanese
14. Interaction with Japanese people (e.g. parties, hiking, cooking lessons)
15. Visit / home stay with a Japanese family
16. Japanese language speech contest
17. Events with a focus on Japan &/or its language
18. Part time job which uses Japanese
19. Opportunities to study in Japan
20. Language Exchange, E-mailing
21. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Thank you very much for your assistance with this research. Your time, comments and answers are very much appreciated.

教師用調査票（日本語版・マレー語版・英語版）

マレーシア教師用

「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」への

御協力をお願い

私共の国立国語研究所は、日本語教育に関する科学的な調査・研究により、日本語教育の振興を図ることを目的の一つとした日本の公的な機関です。その中の日本語教育部門では、日本語教育関係情報や教材用素材の提供など、日本語教育支援のための総合的ネットワークの構築・運営を実施し、その充実に目指しております。

近年、インターネットを始めとする様々な情報流通のあり方の変化に伴い、日本語を学習する、あるいは教える環境や手段も多様化し、支援のあり方も柔軟に対応する必要があります。そのためには、まず国内外で日本語を学習、あるいは教えている方々がどのような環境で、どのような手段で日本語を学習、あるいは教えているのかについて広く情報収集し、現状を把握する必要があります。その一環として、本年度はマレーシアでの日本語教師が授業準備に何を利用してそれらをどう評価しているのか、学習者は日本語学習に何を利用してそれらをどう評価しているのか等を把握する実態調査を行っております。

本調査研究により、次のような支援が可能になります。

- ①人、物、情報等のより効果的な日本語教育・学習支援が可能になる
- ②日本へ留学するマレーシア人学習者の日本語学習を効果的に支援できる
- ③日本から派遣される日本語教師をマレーシアに派遣する前に効果的に研修することができる
- ④将来的にマレーシアでの日本語教師教育に貢献できる

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解くださり、御回答くださるようお願い致します。

〒115-8620 東京都北区西が丘3-9-14

独立行政法人国立国語研究所日本語教育部門

部門長 杉戸清樹

金田智子

小河原義朗

TEL:+81-3-5993-7660 (小河原)

FAX:+81-3-3906-3530

http://www.kokken.go.jp/jsl/

御記入にあたってのお願い

- (1)御回答は、研究目的のためにのみ使わせていただきます。また、回答は統計処理を施して総括的に公表しますので、個別の回答を公表することはありません。
- (2)御回答の方法は、各質問項目について異なりますので、各質問項目の指示にご注意ください。
- (3)自由記述の項目及び「その他」を選択された場合は、その具体的な内容についてお書きください。
- (4)2004年 月 日( )までに担当の先生に御返却ください。
- (5)もし何か御不明の点がありましたら、下記まで御連絡ください。

小河原 義朗 ogawara@kokken.go.jp

Edward Lee(マレーシア日本語協会) edward@jfkf.org.my

<教師用アンケート>

※選択肢のあるものは番号に○をしてください。日本語が母語の方は F5、F6、F9 の質問には答える必要はありません。

F1 性別 1. 男 2. 女

F2 国籍 \_\_\_\_\_

F3 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

F4 母語<最もよく話せることば> \_\_\_\_\_語

F5 日本語学習歴 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月 (日本での学習歴 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月)

【内訳】

1. 全寮制中学校 (Residential School) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
2. 普通中高等学校 (Day School) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
3. 1,2以外の中高等学校 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
4. 大学予備教育課程 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
5. 大学 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
6. 短期大学 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
7. 総合技術専門学校・ポリテクニク \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
8. 民間学校 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
9. 会社 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
10. その他 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月

F5-1 その他の言語学習歴 \_\_\_\_\_語 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月  
\_\_\_\_\_語 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月

F6 日本に行った経験がありますか 1. ある(→F6-1・F6-2へ) 2. ない(→F7へ)

F6-1 「1.ある」と答えた方にお尋ねします。日本に行った回数と期間をお書き下さい。

回数 \_\_\_\_\_回 期間(延べ) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月 \_\_\_\_\_日

F6-2 「1.ある」と答えた方はその目的は何ですか(複数回答可)

1. 観光
2. 短期留学(6ヶ月未満)
3. 短期留学(6ヶ月以上～1年未満)
4. 長期留学(1年以上)
5. 仕事
6. 企業研修
7. 国際交流
8. 親族訪問
9. 家族滞在
10. その他 \_\_\_\_\_

F7 日本語教育経験（今まで何年間教えましたか） 合計 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月

※ 各教育レベルで教えた年数をお書きください。

【内訳】

1. 全寮制中学校 (Residential School) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
2. 普通中等学校 (Day School) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
3. 1,2 以外の中等学校 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
4. 大学予備教育課程 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
5. 大学 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
6. 短期大学 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
7. 総合技術専門学校・ポリテクニク \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
8. 民間学校 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
9. 会社 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
10. その他 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月

F8 日本語以外の教育経験 \_\_\_\_\_年 科目名 \_\_\_\_\_

F9 あなたは現在、日本語がどのぐらいできますか (①)。そして、将来どのぐらいできるようになるまで勉強したいと思っていますか (②)。「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」それぞれについて、最も適当なものを選んで、表の中に記入してください。

【F9-1 読むこと】

1. わからない、考えたことがない。
2. 学習者用に書かれたものなら、だいたい理解できる。
3. 簡単な文章なら文章なら理解できる。
4. 辞書を使って新聞や雑誌、興味のある分野の本などがだいたい理解できる。
5. 母語と同じように読める。

①現在	②将来

【F9-2 書くこと】

1. わからない、考えたことがない。
2. 短い文を書くことができる。
3. 友人や身近な人への手紙を書くことができる。
4. 改まった手紙・レポートなど、まとまった文章が書ける。
5. 母語と同じように書ける。

①現在	②将来

【F9-3 聞くこと】

1. わからない、考えたことがない。
2. 日常生活で使う簡単な表現、指示などを理解することができる。
3. 会話の中で相手の考えや意見をだいたい理解することができる。
4. テレビニュース、学校の講義などまとまった話がほぼ理解できる。
5. 母語と同じように聞いて理解できる。

①現在	②将来

【F9-4 話すこと】

1. わからない、考えたことがない。
2. 簡単な自己紹介ができる。
3. 日常生活に困らない程度の表現を使える。
4. 自分の意見や考えをまとめて話すことができる。
5. 母語と同じように話せる。

①現在	②将来

F10 日本語教師になった理由は何ですか。(自由記述)

---



---



---

F11 日本語教育に関する学会、研究会、教師会、セミナー、ワークショップなどに参加したことがありますか。

1. はい (→F11-1へ)
2. いいえ (→F12へ)

F11-1 参加したことがある学会・研究会・教師会名を記入し、参加経歴、発表経歴や役員経歴があるものに○をつけてください。

学会・研究会・教師会・セミナー・ワークショップ名	参加のみ	発表経歴	役員経歴

F12 教師になってから日本語教育の研修を受けたことがありますか。

1. はい (→F12-1, F12-2へ)
2. いいえ (→Q1へ)

F12-1 全部で何回、研修を受けましたか。 \_\_\_\_\_回

F12-2 そのうちの主なものについて記入してください。

研修名	期間(例: 2日間、1ヶ月)



1 普段なさっている御自分の授業について質問をします。

Q1 授業ではどんなものを使いますか。

どのぐらいの頻度で使っているか、それぞれについてお答えください。

	いつも 使う	よく 使う	ときどき 使う	1,2回使 ったこと がある	使わない
1. 市販の教科書	5	4	3	2	1
2. 生教材	5	4	3	2	1
<「生教材」の種類は、Q2.を参照してください>					
3. 問題集	5	4	3	2	1
4. プリント教材（自作）	5	4	3	2	1
5. 音声テープ（市販）	5	4	3	2	1
6. 音声テープ（自作）	5	4	3	2	1
7. ビデオ（市販）	5	4	3	2	1
8. ビデオ（自作）	5	4	3	2	1
9. 絵	5	4	3	2	1
10. 文字カード/フラッシュカード	5	4	3	2	1
11. 実物	5	4	3	2	1
12. 自作の教科書	5	4	3	2	1
13. OHPシート	5	4	3	2	1
14. その他 _____	5	4	3	2	1

Q2 Q1で生教材を使うと答えた方のみお答えください。どんな生教材を使いましたか。

(複数回答可)

1. 新聞 2. 雑誌 3. 本 4. テレビ番組 5. ビデオ・DVD・VCD  
6. インターネット 7. 写真 8. マンガ 9. テープ・CD 10. その他 \_\_\_\_\_

Q2-1 なぜそれらを使いましたか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。

(複数回答可)

1. 学習者に本物の日本語に触れさせるため  
2. 日本の事物や文化に触れさせるため  
3. 日本語能力の向上には欠かせないため  
4. 学習者の興味・関心をひくため  
5. 学習者が希望したから  
6. その他 \_\_\_\_\_

Q3 授業で自作教材を使ったことがある人はどんな自作教材を使いましたか。(複数回答可)

1. 活動用補助シート(タスクシート、ロールカードなど)  
2. フラッシュカード(絵カード、文字カードなど)  
3. 練習問題などのプリント  
4. 読解用のプリント  
5. 音声教材(テープ)  
6. 学習項目説明のためのプリントなど  
7. コンピューターを使って教える教材  
8. 教科書  
9. ビデオ(VCDを含む)  
10. その他 \_\_\_\_\_

Q4 授業で機材を使いますか。 1. はい (-04-1へ) 2. いいえ (-05へ)

Q4-1「1. はい」と答えた人はどんな機材を使いますか。(複数回答可)

1. ビデオ・VCD・DVD 2. テープレコーダー 3. OHP 4. コンピューター  
5. その他 \_\_\_\_\_

Q5 授業で日本語をどのぐらい使いますか。レベル別に○を記入してください。

		初級	中級	上級
日本語だけを使う	あいさつ			
	例文や本文を読む			
一部日本語を使う	指示を出す			
	言葉の意味や文法の説明			
	アクティビティの説明			
	その他 _____			

Q6 次の中で、授業準備のためや、日本語や日本について知るために、利用するものや相談する相手はどれですか。(複数回答可)

1. 特に何もしない 2. 教科書  
3. 教科書に付随した指導書 4. 文法解説書  
5. 参考書 6. 日本語辞書(書名: \_\_\_\_\_)  
7. 漢字字典(書名: \_\_\_\_\_) 8. 電子辞書  
9. ビデオ・VCD・DVD 10. 日本語学習のための音声テープ  
11. 日本語学習のためのコンピューターソフト 12. インターネット  
13. テレビ番組 14. 映画  
15. 日本語の歌(テープ、CD) 16. 参加した研修会での資料等  
17. 他の日本語教師(日本人以外) 18. 他の日本語教師(日本人)  
19. 日本人アシスタント 20. 教師以外の人  
21. 前回の教案 22. 日本人教員(日本語科以外)  
23. その他 \_\_\_\_\_

Q7 日本語教師の能力について、それぞれどのぐらい重要だと思いますか。

	非常に重要	重要ではない
1. 日本語運用能力	5 4 3 2 1	
2. 言語教育能力	5 4 3 2 1	
3. 日本語の知識	5 4 3 2 1	
4. クラスマネージメント	5 4 3 2 1	
5. 日本に関する知識	5 4 3 2 1	
6. その他 _____	5 4 3 2 1	

Q8 日本語教師としての資質・能力向上のために以下の1~7をどのぐらいしていますか。  
「ほとんどしない」場合、その理由は何ですか。下の□の中から選んで、\_\_\_\_に記入してください。1~7それぞれについて答えてください。

	よくする	時々する	ほとんどしない
1. 研修会や勉強会に出席する	3	2	1 → 理由 _____
2. 参考書や専門書で勉強する	3	2	1 → 理由 _____
3. 他の教師と話す	3	2	1 → 理由 _____
4. 他の教師の授業を見学する	3	2	1 → 理由 _____
5. 自分の授業を見てもらう	3	2	1 → 理由 _____
6. 異なる指導法・教材を検討し、経験する	3	2	1 → 理由 _____
7. テーマを決めて研究する	3	2	1 → 理由 _____

<「ほとんどしない」理由>

1. 研修会等を知らなかったから	6. 現在の職場では問題がないから
2. 研修会等の機会がないから	7. 十分な日本語教育能力があるから
3. お金がかかるから	8. 忙しいから
4. 研修会等の場所が遠いから	9. その他 _____
5. 興味がないから	

Q8-1 日本語教師としての資質・能力向上のために、他にどんなものが役に立つと思いますか。何かございましたら、ご自由にお書きください。また、その中で経験したことがあるものには番号に○をしてください。

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_ 4. \_\_\_\_\_

Q9 普段、コンピューターを使いますか。

1. はい (→09-1へ)  
2. いいえ (→010へ)

Q9-1 普段、コンピューターでどんなことをしていますか。していること全てに○をしてください。

- ワープロソフトを使って教材等を作成する
- インターネットを利用して、情報を収集する
- 電子メールを送受信する
- チャット (msn など)
- プレゼンテーション用ソフト (Power point など) を使って、授業や発表を行う
- ホームページ作成ソフトを使ってホームページを作る
- コンピューターを使って教える教材 (CAI 教材 / web 学習教材) を作成する
- 表計算 (統計) ソフトで成績管理をする、分析する、予定表を作る
- その他 \_\_\_\_\_

Q10 日本語教育のために、コンピューターを利用することは必要だと思いますか。

とても必要 5      どちらともいえない 4      どちらともいえない 3      2      全く必要ない 1

Q11 マレーシアの日本語教師の資質・能力向上のために、今後、充実を希望するものはどれですか。(複数回答可)

- 文法解説書 一次のどれですか。 | 1. 初級 2. 中級 3. 上級
- 辞書 一次のどれですか。 | 1. 日本語-マレー語 2. マレー語-日本語  
3. 和英 4. 英和 5. 日中 6. 中日  
7. その他 \_\_\_\_\_ ]
- 電子辞書
- 漢字字典 一次のどれですか。 | 1. マレー語で説明 2. 日本語で説明 |
- 教師用指導参考書 一どんなものですか。 \_\_\_\_\_
- 日本語学習のための音戸テープ
- 日本語学習のためのコンピューターソフト 一次のどれですか。  
( 1. 作文 2. 発音 3. 漢字 4. 文法 5. その他 \_\_\_\_\_ )
- web 日本語学習プログラム 一どんなものですか。 \_\_\_\_\_
- 日本語のテレビ番組
- 日本語の映画
- 日本語を使ったゲームソフト
- 日本人との交流
- 日本人との言語交換学習
- 日本人家庭への訪問、ホームステイ
- 日本・日本語・日本語教育に関するイベント
- 日本語教師養成・研修コース (大学・大学院)
- 教師間のネットワーク
- 研修会
- 訪日研修
- その他 \_\_\_\_\_

Q12 日本語の授業のためにあったらいいと思うものや充実したほうがいいと思うものは何ですか。(自由回答)

---



---



---



---

II \*以下は、日本語が母語でない方のみお答えください。

Q13 日本語の授業以外で日本語を使ってやりとり（会話、電話、手紙、電子メールなど）をすることはありますか。

1. はい（-013-1,013-2へ） 2. いいえ（-013-3へ）

Q13-1 日本語の授業以外でどんな人と日本語でやりとりしますか。やりとりする人全員の番号に○をし、その方法を選んで○をつけてください。（複数回答可）

○	相手	方法	会話	手紙	電話	電子メール	チャット
1	日本語の教師						
2	日本語以外の教師						
3	日本人アシスタント						
4	日本人留学生						
5	店やレストランの店員						
6	家族・親戚等						
7	知り合い						
8	日本の関係機関の人						
9	その他						

Q13-2 Q13-1で○をした中で、もっともよく日本語でやりとりをする人あるいは人達について、答えてください。

①その人はQ1-1の1～10のどれですか。\*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

②どこの国の人ですか。

1. マレーシア人 2. 日本人 3. その他

③性別

1. 男 2. 女

④やりとりをするようになった頃、あなたの日本語はどうでしたか。○をつけてください。

1. ほとんどできなかった 2. 少しできた 3. 日常会話程度できた  
4. かなりできた 5. 日本人と同程度できた

⑤やりとりをする頻度はどのぐらいですか。1つ選んでください。

1. 年に2,3回 2. 月2,3回 3. 週1回 4. 週2,3回 5. 毎日

⑥やりとりの主な手段は何ですか。（複数回答可）

1. 会って話す 2. 電話で話す 3. 手紙 4. 電子メール  
5. チャット 6. その他

⑦その人とやりとりをする時、日本語をどのぐらい使いますか。

1. 全部日本語 2. 主に日本語 3. 日本語と他の言語が半々 4. 主に他の言語

⑧主にどんなことについて話しますか。（複数回答可）

1. 日本語について 2. 勉強について 3. 仕事について 4. 生活について  
5. 趣味について 6. 社会について 7. その他

⑨やりとりをその人とするとき、なぜ日本語を使うのですか。下の項目それぞれについて、5～1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。

	全く（そう思う）	どちらともいえない	全く（そう思わない）		
1. 日本語を使うのは楽しいから	5	4	3	2	1
2. 日本語の母語話者と話したいから	5	4	3	2	1
3. 日本語能力向上や維持のため	5	4	3	2	1
4. 仕事として職務づけられているから	5	4	3	2	1
5. 日本語が最もわかりあえる言葉だから	5	4	3	2	1
6. 相手が使うから	5	4	3	2	1
7. 習慣になっているから	5	4	3	2	1
8. その他	5	4	3	2	1

Q13-3 (013で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外で日本語を使わない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

- 日本語を使う相手がいないから
- 日本語を使いたいと思わないから
- 自分の日本語力が充分ではないから
- 恥ずかしいから
- 自信がないから
- マレー語や英語、中国語など他の言語の方が便利だから
- その他

Q14 身の回りに、日本語が使われているものはありますか。（日本語学習教材は除きます。）

1. はい（-014-1へ） 2. いいえ（-015へ）

Q14-1 日本語の授業以外の時間に、日本語が使われているものを見たり聞いたりすることはありますか。

1. はい（-014-2,014-3へ） 2. いいえ（-014-4へ）

Q14-2 授業以外でどんなもの（日本語が使われているもの）を見たり聞いたりしますか。あてはまるもの全てに○をしてください。（複数回答可）

- 新聞
- 雑誌
- 本
- マンガ・アニメ
- 商品のパッケージ・解説書
- テレビ（ニュース、ドラマなど）
- ラジオ
- ビデオ・VCD・DVD
- CD
- 音声テープ
- コンピュータ（インターネット等）
- ゲームソフト
- 看板や店内の表示
- その他

Q14-3 Q14-2で○をした中で、もっともよく見たり聞いたりするもの一つについて、答えてください。

①それはQ14-2の1～14のどれですか。\*1つだけ選んで下の番号に○をしてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----

②頻度はどのぐらいですか。○をつけてください。

1. 年に2,3回 2. 月2,3回 3. 週1回 4. 週2,3回 5. 毎日

③それは誰のものですか。

1. 自分のもの 2. 家族のもの 3. 友人や知り合いのもの 4. 学校のもの  
5. 会社のもの 6. その他

④主にどんな内容ですか。（複数回答可）

1. 政治・経済 2. 社会・生活 3. 科学技術 4. 文化・芸術 5. スポーツ・趣味  
6. 日本語・日本語学習 7. 日本人 8. 日本 9. その他

⑤見たり聞いたりする理由は何ですか。下の項目それぞれについて、5～1の尺度で答えてください。また、それ以外に理由がある場合は、「その他」に記入の上、同様に答えてください。

	全く（そう思う）	どちらともいえない	全く（そう思わない）		
1. 楽しいから	5	4	3	2	1
2. 日本語に触れたいから	5	4	3	2	1
3. 日本語の力を試してみたいから	5	4	3	2	1
4. 日本語能力の向上や維持のため	5	4	3	2	1
5. 様々な情報が得られるから	5	4	3	2	1
6. 日本や日本人について知ることができるから	5	4	3	2	1
7. 仕事のため	5	4	3	2	1
8. 研究のため	5	4	3	2	1
9. その他	5	4	3	2	1

Q14-1 (Q14-1で「1」と答えた人は回答する必要はありません。)

授業以外の時間に、日本語が使われているのを見たり聞いたりしない理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

1. 見たり、聞いたりしたいと思わないから
2. 時間がないから
3. 自分の日本語力が充分でないから
4. 利用するのにお金がかかるから
5. 手に入りにくいから
6. その他 \_\_\_\_\_

Q15 過去3年の間に、次の表(Q15-1)のような日本人や日本語に接する機会や場所を経験したことがありますか。

1. はい (→Q15-1, Q15-2へ)
2. いいえ

Q15-1 経験したことがあるものの番号に○をし、マレーシア、日本のどちらで経験したか○をつけてください。マレーシア・日本のいずれでもない場合は、「その他」の欄に記入してください。

	機会・場所	マレーシア	日本	その他
1	日本人との交流会			
2	日本人家庭への訪問・ホームステイ			
3	自宅への日本人の訪問・ホームステイ			
4	日本語のスピーチコンテスト			
5	日本語が使われている職場でのアルバイト・仕事			
6	日本・日本語に関するイベント			
7	日本人のいる場所、日本人が集まる場所			
8	日本・日本語に関する資料センター・図書館 (例：国際交流基金クアラルンプール日本語センター)			
9	日本語のカラオケ			
10	その他			

Q15-2 経験したことがある場合、もう一度経験したい、あるいは継続して経験したいと思うものはありますか。最も経験したいと思うものを Q15-1 の選択肢の中から一つだけ選んで記入してください。

1. ある  →Q15-1 の選択肢の番号を一つ記入してください
2. ない

ご協力ありがとうございました。

### Permohonan Kerjasama Untuk Kajiselidik Mengenai Situasi dan Kaedah Pembelajaran Bahasa Jepun

Kami dari Pusat Penyelidikan Bahasa Negara (The National Institute for Japanese Language) merupakan badan yang menjalankan kajian berkaitan dengan pendidikan Bahasa Jepun. Sebagai sebahagian dari badan ini, kami juga berusaha untuk meningkatkan mutu pendidikan Bahasa Jepun dari segi penyebaran maklumat dan bahan pengajaran melalui peningkatan rangkaian sokongan pendidikan Bahasa Jepun.

Selaras dengan perkembangan dunia IT, kaedah pengajaran dan pembelajaran juga telah bertambah dan berkembang dengan pesat yang memerlukan bantuan dan sokongan yang lebih fleksibel. Oleh itu, kami berpendapat adalah penting untuk mengumpulkan maklumat tentang situasi dan kaedah pembelajaran dan pengajaran Bahasa Jepun di dalam dan luar negara. Kajiselidik ini juga bertujuan untuk membuat penilaian mengenai bagaimanakah caranya guru-guru Bahasa Jepun di Malaysia menyediakan dan mengendalikannya kelas serta teknik yang digunakan oleh pelajar untuk mendapatkan maklumat dalam pembelajaran Bahasa Jepun.

Hasil kajiselidik ini bakal memberi sumbangan dalam bidang pendidikan Bahasa Jepun dari segi:

- ① Bantuan tenaga manusia, material, dan informasi bagi membolehkan pendidikan Bahasa Jepun yang lebih efektif.
- ② Dapat membantu memberikan persediaan yang lebih efektif kepada pelajar Malaysia yang bakal melanjutkan pelajaran ke Jepun.
- ③ Dapat membantu persediaan kursus yang lebih berkesan untuk guru-guru Jepun yang bakal mengajar di Malaysia.
- ④ Dapat memberi bantuan dan sokongan kepada guru-guru Bahasa Jepun Malaysia di masa hadapan.

Diharap pihak tuan/puan dapat memberikan kerjasama dan kami dahului dengan ucapan terima kasih.

SUGITO, Seiju, Director  
KANEDA, Tomoko, Chief Researcher  
OGAWARA, Yoshiro, Researcher  
Department of Teaching Japanese as a Second Language  
The National Institute for Japanese Language(NIJLA)  
3-9-14 Nishigaoka, Kitaku, Tokyo 115-8620  
TEL: +81-3-5993-7660 (Ogawara)  
FAX: +81-3-3906-3530  
<http://www.kokken.go.jp/jsl>

#### Permintaan berhubung dengan pengisian maklumat

- (1) Semua jawapan adalah untuk tujuan kajiselidik. Jawapan secara keseluruhan akan digunakan hanya untuk laporan dan tidak akan digunakan secara peribadi.
- (2) Sila berhati-hati ketika membaca arahan kerana cara menjawab soalan berbeza mengikut jenis soalan.
- (3) Pada soalan yang bersifat bebas, atau sekiranya anda memilih [Lain-lain: \_\_\_\_\_] diharap dapat memberikan komen setepat mungkin.
- (4) Sila kembalikan kepada kakitangan yang bertanggungjawab pada \_\_\_\_\_
- (5) Sekiranya ada sebarang maklumat yang kurang jelas, sila hubungi  
Ogawara Yoshiro [ogawara@kokken.go.jp](mailto:ogawara@kokken.go.jp)  
Edward Lee (Persatuan Bahasa Jepun) [edward@jfl.org.my](mailto:edward@jfl.org.my)

※Sila tandakan  pada jawapan yang ada pilihan. Sekiranya anda penutur natif, anda tidak perlu menjawab F5, F6, dan F9.

F1 Jantina 1. Lelaki 2. Perempuan

F2 Kewarganegaraan \_\_\_\_\_

F3 Umur 1. 10-an 2. 20-an 3. 30-an 4. 40-an 5. 50-an 6. 60 ke atas

F4 Bahasa ibunda (bahasa yang paling kerap digunakan) \_\_\_\_\_

F5 Latar belakang pendidikan Bahasa Jepun

\_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan (Belajar di Jepun \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan)

1. Sekolah berasrama penuh Tingkatan \_\_\_\_\_
2. Sekolah menengah (kebangsaan, wawasan, dll) Tingkatan \_\_\_\_\_
3. Sekolah selain daripada 1 dan 2 Tingkatan: \_\_\_\_\_
4. Program persediaan khas di universiti Tahun: \_\_\_\_\_
5. Universiti Tahun \_\_\_\_\_
6. Kolej Tahun \_\_\_\_\_
7. Institut Latihan Kemahiran Negara/Negeri, MARA, dll
8. Sekolah persendirian
9. Syarikat (tempat kerja)
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_

F5-1 Sejarah belajar lain-lain bahasa asing

Bahasa \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan

Bahasa \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan

F6 Adakah anda pernah pergi ke Jepun?

1. Pernah (sila jawab soalan F6-1, F6-2) 2. Tidak pernah (terus ke F7)

F6-1 Berapa kalikah anda pernah ke Jepun? Sila nyatakan tempoh anda bermula di Jepun

Bilangan: \_\_\_\_\_ kali Tempoh: \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan \_\_\_\_\_ hari

F6-2 Apakah tujuan anda ke Jepun?

1. Melancong 2. Belajar (kurang dari 6 bulan)
3. Belajar (lebih 6 bulan kurang 1 tahun) 4. Belajar (lebih dari 1 tahun)
5. Bekerja 6. Kursus dari jabatan 7. Pertukaran budaya
8. Melawat keluarga 9. Menetap dengan keluarga
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_

F7 Pengalaman mengajar Bahasa Jepun (Hingga kini berapa tahunkah anda telah mengajar Bahasa Jepun?) Jumlah: \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan

※ (Nyatakan secara terperinci maklumat tempat anda pernah mengajar.)

1. Sekolah berasrama penuh \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
2. Sekolah menengah (kebangsaan, wawasan, dll) \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
3. Sekolah selain daripada 1 dan 2 \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
4. Program persediaan khas di universiti \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
5. Universiti \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
6. Kolej \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
7. Institut Latihan Kemahiran Negara/Negeri, MARA, dll \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
8. Sekolah persendirian \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
9. Syarikat (tempat kerja) \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_ tahun \_\_\_\_\_ bulan

F8 Pengalaman mengajar subjek selain daripada Bahasa Jepun.

\_\_\_\_\_ tahun Mata pelajaran: \_\_\_\_\_

F9 Apakah kemampuan Bahasa Jepun anda sekarang (①). Apakah matlamat pencapaian Bahasa Jepun anda di masa hadapan (②). Sila pilih jawapan yang bersesuaian mengikut kebolehan [MEMBACA][MENULIS][MENDENGAR] dan [BERTUTUR].

F9-1 [MEMBACA]

1. Tidak boleh. Tidak pernah difikirkan.
2. Boleh memahami apa yang ditulis oleh pelajar anda.
3. Boleh memahami karangan atau ayat mudah
4. Boleh memahami surat khabar, majalah dan buku-buku yang berkaitan dengan bidang yang diminati dengan bantuan kamus
5. Boleh membaca sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F9-2 [MENULIS]

1. Tidak boleh. Tidak pernah difikirkan.
2. Boleh menulis ayat pendek
3. Boleh menulis surat kepada teman rapat atau rakan anda
4. Boleh menulis surat rasmi, kertas kerja atau pun karangan yang susah
5. Boleh menulis sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F9-3 [MENDENGAR]

1. Tidak faham. Tidak pernah difikirkan
2. Boleh memahami perbualan ringkas harian.
3. Boleh memahami pendapat dan apa yang dituturkan oleh pasangan dalam perbualan
4. Boleh memahami berita TV, kuliah di universiti dan lain-lain.
5. Boleh memahami sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F9-4 [BERTUTUR]

1. Tidak boleh. Tidak pernah difikirkan.
2. Boleh memperkenalkan diri
3. Boleh bertutur untuk keperluan hidup seharian.
4. Boleh meluahkan pendapat dan fikiran sendiri
5. Boleh bertutur sama seperti bahasa ibunda

①Sekarang	②Masa hadapan

F10 Apakah sebab anda memilih untuk menjadi guru Bahasa Jepun. (Sila tuliskan sebab anda)

---



---



---

F11 Adakah anda pernah menyertai bengkel/seminar yang berkaitan dengan pendidikan Bahasa Jepun.

1. Pernah (sila jawab F11-1)
2. Tidak pernah (terus ke F12)

F11-1 Sila nyatakan jenis bengkel/seminar yang anda pernah sertai dan nyatakan ( tandakan ○ ) status penyertaan anda.

Nama bengkel/seminar/perjumpaan	Peserta	Pembentang kertas kerja	Kakitangan (AJK seminar)

F12 Adakah anda pernah mengikuti kursus pendidikan Bahasa Jepun semenjak menjadi guru Bahasa Jepun.

1. Pernah (sila jawab F12-1, F12-2)
2. Tidak pernah (terus ke Q1)

F12-1 Berapa kalikah anda pernah menyertai kursus pendidikan Bahasa Jepun?

\_\_\_\_\_ kali

F12-2 Apakah nama kursus yang pernah anda sertai?

Nama kursus	Tempoh (contoh: 2 minggu, 1 bulan)

ii Soalan berikut adalah berkaitan dengan kelas yang anda kendalikan.

Q1 Apakah jenis bahan yang anda gunakan untuk kelas Bahasa Jepun dan berapa kerapkah anda menggunakan bahan tersebut. Sila tanda mengikut tahap kekerapan penggunaan bahan tersebut.

	Selalu	Kerap	Kadang-kadang	1,2 kali	Tidak pernah
1. Buku teks dalam pasaran	5	4	3	2	1
2. Bahan asas (raw material)	5	4	3	2	1
(Untuk jenis bahan mentah yang digunakan sila ke Q2)					
3. Buku kerja	5	4	3	2	1
4. Bahan cetakan (buatan sendiri)	5	4	3	2	1
5. Kaset ( dalam pasaran)	5	4	3	2	1
6. Kaset ( buatan sendiri)	5	4	3	2	1
7. Video ( dalam pasaran)	5	4	3	2	1
8. Video (buatan sendiri)	5	4	3	2	1
9. Gambarajah	5	4	3	2	1
10. Kad-kad imbasan (flashcard)	5	4	3	2	1
11. Bahan asli (original)	5	4	3	2	1
12. Buku teks (buatan sendiri)	5	4	3	2	1
13. OHP	5	4	3	2	1
14. Lain-lain: _____	5	4	3	2	1

Q2 Sila jawab soalan ini sekiranya anda memilih [2. Bahan asas] untuk soalan Q1. Apakah jenis bahan yang anda gunakan. (Anda boleh menjawab lebih dari satu)

1. Surat khabar
2. Majalah
3. Buku
4. Program TV
5. Video, DVD, VCD
6. Internet
7. Gambar foto
8. Komik
9. Kaset, CD
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q2-1 Mengapakah anda memilih bahan tersebut. Sila pilih jawapan setepat yang mungkin atau yang paling hampir dengan situasi anda. (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Untuk membolehkan pelajar memahami negara Jepun dengan lebih tepat.
2. Untuk membolehkan pelajar mendekati budaya Jepun dengan lebih dekat
3. Ia sebagai keperluan untuk meningkatkan lagi kemampuan Bahasa Jepun.
4. Untuk menarik minat dan perhatian pelajar.
5. Kerana memenuhi permintaan pelajar.
6. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q3 Sekiranya anda pernah menggunakan bahan buatan sendiri untuk kelas Bahasa Jepun, apakah jenis bahan yang pernah anda gunakan. (Anda boleh pilih lebih dari satu.)

1. Alat bantuan mengajar untuk aktiviti bilik darjah(roll card, helaian tugas)
2. Kad imbasan (huruf, gambarajah dsb)
3. Kertas cetakan untuk latihan
4. Kertas cetakan untuk latihan bacaan/karangan
5. Alat bantuan audio (kaset)
6. Nota keterangan tajuk yang sedang dipelajari
7. Mengajar dengan bantuan komputer
8. Buku teks
9. Video (termasuk VCD)
10. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q4 Adakah anda menggunakan sebarang alat bantuan audio visual semasa mengajar?

1. Ada (sila jawab Q4-1)
2. Tidak (terus ke Q5)

Q4-1 Apakah jenis alat AV yang anda gunakan.

1. Perakam video, VCD, DVD
2. Perakam suara
3. OHP
4. Komputer
5. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q5 Se jauh manakah anda menggunakan Bahasa Jepun di dalam kelas anda. Sila jawab mengikut tahap kelas yang anda kendalikan.

	Awal	Sederhana	Mahir
Hanya Bahasa Jepun sahaja digunakan			
Sebahagian dalam Bahasa Jepun	Ucap selamat		
	Sewaktu membaca ayat/karangan contoh		
	Sewaktu memberi arahan		
	Sewaktu menerangkan maksud perkataan dan susunan nahu		
	Sewaktu memberi penerangan untuk aktiviti		
Lain-lain: _____			

Q6 Apakah yang anda gunakan atau dengan siapakah anda berbincang untuk mendapatkan maklumat tentang Bahasa Jepun dan negara Jepun dalam proses penyediaan sebelum mengajar.

1. Tidak berbuat apa-apa
2. Buku teks
3. Nota keterangan yang disediakan di dalam buku teks
4. Buku panduan nahu
5. Buku rujukan
6. Kamus Bahasa Jepun (Tajuk: \_\_\_\_\_)
7. Kamus Kanji (Tajuk: \_\_\_\_\_)
8. Kamus elektronik
9. Video, VCD, DVD
10. Kaset bantuan belajar Bahasa Jepun
11. Perisian komputer untuk pembelajaran Bahasa Jepun
12. Internet
13. Program TV
14. Filem
15. Lagu Jepun (Kaset, CD)
16. Bahan yang diperolehi sewaktu seminar, bengkel
17. Guru lain (selain dari guru Jepun)
18. Guru lain (guru Jepun)
19. Pembantu orang Jepun
20. Selain dari guru Bahasa Jepun
21. Persediaan dari kelas sebelumnya
22. Guru berbangsa Jepun( selain guru Bahasa Jepun)
23. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q7 Pada pendapat anda, sejauh manakah pentingnya kebolehan berbahasa Jepun bagi seorang guru Bahasa Jepun? Sila tandakan mengikut tahap kepentingan yang disediakan.

	Sangat penting			Tidak penting	
1. Kebolehan berbahasa Jepun	5	4	3	2	1
2. Kebolehan mengajar bahasa	5	4	3	2	1
3. Pengetahuan Bahasa Jepun	5	4	3	2	1
4. Kebolehan mengendalikan kelas	5	4	3	2	1
5. Pengetahuan tentang Jepun	5	4	3	2	1
6. Lain-lain: _____	5	4	3	2	1

Q8 Apakah yang anda lakukan untuk meningkatkan kebolehan dan kualiti sebagai guru Bahasa Jepun. Sekiranya anda tidak melakukan apa-apa sila nyatakan alasan anda (pilih dari [ ] di bawah dan tandakan di 1-7.

	Selalu	Kadang-kadang	Tidak melakukan apa-apa
1. Menghadiri bengkel atau seminar	3	2	1 →Alasan _____
2. Belajar melalui buku rujukan	3	2	1 →Alasan _____
3. Berbincang dengan guru lain	3	2	1 →Alasan _____
4. Melawat kelas yang dikendalikan oleh guru lain	3	2	1 →Alasan _____
5. Meminta guru lain memerhati kelas anda	3	2	1 →Alasan _____
6. Mencuba dan mempelajari kaedah pengajaran lain	3	2	1 →Alasan _____
7. Menetapkan tema dan membuat kajian	3	2	1 →Alasan _____

[Alasan tidak melakukan apa-apa]

1. Tiada maklumat tentang bengkel /seminar
2. Tiada peluang menyertai bengkel/seminar
3. Memerlukan sejumlah wang
4. Jauh dari tempat bengkel/seminar diadakan
5. Tidak berminat
6. Tiada masalah di tempat kerja sekarang
7. Mempunyai kemampuan Bahasa Jepun yang mencukupi
8. Sibuk
9. Lain-lain

Q8-1 Apakah perkara yang anda fikirkan perlu untuk meningkatkan kemampuan dan kualiti sebagai seorang guru Bahasa Jepun. Sila nyatakan pendapat anda, dan tandakan bulat pada yang pernah anda alami.

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_ 4. \_\_\_\_\_



Q9 Adakah anda biasa menggunakan computer?

1. Ya (sila jawab Q9-1)      2. Tidak (terus ke Q10)

Q9-1 Bagaimanakah cara anda menggunakan komputer anda? Sila tandakan pada semua yang berkaitan.

1. Menggunakan perisian untuk menyediakan bahan mengajar
2. Menggunakan internet untuk mendapatkan bahan dan informasi
3. Menggunakan khidmat e-mail
4. Menggunakan program chat
5. Menggunakan perisian seperti power point untuk tujuan pembentangan kertas kerja/kuliah
6. Membuat halaman web sendiri
7. Membuat bahan mengajar dengan menggunakan computer (CAI)
8. Menggunakan perisian untuk menyimpan data prestasi pencapaian pelajar (statistik)
9. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q10 Adakah penggunaan komputer penting untuk pendidikan Bahasa Jepun.

Sangat penting	Biasa	Tidak penting
5	4      3	2      1

Q11 Apakah yang anda harapkan dapat membantu menaikkan kualiti dan kebolehan guru Bahasa Jepun di Malaysia. (Boleh jawab lebih dari satu)

1. Buku panduan nahu Manakah di antara berikut {1. Tahap awal 2. Tahap sederhana 3. Tahap mahir}
2. Kamus → Manakah di antara berikut {1. Bahasa Jepun → Bahasa Malaysia  
2. Bahasa Malaysia → Bahasa Jepun 3. Bahasa Jepun → Bahasa Inggeris  
4. Bahasa Inggeris → Bahasa Jepun 5. Bahasa Jepun → Bahasa Cina  
6. Bahasa Cina → Bahasa Jepun 7. Lain-lain: \_\_\_\_\_}
3. Kamus elektronik
4. Kamus Kanji Manakah di antara berikut.  
{ 1. Penerangan dalam Bahasa Malaysia 2. Penerangan dalam Bahasa Jepun}
5. Buku panduan untuk guru → Berikan contoh: \_\_\_\_\_
6. Kaset untuk belajar Bahasa Jepun
7. Perisian komputer untuk pembelajaran Bahasa Jepun Manakah di antara berikut  
{ 1. Karangan 2. Fonetik 3. Kanji 4. Nahu 5. Lain-lain: \_\_\_\_\_ }
8. Laman web untuk belajar Bahasa Jepun → Berikan contoh: \_\_\_\_\_
9. Program TV Jepun
10. Filem Jepun
11. Perisian komputer game dalam Bahasa Jepun
12. Suai kenal dengan orang Jepun
13. Program pertukaran belajar bahasa dengan Jepun
14. Lawatan ke rumah keluarga Jepun/ homestay
15. Menyertai acara yang berkaitan dengan Jepun dan Bahasa Jepun
16. Program untuk guru-guru Bahasa Jepun (seminar, kursus, latihan)
17. Jaringan di antara guru-guru Bahasa Jepun

Bersambung...

18. Bengkel/seminar
19. Kursus lawatan ke Jepun
20. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q12 Apakah yang anda fikirkan perlu ataupun baik sekiranya diperkembangkan untuk meningkatkan mutu pengajaran Bahasa Jepun. (Sila nyatakan pendapat anda.)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ii) Soalan di bawah untuk bukan penutur natif Bahasa Jepun.

Q13 Adakah anda menggunakan Bahasa Jepun untuk perbualan, telefon, surat menyurat, e-mail dan lain-lain di luar kelas anda.

1. Ya (sila jawab Q13-1, Q13-2)      2. Tidak (sila jawab Q13-3)

Q13-1 Dengan siapakah anda menggunakan Bahasa Jepun di luar kelas anda. Tandakan  pada semua jawapan pasangan dan cara anda berkomunikasi. (Boleh pilih lebih dari satu)

○	Cara	Perbualan	Surat menyurat	Telefon	E-mail	Chat
<input type="radio"/>	Pasangan					
<input type="radio"/>	Guru Bahasa Jepun					
<input type="radio"/>	Guru lain (selain guru Bahasa Jepun)					
<input type="radio"/>	Pembantu Bahasa Jepun					
<input type="radio"/>	Pelajar asing dari Jepun					
<input type="radio"/>	Pekerja kedai/restoran					
<input type="radio"/>	Keluarga, saudara mara					
<input type="radio"/>	Kenalan					
<input type="radio"/>	Kakitangan badan/perubuhan berkaitan Jepun					
<input type="radio"/>	Lain-lain: _____					

Q13-2 Soalan ini untuk jawapan anda di Q13-1, tentang pasangan perbualan yang sering anda gunakan Bahasa Jepun.

Siapakah pasangan yang paling sering anda gunakan Bahasa Jepun mengikut 1-9 di atas. Tandakan  pada satu nombor sahaja.

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

Apakah kewarganegaraan pasangan anda?

1. Malaysia      2. Jepun      3. Lain-lain: \_\_\_\_\_

③ Jantina				
1. Lelaki    2. Perempuan				
④ Apakah kemampuan Bahasa Jepun anda sewaktu mula menggunakan Bahasa Jepun dengan pasangan anda				
1. Hampir kepada tidak boleh langsung    2. Boleh sedikit    3. Boleh bertutur perbualan harian 4. Agak lancar    5. Boleh sama seperti orang Jepun				
⑤ Berapa kerapkah anda berhubung dengan pasangan anda?				
1. 2,3 x setahun    2. 2,3 x sebulan    3. 1 x seminggu    4. 2,3 x seminggu    5. Setiap hari				
⑥ Apakah cara yang paling kerap anda gunakan untuk menghubungi pasangan anda? (Boleh pilih lebih dari satu)				
1. Berjumpa dan berbual    2. Berbual melalui telefon    3. Surat    4. E-mail 5. Chat    6. Lain-lain: _____				
⑦ Sejauh manakah anda menggunakan Bahasa Jepun sewaktu berkomunikasi dengan pasangan anda?				
1. Keseluruhannya dalam Bahasa Jepun    2. Lebih banyak menggunakan Bahasa Jepun 3. Separuh dalam Bahasa Jepun dan separuh dalam bahasa lain 4. Kebanyakannya dalam bahasa lain				
⑧ Apakah topik perbualan utama yang anda sering bincangkan?				
1. Berkaitan Bahasa Jepun    2. Berkaitan pelajaran    3. Berkaitan pekerjaan 4. Berkaitan kehidupan    5. Berkaitan dengan hobi    6. Berkaitan masyarakat 7. Lain-lain: _____				
⑨ Mengapakah anda menggunakan Bahasa Jepun sewaktu berurusan dengan pasangan pilihan anda. Sila jawab mengikut tahap penggunaan anda dari 1-5 di bawah. Sekiranya anda mempunyai alasan sendiri sila nyatakan di [8. Lain-lain: _____]				
	Sangat Setuju	Biasa	Tidak setuju	
1. Seronok menggunakan Bahasa Jepun	5	4	3	2
2. Mahu bercakap dengan penutur natif Bahasa Jepun	5	4	3	2
3. Ingin mengekalkan kemampuan Bahasa Jepun	5	4	3	2
4. Diwajibkan atas urusan kerja	5	4	3	2
5. Bahasa Jepun paling mudah difahami oleh kedua pihak	5	4	3	2
6. Pasangan anda menggunakan Bahasa Jepun	5	4	3	2
7. Sudah menjadi kebiasaan	5	4	3	2
8. Lain-lain	5	4	3	2

Q13-3 (Tidak perlu jawab sekiranya anda memilih (1) di Q13)

Apakah alasan anda tidak menggunakan Bahasa Jepun di luar kelas anda. Sila pilih jawapan yang paling tepat atau hampir dengan pilihan anda dari senarai di bawah.

1. Tiada pasangan menggunakan Bahasa Jepun
2. Tidak terfikir mahu menggunakan Bahasa Jepun
3. Penguasaan Bahasa Jepun anda belum mencukupi
4. Malu
5. Tidak berkeyakinan
6. Lebih mudah menggunakan bahasa lain, seperti Bahasa Malaysia, Bahasa Cina dan lain-lain
7. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q14 Adakah anda memiliki bahan yang menggunakan Bahasa Jepun selain dari bahan mengajar di sekeliling anda.

1. Ya (sila jawab Q14-1)
2. Tidak (terus ke Q15)

Q14-1 Selain dari kelas Bahasa Jepun, adakah anda mendengar atau menggunakan Bahasa Jepun?

1. Ya (sila jawab Q14-2, Q14-3)
2. Tidak (sila jawab Q14-4)

Q14-2 Apakah jenis bahan Bahasa Jepun yang sering anda gunakan. Bulatkan pada jawapan yang berkenaan. (Boleh pilih lebih dari satu)

1. Surat khabar
2. Majalah
3. Buku
4. Komik
5. Peraturan penggunaan pada barangan belian
6. Televisyen (berita, drama)
7. Radio
8. Video, VCD, DVD
9. CD
10. Kaset
11. Komputer (internet)
12. Game
13. Papan tanda, kenyataan
14. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q14-3 Apakah bahan yang paling sering anda gunakan dari 1-14 di atas? Sila jawab soalan yang berkaitan dengannya.

① Apakah pilihan anda dalam Q14-2. Pilih satu yang paling selalu anda gunakan													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
② Berapakah kekerapan anda menggunakannya?													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
③ Siapakah pemilik bahan yang anda pilih?													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
④ Apakah isi kandungan utama bahan yang anda gunakan? (Boleh pilih lebih dari satu.)													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
⑤ Apakah alasan anda menggunakan bahan yang anda pilih. Jawab soalan dibawah mengikut tahap pendapat anda dari 1- 5.													
	Setuju	Biasa	Tidak setuju										
1. Seronok	5	4	3	2									
2. Ingin menggunakan Bahasa Jepun	5	4	3	2									
3. Ingin mencuba kemampuan Bahasa Jepun	5	4	3	2									
4. Ingin mengekalkan kemampuan Bahasa Jepun	5	4	3	2									
5. Ingin mendapatkan pelbagai maklumat	5	4	3	2									
6. Boleh mengenali negara Jepun dan orang Jepun	5	4	3	2									
7. Untuk kerja	5	4	3	2									
8. Untuk kajian	5	4	3	2									
9. Lain-lain	5	4	3	2									

Kegunaan Guru Bahasa Jepun (Malaysia)

Q14-4 (Tidak perlu jawab sekiranya anda memilih (1) di Q14-1)  
Apakah sebab anda tidak mendengar atau menggunakan Bahasa Jepun di luar kelas Bahasa Jepun. Sila pilih jawapan yang paling tepat dari pilihan di bawah.

1. Tidak terfikir untuk dengar dan guna Bahasa Jepun
2. Tidak ada masa
3. Kemampuan Bahasa Jepun anda tidak mencukupi
4. Perlukan wang untuk menggunakannya
5. Kesukaran untuk mendapatkan bahan
6. Lain-lain: \_\_\_\_\_

Q15 Adakah anda pernah mengalami pengalaman berkomunikasi dengan orang atau pun Bahasa Jepun (seperti dalam Q15-1) dalam tempoh 3 tahun kebelakangan ini?

1. Ya (sila jawab Q15-1, Q15-2)
2. Tidak

Q15-1 Sila tandakan bulat pada tempat anda mengalami pengalaman tersebut. Sekiranya ia tidak mengambil tempat di Malaysia atau pun di Jepun, sila tandakan pada lain-lain. Tandakan kesemua pengalaman yang pernah anda lalui.

Pengalaman/Tempat	Malaysia	Jepun	Lain-lain
1 Program suai kenal dengan orang Jepun			
2 Lawatan/ home stay di rumah keluarga Jepun			
3 Lawatan/home stay orang Jepun ke rumah anda			
4 Pertandingan syarahan Bahasa Jepun			
5 Bekerja/bekerja sambil di tempat yang memerlukan Bahasa Jepun			
6 Menyertai program/acara yang menggunakan Bahasa Jepun			
7 Menyertai kumpulan orang-orang Jepun, tempat perkumpulan orang Jepun			
8 Pernah ke pusat bahan-bahan bacaan mengenai Jepun (contoh: perpustakaan Japan Foundation dll.)			
9 Karaoke Bahasa Jepun			
10 Lain-lain: _____			

Q15-2 Adakah anda pernah terfikir untuk mengalaminya buat kali kedua atau pun meneruskannya. Sila pilih jawapan dari Q15-1 dan tandakan pilihan jawapan anda.

1. Pernah
2. Tidak pernah

	Masukkan no pilihan dari Q15-1
--	--------------------------------

Terima kasih di atas kerjasma anda.

Questionnaire-Teacher Version

Request for participation in an International Survey of Learning Environments and Resources in Japanese Language Education

To whom it may concern:

The National Institute for Japanese Language is Japan's official organization, with one of its goals being to further promote Japanese language education through scientific surveys and researches on Japanese language education.

Recent changes in the way that information is disseminated, most notably the spreading of the Internet, have resulted in more diverse environments and means of teaching and learning Japanese; and it is necessary to take a flexible and responsive approach to develop better ways of providing assistance with Japanese language education.

As part of this international project, this year we are undertaking research in Malaysia that looks at what kind of materials the Japanese language teachers are using for teaching and how they evaluate the materials, and what kind of materials the Japanese language learners are using for learning and how they evaluate the materials.

The following positive outcomes will be expected as a consequence of the present research. We can:

- 1. Provide a more effective way of assistance with the Japanese language teaching and learning by supplying necessary personnel, materials and information
2. Provide a more effective way of assistance with the Japanese language learning of the students from Malaysia interested in studying (or already studying) in Japan
3. Provide a more effective way of training Japanese language teachers sent from Japan to Malaysia, prior to their traveling.
4. Make contributions to the future development of Japanese teacher training in Malaysia

We would greatly appreciate it if you could kindly take a moment to participate in our research. Thank you very much for your cooperation, in advance.

SUGITO Seiju, Director
KANEDA Tomoko, Chief Researcher
OGAWARA Yoshiro, Researcher
Department of Teaching Japanese as a Second Language
The National Institute for Japanese Language
3-9-14 Nishigaoka
Kita-ku Tokyo 115-8620
TEL: +81-3-5993-7660 (Ogawara)
FAX: +81-3-3906-3530
http://www.kokken.go.jp/jsl

Information & Directions

- 1. Your answers will be used only for the purposes of the research. The statistically analyzed general results only will be released, and no information will be made identifiable with that of any particular individual.
2. Please read the instructions for each question carefully as they vary depending on the question.
3. When you are asked to write your answer in words or you choose "other" as your response, please explain your answer in as much detail as possible in the space provided.
4. Please return this survey to the teacher who gave it to you by \_\_\_\_\_, 2004.
5. If you have further questions about this survey, please do not hesitate to contact:

Yoshiro OGAWARA ogawara@kokken.go.jp
Edward Lee (The Japanese Language Society of Malaysia) edward@jkl.org.my

Teacher Questionnaire

Please circle the responses as appropriate. Native speakers of Japanese do not need to answer questions F5 or F6.

- F1 Gender 1) male 2) female
F2 Nationality \_\_\_\_\_
F3 Age (1) 10-19 (2) 20-29 (3) 30-39 (4) 40-49 (5) 50-59 (6) 60+
F4 Native language \_\_\_\_\_
F6 Number of years studying Japanese total \_\_\_year(s) (Number of years studying in Japan \_\_\_year(s))

[Details]

- 1. Boarding School (Junior High/Middle) \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
2. Day School (Junior High/Middle and/or High School) \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
3. Secondary Educational Institution other than 1,2 \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
4. University preparation course \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
5. University \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
6. Junior College \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
7. Comprehensive technical school, polytechnic \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
8. Private school \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
9. Office/Work \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
10. Other \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)

F5-1 Languages other than Japanese studied (e.g. German) \_\_\_\_\_ year(s)
\_\_\_\_\_ year(s)

F6 Have you ever been to Japan?

- (1) Yes (-go to F6-1, F6-2) (2) No (-go to F7)

F6-1 If you answered YES to question F-6, how many times have you been to Japan and for how long?

Number of visits \_\_\_\_\_time(s)
Total length of stay \_\_\_year(s) \_\_\_month(s) \_\_\_day(s)

F6-2 What was the purpose of your visit(s) to Japan? (Select all that apply.)

- (1) travel (2) study (<6 months) (3) study (6 months - 1 year) (4) study (1 year + ) (5) employment (6) company seminar
(7) cultural exchange (8) visiting family (9) accompanying family (10) Other (please specify) \_\_\_\_\_

F7 Number of years teaching Japanese language: Total \_\_\_year(s)

※ Please specify how long you taught for all the places you worked for.

[Details]

- 1. Boarding School (Junior High/Middle) \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
2. Day School (Junior High/Middle and/or High School) \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
3. Secondary Educational Institution other than 1,2 \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
4. University preparation course \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
5. University \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
6. Junior College \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
7. Comprehensive technical school, polytechnic \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
8. Private school \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
9. Office/Work \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)
10. Other \_\_\_year(s)\_\_\_month(s)

F8 Teaching experience other than Japanese \_\_\_\_\_ years Subject(s) \_\_\_\_\_

F9 (1) How good do you think your Japanese language skills are NOW, and (2) how good would you like to become in the FUTURE? For each of the four skills (reading, writing, listening, speaking), choose the sentence which best describes your current level, and write that number in the NOW box. Then choose the sentence which best describes the level you would like to achieve, and write that number in the FUTURE box.

**F9-1 Reading**

- 1) I don't know. Haven't thought about it
- 2) I basically understand simple texts written for language learners
- 3) I understand newspaper and magazine articles on a topic I am familiar with
- 4) I can basically understand books on topics that I am interested in, newspapers and magazines, with the help of a dictionary.
- 5) I read as well as in my native language

NOW	FUTURE

**F9-2 Writing**

- 1) I don't know. Haven't thought about it
- 2) I can write short sentences
- 3) I can write letters to friends and acquaintances
- 4) I can write a coherent letter or report, of more formal nature
- 5) I write as well as in my native language

NOW	FUTURE

**F9-3 Listening**

- 1) I don't know. Haven't thought about it
- 2) I can understand simple expressions and instructions associated with daily life
- 3) I can roughly understand the speaker's thinking and opinions in the course of a conversation
- 4) I can understand the gist of the news on TV or university lectures
- 5) I understand as much as in my native language

NOW	FUTURE

**F9-4 Speaking**

- 1) I don't know. Haven't thought about it
- 2) I can give a simple self-introduction
- 3) I can speak well enough to get by in Japan in everyday life
- 4) I can give my opinions and thoughts on a topic
- 5) I can speak as well as I can in my native language

NOW	FUTURE

F10 Describe why you became a Japanese language teacher.

---



---

F11 Do you attend conferences, seminars, workshop or other meetings of Japanese teachers?

- (1) Yes (→go to F11) (2) No (→go to F12)

F11-1 Please write down all the academic conferences, seminars, workshops and teacher meetings that you have participated in and mark  in an appropriate box (participation only/have been a presenter/have been an organizer), for each event.

Name of the conference, seminar, workshop, or teacher meeting	Participation only	Have been a presenter	Have been an organizer
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F12 Have you ever participated in a training program for Japanese language teachers since you became a teacher?

- (1) Yes (→go to F12-1, F12-2)  
 (2) No (→go to Q1)

F12-1 What is the total number of times you have participated in this kind of programs? \_\_\_\_\_ times

F12-2 Note the major training programs that you participated in.

Program name	Length of program (years, months, days, hours etc)

1 The following questions relate to your daily lessons.

Q1 What kinds of things do you use in your lessons? How often do you use these things? Please complete the following.

	Use	Use	Use	Used	Do not use
	Daily	Often	Sometimes	once or twice	
1 Published textbooks	5	4	3	2	1
2 Authentic materials (see also Q2 for information about types of 'authentic materials')	5	4	3	2	1
3 Published workbooks	5	4	3	2	1
4 Worksheets (developed in-house or personally)	5	4	3	2	1
5 tapes (commercial recordings)	5	4	3	2	1
6 tapes (recorded in-house or personally)	5	4	3	2	1
7 videos (commercial)	5	4	3	2	1
8 videos (privately produced)	5	4	3	2	1
9 pictures	5	4	3	2	1
10 flashcards / character (script) cards	5	4	3	2	1
11 realia (real objects)	5	4	3	2	1
12 self-made textbooks	5	4	3	2	1
13 OHP sheets	5	4	3	2	1
14 other (please specify) _____	5	4	3	2	1

Q2 If you have used authentic materials in the classroom, what kind of things have you used? (Select all that apply.)

1. newspapers 2. magazines 3. books 4. television programs 5. videos/DVD/VCD  
6. Internet 7. photographs 8. Manga 9. tapes/ CDs 10. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q2-1 Why did you use these materials? Select all that apply.

1. To expose students to authentic Japanese language  
2. To expose students to actual Japanese items and culture  
3. Necessary to improve Japanese skills  
4. To motivate students and increase their interest  
5. Desired by students  
6. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q3 If you have developed your own materials, what kinds of things have you developed? (Select all that apply.)

1. Worksheets to assist with activities (task sheets, role cards, etc.)  
2. Flashcards (picture cards, letter(Moji) cards etc.)  
3. Worksheets of practice questions  
4. Reading comprehension exercises  
5. Recorded materials (tapes)  
6. Handouts to explain learning objects  
7. Computer activities  
8. textbooks  
9. videos/VCD  
10. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q4 Do you use technology in the classroom?

- (1) Yes (→go to Q4-1) (2) No (→go to Q5)

Q4-1 If you answered YES to Q4, what kind of technology do you use? (Select all that apply.)

1. video cassette recorder (VCR) - VCD - DVD 2. tape recorder 3. OHP 4. computer  
5. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q5 How much Japanese do you use in the classroom? Check as appropriate for each of the different levels.

		Beginner level	Intermediate level	Advanced level
Use only Japanese				
Use some Japanese	Greetings			
	Read example sentences and texts			
	Give instructions			
	Explain meaning and/or grammar			
	Explain activities			
Other (please specify) _____				

Q6 Which of the following do you refer to when you are preparing for a lesson, or have questions about Japan or the language? (Select all that apply.)

1. I don't do much preparation  
2. Textbooks  
3. Supplementary materials which accompany the text  
4. Grammar reference books  
5. Other reference materials  
6. Japanese dictionaries (title : \_\_\_\_\_)  
7. Kanji dictionaries (title : \_\_\_\_\_)  
8. Electronic dictionaries  
9. Video/VCD/DVD  
10. Japanese language pronunciation tapes  
11. Computer software for Japanese language study  
12. Internet  
13. TV programs  
14. Movies  
15. Japanese songs (tapes, CDs)  
16. Handouts and notes from training seminars  
17. Other Malaysian teachers  
18. Japanese colleagues  
19. Japanese native speaker assistants  
20. Someone other than a teacher  
21. Previous lesson plans  
22. Japanese-speaking teaching staff (of other subjects)  
23. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q7 How important are each of the following in a Japanese language teacher?

	very important				not important
1 Practical Japanese language skills	5	4	3	2	1
2 Language teaching ability	5	4	3	2	1
3 Linguistic knowledge about Japanese	5	4	3	2	1
4 Class management skills	5	4	3	2	1
5 Knowledge about Japan	5	4	3	2	1
6 Other (please specify) _____	5	4	3	2	1

Q8 How often do you participate in each of the following 7 professional development activities, to improve your own language and teaching skills?

If you rarely participate in a certain activity, choose the reason for that, from the choices below and write the appropriate number in the space provided.

	all the time	occasionally	rarely (see below for reason codes)
1 Attend seminars or study groups	3	2	1 → <u>reason</u> _____
2 Study reference materials	3	2	1 → <u>reason</u> _____
3 Discuss with other teacher(s)	3	2	1 → <u>reason</u> _____
4 Observe other teacher(s)'s lesson(s)	3	2	1 → <u>reason</u> _____
5 Have someone observe your lesson(s)	3	2	1 → <u>reason</u> _____
6 Review & try different teaching methods and materials	3	2	1 → <u>reason</u> _____
7 Research a particular topic	3	2	1 → <u>reason</u> _____

< Reasons why you rarely do something >

1. Don't know of any training seminars or study groups
2. No chance to participate in a training seminar or study group
3. Too expensive
4. Training seminars take place too far away
5. Not interested
6. Do not feel the need to do so in the current situation
7. Have sufficient Japanese teaching skills
8. Too busy
9. Other (please specify \_\_\_\_\_)

Q8-1 What other kinds of professional development activities do you think would be useful? List them and circle those you have participated in.

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_

Q9 : Do you use a computer on a regular basis?

1. Yes ( → go to Q9-1)
2. No ( → go to Q10)

Q9-1 What kinds of things do you use the computer for, on a regular basis. (Select all that apply.)

1. Use word processing software to develop worksheets
2. Use the Internet to find out information
3. Send and receive e-mail
4. Participate in chat rooms/Instant Messaging (MSN etc.)

5. Prepare lessons and presentations using presentation software (e.g. PowerPoint)
6. Develop a home page using software (e.g. Homepage Builder)
7. Develop teaching materials (e.g. CAI and Web materials)
8. Manage grades, analyse data and make schedules using spreadsheet (statistics) software
9. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q10 Do you think it is necessary to use a computer for Japanese language education?

very important	not low	not important
5	4	3
		2
		1

Q11 Which of the following do you think necessary to be developed in Malaysia, in order to help teachers improve their language skills and teaching ability? (Select all that apply.)

1. Grammar reference books—Which ones? ( 1. Basic grammar 2. Intermediate 3. Advanced )
2. Dictionaries— Which ones? (1. Japanese-Malay 2. Malay-Japanese 3. Japanese-English 4. English-Japanese 5. Japanese-English 6. Japanese-Chinese 7. Chinese-Japanese 8. others \_\_\_\_\_)
3. Electronic dictionaries
4. Kanji dictionaries—Which ones? ( 1. Explanations in Malaysian 2. Explanations in Japanese )
5. Teaching manuals, idea books →What kinds? \_\_\_\_\_
6. Japanese language pronunciation tapes
7. Computer software for language study  
→ What kinds? (1. Writing 2. Pronunciation 3. Kanji 4. Grammar 5. Other (please specify \_\_\_\_\_))
8. Web based Japanese language programs → What kinds? \_\_\_\_\_
9. Japanese language TV programs
10. Japanese movies
11. Japanese computer game software
12. Interaction with Japanese natives
13. Language teaching exchange
14. Visit a Japanese family, home stay
15. Events with a focus on Japan, Japanese or Japanese language education
16. Courses for Japanese language teachers (undergraduate & post-graduate)
17. Network of teachers
18. Domestic training seminars
19. Training seminars in Japan
20. Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q12 What kinds of resources/materials would you most like to have or see developed in order to be used in your class?

□ The following questions are only for non-native speakers of Japanese.

Q13 Do you have any opportunities to use your Japanese language outside the classroom? (e.g. conversations, telephone, letters, e-mail)

(1) Yes (→go to Q13-1, Q13-2) (2) No (→go to Q13-3)

Q13-1 What kind of people do you communicate with outside of the classroom & how do you communicate in Japanese with them? (Tick all the columns that apply.)

Person	Means of communication	Means of communication				
		face to face conversation	letter	telephone	e-mail	internet chatting
1 Japanese language teachers						
2 Teachers of other subjects						
3 Japanese assistants						
4 Students from Japan						
5 Shop & restaurant employees						
6 Family, relatives etc.						
7 Acquaintances						
8 Japanese embassy/consulate/business etc. employees						
9 Other(please specify) _____						

Q13-2 Choose the person(s) from the list in the previous question (Q13-1) with whom you communicate the MOST Japanese.

1. With whom do you use your Japanese MOST? * Circle ONLY ONE number. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.
2. What nationality are they? 1. Malaysian 2. Japanese 3. Other(please specify) _____
3. Gender 1. Male 2. Female
4. How was your Japanese when you first started communicating with this person? 1. I couldn't speak much 2. I could speak a little 3. I could communicate about daily activities 4. I was quite good 5. I was as fluent as a native speaker
5. How frequently do you communicate with this person? (1) 2 or 3 times a year (2) 2 or 3 times a month (3) once a week (4) 2 or 3 times a week (5) everyday
6. How do you communicate with this person? (Select all that apply.) 1. talk face-to-face 2. talk on the telephone 3. letters 4. e-mail 5. Chatting/Instant messaging 6 Other(please specify) _____
7. How much Japanese do you use when communicating with this person? 1. Use only Japanese 2. Use mainly Japanese 3. Use half Japanese and half another language 4. Use mostly another language

8. What do you mostly talk about? (Select all that apply.)			
1. Japanese language	2. Study	3. Work	4. Life
5. Interests/hobbies	6. Society	7. Other(please specify) _____	
9. Why do you use Japanese when you communicate with this person? Rate each of the following reasons on a scale of 1-5. If you have any additional reasons for using Japanese add them to the list and rate them also.			
	Strongly agree	Neither agree nor disagree	Strongly disagree
1. I enjoy using Japanese	5	4	3
2. I want to speak Japanese with a native	5	4	3
3. To improve and maintain my own Japanese language skills	5	4	3
4. It is a necessary part of my work	5	4	3
5. Japanese is the easiest language for us to use to communicate	5	4	3
6. The person I communicate with uses it	5	4	3
7. That's just what we do (habit)	5	4	3
8. Other(please specify) _____	5	4	3

→go to Q14

Q13-3 If you answered YES in Q13, you do not have to answer this question.

Why do you NOT use Japanese outside the classroom? Choose ONE answer, which most closely reflects your reason.

- No one to speak to
- I don't want to use Japanese
- My Japanese is not good enough
- It's embarrassing to speak Japanese
- I'm not confident using the language
- It's more convenient to use other languages such as Malay, English, Chinese, etc.
- Other(please specify) \_\_\_\_\_

Q14 Are there any examples of Japanese used in your local community? (Not including learning materials.)

- Yes (→go to Q14-1)
- No (→go to Q15)

Q14-1 Do you have any opportunities to see, read or hear Japanese outside the classroom?

- Yes (→go to Q14-2, Q14-3)
- No (→go to Q14-4)

Q14-2 What kinds of things do you see, read or hear in Japanese outside the classroom? (Circle all that apply.)

- Newspaper(s)
- Magazine(s)
- Book(s)
- Manga, Anime
- Product packaging
- TV programs (News, drama shows etc.)
- Radio
- Video/VCD/DVD
- CD
- Cassette tapes
- Computer (including Internet)
- Game software
- Street ads and/or signs in stores
- Other \_\_\_\_\_

Q14-3 Choose the ONE thing that you see, read or hear the most from Q14-2.

1. What do you see, read or hear the MOST? * Circle ONLY ONE number from Q14-2. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.
2. How frequently do you see, read or hear this? (1) 2 or 3 times a year (2) 2 or 3 times a month (3) once a week (4) 2 or 3 times a week (5) everyday



3. Whose item is it?  
 1 Your own    2 Family members'    3 Friend or acquaintance's    4 School's    5 Company's  
 6 Other (please specify \_\_\_\_\_)

4. What is the main content? (Select all that apply.)  
 1 Politics & Economics    2 Life & Society    3 Science & Engineering    4 Culture & the Arts    5 Sports & Hobbies  
 6 Japanese and language study    7 Japanese people    8 Japan    9 Other (please specify \_\_\_\_\_)

5. What are your reason(s) for reading or listening to Japanese? Rate each of the reasons on the right on a scale of 1-5. If you have any additional reasons for using Japanese add them to the list and rate them also.

	Strongly agree	Disagree	Strongly disagree
1 I enjoy it	5	4	3
2 I want to be close to Japanese language	5	4	3
3 I want to try out my Japanese	5	4	3
4 I want to improve and maintain my Japanese	5	4	3
5 I can get a lot of different information	5	4	3
6 I can learn more about Japan and its people	5	4	3
7 For work	5	4	3
8 For research	5	4	3
9 Other (please specify _____)	5	4	3

-go to Q15

Q14-4 If you answered YES to Q14-1, you do not have to answer this question.

Why do you NOT have any opportunities to read or listen to Japanese outside the classroom?  
 Choose the ONE option below which best reflects your reason.

- 1 I don't want to read or listen to Japanese
- 2 Not enough time
- 3 My Japanese language is not good enough
- 4 It costs money
- 5 It is difficult to come into contact with
- 6 Other (please specify) \_\_\_\_\_

Q15 In the last three years, have you had any of the following opportunities involving the Japanese language and people, indicated below (in Q15-1)?

- 1 Yes (-go to Q15-1, Q15-2)    2 No (-this is the end of the questionnaire)

Q15-1 Mark  in the column of all the activities that you experienced, and also indicate all of the locations where you participated in the activity (Malaysia and/or Japan). If neither, specify the location in the Other column)

	Opportunity/Location	Malaysia	Japan	Other
1	Interaction with Japanese native(s)			
2	Your Visit or home stay with a Japanese family			
3	Visit or home stay of (a) Japanese person(s)			
4	Japanese speech contest (e.g., audience, participants, judge)			
5	Part-time or full-time work where Japanese was used			
6	Participation in a language or Japan related event			
7	Going to a place where Japanese people are (e.g., churches, sightseeing spots)			
8	Japan or Japanese language related document center or library (e.g. The Japan Foundation Kuala Lumpur Japanese Language Centre)			
9	Karaoke in Japanese			
10	Other (please specify) _____			

Q15-2 If you have experienced something from the previous question, is there anything you would like to do again, or continue to do? Choose the event/activity that you would MOST like to participate in again and write its number in the space provided below.

1. Yes

	Write the number of the event or activity from Q15-1 which you would like to participate in again
--	---

2 I don't want to do anything again

Thank you very much for your assistance with this research. Your time, comments and answers are very much appreciated.

■担当者

柳澤好昭（国立国語研究所日本語教育部門長）  
金田智子（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）  
小河原義朗（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）  
笠井淳子（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）

■刊行物検討委員会

柳澤好昭（委員長：国立国語研究所日本語教育部門長）  
山口昌也（国立国語研究所研究開発部門第一領域）  
森本祥子（国立国語研究所情報資料部門第二領域）  
井上優（国立国語研究所日本語教育部門第一領域長）  
小河原義朗（国立国語研究所日本語教育部門第一領域）

■学習手段海外委員会

阿久津智（拓殖大学／元日本マレーシア高等教育大学連合）  
李徳奉（韓国・同徳女子大学校）  
石井恵理子（東京女子大学）  
工藤節子（台湾・東海大学）  
佐藤純（タイ・タイ商工会議所大学）  
タナサーンセーニー美香（タイ・アサンプション大学）  
藤井彰二（台湾・台湾大学）  
ロビン・スペンス・ブラウン（オーストラリア・モナシュ大学）

■所外協力

〈調査協力機関〉

国際交流基金クアラルンプール日本文化センター  
マレーシア日本語協会

〈調査協力者〉

エドワード・リー（マレーシア日本語協会）  
吉田真宏（国際交流基金クアラルンプール日本文化センター）  
アン・チュイ・キエン（International Languages Teacher Training Institute）  
ヨー・リー・スー（University Sains Malaysia）  
広瀬純子（マラ・オイスカ日本語センター）  
伊藤俊也（拓殖大学）  
小林伊智郎（拓殖大学）  
滝口博子（日本マレーシア高等教育大学連合）  
松本紫帆（立教大学）  
小林百恵（ペラ馬日友好協会）

■調査委託会社

藤田茂（株式会社ストーム）

■協力

中山健一      ソライダ・ビンディ・ムスタファ      小泉有紀子      宇治宮時子  
小林伊智郎      鈴木朝子      鈴木さつき      富澤由佳      吉田雄

平成 17 年度  
日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究  
マレーシアアンケート調査集計結果報告書

平成 17 年 12 月 28 日

独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育部門  
〒190-8561 東京都立川市緑町 3591-2

TEL : 042-540-4300 (代表)

FAX : 042-540-4333

URL : <http://www.kokken.go.jp>

(平 17-11)